〔速記叢書講談演説集〕

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（ぬ）	ぬ	044	16	法律の主義も矢張り主義通りには行はれ	ぬ	ことぢゃ．即ち己を利することを許すなれども他
	ぬ	047	04	ればよい，他の利益を顧みる訳には参ら	ぬ	ことぢゃ．其れは固より当り前のこととせねばな
	ぬ	047	15	ふ大きなことになると少しも何とも言は	ぬ	ことぢゃが其れが自然今日にありては已むを得ぬ
	ぬ	048	02	人でも国内の人と甚だしく違ふては居ら	ぬ	ことで随分互に深切を尽すと云ふことが有る．併
	ぬ	048	09	がたつたら，さういふことになるか知れ	ぬ	ことなれども今の勢ひでは段々其の運びになるで
	ぬ	048	17	間に道徳の行はれぬは決して怪むに足ら	ぬ	ことぢゃ．道徳は社会の維持と保存との為めに出
	ぬ	052	04	として）数字の外はモロコシの字を用ひ	ぬ	ことと触れ出し一字使つた者は懲役一年，二字使
	ぬ	057	07	幹事諸君に厚くお礼を陳べなければなら	ぬ	ことが御坐います．総て我々の健康と云ふものは
	ぬ	084	08	あつたならば向ふに到着の時節も亦知れ	ぬ	ことで御坐りませぬ．さりながら人間社会の進歩
	ぬ	089	05	先づ新約書旧約書を研究するならば分ら	ぬ	ことが御坐りますまいと存じます．第二．また種
	ぬ	089	12	するの志が必ず厚くなりますれば進歩せ	ぬ	ことが決して御坐りませぬ．第三．また人の種々
	ぬ	090	03	知らずと云ふことが御坐りませぬ．知ら	ぬ	ことが御坐りませぬに由つて進歩せぬと云ふこと
	ぬ	093	12	ると言ひますが，これはたゞ感覚に過ぎ	ぬ	ことで法律学上果して責罰があるやといふことを
	ぬ	094	12	の腹を肥したのは我輩に於て悲歎に堪へ	ぬ	ことで御坐ります．他の乗組人は大抵助かつて居
	ぬ	094	14	人民は助からぬといふは実に憤怒に堪へ	ぬ	ことであります．これは我輩のみならず諸君も定
	ぬ	094	15	で御坐りませう．実に同感ならざるを得	ぬ	ことです．併し此の悲歎と此の憤怒の感情よりし
	ぬ	095	06	徳上で責罰することも法律上では責罰せ	ぬ	ことが御坐ります．故に道徳上に於て罪すべき人
	ぬ	109	07	のものは六艘の端艇を備へなければなら	ぬ	ことにきまつて居ります．而してこれは何の為め
	ぬ	109	15	を肯じなかつたといふのは甚だ請け取れ	ぬ	ことでは御坐りませぬか．また諸新聞紙等に拠つ
	ぬ	113	10	ないので酒を節するは固よりせねばなら	ぬ	ことぢゃといふことは誰にもよく分ることで，あ
	ぬ	125	13	と基督教との関係また其の合ふこと合は	ぬ	ことなどに本づいたもので御坐ります．書生がよ
	ぬ	127	09	熟したる論を駁つと云ふことは迚も出来	ぬ	ことで御坐りませう．故に先づ用心する方が宜し
	ぬ	128	04	，未だ学者たちでさへも学術の事実とせ	ぬ	ことが多う御坐ります．近来盛んに起つて来る所
	ぬ	167	07	の「離縁の話し」なども，まだよく分ら	ぬ	ことだが段々気が付て来たから，おつつけ分るや
	ぬ	173	16	かれ必ず移住の運動をしなければ，なら	ぬ	ことがあります．其の訳はといふと我が国の人数
	ぬ	181	02	にはキリスト教の力に依らなければなら	ぬ	ことを堅く信ずる者で御坐ります．また近来は教
	ぬ	181	09	許さず妾を蓄るごときことは決して許さ	ぬ	ことで御坐ります．今日我が邦の社会に於て改良
	ぬ	183	02	は世間で妾や権妻といふ者を何とも思は	ぬ	ことで御坐ります．男子は妾を蓄ることを何とも
	ぬ	183	06	御坐ります．また，こゝに申さねばなら	ぬ	ことが御坐りますがキリスト教で申す一夫一婦と
	ぬ	185	10	の幸福を得る等といふことは思ひも寄ら	ぬ	ことで御坐ります．全体，日本にはドウして此の
	ぬ	186	03	の婦人の事などを聞けば実に憫然に堪へ	ぬ	ことどもが多く御坐ります．幸に我が国には其れ
	ぬ	220	03	のは児島某と云ふ小説家の作で信ぜられ	ぬ	ことが多く楠正成の桜井のことだの或ひは後醍醐
	ぬ	102	12	ふ国やら日本は支那の属国やら更に分ら	ぬ	さうであります．国の実況が分らず国の名さへも
	ぬ	135	07	で御坐ります．耶蘇基督が世を逝りませ	ぬ	前きに其の弟子たちに仰せ置かれた所は多分諸君
	ぬ	227	02	上は共に且，同時に講究しなければなら	ぬ	次第になります．よつて第一部では両方一所に申
	ぬ	261	07	しくし其の範囲をきめなければなりませ	ぬ	次第で有りまする．よつて善良なる少年は学校の
	ぬ	041	08	徳の有るのは当り前のことぢゃ．昔開け	ぬ	時分には道徳も法律も別に区分が付ては居らぬ．
	ぬ	038	17	の術を得たものは漸々に栄え其れが出来	ぬ	社会は亡びたであらう．今申した野蛮の有様に付
	ぬ	039	08	ぢゃ．其れは如何なる訳かと云ふと開け	ぬ	社会には人口が増してはクラシが出来ぬ．殊に女
	ぬ	038	09	．其の証拠には道徳の開けた人民と開け	ぬ	人民が有りて其の道徳とする所は全く表裏反対ぢ
	ぬ	075	14	いといふ．これは先進の説に意見を加へ	ぬ	其の儘の説で御坐んす．兎も角も利を興す方のガ
	ぬ	075	11	利を伸張するのはたゞモトの権利を失は	ぬ	だけである．此の如きは国家の富を増すものでは
	ぬ	045	01	のみならず法律の本趣意も行はれて居ら	ぬ	ぢゃ．僕の考へでは今日行はれぬのみで無く，い
	ぬ	045	14	ことぢゃから決して悪いこととは申され	ぬ	ぢゃ．又いつまでも，やまぬであらうと云ふこと
	ぬ	044	02	より耶蘇の教が行はれたらば文明は起ら	ぬ	であらう．併しあまり残忍のことも沢山あるし殺
	ぬ	045	02	みで無く，いつまでも極十分には行はれ	ぬ	であらうと思ふ．例へば英国は自由国ぢゃが貴族
	ぬ	045	15	とは申されぬぢゃ．又いつまでも，やま	ぬ	であらうと云ふことは政府が刑罰の権をもちて居
	ぬ	046	06	ことを行ふてはならぬと云ふ主義は立た	ぬ	では無いか．人間の有らむ限りは刑罰の無くなる
	ぬ	051	13	名文字の用ひが殖る様の実があがりませ	ぬ	では名簿ばかりでは盛大と私に於ては思へない．
	ぬ	116	14	かく自分一人でも酒を節することは出来	ぬ	ではなけれども併し此の会に加はつて約束をすれ
	ぬ	225	07	すれば其の辺のことには一向関はりませ	ぬ	で，たゞ古るめかしいことを述べて諸君のお耳を
	ぬ	278	04	軍の監獄と国事犯のことは一切述べませ	ぬ	でありました．此の上は我が国の現在の監獄上の
	ぬ	069	06	試験を願ひたる者四百七十人に過ぎませ	ぬ	でしたが千八百八十一年には七百五人となり千八
	ぬ	007	08	う．字が書けると地方でも賞められ書け	ぬ	と百姓町人までが馬鹿にする．其れだから役所か
	ぬ	039	17	云ふのぢゃから何でも強くなくてはなら	ぬ	と云ふことになりて居たと見える．今いふ徳義に
	ぬ	042	01	下の人は上の人に只管従順にせねばなら	ぬ	と云ふことになりて居るが西洋では大いに人民の
	ぬ	042	08	ものは何でも人の為めにしなくてはなら	ぬ	と云ふことが本趣意で，己を利するの心を抱いて
	ぬ	042	10	只管他人の為めになることをせねばなら	ぬ	と云ふこと，又法と云ふものは己を利することを
	ぬ	042	11	の為めに他を害するの事を行ふてはなら	ぬ	と云ふことが本趣意になりて居る．丁度道と云ふ
	ぬ	042	17	許すが其れが為めに人の害をしてはなら	ぬ	と云ふばかりぢゃ．然るに支那は道徳を以て天下
	ぬ	043	13	悲を施し決して残酷なことをしてはなら	ぬ	と云ふことを教ふることぢゃ．されども其れは，
	ぬ	044	17	ることを許すなれども他を害してはなら	ぬ	と云ふことも矢張り今の文明と云ふ欧羅巴でも実
	ぬ	046	05	て見れば他を害することを行ふてはなら	ぬ	と云ふ主義は立たぬでは無いか．人間の有らむ限

〔速記叢書講談演説集〕

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（ぬ）	ぬ	048	13	ことをしても国威を輝かさなければなら	ぬ	と云ふことも無く彼我の差別も漸々に薄くなりて
	ぬ	055	10	望む準備が出来る様で無ければなりませ	ぬ	と思ひます．この自分の持論を述べて諸君に伺ひ
	ぬ	075	04	雨がふりつゞいて田地を耕すことが出来	ぬ	といふなら土工家を雇ひ或ひは水口をつけて水を
	ぬ	076	03	れに一つお断りをして置かなければなら	ぬ	といふのはこれは事業上の性質から論ずるので徹
	ぬ	079	05	する為めには基督教は必ず無ければなら	ぬ	と云ふ主意で御坐ります．人たるものは種々の貴
	ぬ	086	15	教に問ふならば明白な返答が決して出来	ぬ	と云ふことが無い．若し基督教の基本になつて居
	ぬ	086	16	るならば，これ等の事柄がサッパリ分ら	ぬ	と云ふことが御坐りませぬ．これ等の高尚なる事
	ぬ	090	03	らぬことが御坐りませぬに由つて進歩せ	ぬ	と云ふことが御坐りませぬ．第四．また人の進歩
	ぬ	090	16	を之に合はして世渡りするものは進歩せ	ぬ	と云ふことが決して御坐りませぬ．第六．併しな
	ぬ	094	13	抵助かつて居りながら我が人民は助から	ぬ	といふは実に憤怒に堪へぬことであります．これ
	ぬ	102	16	た一方に於ては我が日本の国情が知られ	ぬ	といふことがノルマントン号事件の起るべき大原
	ぬ	109	10	して端艇は何の為めに附いてあるか知ら	ぬ	といふことは御坐りますまい．既に三人の同胞は
	ぬ	110	01	れることを知りながらドウなつても構は	ぬ	といつて現に居つたに違ひ無い．然らばメンスロ
	ぬ	111	08	所業の不当なることを論じなければなら	ぬ	と思ふ．而して将来再たび斯の如き事のなからむ
	ぬ	114	11	の害になる，ドウすれば身体の害になら	ぬ	といふことは能く分る．さて，かうすれば命に利
	ぬ	116	17	て来るからのことぢゃ．抑々約束を破ら	ぬ	といふことはヤッパリ人類の高い欲だからドウか
	ぬ	117	08	の会が必要になることぢゃ．其れが守れ	ぬ	といふやうな人は仕方が無いが成るたけ守らうと
	ぬ	125	17	に私とても基督教を承諾することが出来	ぬ	と．これ等の色々の不承知を言ふお方の中に，よ
	ぬ	128	01	らしい論は決して基督教に逆らつて居ら	ぬ	と頻りに務めて論ずるもので有りまする．これ亦
	ぬ	128	15	の第二の仕方も亦よい仕方で御坐りませ	ぬ	と存じまする．併しながらこゝに一つの珍らしい
	ぬ	148	11	日本で今，市街はドウかしなければなら	ぬ	といふときに市街の人員五万以上のは独立させる
	ぬ	184	09	何の役にも立ちません．自分の気に入ら	ぬ	と云つては妻を出し，子が無いと云つては出し，
	ぬ	184	10	，自分には気に入つても両親の気に入ら	ぬ	と云つては出ししたら，ドウして一夫一婦の教が
	ぬ	188	07	主権に関係しましたことを申し上げませ	ぬ	と行政法の原則に大関係をしますから其れを今日
	ぬ	190	07	ども，さう手が届かない．また力も及ば	ぬ	といふよりして裁判所に委託してやらせるといふ
	ぬ	207	01	，今度何月何日頃に現はれなければなら	ぬ	と待つて居りました，けれどもドコへいつたか今
	ぬ	229	06	市街を一つの区としてドコの郡にも属せ	ぬ	と云ふやうにして有ります．故にこの区と云ふの
	ぬ	237	01	術などはイクサの為めにしなければなら	ぬ	と云ふので有つたが其れを取るだけで其の外に学
	ぬ	237	13	て西洋のことを学ばぬ人は世に歯せられ	ぬ	と云ふ有様になつて来ました．マルデ昔とウラヘ
	ぬ	238	01	サシイことを知つて昔の二大難事を知ら	ぬ	と昔から当り前だと思つて骨折り方もいゝ加減に
	ぬ	245	09	育，等は一切，行政権で関係してはなら	ぬ	と申す趣意では決して御坐いませぬ．たゞ其の性
	ぬ	246	12	切なるところで若し此の目的を存じませ	ぬ	と枝葉に至つて大変な間違ひを来します．例へば
	ぬ	247	06	の悪いと云ふことの理由を能く述べませ	ぬ	と到底，其の心は改まることは出来ませぬ．此の
	ぬ	260	02	何にしても救助費の額を定めて置きませ	ぬ	とムヤミに慈恵，慈恵と申して一方にばかり偏し
	ぬ	267	04	ので有りまする．故に分房法に致しませ	ぬ	と，他の未決者から証拠を押し隠すの教授を受く
	ぬ	267	11	まして若し此の部の仕事が行き届きませ	ぬ	と常に何千何万と云ふ将来の犯罪人を絶えず世間
	ぬ	270	01	．若し此の間に家庭教育を充分にしませ	ぬ	と之が為め終身のカタハモノを造り出すことにな
	ぬ	276	13	何事につけても此の大原則を了解しませ	ぬ	と色々な害が起ることになりまする．何事にても
	ぬ	047	16	ゃが其れが自然今日にありては已むを得	ぬ	当然の処置であるからであらうと思はれる．さり
	ぬ	041	06	の時に適せねばならぬ，開けぬ時は開け	ぬ	道徳の有るのは当り前のことぢゃ．昔開けぬ時分
	ぬ	058	04	むつかしいことを陳べても脳髄に這入ら	ぬ	ときは何にもなりませぬから私は極めて俗語で陳
	ぬ	148	07	法に適つて居つても行政上の便益を為さ	ぬ	ときは調べ直しをしなければなりませぬ．人員疎
	ぬ	041	06	の道徳は其の時に適せねばならぬ，開け	ぬ	時は開けぬ道徳の有るのは当り前のことぢゃ．昔
	ぬ	053	08	長い様な性質で気を長くしなければなら	ぬ	所は気を長くすることも有り気を短くしなければ
	ぬ	053	09	することも有り気を短くしなければなら	ぬ	所は気を短くする所も有ります．たゞ気を長くば
	ぬ	064	13	ことを知つて緊要なる衛生上の害を知ら	ぬ	所から出来たものにして則ち半開化の害でありま
	ぬ	186	02	国では何処でも男尊女卑の風習の行はれ	ぬ	所は御坐りません．印度や土耳其の婦人の事など
	ぬ	047	10	歎息の順序で其の後に猶ほ道徳が行はれ	ぬ	ならば其の時こそ其の事を歎息すべきことぢゃ．
	ぬ	082	05	坐ります．此の種類が完全して居りませ	ぬ	ならば他のものが進歩しても完全な進歩が迚も出
	ぬ	049	02	事に就ては猶ほ委しく説かねば意を尽さ	ぬ	なれども既に一時半を費して最早五時にもなり猶
	ぬ	234	12	尤も極の高尚の所は原書で無ければなら	ぬ	なれども当り前のことは日本語で学べるので無け
	ぬ	046	10	様な訳なれども併し全く十分には行はれ	ぬ	に相違ないと申すのぢゃ．これから肝腎の話しに
	ぬ	090	03	御坐りませぬ．知らぬことが御坐りませ	ぬ	に由つて進歩せぬと云ふことが御坐りませぬ．第
	ぬ	100	02	等は実に我々日本人を同等の人間と思は	ぬ	に相違なし．若し彼等にして我々を同等の人間と
	ぬ	008	09	い位の違ひ．余輩の如きも気違ひになら	ぬ	のは此の違ひが本当に分らぬからのこと，若し其
	ぬ	039	14	が害を被むる様になるから其れ故，殺さ	ぬ	のは却りて善くないことの様になりて居るのぢゃ
	ぬ	045	10	の外，種々のことによりて出来ると出来	ぬ	の違ひが有る．して見れば只今でも権を得たもの
	ぬ	045	11	て居るに違ひ無い．女に参政の権を与へ	ぬ	のは女から参政の権を奪ふてあるので他を害する
	ぬ	047	06	は各国が今日まで未だ一つの社会になら	ぬ	のが歎はしいと言ふ方がよい．各国が一つの社会
	ぬ	047	07	はれねば其の時こそ始めて道徳の行はれ	ぬ	のを歎くがよい．今各国の間に道徳が行はれぬの
	ぬ	047	08	歎くがよい．今各国の間に道徳が行はれ	ぬ	のを歎くのは順序を失して居る．其れよりは一つ
	ぬ	047	09	拵へる様にしたいものぢゃ．其れの出来	ぬ	のを歎息するのが歎息の順序で其の後に猶ほ道徳
	ぬ	049	01	社会を為さぬ者同士の間に其れが行はれ	ぬ	のは当然のことぢゃ．さて此の事に就ては猶ほ委

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（ぬ）	ぬ	076	17	ゝことも御坐んせうが其の間，髪を容れ	ぬ	のです．右のＭａｃｌｅｏｄ氏の如く積極消極と
	ぬ	167	13	は新しい学問の力によらなければ，なら	ぬ	のは勿論でありませう．我が日本には昔より東漸
	ぬ	193	16	原則に違ひ無い．斯の如くなければなら	ぬ	のは人間が寄つて国を為して居るといへば例へば
	ぬ	234	12	で無ければ国の本当に開けるやうになら	ぬ	のは当り前で有ります．尤も極の高尚の所は原書
	ぬ	175	13	来ず，出来ぬからとて食はずには居られ	ぬ	ので共食ひ同士倒れになり我が日本国の将来も望
	ぬ	045	01	十分行はれて居らぬ．啻に道徳が行はれ	ぬ	のみならず法律の本趣意も行はれて居らぬぢゃ．
	ぬ	045	02	て居らぬぢゃ．僕の考へでは今日行はれ	ぬ	のみで無く，いつまでも極十分には行はれぬであ
	ぬ	183	17	妻は何ともいふことが出来ず，たゞ出来	ぬ	のみか，彼れ是れいふのは却つて悪いことになつ
	ぬ	236	10	などが西洋医者になつても人に信ぜられ	ぬ	のみならず始終，人に悪まれて少しも自分の利益
	ぬ	048	16	理が無い．今日各国の間に道徳の行はれ	ぬ	は決して怪むに足らぬことぢゃ．道徳は社会の維
	ぬ	100	03	考へて見ても決して彼の様な事件は起ら	ぬ	筈であらう，否な斯くの如き挙動は人情の上ドウ
	ぬ	237	04	のことで有つたが其の時分でさへも開け	ぬ	藩では西洋のことを学ぶのは甚だ悪む有様で有つ
	ぬ	130	17	面白いお話しで御坐ります．数へも出来	ぬ	日月星を含む所の大空が人の色々の新論，新説，
	ぬ	046	03	めにすておく訳にゆかぬから悪い事をせ	ぬ	人が已むことを得ず立てた法ぢゃ．当然と云ふ訳
	ぬ	139	12	貴まれて居ますが西洋では其の名を知ら	ぬ	人も有るとか申します．素より大家のことなれば
	ぬ	237	12	当り前のやうになつて西洋のことを学ば	ぬ	人は世に歯せられぬと云ふ有様になつて来ました
	ぬ	082	05	れども進歩の様々の種類の中で未だ申さ	ぬ	一つの大切な種類が御坐ります．此の種類が完全
	ぬ	210	02	るかも知れません．これも説を述べられ	ぬ	一つの理由で有ります．其れからモウ一つ世間に
	ぬ	118	02	つくやうな人ならば節酒会にも，はいら	ぬ	方がよい．一体，一人で孤立して守ると人と約束
	ぬ	131	10	其の色々の書名を挙げることが出来ませ	ぬ	ほどで御坐ります．たゞ一方の論のみを読みます
	ぬ	008	07	つて鹿鳴館に往て見ると販で押し返され	ぬ	程の騒ぎ．其れは豆粒の中の盛なので外を見れば
	ぬ	079	08	．世の中の動物は数へも尽すことが出来	ぬ	程なれども進歩と云ふものは只人間のみに限つた
	ぬ	136	09	の中の有様を観れば面白いことは言はれ	ぬ	程にて覚ることは実に明かで御坐ります．日本小
	ぬ	141	01	其の流派を酌んで居るものは見るに忍び	ぬ	程で有つたと申します．また日本の小説家の品格
	ぬ	099	07	のことには隠然たる原因が無ければなら	ぬ	無形の原因が無ければなるまいと考へまする．私
	ぬ	009	05	有ります．さればこの演説も時勢に適せ	ぬ	ムダな空論とは知れど社会には随分ムダのことも
	ぬ	005	17	ない．兎角人は一方のことより外は分ら	ぬ	もので政治家は政治のことより外には取り合はず
	ぬ	006	03	角，人は一方より外には見ることを知ら	ぬ	もの．併し考へて見れば外の方も分る，考へても
	ぬ	034	12	は無欲の人であつて多慾の人は酒を飲ま	ぬ	ものだらうと思ひます．諸君はドウ思し召すか知
	ぬ	041	10	賞せられて善いこととなり，為めになら	ぬ	ものは悪いこととなりた．其れも進化した国では
	ぬ	043	09	何でも総て人間の力で制することの出来	ぬ	ものが神様となりて居るのぢゃ．然るに進化して
	ぬ	044	09	が出来るが道は開けた国では政府が構は	ぬ	ものぢゃから罰することは出来ぬことぢゃ．併し
	ぬ	044	10	張り其の説く所の真の主義通りには参ら	ぬ	ものぢゃ．支那は道徳の国なれども決して己の利
	ぬ	045	10	て見れば只今でも権を得たものは権を得	ぬ	ものに向ふて害を為して居るに違ひ無い．女に参
	ぬ	057	10	にも身体が健康でなければ幸福は得られ	ぬ	もので其の健康を得やうとするには衛生が必要で
	ぬ	081	14	で無く偶物で御坐ります．また鞏固なら	ぬ	もので御坐ります．第四．人間の器量は様々にし
	ぬ	086	10	た所の法則また此の世の富などに係はら	ぬ	もので御坐ります．さらば，これ等のものは如何
	ぬ	091	09	歩しやうと思ふ人が前以て棄てねばなら	ぬ	ものは何で御坐りませうか．先づ其の言葉が種々
	ぬ	095	10	て無罪を言ひ渡したるは審理の道を尽さ	ぬ	ものである．尚ほ尽すべき道があるべきのに，た
	ぬ	098	09	も人情あるものは人の死を聞いて悲しま	ぬ	ものはなく殊に其の非命の死を聞きては流涕長大
	ぬ	098	10	の非命の死を聞きては流涕長大息いたさ	ぬ	ものは殆んどありますまい．然るに今や我々同胞
	ぬ	130	02	の中には箇様な臆病なものは実に適当せ	ぬ	もので有ります．イゝエ基督教と基督教の道徳法
	ぬ	132	07	を切るが如くに一向アトにシルシの残ら	ぬ	もので御坐りました．これ等の色々の敵は既に久
	ぬ	139	05	認めたるときは之を改良しなければなら	ぬ	ものと思ひます．して此の小説と言ふものは普通
	ぬ	141	16	問は有つても其れを運用することの出来	ぬ	ものも有ります．斯る先生では本当の小説の仕組
	ぬ	143	07	るから是非勧善懲悪を持ちこまねばなら	ぬ	ものとすれば真正の小説は出来ぬものでドウ言ふ
	ぬ	143	08	ばならぬものとすれば真正の小説は出来	ぬ	ものでドウ言ふ塩梅にしたら人を感動せしめるぞ
	ぬ	173	03	の隅のものまでよく知つて居て恩を知ら	ぬ	ものを「恩しらず」だとか「不実者」だとか言ひ
	ぬ	179	16	して直接か間接にキリスト教の力に籍ら	ぬ	ものは御坐りますまい．彼のジョン，ハワルドを
	ぬ	241	04	所有権の点に於ては無論，言ふを得られ	ぬ	ものと存ぜられます．尤も私の巡閲したる途中で
	ぬ	252	08	之をつかまへて来て懲治しなければなら	ぬ	もので有ります．故に不論罪懲治者にあれ，出願
	ぬ	263	03	は多くの囚徒を集め別に区別を致しませ	ぬ	もので有ります．尤も中には少しは区別を致すの
	ぬ	034	03	酔の効の有るもので之が為めに害を受け	ぬ	者は有りませぬ．然るに今日，日本で「文明」と
	ぬ	038	10	居るかと云へば昔の支那流で言ふと開け	ぬ	者は智慧が有らぬゆゑ天然に定まりた道徳と云ふ
	ぬ	039	04	其れのみならず強盗をする者が善で，せ	ぬ	者は悪と云ふことになりて居る．其れはナゼぢゃ
	ぬ	039	07	．其の様な社会では殺す者が善人で殺さ	ぬ	者が却りて悪人ぢゃ．其れは如何なる訳かと云ふ
	ぬ	039	13	ちゆくことが出来ぬ．其れぢゃから働か	ぬ	者を生かしておくと部落一般が害を被むる様にな
	ぬ	046	12	徳なし」と云ふことは社会を為して居ら	ぬ	者同士の間に道徳は無い．英国とか仏国とか日本
	ぬ	046	14	ゃ．其れ故ドウしても一つの社会を為さ	ぬ	者同士の間に道徳の行はれると云ふことは無い道
	ぬ	047	01	たぬ様なことをするのは互に社会を為さ	ぬ	者同士の間では当然のことであらうと思はれる．
	ぬ	049	01	に出来たものぢゃ．其れ故，社会を為さ	ぬ	者同士の間に其れが行はれぬのは当然のことぢゃ
	ぬ	185	13	は此の如きことにはドチミチ更に頼着せ	ぬ	者のやうに見えます．兎に角に，これより此の悪
	ぬ	116	12	其れからは自分でも，さういふことをせ	ぬ	やうにしたれば去年も今年も腸胃痛が起らなかつ

代表形	判	ページ	行	出現文脈		
（ぬ）	ぬ	116	17	リ人類の高い欲だからドウか約束を破ら	ぬ	やうにしたい．ドウゾ約したことは人に対して欺
	ぬ	136	02	見ますれば誠に面白くも無く，また分ら	ぬ	やうに見えます．けれども遂に二階に上つて，か
	ぬ	175	02	て来ます．若し義務を欠くと人が人とせ	ぬ	やうになりはしませぬか．さうして見ると今の人
	ぬ	176	15	其の人に網を張つたやうに一つも漏らさ	ぬ	やうに，しなければなりませぬ．箇様な仕方で一
	ぬ	253	12	で粟を攫むと云ふやうなことは考へませ	ぬ	やうになります．これ等が則ち農民の中には盗賊
	ぬ	254	04	れ等は再たび盗賊でも働かなければなら	ぬ	やうになります．また第二の資金なき者と云ふの
	ぬ	005	09	けたは誰なるぞ．字は書ける奴だか書け	ぬ	奴だか知らぬが破裂丸を善く投げたり電気を善く
	ぬ	143	16	りませんが随分人の前で読むことの出来	ぬ	奴があります．併しこれ等は小説の末の余弊であ
	ぬ	047	04	とせねばならぬ．其れは黄金世界になら	ぬ	故ぢゃとて歎く人も有るが成るほど一応は尤もで
	ぬ	067	05	坐いました．其の後はコチラに居りませ	ぬ	故に其の後の卒業式のことは存じませぬが今日は
	ぬ	125	04	ト部分けして委さに説くことが出来ませ	ぬ	故に其の種々の物の中からたゞ一つの著るしいも
	ぬ	140	15	は文明国と違ひ文学がサホド進んで居ら	ぬ	故でも有りませうが多くは作者自ら為したことと
	ぬ	215	12	勿論，支那の小説とても深くは読みませ	ぬ	故にたゞ持ち前の我が国のことばかりに付て申し
	ぬ	267	02	の趣意は未決者はまだ罪人では有りませ	ぬ	故に監獄に入れて置きまする目的は逃走の虞れが
	ぬ	038	10	の支那流で言ふと開けぬ者は智慧が有ら	ぬ	ゆゑ天然に定まりた道徳と云ふものも善悪邪正も
	ぬ	109	09	か暗礁に乗りかけることが有るかも知れ	ぬ	ゆゑ其の時の為めに備へるものなることは誰れも
	ぬ	007	13	王様や大臣参議方は滅多にお書きなさら	ぬ	様に願ひたい．大臣参議が碁を好むと属官までが
	ぬ	039	09	ばならぬ訳ぢゃ．又老人などが役に立た	ぬ	様になると殺す社会が有ることぢゃが其れは如何
	ぬ	047	01	じ開けた西洋の各国同士でも道理の立た	ぬ	様なことをするのは互に社会を為さぬ者同士の間
	ぬ	047	14	又耶蘇教師までも其れを何とも思ふて居	ぬ	様ぢゃ．耶蘇教師などは小さき事には善いとか悪
	ぬ	076	06	る様に，富強になつたものは貧弱になら	ぬ	様にといふ様にすることを講究することの学問と
	ぬ	100	16	原因を深くたづね遠く慮り遂に軽蔑され	ぬ	様な計画をめぐらすが最も必要であらうと考へる
	ぬ	102	13	す．国の実況が分らず国の名さへも知ら	ぬ	様では軽蔑も無理はない．ノルマントン号の船長
	ぬ	225	06	すから其の辺のことにトント勝手を知ら	ぬ	我輩などが漫りに喙を容れる所では無いと思ひま
	ぬ	039	09	争も出来ぬから，なほさら殺さねばなら	ぬ	訳ぢゃ．又老人などが役に立たぬ様になると殺す
	ぬ	069	01	裁判官となるには三箇年を待たねばなら	ぬ	訳で有ります．之を以て孛漏生国の司法官吏たる
	ぬ	004	09	．フランスはまだイクサを始めたといは	ぬ	を分らぬことと思ふ者もあれど実はまだイクサに
	ぬ	030	08	す．其れには譬へを取らないといけませ	ぬ	，こゝによい物が有りますアマノガハといふもの
	ぬ	041	06	．其の時の道徳は其の時に適せねばなら	ぬ	，開けぬ時は開けぬ道徳の有るのは当り前のこと
	ぬ	042	09	趣意で，己を利するの心を抱いてはなら	ぬ	，己を利する心はすてて只管他人の為めになるこ
	ぬ	042	15	政治上のことに至りては道徳の筋は用ひ	ぬ	，道徳は交際上におもなことで政府が道徳のこと
	ぬ	043	11	た．耶蘇教では仮令敵でも愛せねばなら	ぬ	，向ふから打ちかゝりて来れば黙りて打たせてお
	ぬ	133	12	ば本人が「イゝエ，さうでは御坐りませ	ぬ	，未だ基督教を聞いたことは御坐りませぬ，けれ
	ぬ	133	12	，未だ基督教を聞いたことは御坐りませ	ぬ	，けれども見たことは御坐りまする」と答へまし
	ぬ	001	11	考へが無いなら会員になつては居りませ	ぬ	．其の考へはもとより参議方どころでは無く天子
	ぬ	003	04	テダテで其れを知つただけでは役に立た	ぬ	．されば其の方便と真の智識との関係を考へて見
	ぬ	003	06	寝る時間も有り遊ぶ時間も無ければなら	ぬ	．そこで内八時間寝て八時間遊んで八時間勉強す
	ぬ	006	16	いと申した所が，さううまくは参りませ	ぬ	．泉川君のお尋ねにドウで有うか仮名の会は俄に
	ぬ	008	11	が少ないから漢字はなかなか廃されませ	ぬ	．さて漢字を廃するなら方法は如何といふに今俄
	ぬ	011	12	半分，知らないものが半分かも知れませ	ぬ	．さりながら人間の物知りたがりには限りの無い
	ぬ	012	11	に今日は地理学のことは御話し申しませ	ぬ	．「亜細亜から欧羅巴へはドウ往く」「日本から
	ぬ	014	12	これは其の遠さが知れない間は分りませ	ぬ	．総て物は同じ大きさに見えても大きくて遠いも
	ぬ	015	03	縄を打つたり足ぶみをして調べはしませ	ぬ	．唯最初の一個所だけを直に測りまして，あとは
	ぬ	016	04	が月の直径は八百八十七里ほか有りませ	ぬ	．其れ故に地球の直径十一分の三，即ち地球の直
	ぬ	016	05	を十一に割つて其の三つにほか当りませ	ぬ	．そこでザット地球と月との位置を比べて見ます
	ぬ	016	12	すかと云ふに不幸にして其れは有りませ	ぬ	．若し有りましても分量が甚だ少くて迚も我々の
	ぬ	016	16	気と水が無くては人間の生活は出来ませ	ぬ	．月には空気も無く水も無い以上は人間は居る気
	ぬ	017	01	つたら下等の動物位は居るかも知れませ	ぬ	．けれども我々みた様なものは居ない．して見る
	ぬ	017	07	ませぬが測量の出来ないことは有りませ	ぬ	．今日の所でも三千七百八十五万里余といふこと
	ぬ	017	13	玉は両手でも抱きまはすことは出来ませ	ぬ	．同じ大きさに見えても月と太陽は非常な違ひで
	ぬ	018	09	親分と貴んでも我々は恥る所は有りませ	ぬ	．そこで太陽のグルリを地球が回つて居る，其の
	ぬ	019	16	でで今一つは望遠鏡で無ければ見えませ	ぬ	．此の外にもまだ有りますが此の位でおいて外の
	ぬ	022	02	にズット進んだのが有るに違ひ有りませ	ぬ	．そこで其の通りにイクラも地球の仲間が有ると
	ぬ	023	03	数が明日はウソになりますかも知れませ	ぬ	．其れから木星は十七丁の距離に在りまして太陽
	ぬ	024	12	天王星に四つ海王星に一つしか見えませ	ぬ	．太陽は親父で惑星は子，衛星は孫であります．
	ぬ	025	05	すから星のことを言はなければなりませ	ぬ	．さて星が我々の太陽の様なものでは無からうか
	ぬ	025	16	ウ少し大きい物さしでなければなりませ	ぬ	．今度の物さしは地球の太陽のグルリを回る軌道
	ぬ	026	02	離は大き過ぎて測量することが出来ませ	ぬ	．先づ今日までに知れて居ります距離の中で一番
	ぬ	026	06	百里ばかりの所に置かなければなりませ	ぬ	．こんな長い距離は地球をグルッと回つても有り
	ぬ	026	07	距離は地球をグルッと回つても有りませ	ぬ	．して見ると云ふと此の一番近い星まで往くには
	ぬ	026	08	往くには非常な距離を通らねばなりませ	ぬ	．箇様に遠くに居ながら，あの通りによく見ゆる
	ぬ	026	12	太陽より大きいのも有りますか知れませ	ぬ	．此の一番太陽に近い星は何で有るかといふに不
	ぬ	026	13	といふに不幸にして東京からは見えませ	ぬ	．其れはαＣｅｎｔａｕｒｉといふ星で有ります

代表形	判	ページ	行			出現文脈
（ぬ）	ぬ	027	08	ゆくに瞬きをする程の時間はかゝりませ	ぬ	．月まで行きますにも二セコンドはかゝりませぬ
	ぬ	027	08	で行きますにも二セコンドはかゝりませ	ぬ	．其れがαＣｅｎｔａｕｒｉから来るには三年と
	ぬ	027	14	がどれだけ遠いかと云ふことは知れませ	ぬ	．今まで申しました星は肉眼で見ゆる位な星です
	ぬ	031	02	る者が沢山ある．併し肉眼では見えませ	ぬ	．其れからして又其れと類似したもので矢張り肉
	ぬ	032	02	陽系に移る様なものであるかも知れませ	ぬ	．此の二番目の説にすれば最初の問題に続けて「
	ぬ	032	04	は有りませぬからハッキリとは言へませ	ぬ	．ことによれば第一の説の如く我々の見ることを
	ぬ	032	08	でといふ所までこぎつけたかも知れませ	ぬ	．いづれにしても私の最初に持ち出しました問題
	ぬ	034	03	ので之が為めに害を受けぬ者は有りませ	ぬ	．然るに今日，日本で「文明」と訳字を付けまし
	ぬ	034	15	うで無い，大慾の人は余り酒を用ひませ	ぬ	．歴史などを見ましても酒を飲まない人は古へよ
	ぬ	035	02	を好んで前に述べた様なことは致しませ	ぬ	．西洋の諺にも「酒が腹中に入れば，智慧は徳利
	ぬ	038	15	て其の社会を維持し進歩を謀らねばなら	ぬ	．故に野蛮の社会などで誰も斯く為さむと思ふた
	ぬ	039	08	ぬ社会には人口が増してはクラシが出来	ぬ	．殊に女子は身体も弱くて戦争も出来ぬから，な
	ぬ	039	13	たときに其の社会を保ちゆくことが出来	ぬ	．其れぢゃから働かぬ者を生かしておくと部落一
	ぬ	041	06	とをして居たならば其の社会は立ちはせ	ぬ	．其の時の道徳は其の時に適せねばならぬ，開け
	ぬ	041	08	には道徳も法律も別に区分が付ては居ら	ぬ	．道徳と云ふても法律と申しても別にきまりては
	ぬ	042	14	ことで本当は今日でもさうはなりて居ら	ぬ	．希臘羅馬で道と法とが始めて分れて来た．政治
	ぬ	044	17	云ふ欧羅巴でも実際に十分行はれて居ら	ぬ	．嘗に道徳が行はれぬのみならず法律の本趣意も
	ぬ	047	04	其れは固より当り前のこととせねばなら	ぬ	．其れは黄金世界にならぬ故ぢゃとて歎く人も有
	ぬ	047	13	手のことをして実に道徳にも何にも構は	ぬ	．又耶蘇教師までも其れを何とも思ふて居ぬ様ぢ
	ぬ	051	04	はとんと演説を致したことは御坐りませ	ぬ	．たゞ生徒を集めて講釈を致したことは御坐りま
	ぬ	051	08	られましたから今日私はそこは申しませ	ぬ	．たゞ愈々広く益々盛んに此の会の成りゆくこと
	ぬ	051	11	，これで盛大になつたとは考へられませ	ぬ	．会にお集まりなされた方が使へるだけは仮名の
	ぬ	053	10	ばかりしては，いつまでも事は出来ませ	ぬ	．また，せいてもいけませぬ．と言つて油断して
	ぬ	053	10	は出来ませぬ．また，せいてもいけませ	ぬ	．と言つて油断してはすみませぬ．私の工夫は小
	ぬ	053	11	けませぬ．と言つて油断してはすみませ	ぬ	．私の工夫は小学校の初等科の生徒に先づ仮名ば
	ぬ	058	01	もオモシロミが無いと脳髄に這入りませ	ぬ	．彼の欧羅巴の学者スペンサーが曾て申しました
	ぬ	061	05	みで衛生上のことなどは夢にも考へませ	ぬ	．我が邦に行はるゝ人力車の如きも其れと同じこ
	ぬ	067	12	私が諸君に向つて言ふことは御坐いませ	ぬ	．たゞ「御目出たう御坐います，御愉快で御坐い
	ぬ	067	13	坐いませう」と申すより外は御坐いませ	ぬ	．併しながら我々は隴を得て蜀を望むの欲を抛つ
	ぬ	068	06	めなければ試験を受くることは出来ませ	ぬ	．而して第一回試験の及第から第二回の試験まで
	ぬ	068	08	となつて実務を見習はなければなりませ	ぬ	．（見習生はＲｅｆｅｒｅｎｄａｒと申します）
	ぬ	068	17	には平均三箇年を待たなければなりませ	ぬ	．其れはＡｓｓｅｓｓｏｒが多い故裁判官となる
	ぬ	070	11	つて見れば余程の数を要せねばなりませ	ぬ	．然るに前陳の如く僅で御坐いまして斯の如き需
	ぬ	073	06	教育の盛んなること実に欣喜に堪へませ	ぬ	．則ち其れだけが祝詞で御坐んすが，これに付て
	ぬ	073	13	に至つては必ずしも同一とは言はれませ	ぬ	．其の同一で無いと言ふことに付ては一己説では
	ぬ	074	15	を欲しまするには人を雇はんければなら	ぬ	．而じて其の労力に向つて報酬の金を払ふ其の労
	ぬ	076	04	ので徹頭徹尾違ふといふ訳では御坐んせ	ぬ	．其の訳は右の如く申して参りますと経済学はド
	ぬ	077	04	興すものであるとかいふ様にも参りませ	ぬ	．浅近の例を挙げて見ますと勉強して金を拵へま
	ぬ	079	09	には進歩と云ふことが聊かも御坐りませ	ぬ	．其の進歩すると云ふことは実にひろく世の中に
	ぬ	079	16	はたゞ進み行くことばかりで御坐りませ	ぬ	．劣りたる所より優れたる所へ賤き所より貴い所
	ぬ	081	02	本心本性本質の進歩で無ければなりませ	ぬ	．人が自分の勝手に作つて用ゆる所の品々の進歩
	ぬ	081	03	つて用ゆる所の品々の進歩で御坐りませ	ぬ	．進歩といふものは内部から起つて来て外部に発
	ぬ	081	04	外部に発現するもので無ければなりませ	ぬ	．外部から起つて来て内部に移る様なものでは御
	ぬ	081	05	来て内部に移る様なものでは御坐りませ	ぬ	．全く物体上のことで無く霊魂上のことで御坐り
	ぬ	081	10	どのものは進歩と云ふもので御坐りませ	ぬ	．人の内部の進歩に由つて自然に生ずる所の外部
	ぬ	081	11	ず人みづからの進歩で無ければなりませ	ぬ	．人が勝手に造り且，用ゆる所の器物品物家屋ま
	ぬ	081	12	物家屋また器械等のものでは御坐りませ	ぬ	．人の内部から起らずしてたゞ目に見える様な外
	ぬ	082	02	学術が自分に進歩するもので御坐りませ	ぬ	．学術に付て人々自分の進歩で御坐ります．政事
	ぬ	082	06	が進歩しても完全な進歩が迚も出来ませ	ぬ	．此の一つの至極大切なものは即ち道徳の進歩で
	ぬ	082	09	完全なる進歩を成就することが出来ませ	ぬ	．たとひ，イクラ人の智慧が開けても学術が盛ん
	ぬ	082	11	盛んならば本当な進歩がキット出来ませ	ぬ	．万国史を調ぶれば只今申したことの証拠は真に
	ぬ	083	07	した．支那人決して愚人では御坐りませ	ぬ	．其の智慧も随分明らかに御坐りますけれども本
	ぬ	083	14	には必ず道徳の進歩が無ければなりませ	ぬ	．さもなければ完全なる進歩が迚も出来ませぬ．
	ぬ	083	15	もなければ完全なる進歩が迚も出来ませ	ぬ	．第五，また人間社会の進歩に付てかう云ふこと
	ぬ	084	01	に一様に進んで行くことでは御坐りませ	ぬ	．きまつた速力で行くもので御坐りませぬ．或る
	ぬ	084	01	．きまつた速力で行くもので御坐りませ	ぬ	．或る時は進歩の盛んな時も御坐りまするし或る
	ぬ	084	04	つて居るか或は後れてあるかも知れませ	ぬ	．進歩の種々の種類が皆な一所に並んで進み行く
	ぬ	084	08	到着の時節も亦知れぬことで御坐りませ	ぬ	．さりながら人間社会の進歩はさういふものでは
	ぬ	084	09	会の進歩はさういふものでは御坐りませ	ぬ	．たとへば或る時欧羅巴で不意に商法が盛んにな
	ぬ	084	16	は速力の能く定まつたもので御坐りませ	ぬ	．世の種々の国の様々の進歩を調ぶると云ふこと
	ぬ	086	09	，これ等の高尚なものを充分に説きませ	ぬ	．これ等の大切なものは此の世の権威と勢力また
	ぬ	086	17	サッパリ分らぬと云ふことが御坐りませ	ぬ	．これ等の高尚なる事柄を世の人に委しく教ゆる
	ぬ	087	03	ること，つまづくことは容易に致しませ	ぬ	．併しながら不案内の御方が疑ひを起して「イヽ

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（ぬ）	ぬ	087	16	と或はつまづくことは容易に御坐りませ	ぬ ．其れ故にまた箇様な論じ方に由つて見れば社会
	ぬ	088	07	ことを能く承知して居なければなりませ	ぬ ．若し自分が充分に完全して居ると思つて居るな
	ぬ	088	08	つて居るならば進歩することが出来ませ	ぬ ．己れが不足なる有りの儘にして満足するならば
	ぬ	088	09	満足するならば進歩することが出来ませ	ぬ ．米国の土人，ニュージーランド島のマオリと云
	ぬ	088	14	たことも御坐りましたがドウもいけませ	ぬ ．ニュージーランド島の土人も亦其の通りで御坐
	ぬ	088	15	種々世話を致しましたがヤハリいけませ	ぬ ．立派な家を建て家財を備へてやつてもソコに住
	ぬ	088	16	を備へてやつてもソコに住居いたしませ	ぬ ．山奥に逃げてしまひ鹿や猪の様なもので御坐り
	ぬ	089	01	不足な所を能く承知しなければなりませ	ぬ ．併しながら人の本当の有様，人々の不完全なる
	ぬ	089	02	を教ゆるには基督教に若くは御坐りませ	ぬ ．基督教に双ぶものは御坐りませぬ．基督教は決
	ぬ	089	02	ませぬ．基督教に双ぶものは御坐りませ	ぬ ．基督教は決して人に諂ふことも無く恐るゝこと
	ぬ	089	07	貴い有様へ進むの志が無ければなりませ	ぬ ．モトの悪しき有様を出でまして善い有様へ移る
	ぬ	089	08	る願ひと望みと志しが無ければなりませ	ぬ ．然らざれば己れが眛きを知つても能く進歩する
	ぬ	089	08	を知つても能く進歩することは出来ませ	ぬ ．併しながら人の心の中に厚き志を引き起さする
	ぬ	089	12	すれば進歩せぬことが決して御坐りませ	ぬ ．第三．また人の種々の進歩を励ます為めには人
	ぬ	089	15	いならば進歩を成就することが出来ませ	ぬ ．少しづゝ進歩するかも知れませぬが遂にまた退
	ぬ	090	01	ば，これより上と申すものが御坐りませ	ぬ ．これより高尚なものが御坐りませぬ．これより
	ぬ	090	01	せぬ．これより高尚なものが御坐りませ	ぬ ．これより貴いものが御坐りませぬ．基督教を能
	ぬ	090	01	ませぬ．これより貴いものが御坐りませ	ぬ ．基督教を能く心得たる人には目的が無く己れの
	ぬ	090	03	くさきを知らずと云ふことが御坐りませ	ぬ ．知らぬことが御坐りませぬに由つて進歩せぬと
	ぬ	090	03	由つて進歩せぬと云ふことが御坐りませ	ぬ ．第四．また人の進歩を助くるには人の導きにな
	ぬ	090	05	疎いならば迚も進歩することが出来ませ	ぬ ．神の御言葉と云ふ聖書の極古い所に申して御坐
	ぬ	090	12	耶蘇基督よりも立派な模範が御坐りませ	ぬ ．仏蘭西のレナンと云ふ不信者さへも耶蘇基督の
	ぬ	090	14	基督を直接に誹る者が滅多に御坐りませ	ぬ ．人を完全なる所へ進ませる模範は耶蘇基督より
	ぬ	090	15	せる模範は耶蘇基督より外に御坐りませ	ぬ ．この浮世の荒野の中で基督の足跡を能く尋ね而
	ぬ	090	16	進歩せぬと云ふことが決して御坐りませ	ぬ ．第六．併しながら種々の進歩を成就する為めに
	ぬ	090	17	りと熱心などのものが無ければなりませ	ぬ ．されども熱心を起さするは何で御坐りませうか
	ぬ	091	02	には基督教に競ぶべきものが御坐りませ	ぬ ．基督教は人間の権力腕力などのものを怖れぬ豪
	ぬ	091	13	当の自由を得て進歩することが出来ませ	ぬ ．なぜなれば耶蘇基督は罪悪よりして人を救ひ出
	ぬ	091	17	れた人に遇ふたことは一度も御坐りませ	ぬ ．今弁じた所の種々のことに由つて見ればドコか
	ぬ	093	12	るやといふことを研究したものを見ませ	ぬ ．故に已むを得ず私が一言，諸君に陳べむと欲す
	ぬ	095	04	ては必ず乗組人を救はなければなりませ	ぬ ．然るをノルマントン号の船長は我が同胞を助け
	ぬ	095	08	号船長と雖も罪人とすることは出来ませ	ぬ ．英国領事裁判所に於て被告人のみを審問して無
	ぬ	095	17	る故殺に当るといふも其の説は取れませ	ぬ ．今法理上より言へば凡そ罪を組成するには内部
	ぬ	096	01	内部と外部との元素が無ければなりませ	ぬ ．謀殺を以て問ふには予謀殺意及び殺害の所為が
	ぬ	096	02	殺意及び殺害の所為が無ければなりませ	ぬ ．其の証拠を挙げてかゝらぬければ謀殺又は故殺
	ぬ	096	06	を殺したることは之を証せねばなりませ	ぬ ．其の暗礁に乗りあげてより沈没に至るまで充分
	ぬ	096	09	御坐りまして充分の証拠とは看做せませ	ぬ ．既に我が治罪法にも情況の裁判は禁じて御坐り
	ぬ	096	10	たが今では証拠裁判で無ければなりませ	ぬ ．英吉利のことは委しく知りませぬが開明諸国は
	ぬ	096	12	．然れば証拠が明かでなければいけませ	ぬ ．我々がこれだけの罪になるといふに充分なる証
	ぬ	096	17	拠を集め材料を確かめなければなりませ	ぬ ．而してこの証拠を如何にして集めませうか．死
	ぬ	097	01	るから生かして言はせることは出来ませ	ぬ ．併し水潜り器機もあれば証拠を尋ねるのは敢て
	ぬ	103	01	原因たるところの弊を矯め直さねばなら	ぬ ．即ち私が示したる二個の要点に非常の改良を加
	ぬ	103	02	の要点に非常の改良を加へねばなりませ	ぬ ．然らば如何なる改良をしたならば日本人は真面
	ぬ	105	12	れどもこれ等は総て誤謬たるを免れませ	ぬ ．我輩は固より英国領事の裁判を以て至当なるも
	ぬ	105	15	対しては一言其の妄を弁ぜねばなりませ	ぬ ．若し該言渡にして論者の思惟さるゝ如く果して
	ぬ	107	01	ふより外は私は言を尽すことが出来ませ	ぬ ．たゞこの感情を言ひ現はすべき言語の無きを憾
	ぬ	107	07	気の毒なことで之を想像するに忍びませ	ぬ ．さて，このことに付き船長ドレーキに対して求
	ぬ	108	09	は世間の報道より外に材料は御坐りませ	ぬ ．併しながら未だ知り得ない所の事実を考へるの
	ぬ	110	16	の裁判を為さざるかの疑ひ無きを得ませ	ぬ ．故に寧ろ其の管轄を横浜に移し以て世人の嫌疑
	ぬ	111	04	ども今回の事たる決して之に止まりませ	ぬ ．元来彼等は一般に日本人其の他東洋人を蔑視し
	ぬ	124	12	これは実に不思議なことでは御坐りませ	ぬ ．ナゼといふに使徒Ｐａｕｒｏの御言葉によつて
	ぬ	124	16	けられて楽の出来るものでは御坐りませ	ぬ ．逆風に妨げられる所もあらう．卒業生の助けに
	ぬ	125	11	うか．イゝエ決してさうでは御坐りませ	ぬ ．総て真の学術また其の色々の正しき結局は基督
	ぬ	125	12	局は基督教に敵対したる者で御坐りませ	ぬ ．基督教の色々の反対論といふものは，おもに学
	ぬ	126	17	の方法は決して，よいもので御坐りませ	ぬ ．西洋の高名なる学者といふものは大抵皆な専門
	ぬ	127	03	は間違ひに陥ることは滅多に御坐りませ	ぬ ．一般にはこれ等の人は随分タシカな人で有りま
	ぬ	127	11	家の論は非難し易いものでは御坐りませ	ぬ ．故に私もこの若い勇者の仕方をよしとすること
	ぬ	127	12	勇者の仕方をよしとすることは出来ませ	ぬ ．第二．また或る説教師は総て学術の趣意を感心
	ぬ	128	11	は誤つたものであるか未だ一向分りませ	ぬ ．若し遂に各国の学者皆な近来の色々の論を承知
	ぬ	128	14	衰へてしまふ気遣ひは決して御坐りませ	ぬ ．故に此の第二の仕方も亦よい仕方で御坐りませ
	ぬ	128	17	教師の仲間に限つたものでは御坐りませ	ぬ ．国政家の中にも喜んで色々の無証拠な設理を受
	ぬ	129	02	の中にも箇様なものが無いと言はれませ	ぬ ．けれども君子なる政治家と学者と教師は不意に
	ぬ	129	03	の新しき論によつて容易に惑はされませ	ぬ ．君子はシッカリしたもの用心するもの，またタ

〔速記叢書講談演説集〕

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（ぬ）	ぬ	129	09	りますけれども無いものでも御坐りませ	ぬ	．箇様な人が言ふ「嗚呼哀しいかな先だつて某の
	ぬ	129	17	に生えさせるものでも決して御坐りませ	ぬ	．世の人の中に基督教の結局の勝敗に就て色々の
	ぬ	130	04	法の基は決して弱きものでは御坐りませ	ぬ	．基督教は則ち造物主の御心と人間の天然の性質
	ぬ	130	12	てしまふと云ふことは決して御坐りませ	ぬ	．先づ安心なされませ．独逸国の有名なる哲学者
	ぬ	131	01	発明によつて容易に変ることは致しませ	ぬ	．また人間の心に植えられたる所の道徳の法も人
	ぬ	131	12	関係の本当の道理は分ることが出来ませ	ぬ	．其の両方の論を読む者は世の中の色々の激しき
	ぬ	131	13	めに不安心なることは滅多に御坐りませ	ぬ	．第五．また善い仕方が御坐ります．卒業生が学
	ぬ	132	03	ます．この仕方の益は少なく御坐りませ	ぬ	．第六．また総て神学卒業生は常に研究する所の
	ぬ	132	14	で有ります．基督教の仕方で御坐りませ	ぬ	．僞りを倒すよりも真を立てる方がよい仕方で御
	ぬ	133	02	たゞの議論に負け易いもので御坐りませ	ぬ	．この仕方のよいことは昔から明かで御坐りまし
	ぬ	134	15	督教に付て堅い証拠を立てねばなりませ	ぬ	．基督教の反対論に答へむには其の外にまだ色々
	ぬ	135	02	お方は神学卒業生で御坐るかも知れませ	ぬ	．若し私ども専らに基督教をのみ研究し且弁論す
	ぬ	135	13	の趣意は決して狭いものでは御坐りませ	ぬ	．却つて其の見渡す所が広く且遠くなります．聖
	ぬ	136	06	面白いことも無く分ることも御坐りませ	ぬ	．二階の高い所から見れば面白いこと覚ること誠
	ぬ	141	05	を卑しめたるは何か原因が無くてはなら	ぬ	．少し酷な様なれども一概に申せば作者に学問が
	ぬ	141	09	つて品行が悪くて之を改良する道を知ら	ぬ	．斯様なことで有れば卑しめらるゝも当然なるこ
	ぬ	141	11	家の資格からして改良して行かねばなら	ぬ	．小説家の資格は只今述べたる三箇条なれども其
	ぬ	141	12	たる三箇条なれども其ればかりではいけ	ぬ	．元来，小説には仕組と言ふものが大切ゆゑ非常
	ぬ	142	07	問が有つて非凡な人でなければなりませ	ぬ	．また見識も無くてはなりませぬ．併しながら今
	ぬ	142	08	りませぬ．また見識も無くてはなりませ	ぬ	．併しながら今，小説の改良が必要だとてお前達
	ぬ	144	07	れにしてはタント好い小説を見受けませ	ぬ	．今，申す通り古人の糟粕を嘗めずに一機軸を出
	ぬ	145	02	も無いから徐々と計らなければなりませ	ぬ	．併し一つの工夫が御坐ります．先づ現今の小説
	ぬ	148	03	ふことを行政上できめなければなりませ	ぬ	．また，この土地には鉱物があるとかいふことを
	ぬ	148	08	ぬときは調べ直しをしなければなりませ	ぬ	．人員疎密を調べるといふことはドレほど日本に
	ぬ	148	13	とをするには独立させなければなりませ	ぬ	．五万人以上とか壱万人以上とかを市街といふ風
	ぬ	148	15	て居ないといふと折角だが用を為しませ	ぬ	．五万でイヤなら勝手にしろと言ふなら，さうな
	ぬ	148	17	気を付けなければ要用な調べも出来ませ	ぬ	．また年齢のことにしましても徴兵年齢とか学校
	ぬ	149	07	，たゞスタチスチックとのみは言ひませ	ぬ	．日本でも先年太政官の第五科といふ所で杉亨二
	ぬ	149	11	スタチスチックを知らなければいけませ	ぬ	．全く相須つて用を為すものに違ひありませぬ．
	ぬ	149	11	く相須つて用を為すものに違ひありませ	ぬ	．併しスタチスチック学者の方では行政法に関係
	ぬ	151	14	かといふことを，きめなければなりませ	ぬ	．行政法といふものは法律，規則及び之を運転さ
	ぬ	152	01	は憲法との関係を調べなければなりませ	ぬ	．第二には行政官吏，行政議会，行政裁判所の組
	ぬ	152	02	所の組織職務を研究しなければなりませ	ぬ	．第三には憲法で，きまつて居る原則，例へば政
	ぬ	152	04	行政法律規則を研究しなければなりませ	ぬ	．第四には全国，府県，町村を所有者，負債主，
	ぬ	152	05	の三つに分けて研究しなければなりませ	ぬ	．其れで憲法との関係を一言して見ますと憲法で
	ぬ	152	16	ますが行政上の法律規則は始終変りませ	ぬ	．千七百九十年の大革命の時からのものがイマダ
	ぬ	153	17	講究するでありませうから私は申しませ	ぬ	．憲法と行政法との関係はこれ位にしまして，こ
	ぬ	165	05	んのでモウ充分だから私は別に述べませ	ぬ	．私が今日述べやうと思ふのは矢張りスタチスチ
	ぬ	165	15	を書いたものも無いから誰にも分りませ	ぬ	．人間社会のことを説くのは今研究中で之につい
	ぬ	166	05	ものが半は分つても，まだ半は分りませ	ぬ	．たとへば引力の働きは分つて居るがドウして其
	ぬ	166	07	から後，幾年あるといふことは分りませ	ぬ	．人間はドコまで開けるものか分りますまい．其
	ぬ	166	12	モノゴトに，あてはむることは出来ませ	ぬ	．今の学風はさうで無い，事実を穿鑿して事実の
	ぬ	167	01	．見たばかりでは事実も道理も分りませ	ぬ	．さて，昔のは事実と道理とハナレバナレになつ
	ぬ	170	16	ヤに行かうか，どんな所かよく分りませ	ぬ	．一人や二人が知つたからといつて行くものでは
	ぬ	170	16	つたからといつて行くものではありませ	ぬ	．其れでは欧羅巴はドウだらう．欧羅巴は人民が
	ぬ	172	09	ふことは風聞ですから，よくは存じませ	ぬ	．また北亜米利加は我が国産の第一なる製茶，生
	ぬ	173	13	無くは，説（即ち考へ）だから分りませ	ぬ	．併しながら我が国人は，世界の道理に従ふと人
	ぬ	173	15	其れならといつて止めることが出来ませ	ぬ	．（動かない人民は弱くなつてしまふから）何に
	ぬ	174	17	ましたからサホド遠いものではありませ	ぬ	．かねて申します通り「人は義務の体」と言ひま
	ぬ	175	03	は後の世の人に義務が無ければなりませ	ぬ	．今の人は確かに後の人に義務を負つて居ります
	ぬ	175	10	余ると人力ではドウすることも出来ませ	ぬ	．外国に出て外国に慣れるやうにしなければなり
	ぬ	175	11	外国に慣れるやうにしなければなりませ	ぬ	．若し国内に蟄伏せしめるやうにすると土地は狭
	ぬ	176	07	道理の知れるやうにしなければなりませ	ぬ	．これに付てはスタチスチックは第一必要でスタ
	ぬ	176	16	も漏らさぬやうに，しなければなりませ	ぬ	．箇様な仕方で一々調べて其の調べに何年何月と
	ぬ	188	10	に関する事をきめる権力が無ければなら	ぬ	．其れをフランスではプーヴォアールと言ひイギ
	ぬ	188	13	ドウしても之を分別しなければなりませ	ぬ	．フランスでは千七百八十九年の大革命より千八
	ぬ	213	08	かるなどと云ふ面白い話しでは有りませ	ぬ	．マー先生方のシッカリとした演説の間の狂言の
	ぬ	217	12	者は源の順だと云ひますが能く分りませ	ぬ	．物語に俊蔭の巻とか吹上の巻とか云ふ標目の見
	ぬ	218	02	なもので有ることは云ふまでも有りませ	ぬ	．次に狭衣，取替へバヤ，住吉などの類の色々の
	ぬ	219	15	いたものだけでは迚も今日まで知れませ	ぬ	．全く仮名文の物語小説が有つたればこそ千年の
	ぬ	222	06	の草紙に至つては勝れた上手が有りませ	ぬ	．また徳川時代の戯作者は人情には随分渉つたが
	ぬ	224	10	まだ兎角，強盗や情死の仕組は止みませ	ぬ	．これ等は風俗にも関係することで有りますが此
	ぬ	225	02	篇が強盗や情死でなくては面白がりませ	ぬ	．其れに劇場は金主が有つて儲けづくも有ります

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（ぬ）	ぬ	227	10	上，正しくいつて居つたとは云はれませ	ぬ	．足利尊氏などは自分で将軍になつたと云ふこと
	ぬ	229	12	下にあるべきもので有るに違ひ有りませ	ぬ	．戸長の大いなる町，即ち市街のものを区長と名
	ぬ	229	14	，区長も人民で撰挙しなければなりませ	ぬ	．して郡長は区長や戸長とは違ひ知事の下役です
	ぬ	237	08	を遂げて来たのは実に感服の外ありませ	ぬ	．実に今日と利害，幸不幸を異にすることは驚く
	ぬ	240	03	ら私が勝手に申し上げることは出来ませ	ぬ	．例へば内務大臣が「監獄実際の有様を巡閲して
	ぬ	240	08	くしては之を他人に言ふことは出来ませ	ぬ	．例へば私の友人に○○と云ふ人が有りまして，
	ぬ	240	12	りたる訳にして私が知るのでは有りませ	ぬ	．故に○○君の許可なくしては他人に向ひ其の性
	ぬ	240	13	性質の如何を申し上げる訳には参りませ	ぬ	．尤も右の如きことでも中には他人に漏らしても
	ぬ	241	02	悪く言ふもナカナカ軽忽には言はれませ	ぬ	．よつて他人の為めに巡閲したることは善悪利害
	ぬ	241	04	を得て言ふことと致さなければなりませ	ぬ	．所有権の点に於ては無論，言ふを得られぬもの
	ぬ	241	07	令外のことで有るから申しても構へませ	ぬ	．また監獄のことにしましても塀が立派で有つた
	ぬ	242	01	り見たとて参考になるものでは有りませ	ぬ	．固より諸君の中には監獄全体のことを御熟知な
	ぬ	242	14	とはナカナカ軽々しきものでは有りませ	ぬ	．監獄学を知らずして監獄のことを取り扱ひます
	ぬ	243	03	づ行政権のことを述べなければなりませ	ぬ	．凡そ一国には二大政権あるもので国民全体の望
	ぬ	245	09	序安寧だけを重もにしなければなりませ	ぬ	．と申して私は何も土木，衛生，勧業，教育，等
	ぬ	245	10	ならぬと申す趣意では決して御坐いませ	ぬ	．たゞ其の性質が第二段のもので有ると申すだけ
	ぬ	247	07	と到底，其の心は改まることは出来ませ	ぬ	．此の目的を知らずして「終身懲役と有るから何
	ぬ	247	10	へるやうなことが起らないとも云へませ	ぬ	．よつて監獄に於ては二つの方法を以て人心の改
	ぬ	248	16	と同様に取り扱ふべきものでは有りませ	ぬ	．何故に罪人にあらざるものを監獄に拘禁するか
	ぬ	249	02	至つて丁寧に取り扱はなければなりませ	ぬ	．斯くの如き関係で有りますから，警察と裁判が
	ぬ	251	03	けれども決してさういふ訳では有りませ	ぬ	．昔では人を殺したとか云ふやうな者は直ちに首
	ぬ	251	05	易に死刑に処するやうなことは致しませ	ぬ	．其れとも到底終身，心の改良は覚束ないだらう
	ぬ	251	14	やつた者とは区別をしなければなりませ	ぬ	．ところで弁別心なくして行つた者は其の罪を論
	ぬ	252	05	ので，これ等も懲治しなければなりませ	ぬ	．之を二た通りに分ちまして親族，又は関係者か
	ぬ	252	11	監獄に入れまするることは宜しくありませ	ぬ	．と云ふものは監獄では罪悪の甚しい者が沢山居
	ぬ	253	06	の講ずる学理には一向，関係いたしませ	ぬ	．よつて，この矯正院に於ては其の中の仕切りを
	ぬ	254	11	云ふやうなことを致さなければなりませ	ぬ	．此の保護の方法が日本には有りませぬから為め
	ぬ	254	17	らずと申すことに注意致さねばなりませ	ぬ	．古来，牢獄と名づけました牢屋の前を通ると家
	ぬ	255	02	ので，監獄が悪いのでは決して有りませ	ぬ	．今でも「あれは監獄の役人で有る故におれの娘
	ぬ	255	08	ふやうなことまで探すものでは有りませ	ぬ	．されば昔のオカッピキは悪かつたから今の警察
	ぬ	256	01	べからざることを知らなければなりませ	ぬ	．犯罪人と貧民との関係はヨホド綿密なるもので
	ぬ	257	01	まると，これ亦，二種類しか有りませ	ぬ	．其の第一の種類は天然の貧民で有りまして，例
	ぬ	257	08	救助とを以て救助をしなければなりませ	ぬ	．また並みの少年を養育するのは将来に善良有益
	ぬ	258	05	防．此の両性質には別に甲乙は有りませ	ぬ	．此の二かどを以て救助いたしまする者に二つの
	ぬ	258	10	て仕事の教育も致させなければなりませ	ぬ	．此の不良少年の種類は四種ありまして，其の一
	ぬ	259	06	しても確にきめて貰はなければなりませ	ぬ	．私の考へまする所では貧民救助の方法は次の如
	ぬ	259	15	か二百五十名とか限らなければなりませ	ぬ	．尤も此の限り方によつては時によつて変ります
	ぬ	262	07	復讐の道具などと云ふものでは有りませ	ぬ	．全く罪人を懲治，感化すると云ふ場所で有りま
	ぬ	262	12	すことも，話しをさせることも有りませ	ぬ	．此の方法は悔悟遷善の利益は有りまするけれど
	ぬ	262	17	如何しても話しをしない訳には参りませ	ぬ	．其れで話しをするとロクなことは稽古しないと
	ぬ	267	07	業は必ず分房法を用ひなければなりませ	ぬ	．第四の出獄人授業部の事業は慈恵上より成り立
	ぬ	269	17	気を付けて監督養育しなければなりませ	ぬ	．若し此の間に家庭教育を充分にしませぬと之が
	ぬ	270	11	より以上を受けたる者は一人もありませ	ぬ	．して見まするると教育の一番少ない者に不良の者
	ぬ	274	04	る．実に莫大の費用と云はざるを得ませ	ぬ	．此の費用を以て兵卒を養ふ者と致しまするると三
	ぬ	275	01	云ふやうに総体を変へる訳には参りませ	ぬ	．また其の次に重もなる者は幼年囚，及び不良少
	ぬ	275	05	は維新前のことは実に論ずるに足りませ	ぬ	．牢屋に入れまするると牛馬同様に取り扱ひ未決中
	ぬ	275	08	と野蛮の方法であつたには相違ありませ	ぬ	．然るに維新の改革と共に監獄も非常の改良を受
	ぬ	275	12	の整頓を助けたるものに相違御坐いませ	ぬ	．また近頃は感化事業即ち幼年囚，及び不論罪懲
	ぬ	278	07	つて，こゝには申し述ることは出来ませ	ぬ	．前にも申しました通り本論は専ら監獄全体に係
	ぬ	247	17	人間の行ひはコレコレにしなければなら	ぬ	」と云ふやうなことをよく教ゆる法で有りまする
	ぬ	235	07	ます．しかし尚ほ小成に安んずるとイケ	ヌ	から益々進歩を謀られむことを希望しまするると云
	ヌ	144	09	今の所では十銭か十五銭で買へるツマラ	ヌ	ものが沢山あります．兎に角，非凡の小説を得ん
	ヌ	215	05	べで，若し西洋では小説や演劇はツマラ	ヌ	ものだと云つて賤しむもので有つたならぢき，さ
ぬい	抜	132	07	の働きは水の外面に文字を書き或は刀を	抜い	て空気を切るが如くに一向アトにシルシの残ら
	抜	163	09	を飲むがイヤなら之を飲めと言つて刀を	抜い	て其の口にあてがつた．光秀は仕方が無いから
ぬかつ	ぬ	110	07	と言つて或ひは船室から我々同胞を出さ	ぬかつ	たかも知れない．啻に其れのみで無い．今日
ぬきとる	ぬ	129	16	ませぬか．勿論，学術に於ては鬼の角を	ぬきとる	の効力が御坐りませぬけれども鬼の角を人
ぬけれ	ぬ	095	12	輿論は何と言つても已むを得ず無罪にせ	ぬけれ	ばなりますまい．而して今新聞紙上，我輩に
	ぬ	096	02	ばなりませぬ．其の証拠を挙げてかゝら	ぬけれ	ば謀殺又は故殺に問ふことは出来ますまい．
	ぬ	249	04	たしましても監獄が其の宜しきを得ませ	ぬけれ	ば警察も裁判も無効になりまする．また，警
ぬし	主	091	12	この罪悪で御坐ります．万国万民の救ひ	主	耶蘇基督の御功績に由らざれば人が此の罪悪を免
ぬすみ	盗	121	15	其の事を調べて居て，これは酒の為めに	盗み	をしたのだ，これは婦人の為めに賊を働いたの
ぬすん	盗	121	16	働いたのだこれは貧乏の為めに人の物を	盗ん	だのだと云ふことを調べて居ります．実に結構

〔速記叢書講談演説集〕

代表形	判	ページ	行		出現文脈
ぬり	塗	060	17	取りませう．又諸君が田舎に於て真赤に	塗り　たる寺院を見るか又東京に於ても支那の公使館
ぬる	塗	142	03	大切なものなれども，たゞ柱を削り塀を	塗る　は普通の職人にも出来る．小説家は其の仕組を
ぬれて	濡	253	11	くは半年も要することで有りまするから	濡れ手　で粟を攫むと云ふやうなことは考へませぬや
ね	ね	088	12	を射て世渡りをして家を立ることを知ら	ね　ども其の儘で満足して居ります．モウ多年米国の
	ね	145	15	瓦の芝居も立つさうです．私は金は出さ	ね　ども此の演劇改良には賛成の方で有るが此の演劇
	ね	012	02	たら，我々の物知りたがりも暫く満足せ	ね　ばならないです．「地球は何の中か」といふ問題
	ね	012	14	が其れに付てはちょとお話しをしておか	ね　ばならないことが有ります．其れは地球の大きさ
	ね	026	08	番近い星まで往くには非常な距離を通ら	ね　ばなりませぬ．箇様に遠くに居ながら，あの通り
	ね	038	05	徳とは如何なるものかと云ふことを説か	ね　ばならぬことぢゃが道徳と云ふものは支那西洋と
	ね	038	14	術を用ひて其の社会を維持し進歩を謀ら	ね　ばならず，又開けた国では其の有様によりて其の
	ね	038	15	様によりて其の社会を維持し進歩を謀ら	ね　ばならぬ．故に野蛮の社会などで誰も斯く為さむ
	ね	039	09	弱くて戦争も出来ぬから，なほさら殺さ	ね　ばならぬ訳ぢゃ．又老人などが役に立たぬ様にな
	ね	041	06	ちはせぬ．其の時の道徳は其の時に適せ	ね　ばならぬ，開けぬ時は開けぬ道徳の有るのは当り
	ね	042	01	がよい，下の人は上の人に只管従順にせ	ね　ばならぬと云ふことになりて居るが西洋では大い
	ね	042	10	はすてて只管他人の為めになることをせ	ね　ばならぬと云ふこと，又法と云ふものは己を利す
	ね	043	11	十分開けた．耶蘇教では仮令敵でも愛せ	ね　ばならぬ，向ふから打ちかゝりて来れば黙りて打
	ね	044	04	りになるから全く反対の点まで持て参ら	ね　ばならぬことぢゃが其れと同じことぢゃ．仏法も
	ね	044	08	にヒカヘメなるもので唯人を害しさへせ	ね　ば其れで許すのぢゃ．且法は政府が権をもちて居
	ね	047	03	けでありて自分の利益と他の利益と合は	ね　ば自分の利益だけ謀ればよい，他の利益を顧みる
	ね	047	04	とぢゃ．其れは固より当り前のこととせ	ね　ばならぬ．其れは黄金世界にならぬ故ぢゃとて歎
	ね	047	07	国が一つの社会になりても道徳が行はれ	ね　ば其の時こそ始めて道徳の行はれぬのを歎くがよ
	ね	049	02	ゃ．さて此の事に就ては猶ほ委しく説か	ね　ば意を尽さぬなれども既に一時半を費して最早五
	ね	069	01	が多い故裁判官となるには三箇年を待た	ね　ばならぬ訳で有ります．之を以て孛漏生国の司法
	ね	070	10	上多い所によつて見れば余程の数を要せ	ね　ばなりませぬ．然るに前陳の如く僅で御坐いまし
	ね	082	08	進歩いたしても道徳的の進歩を致しませ	ね　ば完全なる進歩を成就することが出来ませぬ．た
	ね	091	09	．また進歩しやうと思ふ人が前以て棄て	ね　ばならぬものは何で御坐りませうか．先づ其の言
	ね	096	06	務に因りて人を殺したることは之を証せ	ね　ばなりませぬ．其の暗礁に乗りあげてより沈没に
	ね	100	12	為め斯くの如き事件が起つたものといは	ね　ばならぬ蓋しこれが為めに我々同胞二十五名の人
	ね	103	01	ば此の大原因たるところの弊を矯め直さ	ね　ばならぬ．即ち私が示したる二個の要点に非常の
	ね	103	01	示したる二個の要点に非常の改良を加へ	ね　ばなりませぬ．然らば如何なる改良をしたならば
	ね	105	14	認せる論者に対しては一言其の妄を弁ぜ	ね　ばなりませぬ．若し該言渡にして論者の思惟さる
	ね	113	10	ば，ならないので酒を節するは固よりせ	ね　ばならぬことぢゃといふことは誰にもよく分るこ
	ね	134	15	行ひを以て基督教に付て堅い証拠を立て	ね　ばなりませぬ．基督教の反対論に答へむには其の
	ね	141	11	には小説家の資格からして改良して行か	ね　ばならぬ．小説家の資格は只今述べたる三箇条な
	ね	142	10	．これに付て，モ一つ小説の改良を計ら	ね　ばなりませんが源氏物語や枕の草子の出来た頃は
	ね	143	07	美術で有るから是非勧善懲悪を持ちこま	ね　ばならぬものとすれば真正の小説は出来ぬもので
	ね	143	09	感動せしめるぞと云ふところに気を付け	ね　ばならぬ極高尚なもので有ります．或ひは論者が
	ね	183	06	なことで御坐ります．また，こゝに申さ	ね　ばならぬことが御坐りますがキリスト教で申す一
	ね	185	08	しても実に驚くべく憂ふべきことと申さ	ね　ばなりません．斯様に軽々しく妻を出す風が行は
	ね	185	12	者七去の教も其の一大原因であると申さ	ね　ば，なりません．而して仏法や神道は此の如きこ
	ね	233	15	から日本語を以て教ふる専門学校を起さ	ね　ばならぬが其れを起すには今より西洋の名家の書
	ね	254	17	べきものにあらずと申すことに注意致さ	ね　ばなりませぬ．古来，牢獄と名づけました牢屋の
ね	ネ	155	08	論ずるといふのだから口はゞつたい訳さ	ネ　．極点といふのは日本の言葉では極上無類飛切と
	ネ	155	12	文部省から出た達しに三十七から有つた	ネ　．この間も大学の総理先生は十七八，数へたネ．
	ネ	155	13	の間も大学の総理先生は十七八，数へた	ネ　．数学，星学，化学，地質学（中々覚へて居られ
	ネ	156	06	て居たが近来は法外な違ひになりました	ネ　．昔でも今でも日が出ると言ひます．勿論天文者
	ネ	156	10	前に地が回ると聞いては，みんな驚いた	ネ　．地が回ると聞いてはヂットして居られない，血
	ネ	156	11	ットして居られない，血の道がおこるテ	ネ　．いよいよ地が回ると決着したが，をかしい．地
	ネ	156	16	だと言ひ出した．其の時はみんな驚いた	ネ　．たゞの者が驚いたところでは無い，智慧の有る
	ネ	157	03	主の代理だといふから実に強気なものさ	ネ　．西洋各国の天子様が羅馬法皇の御免許を受けな
	ネ	157	10	ます」と言つた．実に度胸の大きな奴さ	ネ　．これは学問をなすつた方は御存じのことだが其
	ネ	157	11	は堤のきれたやうに，しゃべり出したと	ネ　．今，日本大中小で三万に近い学問所で天球儀，
	ネ	157	14	其れから，まだ四百年にはなりませんテ	ネ　．其のお弟子のガリレオ，これは支那では明の時
	ネ	158	15	ト大変なことになれば，なるものでござ	ネ　．昔は仏教のお寺の前には雷門と云つて大層な勢
	ネ	157	09	て言ひますまいと言つてきゝませんから	ネ　）「向後キット申さんか」「へー申しません」と
	ネ	195	08	が，其の時，相手と「ミゴトな彗星です	ネ　」と言つて互に挨拶を致したことが御坐いました
ね	根	224	07	殺だの情死だの強盗だののことを仕組み	根　が下等の人の見るもので有るから猥雑なことで無
	根	081	13	ずしてたゞ目に見える様な外部の進歩は	根　なくしてアサハカなもので真物で無く偽物で御坐
ね	寝	003	06	時間も無ければならぬ．そこで内八時間	寝　て八時間遊んで八時間勉強する．其の八時間を百
	寝	211	14	ランスやイギリスは夜で有つて其の時分	寝　て居る者は知らずに寝て居り，起きて居る者も起
	寝	211	15	で有つて其の時分寝て居る者は知らずに	寝　て居り，起きて居る者も起きて居りまして少しも
ねうとん	ネ	178	02	ろひなりと見る人は通り過ぎしならん．	ネウトン　のつむりに林檎の落ちしも痛みしならんと
ねーしょん	ネ	037	07	て居るものを云ふので他の言葉で申せば	ネーション　即ち国民と云ふことぢゃ．そこで此のネ

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（ねーしょん）	ネ	037	08	ン即ち国民と云ふことぢゃ．そこで此の	ネーション　即ち社会を動植物の如き有機物に比した
ねがちーぶ	ネ	075	13	はＰｏｓｉｔｉｖｅの方が余計に出来て	Ｎｅｇａｔｉｖｅ　の少ない方がよいといふ．これは
	ネ	074	17	の為めには価値を有するので其の価値は	Ｎｅｇａｔｉｖｅ　Ｖａｌｕｅ即ち消極的の価値で御
ねがつ	願	069	07	り千八百八十五年には八百十八人試験を	願つ　た者が御坐いました．随つて見習生即ちＲｅｆ
ねがひ	願	272	02	告を受けたる者と両親，又は親族等より	願ひ　出でたる出願懲治者（未丁年）を懲治する所で
	願	007	13	大臣参議方は滅多にお書きなさらぬ様に	願ひ　たい．大臣参議が碁を好むと属官までが碁をう
	願	054	17	．其れ故矢張り仮名で書いた修身の本を	願ひ　たいと思ひます．さて書物はヤミクモに作るさ
	願	119	09	諸君にも御賛成で有るなら何分お骨折を	願ひ　たい．其れは外では無い矢張り酒の事で今も三
	願	069	06	増して千八百七十八年には登用大試験を	願ひ　たる者四百七十人に過ぎませぬでしたが千八百
	願	252	06	通りに分ちまして親族，又は関係者から	願ひ　出る者を出願懲治者と申しまして，また出願人
	願	089	07	悪しき有様を出でまして善い有様へ移る	願ひ　と望みと志しが無ければなりませぬ．然らざれ
	願	135	10	若し人間の色々の楽みと哀み人の色々の	願ひ　と望み，人の限り無き苦楽，人の命と死などの
	願	058	06	敬に存じますから此の段は何卒御海容を	願ひ　ます．さて，これから半開化衛生上の害を述べ
	願	070	13	す．この上にも沢山にお出来なさる様に	願ひ　ます．たゞ甚だ喜ぶ所は私は昨日は大学の卒業
	願	097	09	証拠を蒐集することに尽力されむことを	願ひ　ます．私の演説は此に止めませう．尚ほ委しき
ねがひ	希	036	12	お骨折りを以て大慾の社会になることを	希ひ　ます．賛成いたした趣意をちょつとお話し申し
ねがふ	願	097	07	て為し得べきことで無いから私が諸君に	願ふ　所は諸君充分に力を合して証拠蒐集に力を尽さ
	願	001	06	に付き懇親会を催して参議方の御臨席を	願ふ　に付ては其の方にも席上の演説をせよとのこと
ねがふ	希	075	13	富を減ずるもので有るから国家の為めに	希ふ　所はＰｏｓｉｔｉｖｅの方が余計に出来てＮｅ
ねこ	猫	040	04	無くて，たゞ禽獣同様に（こゝらに犬や	猫　が居るのと同じ様に）男女同居してゆくだけで有
	猫	114	14	有るから動物的の欲と言ふぢゃ．今，犬	猫　に向つて棒をふり上ぐれば，すぐに逃げるのは，
	猫	114	16	とか善くなるとか，いふやうなことは犬	猫　には分らない．して見ると本当に命の惜いといふ
	猫	156	13	地が一昼夜の間にグルリと回つて而して	猫　の眼では無いテ．実に大変革でござす．三百年この
	猫	060	04	着るものが無かつたが此の節は開化して	猫　も杓子も（と云つて杓子の絹衣はまだ見ぬけれど
ねしな	寐	138	06	のフ／ヒロソフ／ヒーを貸して呉れ之を	寐しな　に一ページ読みたまへと申されました．私も
ねせすちー	ネ	044	06	居ることぢゃ．所謂るＡｂｓｏｌｕｔｅ	ｎｅｃｅｓｓｉｔｙ　の点は越えて居ることぢゃ．然
ねぢくれる	ね	246	17	いぢめられるやうになつて其の心は益々	ねぢくれる　もので御坐います．例へば昔は北の方の
ねつ	熱	018	02	見ますと凡そ地球の上にあらゆる光りと	熱　は直接に太陽から来ないまでで皆間接に太陽から
	熱	024	02	く或は早く運動しますがいづれも自分で	熱　や光りを持たない，皆太陽から仕送りをして貰つ
ねっしん	熱	071	08	に遭遇するの栄を得むことを諸君と共に	熱心　希望することで御坐います．法律と経済との関
	熱	104	12	の告訴を以て満足せず窃に義捐金にのみ	熱心　せず其の根本に注意して真正の改良に従事する
	熱	236	05	出来ない位で有つたが，さう云ふことを	熱心　な人が刻苦して勉励したなれども其のイサヲシ
	熱	090	17	種々の進歩を成就する為めには骨折りと	熱心　などのものが無ければなりませぬ．されども熱
	熱	091	01	のものが無ければなりませぬ．されども	熱心　を起さするは何で御坐りませうか．厚き志を起
ねったい	熱	195	06	当時私はこゝからチト遠方のアメリカの	熱帯　地方に旅を致して居りましたが，朝，日の出ま
ねっとう	熱	210	15	球に突き当たつたら蟻の群つて居る中に	熱湯　をこぼすやうな有様だらう」と言ふ人が有れば
ねつぼう	熱	111	08	将来再たび斯の如き事のなからむことを	熱望　いたします．人類的の欲をして動物的の欲を制
ねむさ	ネ	195	09	したことが御坐いました．諸君も定めて	ネムサ　をこらへて彗星を御覧になつて「立派な彗星
ねむつ	眠	004	11	ものだが其の蟻も目のさめたのでは無い	眠つ　て居る蟻である．だが其の蟻は字を知つて居る
	眠	138	08	の本を読んで居りますと果して，ぢきに	眠つ　てしまひました．小説を読みましては斯様に眠
	眠	138	08	まひました．小説を読みましては斯様に	眠つ　てしまふことは出来ません．ウ／ヲタースコッ
ねむる	眠	138	03	ひも有りまする．私が或るとき病気にて	眠る　ことが出来ませんでしたが其の時，医者に見て
ねもと	根	018	08	．して見ると太陽は我々の為めの生活の	根元　で有りまして随分主人親分と貴んでも我々は恥
ねりだし	練	234	07	ば其の人が自分の学び得た所を脳髄から	練り出し　て来て其れを講義として教ふるやうになる
	練	234	10	る先生が嘗て学び得たる学理を脳髄から	練り出し　て日本語を以て教ふる学校の元祖になりま
ねる	寝	138	02	ンやスコットのドラマやノベルを読めば	寝る　ことを忘るゝ様なことも有り飯を喰ふのが面倒
	寝	003	06	きり二十四時間働らけるものでは無い．	寝る　時間も有り遊ぶ時間も無ければならぬ．そこで
ねる	煉	002	17	か繊物を織るとか大砲を拵へるとか薬を	煉る　とか其の外物理上化学上の智識をこちらへ得れ
ねん	年	233	13	宜しいことで有ります．丁度，今から十	年　余も前で有りましたらうが或る人が私に申します
	年	166	07	は分つて居る様なもののこれから後，幾	年　あるといふことは分りませぬ．人間はドコまで開
	年	068	08	ｆｅｒｅｎｄａｒと申します）これを四	年　いたしまして裁判官代言人検察官に就て実地研究
	年	051	02	とで御坐らう．仮名世界の準備明治十八	年　一月二十五日仮名の会員の総集会東京神田区錦町
	年	137	02	で御坐ります．日本小説改良論明治二十	年　一月九日大日本教育会の常集会東京神田区錦町第
	年	165	02	来を前知するの説及び其の方法明治二十	年　一月十六日スタチスチック社の第一総集会東京九
	年	174	03	千七百七十四人になります．昨明治十九	年　一月には日本国の総人数は三千八百十五万一千二
	年	174	09	を除いて仮りに三千八百万人として一箇	年　一人前の衣食の費用を三十円としますと今，日本
	年	169	10	ら言ふのはよしませう．然るに此の両三	年　以来我が国の人心の東に向くシルシがあるやうで
	年	179	12	遣されたり」と仰せられましたが千八百	年　以来の歴史をみて此の言の決して偽りで無いこと
	年	267	15	るで有りませう．前に申した方法は二百	年　以来エウロッパの有名なる学者たちの考へました
	年	008	13	国会設立の様にしたいといふなら明治百	年　か千年になつたら仮名か羅馬字になるだらう．其
	年	236	04	らば一月か二月かゝつて出来ることを十	年　かゝつても二十年かゝつても出来ない位で有つた
	年	236	05	ゝつて出来ることを十年かゝつても二十	年　かゝつても出来ない位で有つたが，さう云ふこと
	年	008	13	に廃さうといふことは出来ないが若し幾	年　から仮名か羅馬字を用ふると国会設立の様にした

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（ねん）	年	028	05	です．こんな星から出立した明りは一万	年 から三万年ばかりも，かゝらなければ地球まで来
	年	174	01	りませぬが戸籍の調べで積ると明治十五	年 から同十八年まで毎年の生れた数から死んだ数を
	年	068	05	回の試験を要しまして第一回の試験は三	年 間大学に於て法律学を修め殊に其の中一年半は必
	年	068	12	の予備科を卒業し其れより大学に入り三	年 間法律学科を専修し第一回の試験を受けて見習生
	年	068	13	回の試験を受けて見習生となり少くも四	年 間実務の練習を致します．其れより第二回の高等
	年	079	02	教は社会進歩の為めに必要なり明治十九	年 九月十一日本郷青年奨励会東京本郷区春木町本郷
	年	275	09	監獄も非常の改良を受けまして明治十四	年 九月十九日の太政官達第八十一号を以て監獄則を
	年	159	14	と地球は一度に造つたものでは無く十万	年 位かゝつた証跡があると言ひます．そこで天主が
	年	226	02	はしました．行政法大意第三回明治二十	年 五月十四日スタチスチック社の定期講談会東京九
	年	274	13	まする．フランスに於ては千八百五十五	年 五月五日の法律を以て府県監獄費をも国庫より支
	年	212	12	うが，千九百〇九年，即ち今から二十六	年 後にはＨａｌｌｅｙの彗星の戻つて来る時で立派
	年	156	13	眼では無いテ．実に大変革でござす．三百	年 このかた，かういふになりましたが，これはコペ
	年	120	08	すると同じ様なもので日本へも明治二三	年 頃から麦酒などが移住して来まして此の節は私の
	年	179	08	やうと存じます．さて紀元前およそ七百	年 頃イザヤといふ預言者がキリストの御降臨を預言
	年	228	09	ことは有りませんでした．漸く明治の四	年 頃になりまして日本全国を一定するに付て廃藩置
	年	011	02	まで で有りまする．地球の位置明治十八	年 三月二十一日理医学講談会東京神田区錦町東京大
	年	033	02	した．節酒会を賛成するの趣意明治十八	年 三月二十二日大日本節酒会の第一総集会東京神田
	年	161	02	しまふもので，ござす．飲酒の害明治十九	年 三月二十一日大日本節酒会の第二総集会東京神田
	年	179	02	に堪へず．基督教と婦人の地位明治二十	年 三月五日東京婦人矯風会の大会東京京橋区木挽町
	年	188	02	御坐ります．行政法大意第二回明治二十	年 三月十二日スタチスチック社の定期講談会東京九
	年	205	06	望遠鏡の発明が有りましてから少くも一	年 三度位，彗星の出ない時は有りません，チョット
	年	037	02	しますまで．社会外に道徳なし明治十九	年 四月二十日哲学会東京本郷帝国大学に於て加藤弘
	年	067	02	法制度を説き併せて所感を述ぶ明治十九	年 七月十一日専修学校卒業証書授与式東京両国中村
	年	069	08	ｅｆｅｒｅｎｄａｒの数も千八百七十五	年 七月一日の統計には千九百八十三人で御坐いまし
	年	073	02	坐います．法律と経済との関係明治十九	年 七月十一日専修学校卒業証書授与式東京両国中村
	年	233	02	せう．専修学校生徒卒業式祝辞明治二十	年 七月十三日専修学校生徒卒業式場東京浅草須賀町
	年	001	02	漢字やぶり明治十七	年 十一月四日仮名の会員の臨時懇親会東京芝公園地
	年	093	03	しく先づ証拠蒐集に尽力すべし明治十九	年 十一月十八日「ノルマントン号沈没事件学術討論
	年	098	02	ぜられませうから．真正の改良明治十九	年 十一月十八日「ノルマントン号沈没事件学術討論
	年	105	02	ノルマントン号沈没事件を論す明治十九	年 十一月十八日「ノルマントン号沈没事件学術討論
	年	119	02	る弊害を調査するの方法を論ず明治十八	年 十二月二十日大日本節酒会の第三小集会東京神田
	年	119	05	義室に於て杉亨二君演説今日は明治十八	年 十二月二十日で大日本節酒会の納会で有りますか
	年	155	02	う．学問と宗教との極点を論ず明治十八	年 十月十日梅檀社員大演説会東京浅草井生村楼に於
	年	195	02	て，おきますのです．彗星の話明治十八	年 十月十六日理医学講談会東京神田区錦町東京大学
	年	228	13	を云ふのです．郡と云ふものは明治十八	年 十二月三十一日の調べに拠れば八百〇二あります
	年	239	02	とを御忠告いたします．監獄論明治二十	年 十月十五日宇川盛三郎君講演私は本年六月，福島
	年	273	01	ありまする．さて，これよりは明治十七	年 十二月三十一日の監獄に関する実例を申し上るこ
	年	277	17	に関する実例日本の監獄の種類明治十七	年 十二月三十一日の監獄に関する実例監獄の改良の
	年	168	09	とが出来なかつた．其の後，二百六七十	年 すぎて北亜米利加合衆国の人が和親貿易を請ひに
	年	069	09	八十三人で御坐いましたが千八百八十五	年 即ち昨年の七月一日には三千八百三十九人となつ
	年	069	11	ｏｒ即ち試補官と申す者は千八百八十五	年 即ち昨年の八月五日までに千〇二十人と云ふ非常
	年	251	07	も監獄に於て心の教育を受くること十五	年 たちまして悔悟遷善の徴をあらはした者は仮出獄
	年	174	04	年三十六万人づゝ殖えるとしますと百六	年 たらずで其の二倍即ち七千六百三十万二千四百三
	年	130	10	勝劣敗の面白い法則により，やがて二千	年 ぢかく生存したる基督教は迚も近来不意に起つた
	年	069	04	用せらるゝまでは前三年，次四年，次三	年 で都合十年間で有りまするが斯の如く多年学科上
	年	250	16	教育を致しまする．其れに此の罪人は二	年 でよからう，また三年でよからう或は十年でよか
	年	250	16	れに此の罪人は二年でよからう，また三	年 でよからう或は十年でよからうと云ふやうに，き
	年	250	17	でよからう，また三年でよからう或は十	年 でよからうと云ふやうに，きめまするのは裁判官
	年	018	11	の一遍回つて元の所へ来ます間が即ち一	年 と言ふもので有ります．そこで太陽が地球を引き
	年	027	09	れがαＣｅｎｔａｕｒｉから来るには三	年 と六ケ月かゝり白鳥宮からは其れの幾ど三倍で九
	年	027	09	かゝり白鳥宮からは其れの幾ど三倍で九	年 と三ケ月かゝります．でありますから其の星に何
	年	027	11	は全く此の星が無くなつても其れから九	年 と三ケ月たつて始めて分る，其れまでは分りませ
	年	174	16	日本国民の年齢の一代ぐらゐなもので百	年 といふと遠いやうに思ふが維新以来モハヤ其の五
	年	204	12	ルコ人がコンスタンチノプルを取つて三	年 と云ふ時で今にもキリシタン宗門破滅の時節にな
	年	205	12	Ｅｎｃｋｅの彗星と云ふが有りますが三	年 と四分の一ごとには戻つて来るもので有ります．
	年	225	01	も，これまでとは格別で有りますから数	年 ならずして必ず目ざましい改良を見ることが出来
	年	176	17	．箇様な仕方で一々調べて其の調べに何	年 何月と記し其れを集めて前に述べたやうに男女の
	年	008	14	立の様にしたいといふなら明治百年か千	年 になつたら仮名か羅馬字になるだらう．其の用意
	年	052	04	つた者は懲役一年，二字使つたら懲役二	年 に処することとしモロコシの字を書いた書物は広
	年	061	08	数は実に夥しきものです．則ち明治十一	年 には人力車の数十四万二千五百七十二でありまし
	年	061	09	四万二千五百七十二でありましたが十三	年 には十五万七千十八個となり現今では二十万余と
	年	063	06	あると云ふに英国に於ては一千八百三十	年 に於ては車数八千五百六十にして人民千人に付き
	年	063	07	民千人に付き五個の割合，一千八百八十	年 に於ては四十六万三千個にして一千人に付き十五

代表形	判	ページ	行			出現文脈
（ねん）	年	069	06	たるを望む者年々に増して千八百七十八	年	には登用大試験を願ひたる者四百七十人に過ぎま
	年	069	07	十人に過ぎませぬでしたが千八百八十一	年	には七百五人となり千八百八十五年には八百十八
	年	069	07	十一年には七百五人となり千八百八十五	年	には八百十八人試験を願つた者が御坐いました．
	年	106	03	ことが明かでありませう．千八百五十四	年	に英国政府に於て制定されたる商船条例即ちマー
	年	106	04	ト，シッピング，アクトと千八百五十五	年	に其れを改正になつたマーチャント，シッピング
	年	109	04	愚鈍の者でも分りませう．千八百五十五	年	に英国政府にて頒布されたパッセンヂャー，アク
	年	157	13	保証が出来ませんが其れから，まだ四百	年	にはなりませんテネ．其のお弟子のガリレオ，こ
	年	174	02	数を除いたものと就籍等の増人数を四箇	年	に平均すると三十六万二千七百七十四人になりま
	年	174	10	今，日本人の衣食の費用ばかりでも一箇	年	に十一億四千万円になりませう．ドウでありませ
	年	192	03	在るかといふと天皇陛下に在る．明治元	年	に五箇条の御公論に決すといふことを言はれた．
	年	192	08	といふことには違ひ無い．また明治二三	年	に公議所を開いたのも其の通り，其れから左院を
	年	200	03	た彗星の道に違はない．昔し千六百〇七	年	にＫｅｐｌｅｒの観測しました彗星，また其れよ
	年	200	04	其れより七十五六年前即ち千五百三十一	年	にＡｐｉａｎの観測しました彗星の軌道がＨａｌ
	年	203	16	ました．最も名高いのは西暦八百三十七	年	に出た彗星で有りますが其の時フランスにＬｏｕ
	年	204	08	千五百三十一年の前，即ち千四百五十六	年	に出ました彗星で有ります．この彗星は日本では
	年	205	07	か其の外，人間社会に災の有ることも一	年	に三度位はキット有りませう．丁度同じ位なもの
	年	206	05	八十六年，千七百九十五年，千八百十五	年	に出ましたのが其れと同じ道をあるいて居りまし
	年	233	04	の有つた通りに此の専修学校は明治十三	年	に開かれてアシカケ八年になり其の間，卒業が今
	年	233	05	学校は明治十三年に開かれてアシカケ八	年	になり其の間，卒業が今度で第八回だと云ふこと
	年	274	15	た．また，イギリスに於ては千八百七十	年	にこれまた非常の英断を以て地方監獄を中央政府
	年	147	02	御坐ります．行政法大意第一回明治二十	年	二月十二日スタチスチック社の定期講談会東京九
	年	213	02	きませう．小説と演劇との関係明治二十	年	二月二十日東洋学会東京神田区錦町第一高等中学
	年	009	03	からう．この子供等がオトナになつて千	年	の後には仮名が便利になりはせまいかと思はれる
	年	028	06	，かゝらなければ地球まで来ない．三万	年	の昔こんな星が無くなつて居ても我々は今に有る
	年	070	02	一人で御坐います．これは千八百八十三	年	の調査に係つて居ります．孛漏生国の有様は斯の
	年	101	11	而して進歩するの覚悟なきことは二十余	年	の変遷でよく分つて居ります．西洋各国の歴史を
	年	133	03	元来，基督教が起りました時節より三百	年	の間は基督教信徒が苦しめられて色々のひどい目
	年	145	14	うとてモハヤ十五六万円あるさうで二三	年	の中には大きな煉瓦の芝居も立つさうです．私は
	年	152	16	法律規則は始終変りませぬ．千七百九十	年	の大革命の時からのものがイマダに行はれて居ま
	年	168	12	んずる有様でありました．西洋でも千百	年	の頃に天が落ちるとか云つて大層騒いだことがあ
	年	174	14	じます．さて今，申したやうな訳ゆゑ百	年	の後に其の衣食の費用は二倍して二十二億八千万
	年	175	05	ますか，是でありますか．また此の四箇	年	の間は国人の難儀な年柄でさえ人数の殖ゆること
	年	177	01	などの種類を分つて其の国々にまとめ何	年	の調べとして五年も積み十年もたてば何の国は往
	年	188	14	なりませぬ．フランスでは千七百八十九	年	の大革命より千八百七十一年まで即ち今の共和政
	年	199	17	の友だちのＨａｌｌｅｙが千六百八十二	年	の八月に出ました彗星で勘定をしました．其の時
	年	201	01	見る望みは無いが後の人が千七百五十八	年	の終りか五十九年の初めには見つけるであらう」
	年	201	01	後の人が千七百五十八年の終りか五十九	年	の初めには見つけるであらう」と断言しました．
	年	201	02	と断言しました．ところが，この五十八	年	の終りか五十九年の初めとばかりで何月何日と云
	年	201	02	ところが，この五十八年の終りか五十九	年	の初めとばかりで何月何日と云ふことをＨａｌｌ
	年	202	07	計算にはゆきませんが多分千七百五十九	年	の四月のナカバには出るだらう，尤も三十日前か
	年	202	15	ａｌｌｅｙの言つた通りに千七百五十九	年	の三月十二日に於てＣｌａｉｒａｎｔの勘定した
	年	203	04	手な人が勘定をして今度は千八百三十五	年	の十一月の十三日に太陽に近い所に戻つて来るだ
	年	203	07	たのが十六日に来ました，丁度七十五六	年	の中で僅か三日の違ひで有りました．して見ます
	年	204	07	ら何やらして其の疲れかしてトウトウ三	年	の後に死なれました．其の後に出ました一番の大
	年	204	08	出ました一番の大きいのは千五百三十一	年	の前，即ち千四百五十六年に出ました彗星で有り
	年	219	15	く仮名文の物語小説が有つたればこそ千	年	の後までも其の風俗を知ることが出来て歴史編纂
	年	246	05	でも無し，また悪い事をした日から何十	年	の間，死ぬまでも悪い人と云ふ訳では決して無い
	年	200	17	日く「前々の順でゆけば，今から七十何	年	後には同じのが出て来るに相違ない，自分では見
	年	203	01	つた始めで有ります．今度また七十五六	年	後にはキットまた来るに違ひ無い．天王星と云つ
	年	174	15	万円となりませう．チョイと考へると百	年	は遠いやうで死んだアトのことだからドウでもよ
	年	204	11	御承知で御坐りませうが，千四百五十六	年	はトルコ人がコンスタンチノプルを取つて三年と
	年	028	05	な星から出立した明りは一万年から三万	年	ばかりも，かゝらなければ地球まで来ない．三万
	年	168	07	しい物の我が日本に入り来つたのは三百	年	ばかり前に葡萄牙，和蘭の渡来に始まつたが其の
	年	237	03	私などが西洋学を始めたのは今から三十	年	ばかり前で丁度御一新から十年ばかり昔のことで
	年	237	03	から三十年ばかり前で丁度御一新から十	年	ばかり昔のことで有つたが其の時分できへも開け
	年	068	06	間大学に於て法律学を修め殊に其の中一	年	半は必ず独逸の大学に於て修めなければ試験を受
	年	005	11	りになつたのは当り前．我が国にも二十	年	ほど前にさういふことが有りました．ドウしても
	年	116	10	ふ覚えも無い．されども二三年前の春二	年	ほど続いて腸胃痛がありて十二時間ばかり痛み続
	年	195	04	て寺尾寿君講談諸君．丁度，只今から三	年	ほど前にヨホド立派な彗星が出ました．諸君は定
	年	116	10	乱したといふ覚えも無い．されども二三	年	前の春二年ほど続いて腸胃痛がありて十二時間ば
	年	164	04	道潤原を著述した丁韋良といふ人が二三	年	前，支那政府の命令を承け学事視察の為めに欧羅
	年	164	07	の文を読みませう．余亜丁に在り聞く数	年	前，法君那波倫第三，提督をして船を駛せ紅海に
	年	187	02	御坐りませう．今より大凡一千八百八十	年	前に処女マリヤが救世主の母となつたことを知つ

代表形	判	ページ	行			出現文脈
（ねん）	年	195	10	つたことと存じます．これが只今から三	年	前で有りますから「立派な彗星だ」と言つて済み
	年	195	14	と言つたかも知れません．尤も，この三	年	前の彗星にしろ「戦争や何かには関係の無い」と
	年	200	04	測しました彗星，また其れより七十五六	年	前即ち千五百三十一年にＡｐｉａｎの観測しまし
	年	209	10	変に長いもので，ムヤミに長いもので三	年	前に見えましたのも御存じの通り随分長う御坐り
	年	174	01	籍の調べで積ると明治十五年から同十八	年	まで毎年の生れた数から死んだ数を除いたものと
	年	188	14	七百八十九年の大革命より千八百七十一	年	まで即ち今の共和政治になりますまで国の組織と
	年	202	01	．其れでＨａｌｌｅｙの彗星も七十五六	年	目に戻つては来ますが，どの位後れるかが分りま
	年	206	10	ａの彗星と云ふて，この人がイツも六七	年	目には戻つて来ると言ひましたが，しかし其れが
	年	177	01	て其の国々にまとめ何年の調べとして五	年	も積み十年もたてば何の国は往来は繁けれども移
	年	177	02	にまとめ何年の調べとして五年も積み十	年	もたてば何の国は往来は繁けれども移住は少ない
	年	084	13	が御坐りました．これ則ち千六百四十八	年	より以降のことで御坐りました．或は貴国の上で
	年	033	11	になつて居ります．さて酒は世間に数千	年	来行はれてありますが酒を以て国を亡ぼすといふ
	年	102	09	もある．日本は野蛮の国では無い．二千	年	来特別の開化をして居るから国情さへ西洋へ通ず
	年	187	05	らず世界万国の婦人の代表者として数千	年	来種々の圧制束縛を受けた婦人が，これより永く
	年	057	02	御坐ります．半開化は衛生の害明治十九	年	六月十三日大日本私立衛生会埼玉支会の第三総会
	年	113	02	して動物的の欲を制せしむべし明治十八	年	六月二十七日大日本節酒会の第一小集会東京神田
	年	124	02	御坐います．神学卒業生の心得明治十九	年	六月二十二日神学校生徒卒業式場東京京橋区木挽
	年	068	16	一定の俸給を得まするまでには平均三箇	年	を待たなければなりませぬ．其れはＡｓｓｅｓｓ
	年	068	17	ｓｓｏｒが多い故裁判官となるには三箇	年	を待たねばならぬ訳で有ります．之を以て孛漏生
	年	052	04	ぬことと触れ出し一字使つた者は懲役一	年	，二字使つたら懲役二年に処することとしモロコ
	年	069	04	高等司法官吏に任用せらるゝまでは前三	年	，次四年，次三年で都合十年間で有りまするが斯
	年	069	04	官吏に任用せらるゝまでは前三年，次四	年	，次三年で都合十年間で有りまするが斯の如く多
	年	206	05	鑿をしました所，其の前に千七百八十六	年	，千七百九十五年，千八百十五年に出ましたのが
	年	206	05	其の前に千七百八十六年，千七百九十五	年	，千八百十五年に出ましたのが其れと同じ道をあ
	年	212	11	て此の講談を終りませうが，千九百〇九	年	，即ち今から二十六年後にはＨａｌｌｅｙの彗星
	年	268	17	ところで，今仏国に於ける千八百八十一	年	（明治十四年）十二月三十一日の監獄に関する実
	年	277	15	の監獄の種類仏国に於ける千八百八十一	年	（明治十四年）十二月三十一日の監獄に関する実
	年	268	17	仏国に於ける千八百八十一年（明治十四	年	）十二月三十一日の監獄に関する実例を申し上る
	年	277	15	仏国に於ける千八百八十一年（明治十四	年	）十二月三十一日の監獄に関する実例日本の監獄
	念	196	17	と云ふことを知つたらば彗星を怖れるの	念	は減つて来るに違ひ有りません．夜闇い所で人に
ねんがく	年	260	06	亦，最も必要なことで，例へば一万円の	年額	を要する為めに三十万円の資本が備はつた上は
ねんかん	年	069	04	までは前三年，次四年，次三年で都合十	年間	で有りまするが斯の如く多年学科上及び実地上
	年	195	11	言つて済みましたが，若しもこれが天保	年間	ででも有りましたら，たゞ「立派な彗星だ」と
	年	059	05	ひます．若しウソと思ふなら試みに二三	年間	もやつて御覧なされ必ず無くなること請け合ひ
	年	273	02	は内閣統計局編纂の「日本帝国第五統計	年鑑	」に拠つたものであります）府県監獄は百九
ねんし	年	053	15	て「はなをみる」といふ様に教へ其れで	年始	暑寒用の手紙といふ様なものを書くことを教へ
ねんじゅう	年	223	03	狂言として別にしました．然る所，慶長	年中	出雲からお国と云ふ女が上京して歌舞伎と云ふ
	年	223	09	のか有りましたが共に停止せられて承応	年中	に物真似狂言尽しと名称を改め，京と江戸とに
	年	214	10	れ穢多非人のやうに言ひ習はされ，天保	年中	の老中，水野越前守が大層政事を改正した時に
ねんすう	年	048	09	用ふる様になるであらう．尤もどれほど	年数	がたつたら，さういふことになるか知れぬこと
ねんど	年	274	02	国庫支出，及び地方税支弁にて明治十七	年度	は三百四十六万九千四百五十五円となりまする
ねんねん	年	061	06	ト便利なものですからヤタラに乗る故に	年々	歳々増加して現今では津々浦々実に米の飯は食
	年	224	03	．後には浄瑠璃狂言，世話狂言と区別し	年々	新狂言を作るに付ては兎角，時の好みを追つて
	年	069	05	漏生には司法官及び代言人たるを望む者	年々	に増して千八百七十八年には登用大試験を願ひ
	年	169	11	るやうで，其の訳は亜米利加へ行く者が	年々	に多くなるやうに見えます．亜米利加に行く者
	年	177	04	つた有様を見ることも出来ませう．其の	年々	の大数を得るに従つて其の運動の有様に常と変
	年	173	17	ます．其の訳はといふと我が国の人数が	年々	増しに増して来ます．現在人別調べのことが無
ねんぶつ	念	223	04	歌舞伎と云ふことを始めました．これは	念仏	踊だのヤゝ子踊だのと云ふ踊の間に，お国は男
	念	223	06	伝助と云ふ滑稽家を交ぜて踊りました．	念仏	踊と云ふは空也上人から始まつたもので其の上
ねんれい	年	148	17	せぬ．また年齢のことにしましても徴兵	年齢	とか学校年齢とかいふ必要な年齢も御坐んせう
	年	148	17	齢のことにしましても徴兵年齢とか学校	年齢	とかいふ必要な年齢も御坐んせうがたゞスタチ
	年	176	11	記し女は女と記し，姓名，生国，職業，	年齢	などを記し，また其の行く先きの地名を記し，
	年	148	17	なければ要用な調べも出来ませぬ．また	年齢	のことにしましても徴兵年齢とか学校年齢とか
	年	174	16	はれますがさうでは無く我が日本国民の	年齢	の一代ぐらゐなもので百年といふと遠いやうに
	年	068	11	生に於て学生となることの出来るものは	年令	満十八歳にして中学の予備科を卒業し其れより
	年	069	03	るの難いことが想ひやられます．箇様に	年令	満十八歳にて中学校を卒業し其れより高等司法
	年	149	01	も徴兵年齢とか学校年齢とかいふ必要な	年齢	も御坐んせうがたゞスタチスチック学ばかりの
	年	250	10	する．此の悪い道に飛び込みまする者を	年齢	を以て二つに区分いたして申し上げませう．即
	年	269	11	四人，即ち六割四分で有りまする．また	年令	を以て割合を申しまするに十歳以下は百八十七
	年	169	12	加に行く者と欧羅巴に行く者との人数，	年齢	，職業などを書いたものを見ませぬから委しい
	年	177	01	を集めて前に述べたやうに男女の人数，	年齢	，職業などの種類を分つて其の国々にまとめ何
	年	263	04	は区別を致すのも有りますが其れとても	年令	，罪質，犯数，等の区別によつて其の雑居の分
の	の	180	05	しなり」と教へ玉ふたイエス，キリスト	の	愛では御坐りませんか．また彼のウ／キルボルフ

代表形	判	ページ	行			出現文脈
（の）	の	133	05	い目にあはせた所の残酷な者さへも信者	の	愛信の厚いこと，また其の行義の正しいことに感
	の	013	06	た．なぜだといふに此の位の距離は僅か	の	間に通ることの出来るものです．昔はさうでは有
	の	020	06	ですが之と替つて地球が此の星と太陽と	の	間にはいりますと此の星の距離が非常に近くなる
	の	042	02	人民の権を許してある．又支那では父子	の	間で子が親に対しては終身，権は無いなれども西
	の	042	03	ども西洋では其の様なことは無い，夫婦	の	間でも男女同権と云ふ説が出て来るが如きは支那
	の	046	12	と云ふことは社会を為して居らぬ者同士	の	間に道徳は無い．英国とか仏国とか日本とか支那
	の	046	15	故ドウしても一つの社会を為さぬ者同士	の	間に道徳の行はれると云ふことは無い道理ぢゃ．
	の	047	01	ことをするのは互に社会を為さぬ者同士	の	間では当然のことであらうと思はれる．社会を為
	の	047	08	道徳の行はれぬのを歎くがよい．今各国	の	間に道徳が行はれぬのを歎くのは順序を失して居
	の	048	01	利害の関係が有る．そこで今日国と国と	の	間には道徳に合はないことをやるが一己人同士ぢ
	の	048	03	を尽すと云ふことが有る．併し国と国と	の	間になると万国公法と言ふものが有るなれど己の
	の	048	04	と云ふ有様でやりて居る．併し国と国と	の	間にありても近来は交際が益々盛んになりて来た
	の	048	15	も間違ひ無いことと思はれる．其れまで	の	間は各国が何分にも社会を異にして，居るから其
	の	048	16	徳の十分行はれる道理が無い．今日各国	の	間に道徳の行はれぬは決して怪むに足らぬことぢ
	の	049	01	ものぢゃ．其れ故，社会を為さぬ者同士	の	間に其れが行はれぬのは当然のことぢゃ．さて此
	の	083	03	スパニヤとポルトガルの二箇国が暫らく	の	間，余程盛んに開けてあつたが道徳の進歩がサツ
	の	084	03	ら勉める間は其の外に種々の進歩が暫く	の	間止まつて居るか或は後れてあるかも知れませぬ
	の	122	10	だのと云ふ病を起したり発狂したり夫婦	の	間に不和を生じたり家の乱れを譲したりするのも
	の	125	03	るもので御坐ります．勿論，今この一席	の	間に其の色々の邪魔と妨げをチャント部分けして
	の	127	07	ことを論ぜず色々の外の廉に移りて天地	の	間の道理を広く論ずる間には，なみの人の如くに
	の	128	06	御坐ります．学術の歴史を調ぶれば暫く	の	間，盛んにはやりて不意に消えてしまつた所の論
	の	128	07	論は随分多う御坐ります．故に先づ暫時	の	間，待つ方が宜しう御坐りませう．即ち各国の学
	の	133	03	来，基督教が起りました時節より三百年	の	間は基督教信徒が苦しめられて色々のひどい目に
	の	135	15	の高い所より世の中の有様を見れば天地	の	間の限り無き道理が実に明かになります．神田橋
	の	156	12	天が回るのとは言はれない．地が一昼夜	の	間にグルリと回つて而して猫の眼では無いテ．実
	の	162	10	の父母を孝養し其の父母喜ばゞ酒を家庭	の	間に用ひ献酬歓を承けて以て天倫の楽みを全くす
	の	175	05	すか，是でありますか．また此の四箇年	の	間は国人の難儀な年柄でさえ人数の殖ゆることが
	の	202	06	ｔｅｎｓｅＬｅｐａｕｌｔ夫人と三箇月	の	間，寝食を廃する位にして勘定をしました．其れ
	の	209	15	うげなことで御坐ります．なぜなれば説	の	間に誤りを生じ易く若し軽々しく言ふときは天文
	の	211	12	こんだことが現に有つたのです．尤も僅	の	間では有りますが現にアリアリと彗星の尾の中に
	の	213	09	せぬ．マー先生方のシッカリとした演説	の	間の狂言のやうなもので御坐います．さて小説は
	の	222	14	僧家に延年の舞と云ふものが有り，婦女	の	間に白拍子の舞が有りましたが，また田楽と猿楽
	の	223	05	これは念仏踊だのヤヽ子踊だのと云ふ踊	の	間に，お国は男の姿に出たち夫の三左衛門は女に
	の	246	05	も無し，また悪い事をした日から何十年	の	間，死ぬまでも悪い人と云ふ訳では決して無い．
	の	251	15	場と云ふものを設けて，こヽでイクラか	の	間これが心を矯め直すことを図ります．此の者を
	の	252	14	以上の者，即ち出生より丁年になるまで	の	間に教育は先づ一と通り終つた筈の者であります
	の	268	10	の所に於ては拘引したる者を僅かに数日	の	間，留め置き之を他の監獄に送り付けることにな
	の	269	15	．して見まするると十二歳より十六歳まで	の	間が一番，間違の出来やすい時で有るものと見え
	の	276	04	なる人民にしてやりたいと云ふので暫く	の	間，其の自由を剝ぐと云ふことにきめたので有り
	の	182	02	夫婦の関係は人間道徳の基礎で若し夫婦	の	間柄が宜しきに適はなければ親子の間柄も宜しき
	の	182	03	夫婦の間柄が宜しきに適はなければ親子	の	間柄も宜しきに適ひませんし親子の間柄が宜しき
	の	182	03	親子の間柄も宜しきに適ひませんし親子	の	間柄が宜しきに適はなければ一家が治りません．
	の	218	13	として書いたので有るからドレにも男女	の	間がらのことが多い．しかし折々は天人が出たり
	の	247	02	つて直ちに其の膝の下に，生れたばかり	の	赤子を入れて圧しつぶすと云ふことが有つたさう
	の	221	06	して洒落本となり恋川春町，芝全交など	の	赤本作者の手に落ち，其れから元禄の頃より前太
	の	020	03	と同様に自分には明りを持たないで太陽	の	明りを借りて照つて居ります．所で此の星は地球
	の	028	03	大違ひは有りますまい．そこで色々な星	の	明りの分量を比較して段々と距離の比例を取ると
	の	080	10	の発達の仕様，其の方法等を見れば三つ	の	明らかな手続きが御坐ります．総ての改正改革と
	の	086	13	出来ませうか．アヽ基督教の大切なこと	の	明らかになるは丁度こヽで御坐ります．基督教の
	の	134	13	．即ち世の中に於て善の勢ひを以て総て	の	悪を止める為めに世に起された宗教で御坐ります
	の	251	12	満二十歳以下でも二十歳以上の者と同様	の	悪事を働いた者は其の心に弁別が有つた者と，ま
	の	255	05	キと申す者が有つてムヤミに人の道徳内	の	悪事までも探索して之を持ち出しました．警察に
	の	245	02	を入れることも有りますが，これは通常	の	悪人とは全く変つたるもので有りまして数から申
	の	059	13	しは勿論なれども之と共にコレラ痘瘡等	の	悪病より煙草，酒其の他の贅沢品も亦輸入いたし
	の	181	15	の根本を取り除けば其の枝に結んだ様々	の	悪弊は自ら消滅する道理で御坐ります．さて其の
	の	131	01	に植えられたる所の道徳の法も人の色々	の	浅ましい論によつて容易に変るものでは無い．ド
	の	090	15	の中で基督の足跡を能く尋ね而して己れ	の	足を之に合はして世渡りするものは進歩せぬと云
	の	080	12	きが御坐ります．一つの仕方は人の総て	の	悪き所，人の害になる所，人の位を下げる所のも
	の	085	12	は三つの仕方が御坐ります．其の一は人	の	悪しき性質，人の損害になる原素，また人の位を
	の	086	02	有らうと存じます．なぜと云ふならば人	の	悪しき性質，人の損害になる原素また人の位を下
	の	087	06	委しい所を申しませう．たとへば彼の人	の	悪しき性質，人の害になる原素，人の位を下げる
	の	089	07	へ進むの志が無ければなりませぬ．モト	の	悪しき有様を出でまして善い有様へ移る願ひと望
	の	073	15	Ｅｃｏｎｏｍｙといふものの中に凡そ物	の	価を生ずるといふものは二個の全く反対したるも

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（の）	の	172	11	ります．たゞ北亜米利加人が我が金銀貨	の 価の不平均なのに乗じて大いなる利益を攫み去つ
	の	062	08	らざる野蛮人の多きと我が邦人民の身体	の 価直の廉なるとは原因の二です．第三は衣服の歩
	の	059	04	しなどの穢い所を掃除してプンとする鰯	の 頭や香の物のキレッパジ等を常に堆積せざる様に
	の	163	10	いから七合入の盃で飲んだら信長は光秀	の 頭をおこして，これはよい頭だ丁度鼓によいと言
	の	189	05	を考へて見ると事をきめるには二つ以上	の 頭を以てし，きめた事は一人の執行権者が行ふと
	の	192	10	国会も立てられますが，ツマリ二つ以上	の 頭を以て万事を議することになつて居ります．其
	の	199	13	は無からうかと云ふ考へがＮｅｗｔｏｎ	の 頭に起りました．さうするとグリット太陽のマハ
	の	208	16	りますだけに止めますと，先づこの彗星	の 頭は軽いもので有る，稀薄なもので有ると分つて
	の	212	01	尾の中に居つたので有ります．また彗星	の 頭のコナゴナの中は地球がショッチュウ通つて居
	の	231	11	が有りますやうに．議政は総て二つ以上	の 頭を集めてやるのです．各省の大臣は施政者で有
	の	085	05	が思ふに此の演題を証拠だてるには種々	の 新しい事柄を演べ出すに及ぶまいと存じます．な
	の	127	14	をよく承知して学者が世に出す所の色々	の 新らしい説，新らしい論，新らしい考へなどを誠
	の	127	17	如くに喜んで受け容れて而して此の色々	の 新らしい論は決して基督教に逆らつて居らぬと頻
	の	128	02	す．ナゼと云ふならば西洋の学者の色々	の 新らしい論の中に無証拠な設理即ち後の穿鑿を助
	の	128	16	珍らしいことが御坐ります．頻りに色々	の 新らしい説，新らしい論を求めて風見の如くに今
	の	129	03	学者と教師は不意に起つて来る所の色々	の 新しき論によつて容易に惑はされませぬ．君子は
	の	130	11	したる基督教は迚も近来不意に起つた所	の 新しき論または設理，或は一人か二人の量見によ
	の	211	10	せん．確には分りませんが双六や其の外	の アタリハヅレを研究する学問によつて見ますと彗
	の	237	12	出来る．また西洋の学問をするのは人間	の 当り前のやうになつて西洋のことを学ばぬ人は世
	の	113	08	て酒のことに付ては先刻から段々お話し	の 有つた通りのことで，これには利も有り害も有る
	の	114	01	し之を節しないときには先刻からお話し	の 有つた通り身体や品行にも関係するものだからド
	の	119	10	い矢張り酒の事で今も三島先生のお話し	の 有つた通り酒は多く飲んでは宜しく無いと云ふこ
	の	140	01	和政治にしてしまつたことには与つて力	の 有つたものですから其の筆先きの勝れたものと見
	の	233	04	加藤弘之君演述先刻，幹事さんのお話し	の 有つた通りに此の専修学校は明治十三年に開かれ
	の	133	05	あはせた所の残酷な者さへも信者の愛信	の 厚いこと，また其の行義の正しいことに感服した
	の	187	05	万国の婦人の代表者として数千年来種々	の 圧制束縛を受けた婦人が，これより永く真正の幸
	の	082	15	の例を挙ぐればギリシヤの国また其の中	の アデンスの町を御覧なされ．アデンスの町は立派
	の	202	02	りませんでした．ところがＨａｌｌｅｙ	の あとに出ましたＣｌａｉｒａｎｔと云つてＮｅｗ
	の	161	07	の腹を剖いて胎を見たり，聖人には七つ	の 竅が有るといふがドウだとかと云つて比干の心を
	の	182	06	良するに最も必要なことは一夫一婦の教	の 普く行はるゝことで御坐りますがキリスト教は即
	の	256	16	を其の儘に打ち捨て置くときには窮する	の 余り悪事を働くと云ふので犯罪人を生ずることに
	の	207	09	と云ふことは少ない．雨と云つても今日	の 雨などはヨホドひどかつたあんなでは実に大変で
	の	195	06	見えました．当時私はこゝからチト遠方	の アメリカの熱帯地方に旅を致して居りましたが，
	の	095	02	ことがありまして尋常一般の人でも他人	の 危きに臨んでは之を救ふが道徳上の義務で御坐り
	の	046	06	ぬと云ふ主義は立たぬでは無いか．人間	の 有らむ限りは刑罰の無くなる時は無からう．世の
	の	025	13	常に大きいかも知れない，大きい小さい	の 争ひは例の距離の知れた上でなければ論にならな
	の	189	10	．併しながらドチラも一国の政治に関係	の ありまするものですから立法権にも執行権が関係
	の	059	02	で探す程であると云ふが，これ則ち衛生	の 有り難い証拠で又開化の徳でありませう．此の県
	の	092	12	時は兼ねてまた貴国の社会を進歩させる	の 有り難い好結果は必ず現はれませうと存じます故
	の	003	10	るのは知れきつたこと．それで今我が国	の 有様を見るにドコへ時が一番かゝつて居るかとい
	の	003	13	考へなければ分らない．それで今我が国	の 有様で居ますと文字を習ふヒマの為めに稲を植る
	の	005	12	いふことが有りました．ドウしても今日	の 有様では西洋人と競争したければ漢字をやつて居
	の	007	01	なか世間の人にそんな見込は無い．今日	の 有様は反対した方にばかり流れ益々字を書く方が
	の	008	01	，なほやぶるがよい．さればどうも今日	の 有様を感心して居らるゝ場合では無いが随分感心
	の	008	08	ので外を見れば盛でも何でも無い．他国	の 有様を見れば気違ひにでもならなければならない
	の	012	01	実に其れまでも知りたい訳ですが中々今	の 有様では知れないから先づ其れまでいつたら，我
	の	012	03	しつめてモウこれから先きは今日の学問	の 有様では分らない所まではいきたいものです．こ
	の	032	08	に段々推しつめて行つて丁度今日の学問	の 有様では，これまでといふ所までこぎつけたかも
	の	039	02	ぬ社会は亡びたであらう．今申した野蛮	の 有様に付て一例を挙れば盗賊を働いたり強盗など
	の	047	16	らうと思はれる．さりながら今日，世界	の 有様を見ると各国の有様が昔と事違ひ商売が開け
	の	047	17	りながら今日，世界の有様を見ると各国	の 工業が開け世界の痛
	の	065	05	止めやうと思ひますがツマリ我が邦今日	の 有様は未だ半開化の人物が多く文明の何たるを知
	の	070	03	三年の調査に係つて居ります．孛漏生国	の 有様は斯の如くで御坐いますが眼を転して我が国
	の	070	03	ますが眼を転して我が国の裁判官代言人	の 有様を観ますれば従前判事と唱へる奏任以上の者
	の	081	06	質が何れも能く完全して居るならば外部	の 有様は自らにして完全して行くもので御坐ります
	の	083	08	さずして居るに由つて今日支那の全国中	の 有様は気の毒千万で御坐ります．また時の近い例
	の	083	11	徳の進歩充分で有りませぬから仏国当時	の 有様実に気の毒で御坐りまする．この道徳の進歩
	の	085	01	なることで御坐ります．先づ人間の進歩	の 有様とまた其の進歩に付て種々の大事なものの概
	の	089	01	ければなりませぬ．併しながら人の本当	の 有様，人々の不完全なることを教ゆるには基督教
	の	089	03	ことも無く恐るゝことも無くして人の真	の 有様を示しまた人の種々の不足不完全を明らかに
	の	089	04	ゆる宗教で御坐ります．人若し己れの真	の 有様を知りたいならば先づ新約書旧約書を研究す
	の	102	11	んだ人の話しを聞くに西洋で日本の実際	の 有様を知つてる人は万人に一人も無いは勿論，日
	の	135	14	而して聖書に説く所の高い所より世の中	の 有様を見れば天地の間の限り無き道理が実に明か

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（の）	の	136	07	まするならば人が下い所からして世の中	の 有様を見れば面白いことも少なく覚ることも浅う
	の	136	09	して憚りながら神の御眼を借りて世の中	の 有様を観れば面白いことは言はれぬ程にて覚るこ
	の	177	05	其の年々の大数を得るに従つて其の運動	の 有様に常と変との工合あることは明かに知れます
	の	180	10	ヤやローマが文物隆盛を極めた時の婦人	の 有様とキリスト教文明国の婦人の有様を比較て御
	の	180	11	の婦人の有様とキリスト教文明国の婦人	の 有様を比較て御覧なさい．今日の米国や英国の婦
	の	180	11	て御覧なさい．今日の米国や英国の婦人	の 有様と支那印度や土耳古の婦人の有様を比較て御
	の	180	12	の婦人の有様と支那印度や土耳古の婦人	の 有様を比較て御覧なさい．実にキリスト教国とキ
	の	190	08	判所に委託してやらせるといふのが一般	の 有様であります．今日の裁判は委託裁判といふ有
	の	191	12	とに論究が及んで居ります．日本の現在	の 有様で立法権と執行権はドウ定まつて居るかとい
	の	192	02	をもきめることが出来るといふのが今日	の 有様即ち昔からの有様であるのです．立法権は誰
	の	192	02	出来るといふのが今日の有様即ち昔から	の 有様であるのです．立法権は誰に在るかといふと
	の	223	14	云ふ筋書のやうなもので其の時分の演劇	の 有様を見るに足るもので御坐います．そこで操人
	の	239	15	をお尋ね下されて，私が巡閲したる監獄	の 有様は如何，国事犯等の景況如何，何々何々と矢
	の	240	04	来ませぬ．例へば内務大臣が「監獄実際	の 有様を巡閲して来れ」と私に命ぜられたときには
	の	021	11	て居りましたが今では外の世界にも人民	の ある事が知れた．して見れば外の世界にはどれだ
	の	054	07	と思ひます．先づ小学校の本，また学問	の ある人の研究の為めの本，それから第三種は慰み
	の	089	13	の前にある貴い目的，高尚なるゆくアテ	の あるのは大切で御坐ります．人はメアテとする所
	の	099	14	船長は幾多船客の生命を保護すべき責任	の あるものである即ち当時の主人の地位に立ちて居
	の	099	15	人の地位に立ちて居るもの重大なる責任	の あるものにして平常はこの義侠の勇気に富み殊に
	の	101	13	の改革をはかるときには必ず二三の反対	の あるものであるが我が日本は然らず．苟くも改良
	の	115	06	て居て食ひ過ぎたり飲み過ぎたりする者	の あるは誠に困つたもので人類といふものは其れを
	の	123	08	にも言はれた通り教育上にも余程な関係	の あることだからドウか只今私の申したことを諸君
	の	228	11	申しますと，府と云ふのは大いなる市街	の ある所を云ひ，また県と云ふのは別に府と違つた
	の	019	09	支那では昔し貴まれたもので，正月元日	の 或る時刻に此の星の居る方をあき方とか何とか唱
	の	058	13	たと云ふのも即ち開化の為めで，又独逸	の 或る都府に於てはこれまで大層チフスと云ふ病気
	の	069	12	る数に増加して居ります．故にベルリン	の 或る新聞記者は「世の父兄子弟たる者に告ぐ」と
	の	109	01	無い．また船が沈没しきらぬうちに海員	の 或る部分は端艇に乗つて居るのを目撃しながら乗
	の	246	17	るもので御坐います．例へば昔は北の方	の 或る地方に於ては母親が子を生むと「これはモウ
	の	268	09	して，これは各警察署，又は憲兵署など	の 在る所に設けるもので有りまする．此の所に於て
	の	001	08	に付ては不案内で私よりも既に委しく説	の 有る方がゐらつしゃることなれば私は演説をした
	の	011	09	かも知れない．小学校へでも参つたこと	の 有るものなら「日本は亜細亜の中だ」「亜細亜は
	の	034	03	申すものはナルコチカと言つて麻酔の効	の 有るもので之が為めに害を受けぬ者は有りませぬ
	の	039	05	が出来ぬからぢゃ．又生れ子を殺す風習	の 有る社会が有るが其の中にも女子を殺すのが多い
	の	039	16	云ふことでありて行ひの正しい人を徳義	の 有る人と云ふ訳では無く強い人を徳義の有る人と
	の	039	17	の有る人と云ふ訳では無く強い人を徳義	の 有る人と云ふのぢゃから何でも強くなくてはなら
	の	041	06	適せねばならぬ，開けぬ時は開けぬ道徳	の 有るのは当り前のことぢゃ．昔開けぬ時分には道
	の	046	08	な話しで国が有れば刑罰が有る訳で刑罰	の 有る上は悪い事をした人は到底害を受けるのぢゃ
	の	061	11	を要する場合に於ては随分大いなる利益	の 有ることもありませうが現今に至つては非常に濫
	の	076	12	極的の結果を得て参りますゆゑ其の違ひ	の 有るといふことはたゞ二個の学科の学術上の性質
	の	119	14	ましたが西洋の学者が酒が人間社会に害	の 有ると云ふことを論じたことは色々有りますが其
	の	137	12	の教育上に関係が有つて大いに其の利害	の 有ることと思はれます．私は此の小説のことに委
	の	139	05	参ります．其れ故今日の小説中に之は害	の 有るものと認めたるときは之を改良しなければな
	の	156	17	たゞの者が驚いたところでは無い，智慧	の 有る者まで向ふ鉢巻で驚いた．さうすると西洋に
	の	162	15	酒を飲んだ者を死刑に処するといふこと	の 有るのはチト苛酷に過ぎた様だが乱国を治めるに
	の	163	14	乱る」と論語にもあるが信長などは大望	の 有る身でありながら箇様になつたのを見れば酒の
	の	185	11	ことで有るかと考るに其れには種々原因	の 有ることに相違御坐りますまいが儒者七去の教も
	の	199	01	い．さて，楕円と抛物線とはドンナ関係	の 有るものかと言ひますと，楕円が段々に長くなり
	の	205	07	が黜けられたとか其の外，人間社会に災	の 有ることも一年に三度位はキット有りませう．丁
	の	217	16	氏物語の標目は仏道に拠つたと云ふ旧説	の 有るに倣つた私の臆測で御坐います．其れから色
	の	218	17	味つて見ると，云ふに云はれない面白み	の 有るのは今の学者の云ふ真の理と云ふものに近い
	の	224	05	方を専らとするやうになり，少し学問気	の 有る者の作つたのは却つて見物が少ないと云ふ位
	の	238	08	て勉強されたときには昔に百倍する功績	の 有るのは当然で有りますから，此の上にも御勉強
	の	246	03	夫子の言はれたる如く，人には多く過ち	の 有るものであるから悪い事をしたとて其の人が頭
	の	198	09	が細長いもので，惑星即ち木星土星など	の あるいて居る道で太陽に近いも有れば遠いのも有
	の	206	02	uのほどには十分いきます．）其の彗星	の あるいて居ります道を勘定しましたが抛物線では
	の	025	11	あるく人を見れば小さい，山の上から人	の あるくのを見れば，まるで蟻のはふ様に見える，
	の	024	03	て貰つて居るのです．例へば太陽は一軒	の 主であつて，あとのものは其の子供だとすれば月
	の	220	03	られぬことが多く楠正成の桜井のことだ	の 或ひは後醍醐帝の笠置の夢見のことなどは作り物
	の	028	04	と非常の遠くに居ます星が有ります．今	の αCentauriより一万倍乃至三万倍位の距
	の	098	10	に今や我々同胞二十五名の人はウタカタ	の 泡と消え海底の藻屑と化し而して其のウタカタの
	の	098	11	え海底の藻屑と化し而して其のウタカタ	の 泡と消え海底の藻屑と化したのは何の為めである
	の	100	14	今の際に当りて曾に二十五名がウタカタ	の 泡と消え海底の藻屑と化したる不幸を悲しむのみ
	の	224	17	つて立派な人の仕事となりまして看る人	の 意も，これまでとは格別で有りますから数年なら

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（の）	の	150	14	いたのが憲法で，憲法と言へば一国組織	の 謂であります．行政法といふものはたゞ憲法に基
	の	189	12	すとか，また法律を議するときには政府	の 委員が出て討論をする．また立法権で法律を議決
	の	194	01	以来カハリは無い．穴の中に居るとか石	の 家を建るとかいふのは其の時々の経験に本づいて
	の	219	07	うなことが有る．其れで妻は大かた自分	の 家に引き取らないで親の家に置いて男の方から通
	の	219	08	妻は大かた自分の家に引き取らないで親	の 家に置いて男の方から通つたと云ふことで有りま
	の	058	15	だ）悉皆なくなつてしまつて遂には同府	の 医学大学校で先生方が書生にチフスと云ふ病はか
	の	158	11	世，朱子が論語の集註を書いた時分に天	の 怒りだと聞いたのを見ると朱子先生も雷のことは
	の	020	13	と云ふものが有り此の南極北極には時候	の 如何に拘はらずいつも氷がはりつめて居ます．こ
	の	240	13	君の許可なくしては他人に向ひ其の性質	の 如何を申し上げる訳には参りませぬ．尤も右の如
	の	242	02	されたる方も有りませうが，中には監獄	の 如何をも知らない方が無いとは云はれますまい．
	の	048	10	いふことになるか知れぬことなれども今	の 勢ひでは段々其の運びになるであらうと思はれる
	の	134	13	教で御坐りまする．即ち世の中に於て善	の 勢ひを以て総ての悪を止める為めに世に起された
	の	168	08	蘭の渡来に始まつたが其の頃は世界開化	の 勢ひが弱くて振ふことが出来なかつた．其の後，
	の	168	16	て段々かういふ世の中にしましたが開化	の 勢ひが西から東に移つて来るとすると何か地球の
	の	235	14	番は医術，其れから砲術で其れより今日	の 勢ひに移つて来たことで有りますが其の始めにオ
	の	037	16	．Ｃｅｌｌと云ふものは矢張り一個独立	の 活物で有ることぢゃが，そこで社会にては人間が
	の	031	01	たまりが有ります．望遠鏡で見ますと星	の いくつとはなく簇つて居る者が沢山ある．併し肉
	の	161	06	を亡ぼすものが有る．殷の紂王などは酒	の 池，肉の林を造つたといふが，一体，紂王といふ
	の	264	12	所で有りまする．今，欧米の監獄専門家	の 意見と其の各国に於て施行して居りまする監獄法
	の	046	04	ぢゃ．当然と云ふ訳では無けれども社会	の 維持と進歩との為めに必要な事ぢゃ．併し悪い事
	の	048	17	して怪むに足らぬことぢゃ．道徳は社会	の 維持と保存との為めに出来たものぢゃ．其れ故，
	の	170	02	清の雑種人でありませう．けれども国人	の 移住は大変な運動を起して来るもので，この位な
	の	173	14	がら我が国人は，世界の道理に従ふと人	の 移住の権利といふものがあるとによつて其れなら
	の	238	06	蘭学事始と云ふ書などを見るとオランダ	の 医術を伝へた難儀などのことは一々出て居ります
	の	174	09	仮りに三千八百万人として一箇年一人前	の 衣食の費用を三十円としますと今，日本人の衣食
	の	174	09	食の費用を三十円としますと今，日本人	の 衣食の費用ばかりでも一箇年に十一億四千万円に
	の	059	03	りませう．此の県下で六伝染病中チフス	の 居候が最も沢山あると云ひますから下水流しなど
	の	059	05	る様に奇麗にして御覧なされ屹度チフス	の 居候が無くならうと思ひます．若しウソと思ふな
	の	063	10	分も待つて居るときは人皆な之を笑ふ位	の 忙しき所にて日本にては五分はオロカ一時間も前
	の	098	15	を為し人民は競ふて義捐金を募り遭難者	の 遺族に贈るなど寔に懇切なことである．斯くの如
	の	179	11	引て「我は貧しき者に福音を宣べ伝へ心	の 傷める者を医し圧制らるゝ者を放たんために世に
	の	055	02	拵へるのは口で言へば易い様だが大困難	の 至りで御坐ります．何にもあれ新しいことを起す
	の	064	10	等に罹りワカジニするとは真にハヤ憫然	の 至りでありませう．併し斯の如く有害なるにも拘
	の	011	01	ことを一言演るまでで有りまする．地球	の 位置明治十八年三月二十一日理医学講談会東京神
	の	012	05	御話しをしようと思ひます．私が「地球	の 位置」と題をつけて致します演説は先づ今申しま
	の	016	05	か当りませぬ．そこでザット地球と月と	の 位置を比べて見ますと直径一寸の玉を拵へまして
	の	032	15	ら始めるが順序ですから私は今日「地球	の 位置」と言ふ題で全世界の地理をザットお話し申
	の	197	06	なければなりません．私はイツカ「地球	の 位置」と云ふ題で太陽系の中にはドンナ惑星があ
	の	243	01	ので有りまするから第一に監獄の行政上	の 位置を述べませう．さて監獄は行政上に於て如何
	の	277	01	たることを約説しまするど監獄の行政上	の 位置監獄の目的及び方法監獄と警察と裁判との関
	の	005	07	ンチャン坊主の毛をきり支那から留学生	の 一万人も二万人も西洋へ行く様にしたい．この間
	の	011	10	亜は」と言つたら「亜細亜は地球の表面	の 一部分だ」と言ふで有りませう．そこで其れから
	の	011	11	ませう．そこで其れから先き「地球は何	の 一部分だ」と問ひ詰められると分るものが半分，
	の	013	02	処で僅か日本の三千二百四十八里と四分	の 一で一番小さい所は三千二百三十七里と八分の一
	の	013	02	一番小さい所は三千二百三十七里と八分	の 一です．其れで地球は立派な球では無い，ひつこ
	の	023	04	は一尺一寸あります，直径が太陽の十分	の 一ありまして地球からの距離は太陽よりは余程遠
	の	027	02	ります．其れは何で有るかと云ふと明り	の 一秒時間に行く距離です，明りの行くのはいくら
	の	048	12	る．其の時に至りたら一つの国は有機物	の 一部分ぢゃから無理なことをしても国威を輝かさ
	の	102	06	情が西洋に知れて居ないのがこれ亦軽蔑	の 一原因であります．私は固より日本人であるから
	の	150	02	法と私法とに別れ私法といふものは人民	の 一個人と一個人との関係を規定して，たとへば民
	の	150	11	ります．行政法は内公法の一つで政治学	の 一部分に属するものであります．さて行政法と憲
	の	174	17	いやうに思ふが維新以来モハヤ其の五分	の 一を過ぎましたからサホド遠いものではありませ
	の	205	12	ｅの彗星と云ふが有りますが三年と四分	の 一ごとには戻つて来るもので有ります．諸君は其
	の	212	05	しないかと云ふことですが，其れも地球	の 一部分だけかも知れません．其のぶつつかる所の
	の	227	17	たのでも無い．諸侯の一つで丁度，列国	の 一国主が其の列国の世話をして居たと云ふやうな
	の	106	17	ロシにされ空しく海底の藻屑となりたる	の 一事は実に悲むべく憫むべく怒るべく恨むべきの
	の	125	04	せぬ故に其の種々の物の中からたゞ一つ	の 著るしいものを択んで而して之を成るたけ委しく
	の	105	05	村楼に於て大谷木備一郎君演説当今世上	の 一大問題となつて居りまする英国荷船ノルマント
	の	174	16	ますがさうでは無く我が日本国民の年齢	の 一代ぐらゐなもので百年といふと遠いやうに思ふ
	の	184	13	ます．されば此の悪風を改むるのも今日	の 一大急務で之を改むるには矢張キリスト教の力に
	の	246	06	ことを言はれました．是れ実に万世不変	の 一大原則で有りまする．因つて刑を適用すると云
	の	215	14	から出たもので小説の原とも云ふ昔話し	の 一番古いところは昔々隠岐の国に一疋の兎があつ
	の	233	08	す．実に此の専修学校は私立の専門学校	の 一番の元祖で其れから近来イクラも専門の学校が

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（の）	の	270	12	一人もありませぬ．して見まするとと教育	の 一番少ない者に不良の者が多いと云ふことは此の
	の	257	03	会上の貧民で有りまして，例へば衣食住	の 一部，又は全部を欠く者（即ち壮健なる貧民），
	の	015	03	り足ぶみをして調べはしませぬ．唯最初	の 一個所だけを直に測りまして，あとは器械で角度
	の	017	10	の直径の百八倍半ほど有ります．さつき	の 一寸の玉を地球の雛形としまして太陽の雛形はド
	の	023	08	十五丁幾ど三里で有ります．地球の雛形	の 一寸の玉を太陽の雛形一尺一寸ばかりの玉より三
	の	038	02	動植物同様にＣｅｌｌより集合したる所	の 一個の有機物ぢゃと云ふことを知るべきことぢゃ
	の	139	10	は無い．ナポレオンと方向は違へど智能	の 一点は劣りますまい．彼のスペンサー先生などは
	の	062	02	か思ふ所の卑屈心を生ぜしめたるは原因	の 一です．なぜなれば紳士貴女などが運動の為めと
	の	182	08	ちキリスト教の儒道や仏道と大に違ふ所	の 一で，また社会を改良する勢力ある所以で御坐り
	の	024	15	は無い他人が太陽系と付けましたのも私	の 言つた通りの訳柄だからで有ります．」さてこれ
	の	191	04	取り調べましたところがモンテスキュー	の 言つたことを人が解し違ひたので同氏がイギリス
	の	202	15	た人が有りました．果してＨａｌｌｅｙ	の 言つた通りに千七百五十九年の三月十二日に於て
	の	105	06	事件に付ては神戸在留の英国領事が今月	の 五日に言ひ渡しました判決に付て或る論者は「我
	の	264	13	を製しましたが之を御覧になると監獄学	の 一斑は一目してお分りになることで有りませう．
	の	182	15	くなるではありませんか．シテ見れば今	の 一夫一婦の風はこれが真理だから守るといふ訳で
	の	150	13	天皇とかいふものの組織，また其の職務	の 遺伝法といふものなどを書いたのが憲法で，憲法
	の	180	04	にありし時，我に来ればなり，此の兄弟	の 最微者の一人に行へるは即ち我に行へしなり」と
	の	244	07	法律の細目を定め，また時としては法律	の 委任を受けて某々の事を定むる等のもので，これ
	の	114	09	通りは知つて居れども，かうすれば自分	の 命に利が有るか害が有るかといふことは分らない
	の	135	10	々の願ひと望み，人の限り無き苦楽，人	の 命と死などのものが狭いものならば基督教の趣意
	の	236	14	ら世間に嫌はれ，中には之が為めに自分	の 命まで取られるやうな人が有つた．高野長英や渡
	の	239	04	田県，山形県，新潟県の七県の監獄巡閲	の 命を受けまして，去る六月九の午前六時に上野発
	の	240	02	れました．けれども元来，上官又は他人	の 命，又は依頼を受けて其の人の為めに見たことは
	の	246	03	うな考へが有りました．然れども孔夫子	の 言はれたる如く，人には多く過ちの有るものであ
	の	248	03	のしたことは悪かつた，如何にも教誨師	の 言はるゝ通りで有るから斯くの如く現在，地獄の
	の	255	06	之を持ち出しました．警察に於ては法律	の 違反者，又は国事に関係する者は探索することも
	の	248	12	者の判断を下し，果して罪ある者には刑	の 言ひ渡しを為すだけに止まりまして，さて其の刑
	の	216	09	か訳が有るだらうか」と云つた所が牝鹿	の 云ふに「それは大かた出てあるくときに人に射殺
	の	219	01	に云はれない面白みの有るのは今の学者	の 云ふ真の理と云ふものに近い訳でも有りませうか
	の	042	05	居ると思はれることぢゃ．Ｂｕｃｋｌｅ	の 言ふ様に進歩が無いと云ふ様なことは無い，進歩
	の	060	11	自由とか聞きかぢりの不理屈を唱ひ父兄	の 言ふことをも用ひずして酒を呑み煙草を喫し無益
	の	121	05	節酒する人も殖えませうし随つて西洋人	の 言ふ人間の品位と云ふものを上げることも出来る
	の	161	11	いふことが起り，また我慢といつて他人	の 言ふことを聴かずに我を張るといふことが起る．
	の	192	05	らの先生に承りますと公論といふはお前	の 言ふ輿論と違ふ，当時大名といふものがあつて其
	の	018	07	桜井先生が講談になりました．其れが私	の 今申しましたことと同じ趣意で御坐います．して
	の	163	16	るといふこともよく知れる．」また駿河	の 今川は歌舞を好み相摸の北条は酒を好み皆其の国
	の	034	04	を付けましたシビリザションといふもの	の 意味を尋ねますれば月の中には兎が餅を搗いて居
	の	043	08	教法とは大いに違ふ．野蛮の教法は道徳	の 意味は無くたゞ力の大いなるものを恐れ敬ふのみ
	の	232	09	云ふのは議定させるで無く諮問するだけ	の 意味で，諮問しなくても宜いと云ふのでは学問上
	の	255	16	吏は此の趣意を最もよく心に銘して監獄	の 賤しからざることを知り，監獄の大切なることを
	の	145	10	が有ります．さしあたり出版費と云ふ金	の いることが有る．併しこれも出来ないことは有る
	の	060	15	論しやうと思ひますが例へば今茲に種々	の 色を着けたる張り子の虎とダイヤモンドを出して
	の	121	02	さすることが，むづかしくて盲人に七色	の 色を見せる様なものだからよく事実を挙げて見せ
	の	021	05	のは空気が有つたり水が有つたり其の外	の 色々のものが有つたりするからです．然るにそん
	の	125	09	ので有りませうか．所謂る書生が起す所	の 色々の論は多く何に本づいたもので有りませうか
	の	125	12	に敵対したる者で御坐りませぬ．基督教	の 色々の反対論といふものは，おもに学術と基督教
	の	125	17	督教を承諾することが出来ぬと．これ等	の 色々の不承知を言ふお方の中に，よく熟したる学
	の	126	05	有りまする．けれども基督教に就て己れ	の 色々の不承知を言ふものが随分世間に多う御坐り
	の	126	08	以て成功することが出来ませうか．学術	の 色々の反対論に答へるには色々の仕方が御坐りま
	の	127	14	ることをよく承知して学者が世に出す所	の 色々の新らしい説，新らしい論，新らしい考へな
	の	127	16	で御坐ります．この様な教師が学者たち	の 色々の論を天の黙示，或は神の示現の如くに喜ん
	の	128	02	坐ります．ナゼと云ふならば西洋の学者	の 色々の新らしい論の中に無証拠な設理即ち後の穿
	の	128	03	鑿を助ける為めに学者が仮りに設ける所	の 色々の論，未だ学者たちでさへも学術の事実とせ
	の	128	05	う御坐ります．近来盛んに起つて来る所	の 色々の論の中に追々と学術のかたい事実となるも
	の	128	08	即ち各国の学者皆よく互に同意して近来	の 色々の新論を承知するまで待つ方が宜しう御坐り
	の	128	09	方が宜しう御坐りませう．其の外に学術	の 色々の論の中にたゞ一人か二人が起した所の論が
	の	128	11	りませぬ．若し遂に各国の学者皆な近来	の 色々の論を承知するときは此の論が我が宗教に関
	の	129	03	治家と学者と教師は不意に起つて来る所	の 色々の新しき論によつて容易に惑はされませぬ．
	の	130	17	数へも出来ぬ日月星を含む所の大空が人	の 色々の新論，新説，新発明によつて容易に変るこ
	の	131	01	間の心に植えられたる所の道徳の法も人	の 色々の浅ましい論によつて容易に変るものでは無
	の	131	12	ませぬ．其の両方の論を読む者は世の中	の 色々の激しき論の為めに不安心なることは滅多に
	の	131	15	つて而して之を以て其の演べる所の宗教	の 色々の面白い譬喩とし，また固い証拠を設けるこ
	の	132	04	する所の新旧約聖書の明文を以て基督教	の 色々の反対論に答ふることが出来ます．昔より今

代表形	判	ページ	行			出現文脈
（の）	の	132	06	敵が多う御坐りましたけれども，かの敵	の	色々の働きは水の外面に文字を書き或は刀を抜い
	の	132	08	シの残らぬもので御坐りました．これ等	の	色々の敵は既に久しき以前に世を去りましたもの
	の	132	10	構な仕方で有ります．ナゼといふのに人	の	色々の間違ひを駁つよりも真の道理を設ける方が
	の	132	11	いもので御坐ります．若しあなた方，世	の	色々の迷ひの中にて造物主の御心に本づいたる道
	の	135	09	といふことで御坐ります．また若し人間	の	色々の楽みと哀み人の色々の願ひと望み，人の限
	の	135	10	す．また若し人間の色々の楽みと哀み人	の	色々の願ひと望み，人の限り無き苦楽，人の命と
	の	166	09	研究し，また物理学，機械学，数学など	の	色々の学科の助けによつて世の中も益々開け行く
	の	218	03	．次に狭衣，取替へバヤ，住吉などの類	の	色々の作り物語が顕はれ後には栄花物語，続世継
	の	200	17	介なもので有ります．さてHalleyの	の	曰く「前々の順でゆけば，今から七十何年後には
	の	120	15	ます．今，申したのは西洋の学者が西洋	の	飲酒の弊害を除かんとの骨折苦心から出た話しで
	の	121	01	した．前に申した通り西洋の学者は西洋	の	飲酒の弊害を見て説いたことで有りますが私はド
	の	248	17	禁するかと云へば逃亡の虞れ有ると証拠	の	湮滅するおそれが有る為めに已むを得ず未決監と
	の	267	03	まする目的は逃走の虞れが有るのと証拠	の	湮滅する虞れがあるので起るもので有りまする．
	の	168	17	西から東に移つて来るとすると何か地球	の	引力にでも関係がある様に思はれます．ところが
	の	008	10	が分つたならばなかなか箇様に温かい褥	の	上に坐つて居ることは出来ませぬが，そんな人が
	の	015	06	の距離を測りまして其れから先きは地球	の	上で或る距離を測る時の通りに例の角度で月まで
	の	016	11	の眷属，地球の家来に違ひ無いです．月	の	上には山も有り谷も有りますから水も有り空気も
	の	018	01	いもので，よく調べて見ますと凡そ地球	の	上にあらゆる光りと熱は直接に太陽から来ないま
	の	021	08	に我々の住つて居ると同様に火星の表面	の	上にも人間か人間の様なものが住つて居るに違ひ
	の	021	10	言ものは人間よりほかは持たない，人間	の	上は直に神だと思つて居りましたが今では外の世
	の	021	17	に及ぶと云ふ様なことなぞは火星の表面	の	上には無いかも知れない．併し事によつたら火星
	の	025	10	小さいので有るかドウか分らない．家根	の	上から下をあるく人を見れば小さい，山の上から
	の	025	11	上から下をあるく人を見れば小さい，山	の	上から人のあるくのを見れば，まるで蟻のはふ様
	の	028	02	小さく見ゆるのは遠いのだと思へば平均	の	上では大違ひは有りますまい．そこで色々な星の
	の	030	02	沢山ありますが其の中で此のアマノガハ	の	上にある星が一番多い．又アマノガハの外にある
	の	043	05	が其れは全く昔の主義ぢゃ．其れ故政府	の	上でも矢張り道徳のことが，おもになりて居る様
	の	045	04	人民の害を為してあるに違ひ無い，法律	の	上で一般人民を害する法が有るのぢゃ．其れなら
	の	069	16	甚だ不便なことで御坐いますが一国政府	の	上から観ますれば供給者益々増しました時には政
	の	076	10	生ずるもので無いと言ひませうが一個人	の	上に付て言つて見ましたら，さうで無く法律も経
	の	084	13	り以降のことで御坐りました．或は貴国	の	上で申すならば勿論御維新の頃に当りませう．欧
	の	085	15	一つは人が既に持つて居る所の善き事柄	の	上に色々と他の善きモノゴトを添へ加へること．
	の	100	04	筈であらう，否な斯くの如き挙動は人情	の	上ドウしても出来あたはざる所であらうと考へま
	の	121	17	存じます．其れで警視庁の懲役場の罪人	の	上から調べて見ますと酒から罪を犯した者が随分
	の	122	12	は外のことからも起りませうが多くは酒	の	上から来るもので有りませう．就ては此の節酒会
	の	122	16	いかないものだが医者に懇意の人なら酒	の	上からドンな病気が起つたかと云ふことを聞くと
	の	122	17	とを聞くとか，警察官に懇意の人なら酒	の	上からドンな罪を犯した者が有るかと云ふことを
	の	141	03	部や枕の草子の清少納言などは固より雲	の	上の人にて別なことなれども其の他の小説家は概
	の	145	07	手本になるべき西洋小説を翻訳させ検定	の	上で之を出版せしめ続々売り出すがよからう．其
	の	161	14	に其の通りだ．元亀天正などの頃には酒	の	上から人を斬つたことが有つた．其の後，旗下ぐ
	の	161	15	とが有つた．其の後，旗下ぐらゐでも酒	の	上で家来などを斬つたことが有つた．実に悪いこ
	の	165	12	事を説くものでは無くて一国人民の総体	の	上に関係することを説くのだから論ずる所も大き
	の	166	11	ふものは事実の穿鑿をしない．たゞ考へ	の	上の道理を以て事実を見下す仕方だからモノゴト
	の	166	13	学風はさうで無い，事実を穿鑿して事実	の	上から道理を見上げる仕方だからモノゴトの道理
	の	176	07	ものであります．この調べの方法は事実	の	上から道理の知れるやうにしなければなりませぬ
	の	178	04	口上なりとせず相互に問答研究して学理	の	上より我が帝国の将来を知るの方法あらば何の仔
	の	197	11	でも止まつてしまつたとすると直に太陽	の	上に落ちる筈になつて居ます，幸に地球は非常に
	の	227	08	のやうなものになつて居りました．大名	の	上には将軍と云ふものが有りましてイクラか大名
	の	272	10	云ふ部に這入つてしまへましたから名前	の	上では島地監獄と云ふものは消えた有様になつて
	の	167	06	功徳を及ぼすやうになりませう．さつき	の	宇川さんの「離縁の話し」なども，まだよく分ら
	の	255	04	うですが，これ等は昔の人の為めに我々	の	受ける迷惑で有らうと考へます．コンナことを申
	の	215	15	の一番古いところは昔々隠岐の国に一疋	の	兎があつた所が其の兎が内地の方へ渡らうと思つ
	の	101	09	でない強情でない頑固でないといふかと	の	疑ひがあるかも知れぬが，これは直ちに分ること
	の	110	15	であれば幾分か公平の裁判を為さざるか	の	疑ひ無きを得ませぬ．故に寧ろ其の管轄を横浜に
	の	130	01	人の中に基督教の結局の勝敗に就て色々	の	疑ひを起すものが有るのは不思議なことでは御坐
	の	110	11	不思議と思ふより外は無い．若しや我輩	の	疑ふ所をして事実に違はざらしめば彼等はマーダ
	の	164	11	す．なんぞぞ意はん英将，便に乗じ衣袋	の	内より紙を取りて数字を揮毫し某弁に頤指し施措
	の	177	16	ば，よき例あり．昔アリスメデスが入浴	の	内より俄かに飛びだして我れ之を発明すと呼びつ
	の	228	01	やうなものです．何にしろ日本と云ふ国	の	内には沢山に小君主国が有つたやうな有様で御坐
	の	174	01	積ると明治十五年から同十八年まで毎年	の	生れた数から死んだ数を除いたものと就籍等の増
	の	270	03	ぬか．また，不良少年の多少は其の教育	の	有無に関係することが最も甚しいものと見えまし
	の	137	16	とで四書五経よりは馬琴の八犬伝や春水	の	梅暦の方が面白い．西洋のスペンサーやミル，ベ
	の	142	14	其の仕組は大体きまつて居ります．春水	の	梅暦が先づお手本でドレを見ても一つこと．初め
	の	143	11	有る，其の中でもよいと云ふ米八丹治郎	の	梅暦，小三金五郎の娘節用の如きものもたゞ男女

代表形	判	ページ	行		出現文脈
(の)	の	076	15	利で無ければ害，害で無ければ利で着物	の 裏表の様に離れないもので有るから場合によつて
	の	105	08	して我々同胞二十五名の霊魂を慰め遺族	の 怨みを晴らすべき判決が有りさうなものだのに不
	の	106	13	我が同胞二十五名の霊魂を慰め其の遺族	の 怨みを晴すべき公平正当の裁判あらむことを冀望
	の	243	14	治の方針を定むるだけにして，其の実際	の 運転は総て行政権に於て之が執行を掌ることで有
	の	061	13	つては終日安居する人にして日々幾分か	の 運動を要する人の散歩するに方つて尚ほ人力車を
	の	170	11	れます。さて日本人が一たび海外に移住	の 運動を始めるやうになつたらドコを好んで行きま
	の	171	11	ことに，なつたといひますから移住出稼	の 運動が始まつたら益々便利になりませう．また我
	の	173	16	ふから）何にせよ早かれ遅かれ必ず移住	の 運動をしなければ，ならぬことがあります．其の
	の	176	02	ありますから追々勇み進んで移住出稼ぎ	の 運動を始めるやうになりませう．これはチョイと
	の	176	14	除きて此に入れるなど，総て移住出稼ぎ	の 運動に係ることは一切載せて其の地，其の人に網
	の	197	03	有ります．天文学は近来進歩して，彗星	の 運動のことに付てはドコから出てドコに帰ると云
	の	197	15	からで有ります．Ｎｅｗｔｏｎから惑星	の 運動の律が分りました．そこでＮｅｗｔｏｎは惑
	の	197	16	分りました．そこでＮｅｗｔｏｎは惑星	の 運動のことを発明したのみで満足をしないで，総
	の	209	02	ますが彗星はイクラ引つぱつたとて地球	の 運動に狂ひは有りません．また非常に稀薄なもの
	の	052	11	一筆啓上」と書く様にはいかないで仮名	の 運用に順序が付かないから兎角「いつぴつけいじ
	の	063	17	飲み昼夜寤寐を分たず実に人間たるもの	の 得て為すべき業に非ず犬馬の業と云はなければな
	の	067	06	ませぬが今日は幸ひに此の盛場に列する	の 栄を得ました．且法律経済の二科に就て卒業をせ
	の	071	07	平均である」と云ふ如き盛時に遭遇する	の 栄を得むことを諸君と共に熱心希望することで御
	の	105	06	マントン号の沈没事件に付ては神戸在留	の 英国領事が今月の五日に言ひ渡しました判決に付
	の	105	09	有りさうなものだのに不当にも神戸在留	の 英国領事は之を判決して無罪としたのは実以て言
	の	105	10	は「兵庫県知事より求刑したに付き神戸	の 英国領事庁に於て開かれたる法廷を以て船長等の
	の	110	14	とを冀望いたします．然れども神戸在留	の 英国領事は既に一旦船長を怠慢なしと認めたるも
	の	176	01	上手になり運動も自在なのによつて今日	の 英国を為した訳であらうと思はれます．我が国人
	の	024	09	に見えます．此の筋と同じ向に彼の四つ	の 衛星が時としては玉を並べた様に四つとも一直線
	の	274	15	スに於ては千八百七十年にこれまた非常	の 英断を以て地方監獄を中央政府の直轄と定め以て
	の	235	06	とは出来ませぬが諸君の刻苦勉励で今日	の 栄誉を得られたことで実に感ずべきことで有りま
	の	220	14	の国に居た大福長者の話しなど種々様々	の 画入の慰み本が出来ました．かの桃太郎，カチカ
	の	063	02	ひながら安閑として囲碁や将棋を弄び何	の 益もなきのみならず衛生に害ある囲碁等にワザと
	の	080	13	には現に成り立つて居る人の善き所，人	の 益になる所人の品位を上げる所のものを能く養ふ
	の	086	03	ませうか，また，これ等の善き性質，人	の 益になる原素，人を貴くする所のものは如何なる
	の	087	09	答が出来まする．また人の善き性質，人	の 益になる原素，人を貴くするモノゴトは如何なる
	の	124	11	す．彼の卒業生が其の働きと其の務めと	の 益になるものに会ふことは多う御坐りませう．こ
	の	132	02	つかへさせることが出来ます．この仕方	の 益は少なく御坐りませぬ．第六．また総て神学卒
	の	234	05	先生が有つたからとて其の様な学校は何	の 益にも立つことでは無い．其れよりか今少したつ
	の	073	14	ｎｒｙＤａｎｎｉｎｇＭａｃｌｅｏｄ氏	の ＥｌｅｍｅｎｔｓｏｆＰｏｌｉｔｉｃａｌＥｃｏ
	の	061	12	にのみ使用せずして事の緩急に拘らず道	の 遠近を論ぜず乗り回る様になり甚しきに至つては
	の	206	01	が肉眼で見出して名高くなつてベルリン	の Ｅｎｃｋｅと云ふ人が（これは前のＣｌａｉｒａ
	の	223	13	れは今云ふ筋書のやうなもので其の時分	の 演劇の有様を見るに足るもので御坐います．そこ
	の	001	07	の御臨席を願ふに付ては其の方にも席上	の 演説をせよとのこと．私は一向仮名のことに付て
	の	049	03	時半を費して最早五時にもなり猶ほあと	の 演説も有ることであれば甚だ不完全ながら今日は
	の	073	05	々過刻より卒業証書の授与また卒業諸君	の 演説などが有りまして賢才の輩出し教育の盛んな
	の	097	10	ることに尽力されむことを願ひます．私	の 演説は此に止めませう．尚ほ委しきことは大谷木
	の	123	08	ませう．節酒と云ふことは先刻湯本さん	の 演説にも言はれた通り教育上にも余程な関係のあ
	の	177	13	で，この演説をしまひませう．右は一席	の 演説にて一大事の方法を述べたれば学理上には不
	の	180	16	す．然しながら是は一大問題で中々一席	の 演説に論じ尽せることでは御座りません．只私は
	の	242	05	，看守，等凡そ四五十名の前に於て一場	の 演説を致しました．其の演説の大趣意は其の時の
	の	079	04	Ｆ，Ｖｅｒｂｅｃｋ君演説只今弁ずる所	の 演題は「基督教は社会進歩の為めに必要なり」と
	の	002	04	かなのとも」で有るか又は何で有るかと	の お尋ねで有りました．私は「かなのとも」か，い
	の	006	16	所が，さううまくは参りませぬ．泉川君	の お尋ねにドウで有うか仮名の会は俄に盛にならう
	の	007	11	せぬが歎はしいことは大臣や参議に名筆	の お方があるので少輔も大輔も字を習ふ様になる．
	の	017	04	た様なもので有ります．先づ此の位で月	の お話しはおきまして此の外に何ぞ地球の近所に居
	の	019	07	居て滅多に離れない太陽の秘蔵子，太陽	の おそばさらずが有ります．此の星を水星とも申し
	の	033	07	諸君から亨二にも是非演説をしてくれと	の お頼みゆゑ亨二は亨二だけの賛成いたした趣意を
	の	036	08	も大いなる欲の仲間にはいつて段々諸君	の お力を以て益々盛大にし智慧を研き身体を丈夫に
	の	036	11	トガメテの無いことでせう．どうか皆様	の お骨折りを以て大変の社会になることを希ひます
	の	051	06	コシ文字は不便であるといふことは諸君	の お話しもあり殊に外山君の御演説は尤もで何も彼
	の	055	09	て漢字をやらして居ります．ドウゾ皆様	の お骨折りを以て全く仮名の世界にしてしまひ，秦
	の	073	10	私もその法律と経済との関係に付て一つ	の お話しを致したい．さて法律の学科と経済の学科
	の	119	05	大日本節酒会の納会で有りますから諸君	の お骨折で此の会の盛んになつたのを祝して何かお
	の	119	10	外では無い矢張り酒の事で今も三島先生	の お話しの有つた通り酒は多く飲んでは宜しく無い
	の	124	06	望いたします．併しまた若し図らず今度	の お話しの序に僅でも其の他の聴衆諸君の御為めに
	の	137	04	君演説小生は妙な問題を持ち出して諸君	の お聞きを煩はすは小説改良論で御坐りますが今日
	の	145	13	の所ではこればかり．其れでも貴顕の人	の お言葉がかゝつたとか何とか云ふので思ひの外，

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（の）	の	146	08	非やつて貰ひたいと思ひまして聊か諸君	のお耳を煩はしたことで御坐ります．行政法大意第
	の	151	08	書記も官吏です．併しこれは文字の定義	のお話しです．第二は此の公法の原則，即ち憲法で
	の	156	04	した．其れは天円地方と言つて支那以来	のおキマリになつて居て私なども子供のとき孔子様
	の	158	15	になれば，なるものでごすネ．昔は仏教	のお寺の前には雷門と云つて大層な勢ひで，コンナ
	の	203	10	彗星と云ふものは極遠から極遠に，一時	のお客で有つて，チョイと来てすぐ帰る，其れだけ
	の	225	07	で，たゞ古るめかしいことを述べて諸君	のお耳を煩はしました．行政法大意第三回明治二十
	の	230	17	ければならないものです．右は行政区画	のお話しで有りますが其れから行政上の仕方になり
	の	233	04	館に於て加藤弘之君演述先刻，幹事さん	のお話しの有つた通りに此の専修学校は明治十三年
	の	233	07	其の後ち段々盛んになつて先刻幹事さん	のお話しのやうに生徒の数も多くなり，また卒業生
	の	251	10	することになつて居りまする．然れば右	のお疑ひは晴れませう．今度は未丁年の不良者であ
	の	087	04	は容易に致しませぬ．併しながら不案内	の御方が疑ひを起して「イゝエ基督教はさほどに高
	の	090	06	極古い所に申して御坐ります．即ち「神	の御言葉はこの浮世の旅人の道を照す光りの如し」
	の	124	07	のお話しの序に僅でも其の他の聴衆諸君	の御為めになることが御坐るならば，なほ有り難き
	の	124	12	りませぬ．ナゼといふに使徒Ｐａｕｒｏ	の御言葉によつて見れば伝道の為めに働く者は皆，
	の	136	08	ども聖書の高い所からして憚りながら神	の御眼を借りて世の中の有様を観れば面白いことは
	の	155	10	見えない．先づ学問といふものは御存じ	の御方には言ふに及ばないがヒョットすると御存じ
	の	209	08	には心の所だけは堅まつたもので，あと	の尾や他の部分は瓦斯体で有ると云ふ者も有ります
	の	211	13	の間では有りますが現にアリアリと彗星	の尾の中に五時間が六時間，居つたに違ひ有りませ
	の	212	01	と云つただけで有りました，其れが彗星	の尾の中に居つたので有ります．また彗星の頭のコ
	の	167	17	に智識交換の為めに書くものや法令文書	の往復まで先づドウかカウか行はれて居ますが若し
	の	002	10	はない．ナゼそんなら仮名の組の中で人	の多い所へはいつたかといふに何でもよい片仮名で
	の	139	10	の芝居を書きましたる人なるが其の智能	の多いことは凡庸では無い．ナポレオンと方向は違
	の	184	11	ら恐らくは世界中に我が邦のやうに離縁	の多い所は有りますまい．其れは兎に角に今日我が
	の	043	08	．野蛮の教法は道徳の意味は無くたゞ力	の大いなるものを恐れ敬ふのみのことぢゃ．禽獣で
	の	219	16	の風俗を知ることが出来て歴史編纂など	の大いなる資けとなります．其れからして保元平治
	の	229	12	べきもので有るに違ひ有りませぬ．戸長	の大いなる町，即ち市街のものを区長と名づけます
	の	062	08	必要なものと云ふことを知らざる野蛮人	の多きと我が邦人民の身体の価直の廉なるとは原因
	の	063	12	あるときは非常の多数にしてツマリ濫用	の多きシルシでありませう．されば人力車濫用の弊
	の	064	06	とでありませう．現に人力車夫に頓死者	の多きは諸君も既に御承知のことでせうが是れ必竟
	の	204	08	に死なれました．其の後に出ました一番	の大きいのは千五百三十一年の前，即ち千四百五十
	の	012	14	ばならないことが有ります．其れは地球	の大きさのことで御坐います．地球は我々の身体に
	の	016	02	其の大きさは容易に勘定が出来ます．月	の大きさは地球よりは小さい．地球はさつき申しま
	の	020	14	と同じ事です．其れから火星と云ふ惑星	の大きさはどの位かと言ひますと地球よりは少し小
	の	027	16	其の問題は本当には解けない．いくらか	の大きさに見ゆる星は小さいものが近所に居るのか
	の	200	08	星もドンナ形ちで尾の長さがどの位，心	の大きさがどの位と帳面にとめて有つて，言はば人
	の	163	05	で狂乱の様子が有つた様だ．其れが信長	の大疵だ．或るとき七合入の盃を出して柴田勝家に
	の	157	10	んが地は回ります」と言つた．実に度胸	の大きな奴さネ．これは学問をなすつた方は御存じ
	の	229	05	から区と云ふものが有ります．区は市街	の大きな所を郡より引きはなして区と定めるので例
	の	118	03	節酒会にても成るたけ堅く約束を守る人	の多く有るやうに致したいと思ひます．私が今日申
	の	002	02	の会の会員ださうだが見込を聞きたいと	の仰せ．私は別に見込は無いと申したら，一体お前
	の	130	17	坐ります．数へも出来ぬ日月星を含む所	の大空が人の色々の新論，新説，新発明によつて容
	の	256	06	第二は私の救助で有ります．其れで第一	の公けの救助と申しますものは全国，又は府県，若
	の	014	09	い谷などで有ります．山だの川だの谷だ	の岡だのは地理書に有ることで地理書とは地球の学
	の	179	09	臨を預言した語に「諸の谷は埋められ諸	の岡は夷げられ曲りたるは直く嶮しきは易くせられ
	の	255	09	まで探すものでは有りませぬ．されば昔	のオカッピキは悪かつたから今の警察官は賤しむべ
	の	139	14	したら上はクエン陛下より下は裏店社会	のおかみさんまでが其のクシャミの仕様までをも，
	の	217	02	ので有りませう．竹取物語の大意は竹取	の翁と云ふ人が竹を割つた所が中から奇麗なムスメ
	の	135	15	実に明かになります．神田橋外の学習院	の奥の庭には面白いものが御坐ります．かの庭の中
	の	054	09	いた本が入り用で御坐ります．内田先生	の奥方がお拵へになるさうですが真に喜ばしいこと
	の	217	16	道に拠つたと云ふ旧説の有るに倣つた私	の臆測で御坐います．其れから色々の物語が出来ま
	の	046	15	も一つの社会を為さぬ者同士の間に道徳	の行はれると云ふことは無い道理ぢゃ．西洋人が亜
	の	047	07	道徳が行はれねば其の時こそ始めて道徳	の行はれぬのを歎くがよい．今各国の間に道徳が行
	の	048	16	はれる道理が無い．今日各国の間に道徳	の行はれぬは決して怪むに足らぬことぢゃ．道徳は
	の	185	16	述べられた通り我が邦に於ては儒道仏道	の行はれた結果として昔より男を尊び女を卑しむ風
	の	186	01	本ばかりでは御坐りません．キリスト教	の行はれぬ国では何処でも男尊女卑の風習の行はれ
	の	186	02	行はれぬ国では何処でも男尊女卑の風習	の行はれぬ所は御坐りません．印度や土耳其の婦人
	の	035	01	人は何れも酒を慎んで欲の深い人で今日	の行ひをよく省みて智慧を研き身体を丈夫にし財を
	の	133	01	て実に固いもので有ります．また卒業生	の行ひの証拠はたゞの議論に負け易いもので御坐り
	の	134	14	に基督教の善を顕はして而して其の総て	の行ひを以て基督教に付て堅い証拠を立てねばなり
	の	247	17	目的は「汝の為したる所業は悪い，人間	の行ひはコレコレにしなければならぬ」と云ふやう
	の	102	16	られぬといふことがノルマントン号事件	の起るべき大原因となつたのであらうと考へる．若
	の	114	17	犬猫には分らない．して見ると本当に命	の惜いといふことを知つて居るものは人類ばかりと
	の	115	01	かりと言つて，よいもので，さて其の命	の惜いといふ欲は飲食の欲よりも貴い欲で有ります

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（の）	の	115	16	．人類の第一の欲は前に言つた通り身命	の	惜いといふことで第二の欲は今言つた品行を善く
	の	043	16	になりて来たのぢゃ．若し初めより仏法	の	教が行はれたらば人類は亡びたであらう．又今日
	の	044	01	勝を取りたからぢゃ．若し初めより耶蘇	の	教が行はれたらば文明は起らぬであらう．併しあ
	の	044	03	教法者も其れを矯めようと云ふので右様	の	教を起したのぢゃ．曲りたものを真直にしようと
	の	134	12	貴いもので御坐ります．先づ基督教は善	の	教で御坐りまする．即ち世の中に於て善の勢ひを
	の	159	08	と唱ひ其の時分には老子の学問とも老子	の	教とも言ひ，孔子の学問とも孔子の教とも言ひ，
	の	159	08	老子の教とも言ひ，孔子の学問とも孔子	の	教とも言ひ，仏学とも仏教とも言ひました．西洋
	の	180	08	る者の差別なし，皆兄弟たり」との聖書	の	教では御坐りませんか．殊に婦人の地位を高くし
	の	181	08	に此の力がある訳は先づ第一に一夫一婦	の	教で御坐ります．即ち一人の夫にして一人以上の
	の	181	17	で御坐ります．ナゼなれば若し一夫一婦	の	教が行はれなければ男女の関係が宜しきに適ひま
	の	182	05	を改良するに最も必要なことは一夫一婦	の	教の普く行はるゝことで御坐りますがキリスト教
	の	182	09	御坐ります．然し左様申せば「一夫一婦	の	教は何もキリスト教に限ることでない．儒道や仏
	の	182	10	リスト教に限ることでない．儒道や仏道	の	教は兎も角も実際一夫一婦は即ち古より我が日本
	の	183	09	も此処に雲泥の違ひが御坐ります．儒者	の	教にも妻が夫に対して貞操を守るべきことは随分
	の	184	05	するもので御坐ります．第二には聖結婚	の	教即ちキリスト教に於ては結婚を以て神の定めた
	の	184	06	律法とすることで御坐ります．一夫一婦	の	教の大切なことは前に述べた通りで御坐りますが
	の	184	08	て他の女を娶ることが出来ては一夫一婦	の	教も何の役にも立ちません．自分の気に入らぬと
	の	184	10	云つては出ししたら，ドウして一夫一婦	の	教が立ちませうか．誠に恥かしいことながら恐ら
	の	185	12	ることに相違御坐りますまいが儒者七去	の	教も其の一大原因であると申さねば，なりません
	の	185	15	ければ，なりません．第三には男女同等	の	教で御坐ります．前の弁士も述べられた通り我が
	の	186	15	ますが細かいことは挙げんでも以上三つ	の	教，即ち一夫一婦の教，聖結婚の教，男女同等の
	の	186	15	挙げんでも以上三つの教，即ち一夫一婦	の	教，聖結婚の教，男女同等の教ばかりでもキリス
	の	186	15	上三つの教，即ち一夫一婦の教，聖結婚	の	教，男女同等の教ばかりでもキリスト教は社会改
	の	186	15	ち一夫一婦の教，聖結婚の教，男女同等	の	教ばかりでもキリスト教は社会改良の事に於ては
	の	159	09	ひ，仏学とも仏教とも言ひました．西洋	の	教へ方は天で，天主を立て天上，天国，天界，大
	の	159	10	カラダ，タマシヒまでを製造するが西洋	の	教へ方で東洋には向きが悪い．天地を天主がこし
	の	261	09	会社の管轄と致し，将来の犯罪人となる	の	恐れ有る貧民は養育院の如きものの管轄と致し，
	の	248	17	るものを監獄に拘禁するかと云へば逃亡	の	虞れ有ると証拠の湮滅するおそれが有る為めに已
	の	267	03	故に監獄に入れて置きまする目的は逃走	の	虞れが有るのと証拠の湮滅する虞れがあるので起
	の	178	03	過ぎしならん．ネウトンのつむりに林檎	の	落ちしも痛みしならんと笑ふの類に止まるは面白
	の	207	11	春秋」に「星隕如雨」とありましたが星	の	隕るのが雨の如くではアンマリひどいことであら
	の	040	07	では男女共同の方が正しいので若し一人	の	夫が一人の女房をもつと却りて道に背くことにな
	の	181	08	に一夫一婦の教で御坐ります．即ち一人	の	夫にして一人以上の妻を有つことを許さず妾を蓄
	の	133	15	随分，奉公人を多勢使ひますが中に一人	の	鬼の如くにけしからぬイタヅラな奴が御坐りまし
	の	158	16	やつて居たが（このモノマネだけは今日	の	お負けだ）其の大層な勢ひの雷が今日は電信局の
	の	134	16	りませうけれども先づ今日説きまする所	の	おもなるものは，これで御坐ります．併しながら
	の	088	05	の緊要なることを能く顕はす故に其の中	の	重もなる所を申しませう．第一．先づ種々の進歩
	の	201	10	ツもスタスタあるきましたが途中で身分	の	重い人に遇ひますと丁寧にジットしてお辞儀を致
	の	130	10	すべき筈のもので御坐ります．優勝劣敗	の	面白い法則により，やがて二千年ぢかく生存した
	の	131	15	して之を以て其の演べる所の宗教の色々	の	面白い譬喩とし，また固い証拠を設けることが出
	の	220	04	り物語だと云はれましたが如何にも文章	の	面白いだけにお負け話しが有ることで有りませう
	の	140	09	が其の著作はまた実に旨いもので筆先き	の	オモシロミと言ふは別なもので御坐ります．時代
	の	073	08	なことを陳述いたしたう御坐んすが格別	の	思ひ付きも御坐んせぬから甚だお聞き苦しう御坐
	の	129	07	敵とするもので御坐ります．これ等の人	の	思ふには近来盛んに開けた所の学術の為めには基
	の	129	14	は有るまいか」と云ふ．箇様な臆病な人	の	思ふには学術はけしからぬものにして人の額に鬼
	の	099	07	因が無ければなるまいと考へまする．私	の	おもへらく，此の度の事件の大原因は「軽蔑」と
	の	223	12	時分になつては三番続き五番続きの狂言	の	趣きを版にしたのを今も好事家は持つて居ます．
	の	217	01	物語が始めで源氏物語にも物語の出来始	の	親と記して有ります．其の作者は分りませぬが文
	の	157	01	んだが，日本では此の間まで宮様が教法	の	親方だつたが今は其れも無いが，モト羅馬法皇は
	の	223	02	足利の始めに観世氏の祖，観阿弥世阿弥	の	父子が奮発して其れまでの猿楽の舞を修正して多
	の	214	15	探り得る美術てあつて，かの高尚な哲学	の	及ばない所をも識り得ると云ふトテツも無いこと
	の	029	16	れに譬へられて仕合せです，迚も銀など	の	及ぶことでは無い．其れも昔は銀河はどんなもの
	の	119	15	にもＺｓｃｈｏｋｋｅと云ふ人は酒の害	の	及ぶ所を簡短なる言葉にて「酒を好むことは悪鬼
	の	121	10	かと思はれます．其れに就ては酒の弊害	の	及ぶ箇条が有りますがドウしたらば此の調べが付
	の	060	01	何様な田舎に行つても山奥を尋ねても熊	の	居らないではないザンギリアタマの無い所や蝙蝠
	の	237	14	人のと比べて見れば何でも無いことで骨	の	折りよい所へ骨を折つて，オマケに己れの大利益
	の	019	09	たもので，正月元日の或る時刻に此の星	の	居る方をあき方とか何とか唱へて賞翫したもので
	の	120	08	麦酒などが移住して来まして此の節は私	の	居る神保町近辺を通つて見ても麦酒屋が沢山に出
	の	120	09	ても麦酒屋が沢山に出来ました．昔は私	の	居る近辺は大抵，旗下屋敷で有つて神保町辺から
	の	201	05	にむつかしいことが有るので，ヨホド骨	の	折れるもので有ります．一体，彗星は長の旅をす
	の	201	01	る望みは無いが後の人が千七百五十八年	の	終りか五十九年の初めには見つけるであらう」と
	の	201	02	断言しました．ところが，この五十八年	の	終りか五十九年の初めとばかりで何月何日と云ふ
	の	173	01	で養はれて居り天恩，君恩，主恩，父母	の	恩，また長老朋友などに対してあの人は恩人だと

代表形	判	ページ	行	出現文脈		
（の）	の	204	04	星を占つて，もらつた所が「これは天子	の	御身の上に宜しからんことが有るから功徳の為め
	の	186	07	らば男も矢張罪人であるし，若し男が神	の	恩恵を蒙るべきものならば女も同様に神の恩恵を
	の	186	07	恩恵を蒙るべきものならば女も同様に神	の	恩恵を蒙るべきものと致します．故に新約書にも
	の	186	13	ために働くことを励ますこと，婦人特有	の	温柔謙遜の徳を貴ぶこと，其の他にもまたキリス
	の	184	08	も若し何時でも勝手次第に妻を出して他	の	女を娶ることが出来ては一夫一婦の教も何の役に
	の	185	01	ない．姦淫の故でなくして妻を出して他	の	女を娶る者は姦淫を行ふ者で其の出された婦を娶
	の	219	09	，頭の中将，外に両名ばかり集つて世間	の	女の品定めをし女の種姓のことや器量のことや芸
	の	027	16	山ありますが其れは小さいから見えない	の	か遠いから見えないのかといふと其の問題は本当
	の	027	16	さいから見えないのか遠いから見えない	の	かといふと其の問題は本当には解けない．いくら
	の	027	17	さに見ゆる星は小さいものが近所に居る	の	か，大きなものが遠くに居るのか知れるものでは
	の	027	17	所に居るのか，大きなものが遠くに居る	の	か知れるものでは無い．さりながら，ならして言
	の	110	05	人十二人の死が乗つた端艇は漕いで来た	の	かといふに，たゞ風の為めに吹き寄せられて来た
	の	210	06	無く，マルデ訳が分らないから騒がない	の	かも知れません．方々で「今度は世界のシマヒだ
	の	004	16	は，これまでの様に字ばかり習つて居る	の	が支那におハムキは宜しいが今日は散切り坊主で
	の	006	07	でも実物の方はお留守で字の講釈に止る	の	が有る．諸県へお役で出た人の話にも偏がドウだ
	の	006	08	にも虫の訳は説かないで字の講釈をする	の	が多い．動物学の講義でも植物学の講義でも文字
	の	007	09	々上手になる．其れだから漢字を廃する	の	が益々イヤになる．其れでよいことで有るかは知
	の	014	10	と思つて居たに月の表面にも山だの谷だ	の	が有るからは月が地球と似たものでは有るまいか
	の	014	11	番に地球の様に円い，其れに谷だの山だ	の	が有る処がよく似て居る，其れでは大きさはどの
	の	014	14	いの論は立ちませぬから先づ距離を測る	の	が第一番のことで有ります．そこで月までの距離
	の	016	07	尺離して直径二分七厘の玉をおきました	の	が月の雛形になります．距離も随分遠く大きさも
	の	017	12	一尺ばかりの玉を三丁半の距離に置いた	の	が太陽になります．一寸の玉は手の指ででもまは
	の	019	06	の山陽の詩に「太白当舟明似月」と云ふ	の	が此の星のことで御坐います．其れからまだ辰星
	の	022	01	さうしたら金星か其の外にズット進んだ	の	が有るに違ひ有りませぬ．そこで其の通りにイク
	の	022	05	通つて居るものも有る．一番遠方に居る	の	が海王星で十一億三千七百万里で有ります．そん
	の	022	10	分七厘余の玉を一丁十五間の所に置いた	の	が水星の雛形になります．其の次ぎは宵の明星即
	の	022	14	六丁の処に五分三厘に足りない玉が有る	の	が火星の雛形で有ります．これまでは皆地球より
	の	025	09	とは眼で見て小さいので眼で見て小さい	の	が果して小さいので有るかドウか分らない．家根
	の	026	02	でに知れて居ります距離の中で一番近い	の	が今の物さしの二十二万千八百倍で有ります．地
	の	028	17	る星も矢張り同じ様な運動をして居ます	の	が有ります．して見ますと果して我々の太陽系は
	の	031	04	粒々とした星のかたまりの様に見えない	の	が有ります．其れは星雲と言ひまして近世になつ
	の	039	06	有る社会が有るが其の中にも女子を殺す	の	が多いことで其れが善いことになりて居る．其の
	の	040	02	盗賊を賞するのと同じことで何でも強い	の	が徳義で有りたと見える．そこで事柄が一つぢゃ
	の	041	11	りた．其れも進化した国では分れて来る	の	が当然ぢゃが進化せぬうちには，たゞ一つの風習
	の	047	06	各国が今日まで未だ一つの社会にならぬ	の	が歎はしいと言ふ方がよい．各国が一つの社会に
	の	047	09	いものぢゃ．其れの出来ぬのを歎息する	の	が歎息の順序で其の後に猶ほ道徳が行はれぬなら
	の	052	16	来の様な文体となり其れで記録を書いた	の	が東鑑，其れが段々流れて来て一筆啓上といふ様
	の	052	17	な文体になつたので漢文で公文を書いた	の	が流れて来たので御坐ります．其の間に平仮名を
	の	077	01	至つては実に錯雑を致します．害を除く	の	が利を興すのであり利を興すのが害を除くのであ
	の	077	02	害を除くのが利を興すのであり利を興す	の	が害を除くのである様のことが社会の事柄の多分
	の	093	15	事件の如きは我が国に於て之を裁判する	の	が順序でありませう．なぜなれば安寧に関する法
	の	094	05	判法理に照せば日本の裁判権理に付する	の	が至当で御坐りませう．併し今日は治外法権が存
	の	099	09	るの心あり彼等は我々を軽蔑する心ある	の	が此のことの原因となりしに相違なし．諸君試み
	の	101	05	の如く長く耐へることの出来ないといふ	の	が，これぞ日本人が外国人から軽蔑を受くる原因
	の	102	06	する．日本の国情が西洋に知れて居ない	の	がこれ亦軽蔑の一原因であります．私は固より日
	の	107	09	が有るからには英国の法律を取り調べる	の	が必要であると考へます．英国の法律には諸君の
	の	108	06	の所為は何に当るといふことを審究する	の	が必要のことと考へます．然るに其の所為はマー
	の	117	06	が無い．信用を破つては済まないといふ	の	が人類的の貴い欲で有ります．此の会が有つてお
	の	121	07	るに随つて人間の品位が段々と上るべき	の	が酒を飲む為めに却つて段々と下つて来る様では
	の	138	03	ることを忘るゝ様なことも有り飯を喰ふ	の	が面倒な思ひも有りまする．私が或るとき病気に
	の	150	10	の中で刑法，治罪法を除けば憲法といふ	の	が一つであります．憲法は其の国と人民との成り
	の	150	14	の職務の遺伝法といふものなどを書いた	の	が憲法で，憲法と言へば一国組織の謂であります
	の	157	15	が其の前は天と言ふものが動いて居つた	の	がガリレオから後は天を動かしたいとしても動か
	の	158	02	実際，真実の所をカッキリと落ち付ける	の	が学問でござす．誰でも知つて居る通り万物万事が
	の	158	03	物万事が政治は政治学，万物の理を知る	の	が物理学でやるのだからドウしても動きません．
	の	159	01	来ないが実際人々の精神に，のみこんだ	の	が学問の実際といふものに違ひない．教法の極点
	の	160	03	死んだなら消つきりのものかを穿鑿する	の	が教法の持ち前でござす．さう煎じつめると学問は
	の	160	04	天地間の物をカッキリと心に落ち付ける	の	が学問の極点で，教法は心の本体なるものは如何
	の	160	06	ものか消るものかドウなるものかといふ	の	が教法の極点でござす．一言につめると学問教法と
	の	173	04	「畜生」などと嘲けり罵つて交りを絶つ	の	が今日民間の常であります．我が国の人はこの恩
	の	190	05	，其れから行政上の法律規則を執行する	の	が行政府である．第三には裁判権であります．裁
	の	190	08	りして裁判所に委託してやらせるといふ	の	が一般の有様であります．今日の裁判は委託裁判
	の	192	02	たに何事をもきめることが出来るといふ	の	が今日の有様即ち昔からの有様であるのです．立

代表形	判	ページ	行	出現文脈		
（の）	の	192	06	決するか議決するもので大名輿論といふ	の	が正しいといふことでありましたが其れは範囲の
	の	193	17	るといへば例へば家を建てて住ふといふ	の	が目的であれば此の原則には開闢以来カハリは無
	の	196	05	で居ながら「何でもないことだ」と言ふ	の	が流行りまして旧は理屈を知らなくつて「こはい
	の	196	14	一人も無く，太陽は朝出て毎夕ひつこむ	の	が当り前だと思つて居るやうです，（尤も実は朝
	の	196	15	，太陽が出るのでは無くつて太陽の出る	の	が朝なので有りますけれど）．故に彗星はドンナ
	の	199	15	ない．さういふことが出来やうかと云ふ	の	が其の時の問題で有りました．そこでＮｅｗｔｏ
	の	200	17	順でゆけば，今から七十何年後には同じ	の	が出て来るに相違ない，自分では見る望みは無い
	の	203	02	すがＨａｌｌｅｙの時までは知れなんだ	の	が今度はよく知れて，どの位な作用が起るかとＰ
	の	203	06	て居りました所が今度は十三日と言つた	の	が十六日に来ました，丁度七十五六年の中で僅か
	の	206	05	七百九十五年，千八百十五年に出ました	の	が其れと同じ道をあるいて居りました．これは一
	の	207	11	に「星隕如雨」とありましたが星の隕る	の	が雨の如くではアンマリひどいことであらうと云
	の	213	06	ことは大不得手の方で古い事を穿鑿する	の	が持ち前イヤ病ひで御坐いますから，たゞ小説な
	の	226	10	と全国の利益との関係を規定すると云ふ	の	が目的で御坐います．よつて此のことを講究しま
	の	230	12	合して共有して居るのを郡の共有と云ふ	の	が多いので，郡其れ自らの所有と云ふものは無い
	の	232	12	其の意見を採用せずとも，宜しいと云ふ	の	が学問上の精神で有らうと考へます．右の次第で
	の	233	12	度を下くして日本語を以て教ふると云ふ	の	が誠に宜しいことで有ります．丁度，今から十年
	の	246	14	に説諭して其の心を取り直させると云ふ	の	が当り前のところ，其の所行の善いか悪いかは言
	の	252	10	からするときは犯罪人を予防すると云ふ	の	が趣意で有りまする．此の末丁年の不良少年は監
	の	252	13	コゼにするのは至つて危険でありまする	の	が一つの理由であるのと，また監獄に這入つて居
	の	253	09	今申した如き者の為めには農業をさせる	の	が宜しいと云ふ実験が有ります．其の故は種子を
	の	259	02	る．斯くの如く貧民の救助は慈恵と云ふ	の	が一つで，また慈恵と犯罪予防と云ふのが一つで
	の	259	02	のが一つで，また慈恵と犯罪予防と云ふ	の	が一つで，救助を施しますには或ひは公けの救助
	の	261	13	は孤児院の如きものの管轄と致すと云ふ	の	が私の論の目的とする所で有りまする．これより
	の	001	05	の役人の片山淳吉君がお出になつて仮名	の	会も大分盛大になつたに付き懇親会を催して参議
	の	001	08	私は演説をしたいことは無い．併し仮名	の	会の懇親会に付て参議方も御臨席になるとのこと
	の	002	02	した所，別のことでも無い，お前は仮名	の	会の会員ださうだが見込を聞きたいとの仰せ．私
	の	002	05	ことは知らないが私のはいつたのは仮名	の	会の月の部といふので其れが「かなのとも」であ
	の	006	01	政治のことより外には取り合はず，仮名	の	会の凝り固まりは外のことには構はず夢中になつ
	の	006	16	ぬ．泉川君のお尋ねにドウで有うか仮名	の	会は俄に盛にならうか来年位には世の人多く漢字
	の	052	02	な大決断の人があると定め其の人が仮名	の	会の仕事を尤もと思ひこんで（但しこれは我が国
	の	053	05	屈で「しぶんくゎい」と言ふとカラウタ	の	会だと思つて其の字を見ると「斯文」と言つた様
	の	123	10	致すので有ります．然るべくは此の次ぎ	の	会の問題にでもして篤と御相談を致したう御坐い
	の	115	14	めに品行を破るやうでは人類といふもの	の	甲斐はあるまい．さて品行を惜むといふ欲は人類
	の	208	08	，汽車の止る時に時計を見て，ミチノリ	の	書いたものと見合せれば，何時間にどの位，走る
	の	233	16	らぬが其れを起すには今より西洋の名家	の	書いた本を翻訳して其れを教科書にする支度をし
	の	042	17	謀ることは固より許すが其れが為めに人	の	害をしてはならぬと云ふばかりぢゃ．然るに支那
	の	045	04	ぢゃが，さうして見れば貴族一般が人民	の	害を為してあるに違ひ無い，法律の上で一般人民
	の	057	01	伺ひますので御坐ります．半開化は衛生	の	害明治十九年六月十三日大日本私立衛生会埼玉支
	の	058	07	願ひます．さて，これから半開化衛生上	の	害を述べやうと思ひますが凡て世の開化と云ふこ
	の	059	11	々な害が有るものです．さて其の半開化	の	害といふは先づ我が邦が開化に赴きし以来如何な
	の	060	14	を結ぶ者多くあります．是れ則ち半開化	の	害でありませう．されば私は尚ほ一層進んで其の
	の	064	13	便利と云ふことを知つて緊要なる衛生上	の	害を知らぬ所から出来たものにして則ち半開化の
	の	064	14	らぬ所から出来たものにして則ち半開化	の	害でありませう．所で，この人力車を廃して馬車
	の	080	12	す．一つの仕方は人の総ての悪き所，人	の	害になる所，人の位を下げる所のものを減じ或は
	の	087	06	せう．たとへば彼の人の悪しき性質，人	の	害になる原素，人の位を下げる所のモノゴトまた
	の	114	11	は其れが出来る．人類はドウすれば身体	の	害になる，ドウすれば身体の害にならぬといふこ
	の	114	11	すれば身体の害になる，ドウすれば身体	の	害にならぬといふことは能く分る．さて，かうす
	の	119	11	よく承知して居ることで有りませう．酒	の	害が世界に及んだことは段々と穿鑿が届いて西洋
	の	119	15	の中にもＺｓｃｈｏｋｋｅと云ふ人は酒	の	害の及ぶ所を簡短なる言葉にて「酒を好むことは
	の	131	16	すれば学術といふものは決して我が宗教	の	害にならず却つて大いに其の益になります．古今
	の	161	01	ことに帰してしまふもので，ごす．飲酒	の	害明治十九年三月二十一日大日本節酒会の第二総
	の	181	12	は実に夥しいことで御坐りませう．煙草	の	害もまた随分少なからざることで御坐りませう．
	の	250	13	を改めさせたいが，学校では他の善い者	の	害を為し且つ学校の講釈ぐらゐでは，おつつかな
	の	001	02	漢字やぶり明治十七年十一月四日仮名	の	会員の臨時懇親会東京芝公園地紅葉館に於て外山
	の	001	10	れば此の機会失ふべからず．一体，仮名	の	会員になつて居るのは考へが有るからのこと，考
	の	002	02	所，別のことでも無い，お前は仮名の会	の	会員ださうだが見込を聞きたいとの仰せ．私は別
	の	051	02	世界の準備明治十八年一月二十五日仮名	の	会員の総集会東京神田区錦町学習院に於て近藤真
	の	122	13	るもので有りませう．就ては此の節酒会	の	会員も四百五十人ばかりも有ることだからドウい
	の	187	10	るべきことと存じます．私が婦人矯風会	の	会員方に望む所も即ちこれで御坐ります．行政法
	の	041	12	習と云ふもので有りたに違ひ無い．英国	の	開化史を書いたＢｕｃｋｌｅと云ふ人が「道徳は
	の	058	07	生上の害を述べやうと思ひますが凡て世	の	開化と云ふことは頗る良いことで必ず開化しなけ
	の	101	10	にして封建制度を覆へし忽ちにして西洋	の	開化に酔ひ忽ちにして改良を主張し忽ちにして改
	の	102	09	日本は野蛮の国では無い．二千年来特別	の	開化をして居るから国情さへ西洋へ通ずれば感心

代表形	判	ページ	行		出現文脈
(の)	の	169	04	，いや気が起つた頃に其の自由心が世界	の 開化に仲間入りをしやうとて其れには彼れの長を
	の	169	07	．そこにまた疑ふといふものは我が日本	の 海外貿易の利は東に益があつて西に利が見えない
	の	101	12	の歴史を見まするに何れの国にても一事	の 改革をはかるときには必ず二三の反対のあるもの
	の	272	09	けてありまする．然るところ昨年．官制	の 改革のときに北海道庁に監獄署を置かれましたの
	の	275	08	あつたには相違ありませぬ．然るに維新	の 改革と共に監獄も非常の改良を受けまして明治十
	の	008	05	居るのも無理はない．この間の競馬会社	の 開業式は一日ならず二日も三日も大騒ぎ，人は黒
	の	230	06	国を七軍管に分ち，海軍では全国を五つ	の 海軍区に分ち各海軍区に一つの鎮守府を置いてあ
	の	102	08	い話し．日本だからと申しても制度文物	の 外国に優らずとも劣ることなきものがイクラもあ
	の	176	10	及ぼして調べるが宜しからう．我が国人	の 外国へ出稼ぎ移住する有様を調べることが第一で
	の	003	14	ヒマも水車改正の時もへづられて電信機	の 改正もせずに机の前に坐つて字を習ひ，コレラ病
	の	080	11	つの明らかな手続きが御坐ります．総て	の 改正改革と云ふものに付ても此の三つの手続きが
	の	080	17	坐ります．畢竟，人の総ての進歩，総て	の 改正改革を遂げる為めに用ゆべき方法は斯の如き
	の	137	08	法制局には法律の改良，外務省には条約	の 改正，中々数へ尽されません．私などは専門が法
	の	178	01	かりけん．コロンボスがアトランチック	の 海浜にて古き器物のコワレをさがせしも木ひろひ
	の	081	10	人の内部の進歩に由つて自然に生ずる所	の 外部の結果で御坐ります．インエ人の進歩と云ふ
	の	132	06	したけれども，かの敵の色々の働きは水	の 外面に文字を書き或は刀を抜いて空気を切るが如
	の	081	08	械の盛大なこと新発明の賑かなること人	の 快楽を助けるものの能く完全したこと商法と製造
	の	085	02	とまた其の進歩に付て種々の大事なもの	の 概略を申すならば以上の如きもので御坐ります．
	の	098	01	法律に照して論ぜられませうから．真正	の 改良明治十九年十一月十八日「ノルマントン号沈
	の	103	01	ぬ．即ち私が示したる二個の要点に非常	の 改良を加へねばなりませぬ．然らば如何なる改良
	の	104	12	にのみ熱心せず其の根本に注意して真正	の 改良に従事するが肝要と考へまする．ノルマント
	の	137	06	説明もありましたが演劇改良其の他家屋	の 改良，衣服の改良，女の髪の結ひ様の改良，また
	の	137	06	したが演劇改良其の他家屋の改良，衣服	の 改良，女の髪の結ひ様の改良，また自由党などに
	の	137	06	屋の改良，衣服の改良，女の髪の結ひ様	の 改良，また自由党などに言はせたなら政治の改良
	の	137	07	良，また自由党などに言はせたなら政治	の 改良，社会の改良，法制局には法律の改良，外務
	の	137	07	党などに言はせたなら政治の改良，社会	の 改良，法制局には法律の改良，外務省には条約の
	の	137	07	治の改良，社会の改良，法制局には法律	の 改良，外務省には条約の改正，中々数へ尽されま
	の	137	09	新聞記者でありますから日々法律や政治	の 改良のことには筆を執つて居る其の言ひ慣れたる
	の	137	13	に委しくは無いが凡そ教育に関する事柄	の 改良を教育会の外から持ち出されては済まないこ
	の	142	08	くてはなりませぬ．併しながら今，小説	の 改良が必要だとてお前達は品行も直せ学問も急に
	の	142	10	ばなりません．これに付て，モ一つ小説	の 改良を計らねばなりませんが源氏物語や枕の草子
	の	213	08	来歴の大略を演るまでで決して当今流行	の 改良をはかるなどと云ふ面白い話しでは有りませ
	の	246	08	の心を矯め直すと云ふ趣意で，即ち人心	の 改良を図ると云ふもので有りまする．故に刑と云
	の	246	10	て監獄に於ては刑の執行を掌る即ち人心	の 改良を掌ると云ふもので有りまする．只今申した
	の	247	10	つて監獄に於ては二つの方法を以て人心	の 改良を図りまするもので有ります．其の第一は懲
	の	251	06	とは致しませぬ．其れとも到底終身，心	の 改良は覚束ないだらうと云ふやうな悪事を為しま
	の	274	08	りになりましたらうから，これより監獄	の 改良と申すことを一言いたしませう．監獄は実に
	の	274	16	以て大いに改良を加へました．其の二国	の 改良の中で最も重もなる者は一房一囚の制であり
	の	275	08	ぬ．然るに維新の改革と共に監獄も非常	の 改良を受けまして明治十四年九月十九日の太政官
	の	275	10	以て監獄則を発表せられましてから非常	の 改良を加へました．其の後，内務省に於て各府県
	の	278	01	十二月三十一日の監獄に関する実例監獄	の 改良のことを述べました．これで監獄全体に係る
	の	121	13	を犯した者が多いかと云ふことを警視庁	の 掛りの人に尋ねたところが（尤も，これは私の事
	の	054	12	どの本が出来なくつては困ります．手紙	の 書き方の本は物集先生の御著述を待つて居ります
	の	031	16	はアマノガハと云ふものは我々の見る所	の 限りで総てあるとあらゆるものは星でも星雲でも
	の	135	10	の楽みと哀み人の色々の願ひと望み，人	の 限り無き苦楽，人の命と死などのものが狭いもの
	の	135	15	い所より世の中の有様を見れば天地の間	の 限り無き道理が実に明かになります．神田橋外の
	の	086	13	になるは丁度こゝで御坐ります．基督教	の 欠くべからざること即ち基督教の必要はこれ等の
	の	242	13	をペノロジーと申します．其の意味は刑	の 学，即ち刑を執行するの学問と云ふことで有りま
	の	260	01	きめたいもので有ります．第四，救助費	の 額を定むること．これは最も必要なことで，例へ
	の	260	02	ひは二万円と定むるか何にしても救助費	の 額を定めて置きませぬとムヤミに慈恵，慈恵と申
	の	101	11	補短の斟酌なく保守して而して進歩する	の 覚悟なきことは二十余年の変遷でよく分つて居り
	の	086	01	ます．さて，これ等の種々の事柄は演題	の 確実なこと，また其の間違ひ無いことを充分証拠
	の	041	02	る．前に申したのは風習を比較する近頃	の 学者の考へであるが其れで見ると「天然に定まり
	の	058	01	無いと脳髄に這入りませぬ．彼の欧羅巴	の 学者スペンサーが曾て申しましたに「何でも総て
	の	119	12	に及んだことは段々と穿鑿が届いて西洋	の 学者などは其れが為めに世の中を救はうと云つて
	の	119	14	ばかり其の事を書いて参りましたが西洋	の 学者が酒が人間社会に害の有ると云ふことを論じ
	の	120	15	少なく思はれます．今，申したのは西洋	の 学者が西洋の飲酒の弊害を除かんとの骨折苦心か
	の	121	01	ことで有りました．前に申した通り西洋	の 学者は西洋の飲酒の弊害を見て説いたことで有り
	の	128	02	方で御坐ります．ナゼと云ふならば西洋	の 学者の色々の新らしい論の中に無証拠な設理即ち
	の	128	08	待つ方が宜しう御坐りませう．即ち各国	の 学者皆よく互に同意して近来の色々の新論を承知
	の	128	11	るか未だ一向分りませぬ．若し遂に各国	の 学者皆な近来の色々の論を承知するときは此の論
	の	128	13	ことも宜う御坐りませう．卒業生が各国	の 学者たちの判断を待ちまする間に基督教が不意に
	の	129	10	な人が言ふ「嗚呼哀しいかな先だつて某	の 学者が道徳法といふものには基が無し道徳は全く

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（の）	の	131	07	業生は基督教の反対論を駁つ為めに西洋	の 学者が著はした本を研究して而して西洋の学者の
	の	131	07	学者が著はした本を研究して而して西洋	の 学者の論を以て西洋の学者の反対論に答へること
	の	131	08	究して而して西洋の学者の論を以て西洋	の 学者の反対論に答へることは誠によい仕方で御坐
	の	139	12	申します．素より大家のことなれば高尚	の 学者社会にては貴まれて居りませうが，さほど人
	の	178	05	法あらば何の仔細もなきことなれば有志	の 学者は講究あらんことを切望に堪へず．基督教と
	の	191	03	司法権とあると論じましたが段々と種々	の 学者が寄つて取り調べましたところがモンテスキ
	の	197	16	を発明したのみで満足をしないで，総て	の 学者の苦しんで居る所の彗星と云ふものは若しや
	の	214	05	行きました．さう云ふ訳で有るから上等	の 学者の目からは何でもないもののやうに見下され
	の	219	01	，云ふに云はれない面白みの有るのは今	の 学者の云ふ真の理と云ふものに近い訳でも有りま
	の	235	09	一言いたします．其れに付て序ながら昔	の 学者は多く骨を折つて，さうして幸福を得ること
	の	235	10	して幸福を得ることは思ひの外少なく今	の 学者は骨を折ることは少なくして幸福を得ること
	の	237	05	で有つた．さう云ふ有様で有つたから昔	の 学者は決して自分の利を図る為めに西洋学を学ぶ
	の	238	03	卒，昔の人の二大難事に耐へて其の時分	の 学者と云はれるものになつた者のことを想像され
	の	135	15	き道理が実に明かになります．神田橋外	の 学習院の奥の庭には面白いものが御坐ります．か
	の	076	12	違ひの有るといふことはたゞ二個の学科	の 学術上の性質から論じまして右の通りになるとい
	の	125	11	エ決してさうでは御坐りませぬ．総て真	の 学術また其の色々の正しき結局は基督教に敵対し
	の	126	02	に一つの不審なことが御坐ります．近来	の 学術と云ふ貴い名によつて基督教を破らむとする
	の	129	05	仕方が御坐ります．或る教師は総て普通	の 学術を大いに恐れて居ります．箇様な人は世俗の
	の	129	07	れ等の人の思ふには近来盛んに開けた所	の 学術の為めには基督教が遂に全く滅びてしまふで
	の	197	01	かと思ひましても，其の帽子を看て大学	の 学生だと云ふことが知れゝばモウこはくも何もな
	の	237	13	た．マルデ昔とウラヘラになつた．今日	の 学生が骨を折つて勉強されても昔の人のと比べて
	の	237	16	とだから申し分は無い．其れだから今日	の 学生は昔し厄を身に引き請けながら学問を勉強し
	の	015	07	地球の上で或る距離を測る時の通りに例	の 角度で月までの距離を測り出します．随分此の測
	の	165	16	とを説くのは今研究中で之について色々	の 学派があつて人間の自由や同等権利など一偏の道
	の	166	11	調子よく今日まで開いて参りました．昔	の 学風といふものは事実の穿鑿をしない．たゞ考へ
	の	166	12	トに，あてはむることは出来ませぬ．今	の 学風はさうで無い，事実を穿鑿して事実の上から
	の	012	03	々とおしつめてモウこれから先きは今日	の 学問の有様では分らない所まではいきたいもので
	の	014	09	のは地理書に有ることで地理書とは地球	の 学問だと思つて居たに月の表面にも山だの谷だの
	の	021	13	が無い位で有ります．今日理学や其の外	の 学問をする人が満足する有様に至らないので追々
	の	032	07	た通りに段々推しつめて行つて丁度今日	の 学問の有様では，これまでといふ所までこぎつけ
	の	054	11	文，地理，本草，地質もつと欲深く鉱物	の 学問，機械の学問，蒸気の学問，電信の学問，法
	の	054	11	草，地質もつと欲深く鉱物の学問，機械	の 学問，蒸気の学問，電信の学問，法律の学問，測
	の	054	11	と欲深く鉱物の学問，機械の学問，蒸気	の 学問，電信の学問，法律の学問，測量の学問など
	の	054	12	の学問，機械の学問，蒸気の学問，電信	の 学問，法律の学問，測量の学問などの本が出来な
	の	054	12	の学問，蒸気の学問，電信の学問，法律	の 学問，測量の学問などの本が出来なくつては困り
	の	054	12	の学問，電信の学問，法律の学問，測量	の 学問などの本が出来なくつては困ります．手紙の
	の	076	06	様にといふ様にすることを講究すること	の 学問と看做しますときは経済学も消極的の用を為
	の	086	08	答は出来まいと存じます．また世の普通	の 学問は誠に大切なものなれども，これ等の高尚な
	の	129	06	大いに恐れて居ります．箇様な人は世俗	の 学問を皆な基督教の大敵とするもので御坐ります
	の	139	07	ひます．して此の小説と言ふものは普通	の 学問と違ひ日本などでは甚だ之を卑しめて居りま
	の	144	11	めておきたいと思ひます．其れには西洋	の 学問が第一入りまする．また西洋の小説を多く読
	の	151	16	は小さくも範囲は広いから此の学は一科	の 学問になつて居ります．ツマリ行政法は憲法と密
	の	156	05	になつて居て私なども子供のとき孔子様	の 学問をした時分には天が円いと思つて居たが近来
	の	158	17	雷が今日は電信局の小使となつた．今日	の 学問の極度であるかドウかは私には保証が出来な
	の	159	08	子と釈迦を三聖と唱ひ其の時分には老子	の 学問とも老子の教とも言ひ，孔子の学問とも孔子
	の	159	08	老子の学問とも老子の教とも言ひ，孔子	の 学問とも孔子の教とも言ひ，仏学とも仏教とも言
	の	213	12	も文字を読む者に限り，また作者も多少	の 学問が無ければなりませぬが演劇の方は下等社会
	の	218	02	非凡の大筆で今以て和文を作るにも言語	の 学問をするにも必要なもので有ることは云ふまで
	の	235	11	を得ることは思ひの外，多いに就ては今	の 学問をする人は昔の人の難儀をしたことを十分に
	の	237	12	やらうと何でも勝手に出来る．また西洋	の 学問をするのは人間の当り前のやうになつて西洋
	の	242	12	警察学と同様にエウロッパに於ては一つ	の 学問となつて居りまする．此の学をペノロジーと
	の	242	13	．其の意味は刑の学，即ち刑を執行する	の 学問と云ふことで有りまする．故に監獄のことは
	の	081	09	したこと商法と製造の隆盛なること国家	の 確立したこと政体の鞏固なることなどのものは進
	の	032	10	ふ問題は立派に解けませぬが我々が今日	の 学力で解けるだけはドウかカウか解いた積りで有
	の	173	10	の時分には西から来たパンを食ふと苦味	の 加減で奥歯に，はさまるやうで気味わるく東から
	の	220	03	楠正成の桜井のことだの或ひは後醍醐帝	の 笠置の夢見のことなどは作り物語だと云はれまし
	の	220	01	前に見るやうに書いたもので有るが文章	の 飾りが有るだけに小説が交つては居らぬかと思は
	の	061	08	きものです．則ち明治十一年には人力車	の 数十四万二千五百七十二でありましたが十三年に
	の	063	06	き五個四の比例です．而して欧米の馬車	の 数は何程あると云ふに英国に於ては一千八百三十
	の	069	08	随つて見習生即ちＲｅｆｅｒｅｎｄａｒ	の 数も千八百七十五年七月一日の統計には千九百八
	の	070	01	坐います．而して宇漏生の裁判官代言人	の 数は何程かと言ふと裁判官が三千九百〇一人，代
	の	070	10	は千万人以上多い所によつて見れば余程	の 数を要せねばなりませぬ．然るに前陳の如く僅で
	の	229	02	区別しなければならないと思ひます．町	の 数は一万二千二百十七あるです．東京の町の数は

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（の）	の	229	02	は一万二千二百十七あるです．東京の町	の 数は俗に八百八町あるとか云ひますが，これも皆
	の	229	03	に籠つて居るとのことです．其れから村	の 数は五万九千三百八十ありまして合せて七万一千
	の	233	07	つて先刻幹事さんのお話しのやうに生徒	の 数も多くなり，また卒業生も多くなり誠に祝すべ
	の	269	05	箇所ありまして，そこに居りまする生徒	の 数は六千七百七十七人ありました．女子の部は公
	の	269	07	合せて二十四箇所ありまして，其の生徒	の 数は千六百三十七人ありました．此の数を合せま
	の	269	08	部とで六十九箇所ありまして，其の生徒	の 数が八千四百十四人となりまする．さて，只今申
	の	273	13	ありまする．これ等を合しますると監獄	の 数は総体にて二百〇一箇所となりまする．而して
	の	273	14	一箇所となりまする．而して其の在監人	の 数を見まするど，未決者は一万四千二百二十二人
	の	128	16	て風見の如くに今，不意に吹き出した所	の 風に従つてゆくものは決して基督教の教師の仲間
	の	264	03	囚人あれば之を二十人づゝに分ち，五つ	の 家族の如きものをこしらへて其の各家族に家族長
	の	255	14	ではありますまい．これ等の為めに今日	の 華族は皆な瞹しむべきもので有るから華族の門前
	の	165	07	京学士会院で演説しましたところが社員	の 方でお聴きなすつた方は至つて少なかつたと申す
	の	128	05	つて来る所の色々の論の中に追々と学術	の かたい事実となるものも御坐ります．また遠から
	の	069	01	生国の司法官吏たること及び代言人たる	の 難いことが想ひやられます．箇様に年令満十八歳
	の	224	11	関係することで有りますが此の頃，貴顕	の 方々を始めとして有志の人々が演劇改良会と云ふ
	の	030	09	有りますアマノガハといふものは此の盆	の 形をして居るとしまして，そこの中に我々の太陽
	の	030	12	ませう．而して星の沢山見ゆる部分は帯	の 形して天を取りまいて居る様に見ゆる筈で有りま
	の	030	17	ればならない．然るに中にはアマノガハ	の 形した星が有る，ではない星のかたまりが有りま
	の	198	02	かれて居りますればいづれ抛物線か楕円	の 形ちに運動してあるに違ひ有るまいと云ふことを
	の	198	08	ハスカケに切りますと其の切り口が楕円	の 形ちになります．楕円は先づ円のやうなものです
	の	198	12	向けて斜に抛りますと真直で無く抛物線	の 形ちにあるきます．チョイト図に書きますと楕円
	の	200	12	変るもので，今度出る時には先に出た時	の 形ちと強ち同じ形ちにはなりませんもので有りま
	の	208	13	云ふものが有る．其の尾と云ふは即ち箒	の 形ちになつて居る所で頭には心或ひは核と云ふも
	の	199	03	いやうになります．ツマリ抛物線は楕円	の カタッパウが開いてしまつたものと見れば宜しう
	の	027	07	時間に七万六千里ほど走りますから地球	の かたつ方の端から，かたつ方の端までゆくに瞬き
	の	270	01	庭教育を充分にしませぬと之が為め終身	の カタハモノを造り出すことになりまする．実に恐
	の	030	01	が望遠鏡で見ますとアマノガハは全く星	の かたまりです．濃い所になりますと夥しく星があ
	の	030	13	ます．そこから見ますとアマノガハは星	の かたまりで太陽も地球の仲間もそこの中に居るに
	の	031	01	マノガハの形した星が有る，ではない星	の かたまりが有ります．望遠鏡で見ますと星のいく
	の	031	04	と云つても雲の様に見えて粒々とした星	の かたまりの様に見えないのが有ります．其れは星
	の	031	06	の様に見えても少し強い眼鏡で見ると星	の かたまりの様に見ゆるのも有り，又今日世の中に
	の	031	08	其れとても矢張りアマノガハみた様な星	の かたまりで望遠鏡のモットよいのを用ひたら粒々
	の	001	05	するに立ち至りたるは先日この会の役人	の 片山淳吉君がお出になつて仮名の会も大分盛大に
	の	231	09	部分けして担任して居りまして，各大臣	の 側らに専門の議会を置きます．例へば内務省に中
	の	074	09	ＰｏｓｉｔｉｖｅＶａｌｕｅ即ち積極的	の 価値といふことになります．又之に反して害を除
	の	074	17	ＮｅｇａｔｉｖｅＶａｌｕｅ即ち消極的	の 価値で御坐んす．前の方には大分利が多う御坐ん
	の	075	08	ｅｏｄ氏の説が御坐んすがドウも消極的	の 価値は其れだけの金を使つても新たなるものを生
	の	075	17	質上より論じて見まするど法律は消極的	の 価値を得るといふもので御坐んせうし経済の方は
	の	073	10	付て一つのお話しを致したい．さて法律	の 学科と経済の学科とこの二つの者は社会上に必要
	の	073	10	話しを致したい．さて法律の学科と経済	の 学科とこの二つの者は社会上に必要なる点に至り
	の	076	09	とで御坐んせう．さて又右の如く消極的	の 学科即ち法律学の如きは直接に物を生ずるもので
	の	076	11	チラでも諸君方の様に研究された方が何	の 学科であつて見ても各々立身の道を得て積極的の
	の	076	12	ゐ其の違ひの有るといふことはたゞ二個	の 学科の学術上の性質から論じまして右の通りにな
	の	077	08	輩が諸君に望みまする所は法律と経済と	の 学科の性質に相違あるにも係はらず諸君が各々学
	の	077	11	極と消極とが親和する様に積極的消極的	の 学科を以て同一に社会の為めに利を興し害を除き
	の	166	09	，また物理学，機械学，数学などの色々	の 学科の助けによつて世の中も益々開け行くことと
	の	061	15	必要とする男女学校生徒にして僅か近傍	の 学校に通学するに必ず乗車せしむるあり．斯の如
	の	124	05	為めに致すもので御坐りますが，いづれ	の 学校の生徒たる者も皆多年勉強して終に卒業する
	の	233	09	一番の元祖で其れから近来イクラも専門	の 学校が出来たことで有ります．そこで私立学校で
	の	046	17	為したり其れのみならず同じ開けた西洋	の 各国同士でも道理の立たぬ様なことをするのは互
	の	081	03	の進歩で無ければなりませぬ．人が自分	の 勝手に作つて用ゆる所の品々の進歩で御坐りませ
	の	137	09	は筆を執つて居る其の言ひ慣れたる自分	の 勝手なことを本会にて申すも如何と存じ何か教育
	の	221	09	云ふ類が段々出来て講談師の種や貸本屋	の 料となりました．これは大かた浄瑠璃作者などが
	の	252	03	来，斯くの如き子供があるのは則ち両親	の 家庭教育が行き届かないからで有りまするから斯
	の	062	08	野蛮人の多きと我が邦人民の身体の価直	の 廉なるとは原因の二です．第三は衣服の歩行に適
	の	127	07	専門と致した所のことを論ぜず色々の外	の 廉に移りて天地の間の道理を広く論ずる間には，
	の	218	04	々の標目を立てゝ小説めかしたのは同体	の 仮名文だからで有りませう．さて，伊勢物語，源
	の	098	13	な故意に出でたのであるとありては我々	の 悲しみは変じて憤怒となるも蓋し当然のことであ
	の	074	09	に顕はれるもので御坐んす．さういふ風	の 金の使ひ方を原語でＰｏｓｉｔｉｖｅＶａｌｕｅ
	の	074	15	ばならぬ．而じて其の労力に向つて報酬	の 金を払ふ其の労力を供給してくれる人は其れを供
	の	075	08	坐んすがドウも消極的の価値は其れだけ	の 金を使つても新たなるものを生ずるとか新たなる
	の	091	03	徒行伝と云ふ書物に委しく書いてある所	の 彼のパウロと云ふ人の勇気を御覧なされ，この人
	の	075	15	儘の説で御坐んす．兎も角も利を興す方	の ガハに使用するのは積極的のもので害を除く方は

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（の）	の	076	08	るといふことになつてはプロフェッソル	のガハで御坐んして消極的の部類に属することで御
	の	006	13	化学でも動物学でも植物学でも其の講釈	の過半は漢学先生の様なものが有る．さてさて困つ
	の	225	05	はれますまい．さて，改良のことに付て	の可否討論などは世間に高論者も沢山ありますから
	の	106	16	り組んで居つた同胞二十五名及び印度人	の火夫十二名が船長等の為めにステゴロシにされ空
	の	215	03	なり，俳優も編笠どころでは無く勅任官	の冠るやうな帽子を頂き，玉の輿イヤ車に乗りある
	の	247	04	ますから「おれが子をおれが殺すのに何	の構つたことが有るものか，其れをムヤミにおれを
	の	082	16	けたもので御坐りましたが其の人民が真	の神を知らず偶像を拝し本当な道徳を知らず一体道
	の	087	10	督教に問はばこれ等のもの皆な全知全能	の神にして即ち人に進歩するの能力を与へたる神の
	の	189	01	とは能く存じませぬが神代の頃に八百万	の神が集まつて政を議したさうで御坐います．これ
	の	216	03	兎の皮を剝いで行きました．所へ大己貴	の神が通りかゝつてかわいさうだと思召されかまの
	の	216	05	ろがして療治話しで御坐います．大己貴	の神は医薬を始めた神だから療治をしたかも知れま
	の	137	06	改良其の他家屋の改良，衣服の改良，女	の髪の結ひ様の改良，また自由党などに言はせたな
	の	158	17	だけは今日のお負けだ）其の大層な勢ひ	の雷が今日は電信局の小使となつた．今日の学問の
	の	158	12	たと見えます．サスガの孔子様まで萌黄	の蚊帳をつつて線香をたてゝ臍を隠したか，ドウだ
	の	025	14	らない．星の距離は月の距離を測ります	のから見ますと余ほどむつかしくなります．第一今
	の	159	10	上，天国，天界，大地，草木，鳥獣，人	のカラダ，タマシヒまでを製造するが西洋の教へ方
	の	216	08	は「昨夜，夢を見たが霜が多く降つて私	のカラダを覆つたが何か訳が有るだらうか」と云つ
	の	157	06	のに差支が起るからコペルニカスの弟子	のガリレオをつかまへ「おのれは太い奴だ」と言つ
	の	157	14	四百年にはなりませんテネ．其のお弟子	のガリレオ，これは支那では明の時分で日本では足
	の	014	08	く高い山や深い谷などで有ります．山だ	の川だの谷だの岡だのは地理書に有ることで地理書
	の	216	03	が私たちをだました」と云つて怒つて兎	の皮を剝いで行きました．所へ大己貴の神が通りか
	の	204	01	其のオヒトヨシと云ふ帝の時には天文学	の代りに星占学と云ふものが有りました．星占学と
	の	224	02	の方でも其の浄瑠璃を語つて俳優が人形	の代りに働くやうになりました．後には浄瑠璃狂言
	の	131	02	て容易に変るものでは無い．ドチラも神	の変ることの無い御心に本づいたものなるが故で御
	の	152	15	に就て見ますと仏蘭西の例で言へば国体	の変るに従ひ憲法は度々変りますが行政上の法律規
	の	200	11	で有りますが，しかし彗星はイヤに形ち	の変るもので，今度出る時には先に出た時の形ちと
	の	130	13	されましたことをお聞きなされ．「天地	の間に二つの感心なものあり．我れ此の二つのもの
	の	253	04	と言はうが，或ひは俗に世間で唱へる所	の感化院と言はうが，其れは名前のところは御相談
	の	261	07	有りまする．よつて善良なる少年は学校	の管轄と致し，不良なる少年は矯正院の管轄と致し
	の	261	08	校の管轄と致し，不良なる少年は矯正院	の管轄と致し，丁年以上の不良なる人民は監獄の管
	の	261	08	と致し，丁年以上の不良なる人民は監獄	の管轄と致し，放免者は慈恵と犯罪予防との二点よ
	の	261	09	の二点よりするところの放免者保護会社	の管轄と致し，将来の犯罪人となるの恐れ有る貧民
	の	261	10	なるの恐れ有る貧民は養育院の如きもの	の管轄と致し，将来の犯罪人となる恐れなき天然の
	の	261	11	如きは訓盲唖院，又は養育院の如きもの	の管轄と致し，生れて未だ身体の動作も充分ならざ
	の	261	13	の如きは棄児院，又は孤児院の如きもの	の管轄と致すと云ふのが私の論の目的とする所で有
	の	272	13	御坐います．而して監獄は総て内務大臣	の管轄に属するもので其の中，集治監だけは内務大
	の	041	02	に申したのは風習を比較する近頃の学者	の考へであるが其れで見ると「天然に定まりた道徳
	の	045	01	法律の本趣意も行はれて居らぬぢゃ．僕	の考へでは今日行はれぬのみで無く，いつまでも極
	の	098	17	地下に瞑するに違ひなし．併しながら私	の考へまするには今このノルマントン号のことに付
	の	100	15	義捐金を募集するのみならず，外に多く	の考へが無くてはなるまじ．即ち我々が斯く軽蔑さ
	の	181	06	其の改革が出来るので御坐りますか．私	の考へではキリスト教に此の力がある訳は先づ第一
	の	181	12	ざることで御坐りませう．然しながら私	の考へには禁酒禁煙は抑も末でまだ其の上に弊害の
	の	183	14	あるもので御坐ります．然し，これまで	の考へでは妻たる者は必ず貞操を守らなければなら
	の	196	01	「凄い」とか「気味が悪い」とか云ふ位	の考へは起した人が有るかも知れません．婦人方な
	の	232	08	諮問しても宜いし諮問しなくても宜いと	の考へは間違つて居るので，諮問すると云ふのは議
	の	259	06	確にきめて貰はなければなりませぬ．私	の考へまする所では貧民救助の方法は次の如く定め
	の	267	15	百年以来エウロッパの有名なる学者たち	の考へましたものを其の極宜しい所だけを引き抜い
	の	270	15	す者が有りまするけれども，これは皮想	の考へで取るに足らない説と存じられます．今度，
	の	061	12	の如き必要の場合にのみ使用せずして事	の緩急に拘らず道の遠近を論ぜず乗り回る様になり
	の	003	04	に立たぬ．されば其の方便と真の智識と	の関係を考へて見なければならない．一体，人には
	の	048	01	痛痒相感ずる様な有様になりて互に利害	の関係が有る．そこで今日国と国との間には道徳に
	の	073	01	望することで御坐います．法律と経済と	の関係明治十九年七月十一日専修学校卒業証書授与
	の	073	09	う．先刻も卒業諸君の中で法律と経済と	の関係といふことで御演説が御坐んしたが私もその
	の	073	10	説が御坐んしたが私もその法律と経済と	の関係に付て一つのお話しを致したい．さて法律の
	の	125	13	論といふものは，おもに学術と基督教と	の関係また其の合ふこと合はぬことなどに本づいた
	の	131	11	まするお方はドコまでも基督教と学術と	の関係の本当の道理は分ることが出来ませぬ．其の
	の	147	08	が今日は先づスタチスチックと行政法と	の関係より始めて並べて見るのも一つの順序であり
	の	147	09	せう．さて，スタチスチックと行政法と	の関係に付て直ちに例を挙げて見るとスタチスチッ
	の	149	13	も凡そ如何なる事物でもスタチスチック	の関係しないものは無くスタチスチックは台所の味
	の	150	02	法といふものは人民の一個人と一個人と	の関係を規定して，たとへば民法，商法，訴訟法の
	の	150	04	定したもので公法といふものは国と国と	の関係を規定し其の次は国と其の国の人民及び其の
	の	150	05	に住つて居る者（外国人でも何でも）と	の関係を規定したものであります．色々ありますが
	の	150	06	今申した二つに帰着するもので国と国と	の関係を規定したるものを外公法または万国公法と

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（の）	の	150	07	，国と国民と其の国に居住して居る者と	の	関係を規定したるものを内公法と言ひます．この
	の	150	12	るものであります．さて行政法と憲法と	の	関係は如何なるものかと言ふに憲法では一国の権
	の	151	17	政法の原則を調べるには第一には憲法と	の	関係を調べなければなりませぬ．第二には行政官
	の	152	06	究しなければなりませぬ．其れで憲法と	の	関係を一言して見ますと憲法では一国の公法の基
	の	152	12	ります．ツマリ行政法は被治者と治者と	の	関係をきめるものと言つてもチョイと分りますが
	の	154	01	うから私は申しませぬ．憲法と行政法と	の	関係はこれ位にしまして，この次ぎには日本の全
	の	179	07	私はこれよりキリスト教と婦人の地位と	の	関係に就て聊か考へを述べやうと存じます．さて
	の	181	17	若し一夫一婦の教が行はれなければ男女	の	関係が宜しきに適ひません．男女の関係が宜しき
	の	182	01	男女の関係が宜しきに適ひません．男女	の	関係が宜しきに適はなければ決して真の文明社会
	の	182	02	見ることは出来ません．ナゼなれば夫婦	の	関係は人間道徳の基礎で若し夫婦の間柄が宜しき
	の	188	05	演前回に於て行政法とスタチスチックと	の	関係，行政法の釈義並に行政法と憲法との関係を
	の	188	05	関係，行政法の釈義並に行政法と憲法と	の	関係を一言申し上げておきました．就ては今日よ
	の	199	12	せん．しかし今言ひました楕円と抛物線	の	関係が有るから彗星の軌道も抛物線のやうには見
	の	208	01	ます．このごろでは段々と流星と彗星と	の	関係が分り出しました．しかし，これから流星の
	の	213	01	預かりにしておきませう．小説と演劇と	の	関係明治二十年二月二十日東洋学会東京神田区錦
	の	213	04	に於て小中村清矩君演説「小説と演劇と	の	関係」と申す此のやうな演題を掲げると定めてシ
	の	226	09	とと一個人の権利，利益と全国の利益と	の	関係を規定すると云ふのが目的で御坐います．よ
	の	248	09	する．さて，こゝで監獄と警察と裁判と	の	関係を明らかに示すことが必要で有ります．警察
	の	249	11	で有りまする．これよりは監獄と教育と	の	関係を述べませう．此のことに付ては次に図を示
	の	256	02	らなければなりませぬ．犯罪人と貧民と	の	関係はヨホド綿密なるもので有りまするから貧民
	の	277	03	監獄の目的及び方法監獄と警察と裁判と	の	関係監獄と教育との関係矯正院（即ち感化院）放
	の	277	04	監獄と警察と裁判との関係監獄と教育と	の	関係矯正院（即ち感化院）放免囚監獄は決して賤
	の	277	08	賤しむべきものにあらず犯罪人と貧民と	の	関係貧民救助の目的貧民救助の方法欧米の監獄の
	の	180	01	彼のジョン，ハワルドをして欧羅巴諸国	の	監獄改良のために甘じて一身を犠牲になさしめた
	の	239	04	青森県，秋田県，山形県，新潟県の七県	の	監獄巡閲の命を受けまして，去る六月九の午前六
	の	253	03	ります．この矯正院と言ふのは未丁年者	の	監獄と云ふ意味で之を矯正院と言はうが，矯正監
	の	261	16	的とする所で有りまする．これより欧米	の	監獄の事を一言いたしませう．初めにも申しまし
	の	262	06	ると云ふことに定まりました．故に今日	の	監獄は決して復讐の道具などと云ふものでは有り
	の	262	09	化すると云ふ場所で有りまする．今欧米	の	監獄の方法を略述しまするに其の方法が四通り有
	の	264	07	化する所で有りまして則ち俗に称する所	の	監獄で有りまする．第三は未決者監禁部と申しま
	の	264	12	の再犯を防ぐ所で有りまする．今，欧米	の	監獄専門家の意見と其の各国に於て施行して居り
	の	268	02	有らうと存じます．さて，これより欧洲	の	監獄の種類を述べませう．これには二つの区別が
	の	268	03	には二つの区別が有りまして一つは軍事	の	監獄で有り，一つは普通の監獄で有ります．軍事
	の	268	04	て一つは軍事の監獄で有り，一つは普通	の	監獄で有ります．軍事の監獄は陸軍及び海軍にあ
	の	268	04	り，一つは普通の監獄で有ります．軍事	の	監獄は陸軍及び海軍にありまするものですから自
	の	268	05	別の物になつて居りまする．因つて軍事	の	監獄に関係しましたことは申し述べますまい．ま
	の	268	08	ことは無かるべき筈で有りまする．普通	の	監獄を別ちますると其の第一は留置場と申しまし
	の	268	10	る者を僅かに数日の間，留め置き之を他	の	監獄に送り付けることになつて居りまする．また
	の	268	17	八十一年（明治十四年）十二月三十一日	の	監獄に関する実例を申し上ることに致しませう．
	の	271	07	人となりまする．さて，これよりは日本	の	監獄のことを申しませう．付ては先づ日本の監獄
	の	271	08	獄のことを申しませう．付ては先づ日本	の	監獄の種類から申しませう．これにも軍事の監獄
	の	271	09	獄の種類から申しませう．これにも軍事	の	監獄と普通の監獄との区別が有りまするが軍事の
	の	271	09	申しませう．これにも軍事の監獄と普通	の	監獄との区別が有りまするが軍事の監獄に関係し
	の	271	09	普通の監獄との区別が有りまするが軍事	の	監獄に関係しましたことは省きまして，普通の監
	の	271	10	に関係しましたことは省きまして，普通	の	監獄に関係しましたことだけ申し述べませう，普
	の	271	12	しましたことだけ申し述べませう．普通	の	監獄を別ちまする第一，留置場．これは裁判所
	の	272	10	置かれましたので北海道の集治監も通常	の	監獄も皆な北海道庁監獄署と云ふ部に這入つてし
	の	273	01	，これよりは明治十七年十二月三十一日	の	監獄に関する実例を申し上ることに致しませう．
	の	274	06	はイト易いでありませう．これにて欧米	の	監獄のことと，我が国の監獄のことは大抵お分り
	の	274	06	．これにて欧米の監獄のことと，我が国	の	監獄のことは大抵お分りになりましたらうから，
	の	274	14	費をも国庫より支弁することと致し全国	の	監獄は総て中央政府の直轄と致しました為めに大
	の	275	16	考へまする．之を要するに我が国の現在	の	監獄改良は維新前の監獄と異なる点はタッター一つ
	の	275	16	するに我が国の現在の監獄改良は維新前	の	監獄と異なる点はタッター一つでありまする．此の
	の	277	11	関係貧民救助の目的貧民救助の方法欧米	の	監獄の事欧米の監獄の方法欧米諸国に於て実行せ
	の	277	12	目的貧民救助の方法欧米の監獄の事欧米	の	監獄の方法欧米諸国に於て実行せる監獄事業欧洲
	の	277	14	法欧米諸国に於て実行せる監獄事業欧洲	の	監獄の種類仏国に於ける千八百八十一年（明治十
	の	277	15	八十一年（明治十四年）十二月三十一日	の	監獄に関する実例日本の監獄の種類明治十七年十
	の	277	16	十二月三十一日の監獄に関する実例日本	の	監獄の種類明治十七年十二月三十一日の監獄に関
	の	277	17	の監獄の種類明治十七年十二月三十一日	の	監獄に関する実例監獄の改良のことを述べました
	の	278	03	に於ては前にも申しました通り陸軍海軍	の	監獄と国事犯のことは一切述べませぬでありまし
	の	278	05	ぬでありました．此の上は我が国の現在	の	監獄上のことを論述すべきやの順序ではありま
	の	120	05	所を見れば各の住民は，ほとんど飲酒家	の	鑑札を持つて居る様なものだ」と述べました．ま
	の	251	08	を許しまして，たゞ警察上よりイクラか	の	監視を受くるだけで通常の良民と同様に其の身を

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（の）	の	273	07	一，懲治監は百〇三，合せて四百三十九	の 監舎となりまする．五箇所の集治監は皆な巳決監
	の	129	11	といふものには基が無し道徳は全く各国	の 慣習と風俗に係るものなりと言はれた，これから
	の	199	06	るかドウかと彗星の軌道，即ちあるく道	の 勘定をしました．勘定してドウして分ると云ふこ
	の	200	05	観測しました彗星の軌道がＨａｌｌｅｙ	の 勘定した彗星のに，よく似て居りました．其れで
	の	202	15	年の三月十二日に於てＣｌａｉｒａｎｔ	の 勘定したより三十日ほど早く太陽に一番近い所に
	の	094	16	得ぬことです．併し此の悲歎と此の憤怒	の 感情よりして証拠も無い者を以て有罪であるとい
	の	130	14	ことをお聞きなされ．「天地の間に二つ	の 感心なものあり．我れ此の二つのものを深く思へ
	の	067	08	故に私は聊か諸君に祝辞を呈し併せて私	の 感ずる所を諸君の前に申し述べようと思ひます．
	の	092	01	つて見ればドコから見ても基督教は人間	の 完全なる進歩を成就せむとするに必要なるもので
	の	206	06	は一番始めに発見された今のやうな彗星	の 元祖で有ります．Ｈａｌｌｅｙが今日まで一番大
	の	233	08	に此の専修学校は私立の専門学校の一番	の 元祖で其れから近来イクラも専門の学校が出来た
	の	234	10	から練り出して日本語を以て教ふる学校	の 元祖になりました．ドウしても，これから後には
	の	235	03	専修学校は日本語を以て教ふる専門学校	の 元祖で今日の如き盛大な有様になつて今日の如き
	の	020	10	陸も有ることは確に知れて居るです．月	の 観測の時には海は無いと云ふことを申しましたが
	の	199	08	でいくには及びません．さて彗星の毎日	の 観測を以て其の軌道を取り出して見ますと皆な抛
	の	200	03	ない．昔し千六百〇七年にＫｅｐｌｅｒ	の 観測しました彗星，また其れより七十五六年前即
	の	200	04	六年前即ち千五百三十一年にＡｐｉａｎ	の 観測しました彗星の軌道がＨａｌｌｅｙの勘定し
	の	270	14	りまする．俗に智識がひろまるほど不良	の 奸智も殖ると申す者が有りまするけれども，これ
	の	162	05	文王方伯と為り西国に在られしとき庶邦	の 官長に戒めらるゝには惟々，祭祀は則ち酒を用ふ
	の	260	15	区長，或ひは府県知事，或ひは内務大臣	の 監督を受けると云ふことは最も必要で有ると思ひ
	の	143	05	人情を写すは筆より外は無い．即ち小説	の 管内で御坐ります．凡そ人情と申すものは極り無
	の	091	14	て人を救ひ出す為めに此の世に生れ多く	の 艱難に遭ひ遂に己れが貴い血を流したので御坐り
	の	048	06	電信だの郵便だの互に条約が有り又今日	の 官報に出て居た様に日本でも欧羅巴のメートル条
	の	063	11	らステーションに詰めかけ待つて居る位	の 緩慢なる人物が多きにも拘らず一千人に付き五個
	の	144	08	嘗めずに一機軸を出したと言ふものは私	の 眼力が無く眼界が狭くつてまだ見当りませんが只
	の	216	14	ませう．其れから我が国に古く霊異記だ	の 感霊録だのと云ふ仏法の霊験を書物に著したもの
	の	005	15	替らなければならない．併し，そこに人	の 気は付かない．具足を着たり甲を冠つたりしては
	の	184	08	一婦の教も何の役にも立ちません．自分	の 気に入らぬと云つては妻を出し，子が無いと云つ
	の	184	10	つては出し，自分には気に入つても両親	の 気に入らぬと云つては出ししたら，ドウして一夫
	の	262	04	人は無論，罪人にあらざる者にても国王	の 気に入らなかつた者は入れておくと云ふやうな弊
	の	172	07	人引き渡しの条約を立てたこと条約改正	の 議に第一の同意者となつたことなどであります．
	の	063	14	力車夫自身の健康上に至つては更に一層	の 危害あるものです．諸君御覧なされ，人力車夫の
	の	231	09	任して居りまして，各大臣の側らに専門	の 議会を置きます．例へば内務省に中央衛生会とか
	の	243	07	まする．けれども一方に於ては元老院等	の 議会を設けて国民全体の望みに適ふやうに事を議
	の	227	04	区画と云ふことが大事で御坐います．私	の 聞きました所では日本の極古いときは郡に分れま
	の	034	03	酒と申すものはナルコチカと言つて麻酔	の 効の有るもので之が為めに害を受けぬ者は有りま
	の	225	04	から多くの年月を重ねなければ迚も改良	の 効は顕はれますまい．さて，改良のことに付ての
	の	189	17	といふことである．この執行権は立法権	の 議決したることを執行するに付て執行権者は一人
	の	232	04	と地方税規則第三条掲載の事項は府県会	の 議決を経なければならぬけれども府県に固有のこ
	の	216	13	昔の書物を見ると随分ありますから小説	の 起原はドコでも，さう云ふことからして始まつた
	の	147	17	ありますがスタチスチックで何れの土地	の 季候は何度であると調べて見てこれはナルホド必
	の	217	03	が出たから其れを養つた所が段々と美人	の 聞えが高くなつて言ひ寄つた人も多かつたけれど
	の	176	02	はれます．我が国人も近来，海外出稼ぎ	の キザシがありますから追々勇み進んで移住出稼ぎ
	の	251	08	を受くること十五年たちまして悔悟遷善	の 徴をあらはした者は仮出獄を許しまして，たゞ警
	の	266	08	を悔るやうに致させまして，大分に悔悟	の 徴をあらはしたときに至つて家族法を用ひまして
	の	266	12	て分房法を用ひます．而して大分，悔悟	の 徴をあらはしました者は緘黙法を用ひまして昼は
	の	239	05	まして，去る六月九の午前六時に上野発	の 汽車にて東京を出立いたし，福島，宮城，岩手，
	の	239	09	に乗り八月二十八日の午後五時に上野着	の 汽車にて帰京いたしました．此の巡回に費しまし
	の	175	16	たまでのこと．また英国人は「人は地球	の 寄生物」といふ人間の道理に随つてドコへでも出
	の	071	05	と培育とを加へられて共に我が国の文明	の 基礎となるべき機関を製造陶冶せられむことを望
	の	152	06	を一言して見ますと憲法では一国の公法	の 基礎となる原則を定むる，即ち人民の政事上，宗
	の	182	02	せん．ナゼなれば夫婦の関係は人間道徳	の 基礎で若し夫婦の間柄が宜しきに適はなければ親
	の	037	13	長することも盛衰することも総て有機物	の 規則に随ふものぢゃと云ふことが分りた．動植物
	の	214	04	の故事が入り用の時は当時有名の雑学者	の 喜多静廬や村田了阿などの所へ買ひ出しに行きま
	の	059	03	も沢山あると云ひますから下水流しなど	の 穢い所を掃除してプンとする鰯の頭や香の物のキ
	の	154	04	利用が出来ないといふことに付ては色々	の 奇談もありますが其れは先づやめませう．学問と
	の	201	03	ｙが言ひませんだつたのは，これも諸君	の 疑団の一つになつて「其の様に分ることなら何月
	の	020	03	りて照つて居ります．所で此の星は地球	の 軌道の外を通つて太陽を繞つて居ますから若し太
	の	199	06	が其の通りになつて居るかドウかと彗星	の 軌道，即ちあるく道の勘定をしました．勘定して
	の	199	12	した楕円と抛物線の関係が有るから彗星	の 軌道も抛物線のやうには見ゆるが事によつたら楕
	の	200	05	十一年にＡｐｉａｎの観測しました彗星	の 軌道がＨａｌｌｅｙの勘定した彗星のに，よく似
	の	060	04	節は開化して猫も杓子も（と云つて杓子	の 絹衣はまだ見ぬけれども）着て居ります．しかの
	の	081	12	りませぬ．人が勝手に造り且，用ゆる所	の 器物品物家屋また器械等のものでは御坐りませぬ

代表形	判	ページ	行	出現文脈		
（の）	の	086	15	て出来ぬと云ふことが無い．若し基督教	の	基本になつて居る聖書を開き見るならば，これ等
	の	037	05	講釈をしませう．社会と云ふことは一つ	の	きまりたる解は至りてむづかしい．世界の全人類
	の	153	14	す．この行政法といふものは一国の憲法	の	きまり塩梅で色々に，きまる点もあります．故に
	の	218	15	十四帖もある大部の物だが大かたは源氏	の	君や其の他の人々の平日の動作言行を記して其の
	の	219	09	の箒木の巻に雨夜の品定めと云つて源氏	の	君，頭の中将，外に両名ばかり集つて世間の女の
	の	065	10	健康を満足せしめむとするは則ち先覚者	の	義務です．実に我が邦は内地雑居の大役が前途に
	の	092	13	故にこの大日本帝国に対して諸君御銘々	の	義務は明らかで御坐りませう．ノルマントン号船
	の	095	02	他人の危きに臨んでは之を救ふが道徳上	の	義務で御坐りませう．況んや其の身船長であれば
	の	153	03	ことを，きめる．また憲法で人民に納税	の	義務が有ると定めるが併しドウいふものから税を
	の	153	04	とであります．また人民は血税を納める	の	義務があるといふことを憲法に掲げてあつても，
	の	183	12	るものも妻たるものと同様に貞操を守る	の	義務あることを教へます．此の義務に於ては決し
	の	183	14	別は御坐りません．双方共に貞操を守る	の	義務あるもので御坐ります．然し，これまでの考
	の	022	15	までは皆地球よりは小さいか大凡同し位	の	球で同し親類と看做せば看做すことの出来るもの
	の	023	07	二十六丁の処にあり，海王星は三寸八分	の	球で太陽を距ること二里二十五丁幾ど三里で有り
	の	065	11	，食物や家屋や人力車の濫用や丸髷島田	の	窮屈髷や長袖広帯のナマケ服など共に皆改むべき
	の	256	04	民救助のことを簡略に述べませう．貧民	の	救助と申しまするものは慈恵に係るもので有りま
	の	256	05	に二つの種類が有りまして，第一は公け	の	救助，第二は私の救助で有ります．其れで第一の
	の	256	05	りまして，第一は公けの救助，第二は私	の	救助で有ります．其れで第一の公けの救助と申し
	の	256	06	私の救助で有ります．其れで第一の公け	の	救助と申しますものは全国，又は府県，若しくは
	の	256	08	して救助することで有りまして第二の私	の	救助と申しますものは一私人，又は数私人，若し
	の	256	10	．今，申しました二つの種類の外に天災	の	救助と云ふものが有ります．これは洪水，暴風雨
	の	256	13	法を以て行なつて居りまする．さて貧民	の	救助の結果は何かと云へば，ただ二つに止まりま
	の	256	14	だ二つに止まりまして第一の結果は貧民	の	救助即ち慈恵で有りまして第二の結果は犯罪人を
	の	257	08	れ等は親族なきに於ては已むを得ず公け	の	救助と私の救助とを以て救助をしなければなりま
	の	257	08	なきに於ては已むを得ず公けの救助と私	の	救助とを以て救助をしなければなりませぬ．また
	の	257	12	民を救助し及び不良少年を矯正（即ち心	の	救助を）するは一時の資本前貸しと犯罪人の予防
	の	258	01	むべきものと考へられます．第一，貧民	の	救助．これに二つの種類が有りまして第一種は盲
	の	258	02	盲人，聾，唖，癈疾，不具者にして親族	の	救助し能はざる者，又は救助せざる者，又は親族
	の	258	03	で有ります．第二種は貧病人にして親族	の	救助し能はざる者，又は救助せざる者，又は親族
	の	258	05	は親族なき者で有りまする．第二，貧民	の	救助，兼犯罪人の予防．此の両性質には別に甲乙
	の	258	07	して，第一種は壮健なる貧民にして親族	の	救助し能はざる者，又は救助せざる者，又は親族
	の	258	08	正の足らざる者を矯正すること（即ち心	の	救助）で有りまして，これには教育，即ち智育，
	の	259	02	べきもので有りまする．斯くの如く貧民	の	救助は慈恵と云ふのが一つで，また慈恵と犯罪予
	の	259	03	一つで，救助を施しますには或ひは公け	の	救助を以てし，或ひは私の救助を以てし，或ひは
	の	259	03	は或ひは公けの救助を以てし，或ひは私	の	救助を以てし，或ひは私設救助に政府，又は府県
	の	259	05	べきもので有りまする．斯くの如く貧民	の	救助は犯罪人の予防減少に大関係をもつて居りま
	の	068	07	ることは出来ませぬ．而して第一回試験	の	及第から第二回の試験までは見習生となつて実務
	の	169	03	度この時分に我が国の人心が印度や支那	の	旧物に倦んで，いや気が起つた頃に其の自由心が
	の	235	05	べきことで有ります．其れに次では諸君	の	今日卒業されたことを祝するので，尤も別に珍ら
	の	007	05	が盛な有様である．ナゼかといふに漢字	の	教育を受けて居る人が多い．漢字の教育を受けた
	の	007	06	漢字の教育を受けて居る人が多い．漢字	の	教育を受けた者が十人に八九は有りませう．だが
	の	137	11	ふものは学校教育では無いが間接に社会	の	教育上に関係が有つて大いに其の利害の有ること
	の	172	03	の輸入を予防せしめたこと我が国の民間	の	教育に尽力して，くれたこと耶蘇正教を我が民間
	の	186	12	尚ほ例を挙ればキリスト教に於ては女子	の	教育を勤めること，また婦人が社会のために働く
	の	247	16	と致します．其の第二は，教誨法即ち心	の	教育法で有りまして其の目的は「汝の為したる所
	の	250	02	育を施すべき時で御坐います．未丁年者	の	教育は智慧の教育，心の教育，身体の教育の三つ
	の	250	02	時で御坐います．未丁年者の教育は智慧	の	教育，心の教育，身体の教育の三つで有りまする
	の	250	02	ます．未丁年者の教育は智慧の教育，心	の	教育，身体の教育の三つで有りまする．而して智
	の	250	02	者の教育は智慧の教育，心の教育，身体	の	教育の三つで有りまする．而して智慧の教育，即
	の	250	03	の教育の三つで有りまする．而して智慧	の	教育，即ち智育と申しまするものは学校に於て之
	の	250	04	しまするものは学校に於て之を行ひ，心	の	教育，即ち徳育は重もに家庭教育，即ち両親，其
	の	250	04	両親，其の他に於て之を掌り，また身体	の	教育，即ち体育と申しまするものは或ひは家庭に
	の	250	06	に於て之を行ひまする．付ては此の三つ	の	教育を終りまして並の人間になりましたのを丁年
	の	250	16	於て懲戒と教誨とを施して此の罪人の心	の	教育を致しまする．其れに此の罪人は二年でよか
	の	251	07	の刑に処しまするけれども監獄に於て心	の	教育を受くること十五年たちまして悔悟遷善の徴
	の	258	10	施し，また将来，就業の準備として仕事	の	教育も致させなければなりませぬ．此の不良少年
	の	264	05	世話もし，また感化にも尽力し，且職業	の	教育をも施しますことになつて居りまする．第二
	の	270	04	まして，前に申した八千四百十四人の者	の	教育の度合ひを其の入院の時に調べましたのを見
	の	270	10	九分六厘ばかりに当りまする．また小学	の	教育を受けたる者が三十四人ありまして丁度たゞ
	の	275	02	次に重もなる者は幼年囚，及び不良少年	の	教育，並びに保護でありまして，これは近来，大
	の	275	03	にアメリカにては幼年囚，及び不良少年	の	教育，並びに保護は実に盛大なる有様であるとの
	の	275	13	，及び不論罪懲治者，並びに出願懲治者	の	教育保護の事業を世間の有志者，有力者に於て非
	の	147	10	挙げて見るとスタチスチックで日本帝国	の	境界を調べるといふことがあるが，これ等は何等

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（の）	の	147	11	何等の為めに調べるかといふに日本帝国	の 境界はこれだけのものであるといふことを調べる
	の	069	13	者に告ぐ」と云ふ題にて「最早法律学士	の 供給は需要に過ぎて居る，物好きなら兎も角も生
	の	071	07	我が国に於て新聞記者が「最早法律学士	の 供給は既に需要に溢れて居る，不平均である」と
	の	090	04	歩を助くるには人の導きになる教，色々	の 教訓が余程大事なもので御坐ります．若し人が知
	の	213	09	．マー先生方のシッカリとした演説の間	の 狂言のやうなもので御坐います．さて小説は文章
	の	222	10	劇のことを述べませう．演劇は舞と，能	の 狂言とが転変してアー云ふ風になりましたと先づ
	の	223	12	宝永の時分になつては三番続き五番続き	の 狂言の趣きを版にしたのを今も好事家は持つて居
	の	081	09	の隆盛なること国家の確立したこと政体	の 鞏固なることなどのものは進歩と云ふもので御坐
	の	024	06	れは近頃亜米利加のワシントンの天象台	の 教師ＡｓａｐｈＨａｌｌと言ふ人が発見いたしま
	の	128	17	所の風に従つてゆくものは決して基督教	の 教師の仲間に限つたものでは御坐りませぬ．国政
	の	267	04	せぬと，他の未決者から証拠を押し隠す	の 教授を受くるやうなことが有りますし，また非常
	の	258	08	有ります．第二種は不良少年にして親族	の 矯正なき者，又は矯正の足らざる者を矯正するこ
	の	258	12	年で有ります．これは前に申しました所	の 矯正院に於て掌るもの即ち救助すべきもので有り
	の	149	04	住のことなどを調べるにしてもドレだけ	の 行政法律規則をこしらへなければならぬか行政法
	の	151	03	．第一行政法の中に，はいるものは日本	の 行政法の組織だと行政官吏，行政議会，其れから
	の	152	03	上の権理とか皆これを制限し規定する所	の 行政法律規則を研究しなければなりませぬ．第四
	の	226	06	ことを申し上げました．今日よりは純粋	の 行政部類に這入りまして第一に行政官権並びに行
	の	228	04	も異にして居りましたから，ツマリ日本	の 行政法はムヤミに数が多く有つたやうな有様で御
	の	243	01	属するもので有りまするから第一に監獄	の 行政上の位置を述べませう．さて監獄は行政上に
	の	244	13	るけれども，其の刑の執行は執行権の中	の 行政権に属しまする．其れから第六は全国の利益
	の	260	16	最も必要で有ると思ひまする．其れは右	の 行政官に於てはコレコレまでは全国の利益になる
	の	277	01	たしましたることを約説しますると監獄	の 行政上の位置監獄の目的及び方法監獄と警察と裁
	の	004	05	れば，こちらは次第に衰微する．交易上	の 競争は一日一刻も止む時の無きもので病の為めに
	の	004	08	ぐらゐ書いて居てはクルベーと支那人と	の 競争と同じことで競争にも何にもならない，其れ
	の	040	06	の配偶が出来る様になりても今現に多く	の 兄弟で一人の女房を共有して居る社会が有る．其
	の	043	07	を折りて開いた．教法と云ふものも野蛮	の 教法と開けた教法とは大いに違ふ．野蛮の教法は
	の	043	08	教法と開けた教法とは大いに違ふ．野蛮	の 教法は道徳の意味は無くたゞ力の大いなるものを
	の	159	07	三聖と言ひましたが其の時分には欧羅巴	の 教法は渡りませんから老子と孔子と釈迦を三聖と
	の	106	08	其の他不法の所為あるに於ては其の海員	の 業務を停止し又は其の免状を没収するの処分を為
	の	230	12	五の町村が聯合して共有して居るのを郡	の 共有と云ふのが多いので，郡其れ自らの所有と云
	の	045	06	あらうが，さうで無い．例へば亜米利加	の 共和政治と云ふて民権家は喜ぶが其れでも男と女
	の	140	01	オン三世を逐ひ出し出してしまつて今日	の 共和政治にしてしまつたことには与つて力の有つ
	の	188	14	の大革命より千八百七十一年まで即ち今	の 共和政治になりますまで国の組織となる憲法を十
	の	240	07	の所有権で有りまする．然れば内務大臣	の 許可なくしては之を他人に言ふことは出来ませぬ
	の	240	12	私が知るのでは有りませぬ．故に○○君	の 許可なくしては他人に向ひ其の性質の如何を申し
	の	241	03	閲したることは善悪利害を問はず其の人	の 許可を得て言ふことと致さなければなりませぬ．
	の	155	01	が其れは先づやめませう．学問と宗教と	の 極点を論ず明治十八年十月十日栴檀社員大演説会
	の	155	08	題がチト大きすぎますナ．学問と宗教と	の 極点を論ずるといふのだから口はゞつたい訳さネ
	の	158	04	からドウしても動きません．其れが学問	の 極点でごす．今日，三十七八科に及ぶ学科は今日
	の	159	03	学問の実際といふものに違ひない．教法	の 極点といふと教法は御承知の通り西洋にバイブル
	の	160	04	物をカッキリと心に落ち付けるのが学問	の 極点で，教法は心の本体なるものは如何なるもの
	の	160	06	るものかドウなるものかといふのが教法	の 極点でごす．一言につめると学問教法ともタマシ
	の	158	17	日は電信局の小使となつた．今日の学問	の 極度であるかドウかは私には保証が出来ないが実
	の	106	12	ればノルマントン号の沈没した為め紀海	の 魚腹に葬られたる我が同胞二十五名の霊魂を慰め
	の	047	12	印度も奪ふてしまひ，近頃は朝鮮の領分	の 巨文島を勝手に取りてしまひ，安南でも緬甸でも
	の	132	13	こと，また破ることと駁つことは露西亜	の 虚無党の仕方で有ります．基督教の仕方で御坐り
	の	013	06	だと申しました．なぜだといふに此の位	の 距離は僅かの間に通ることの出来るものです．昔
	の	014	15	第一番のことで有ります．そこで月まで	の 距離はと言ふと現に既に測量して有ります．測量
	の	015	07	距離を測る時の通りに例の角度で月まで	の 距離を測り出します．随分此の測量はむつかしい
	の	015	09	はと云ふと地球の中心から月の中心まで	の 距離が日本の里数で九万七千五百里です．九万七
	の	015	14	七千五百寸あるなどと言つては，どの位	の 距離だか少しも分らない．だから寸や尺で間に合
	の	015	16	きくして参ります．さて地球から月まで	の 距離を唱へるには里でも間に合ひかねるから物さ
	の	017	06	来るものの中にはいつて居ます．併し月	の 距離の様にやさしくは有りませぬが測量の出来な
	の	017	11	うといふと一丈一尺ばかりの玉を三丁半	の 距離に置いたのが太陽になります．一寸の玉は手
	の	020	06	の星と太陽との間にはいりますと此の星	の 距離が非常に近くなる上に丁度太陽の光をマトモ
	の	023	03	かも知れませぬ．其れから木星は十七丁	の 距離に在りまして太陽を一丈一尺とすると木星は
	の	023	04	径が太陽の十分の一ありまして地球から	の 距離は太陽よりは余程遠い．其の次ぎに土星は三
	の	023	13	里を小さいと言つたのでは無い，海王星	の 距離などに比べると実に言ふに足らぬ位だから小
	の	023	15	ます．其れでは太陽からして海王星まで	の 距離は夥しいかと云ふに，さう言へない場合が出
	の	025	13	かも知れない，大きい小さいの争ひは例	の 距離の知れた上でなければ論にならない．星の距
	の	025	14	の知れた上でなければ論にならない．星	の 距離は月の距離を測りますのから見ますと余ほど
	の	025	14	でなければ論にならない．星の距離は月	の 距離を測りますのから見ますと余ほどむつかしく
	の	025	17	グルリを回る軌道の半径即ち地球と太陽	の 距離を取りませう．此の物さしの両端から測量し

代表形	判	ページ	行			出現文脈
（の）	の	026	01	しの両端から測量して見ても大かたの星	の	距離は大き過ぎて測量することが出来ませぬ．先
	の	026	03	千八百倍で有ります．地球から太陽まで	の	距離が三千七百八十五万里で随分大きなものです
	の	028	04	ｅｎｔａｕｒｉより一万倍乃至三万倍位	の	距離に居る星が確に有る様です．こんな星から出
	の	081	15	固ならぬもので御坐ります．第四．人間	の	器量は様々にして其の常に為す所また勉める所種
	の	157	11	すつた方は御存じのことだが其の時は堤	の	きれたやうに，しゃべり出したとネ．今，日本大
	の	059	04	所を掃除してプンとする鰯の頭や香の物	の	キレッパジ等を常に堆積せざる様に奇麗にして御
	の	129	12	ａｎｄｓｔｏｎｅ氏とＴｙｎｄａｌｌ氏	の	議論が新聞紙に出版になりました故にかの旧約書
	の	133	01	ります．また卒業生の行ひの証拠はたゞ	の	議論に負け易いもので御坐りませぬ．この仕方の
	の	100	13	る．若し果して，さうだとすれば我々今	の	際に当りて窘に二十五名がウタカタの泡と消え海
	の	063	03	費し無理に人力に乗るとは実にハヤ濫用	の	極と云はなければなりますまい．所で私が斯く濫
	の	107	01	実に悲むべく憫むべく怒るべく恨むべき	の	極にして「情け無いことをした」といふより外は
	の	111	05	本人其の他東洋人を蔑視し之を蔑視する	の	極，之を虐待して殆ど彼等と同種類の人類でない
	の	171	17	外貿易の道を開いたこと我が国人に阿片	の	禁を勧めたこと（あれが若し勧めて，くれなから
	の	017	04	のお話しはおきまして此の外に何ぞ地球	の	近所に居るものが有るか知らんと言ひますと我々
	の	030	03	の中でも精しく調べて見るとアマノガハ	の	近所が一番多くて其れから次第に少くなる．大き
	の	031	12	．又其の位置はと言ふと或はアマノガハ	の	近所に在るものが有り或はアマノガハと方角の違
	の	199	10	るかと云ひますと，極遠の場所から太陽	の	近所に来て其れからまた次第に遠くなつてトウト
	の	120	12	を見ますと麦酒などを飲む為めに費す所	の	金高は大層なことで有るから今度の不景気なども
	の	088	05	なものが御坐ります．これ等も亦基督教	の	緊要なることを能く顕はす故に其の中の重もなる
	の	254	08	を出ましたる放免者と名づける者は十分	の	九分九厘は将来の犯罪人と云ふ虞れが有りまする
	の	229	06	て区と定めるので例へば東京市街を一つ	の	区としてドコの郡にも属せぬと云ふやうにして有
	の	230	01	里と云ふところが有ります．これは内地	の	区のやうなもので有ります．其の外間切と云ふも
	の	177	05	得るに従つて其の運動の有様に常と変と	の	工合あることは明かに知れます．この常と変との
	の	127	03	西洋の有名な専門家が其の専門とする所	の	区域に限つて天然のものを論ずる間は間違ひに陥
	の	135	03	教をのみ研究し且弁論するならば我れ等	の	区域，我れ等の趣意が至つて狭いものにはなりは
	の	259	11	製造の予防に注意すること．第二，土地	の	区域を定むること．これは東京の養育院に於ては
	の	227	04	し上げませう．先づ第一に行政上の土地	の	区画と云ふことが大事で御坐います．私の聞きま
	の	230	03	が五百八十九あります．現今では行政上	の	区画は府県，郡区，町村と云ふことになつて居り
	の	230	03	云ふことになつて居ります．之を行政上	の	区画と定めましたのは廃藩置県のときからで有り
	の	136	01	つ張つて御坐ります．そこで見物人が表	の	口にはいり裏へ出まして其の庭を見ますれば誠に
	の	221	16	家の人情本を作りましたは何れも洒落本	の	口調から変化したものと思はれます．さて京伝以
	の	004	01	下万国と競争しなければならない．ドコ	の	国のハテとでも交際し競争しなければならない，
	の	038	12	になると云ふなれども近頃の説では野蛮	の	国と文明の国とは善悪も邪正も顚倒して道徳は其
	の	038	12	ふなれども近頃の説では野蛮の国と文明	の	国とは善悪も邪正も顚倒して道徳は其の時の社会
	の	040	09	になりて居る．箇様なることが総て野蛮	の	国と開けた国と全く違ふて居る．善と悪とが，ま
	の	044	10	義通りには参らぬものぢゃ．支那は道徳	の	国なれども決して己の利をすてて他人の為めにす
	の	045	08	る権も亜米利加のは州によりて普通選挙	の	国も有るが又制限を立てて丁年の男子は誰でも選
	の	048	12	の有機物になる．其の時に至りたら一つ	の	国は有機物の一部分ぢゃから無理なことをしても
	の	082	12	．昔の例を挙ぐればエジプトとペルシヤ	の	国が御坐ります．これ等の国は立派に開けた国で
	の	082	13	トとペルシヤの国が御坐ります．これ等	の	国は立派に開けた国で御坐りましたが道徳の進歩
	の	082	15	す．また少し後の例を挙ぐればギリシヤ	の	国また其の中のアデンスの町を御覧なされ．アデ
	の	083	09	時の近い例を申しますならば彼の仏蘭西	の	国を御覧なされ仏国に於て学術美術新発明商法な
	の	084	15	或は全く滞止したのでありました．何れ	の	国においても其の総体の進歩は速力の能く定まつ
	の	084	17	定まつたもので御坐りませぬ．世の種々	の	国の様々の進歩を調ぶると云ふことは万国史を勉
	の	101	12	ます．西洋各国の歴史を見まするに何れ	の	国にても一事の改革をはかるときには必ず二三の
	の	102	09	となきものがイクラもある．日本は野蛮	の	国では無い．二千年来特別の開化をして居るから
	の	171	06	づかしからうと存じます．其れならドコ	の	国に行くだらうか．学術を研究したり移住を為し
	の	177	02	の調べとして五年も積み十年もたてば何	の	国は往来は繁けれども移住は少ないとか何々は箇
	の	177	03	移住は少ないとか何々は箇様になつた何	の	国では往来も移住も多い何々はドウなつたと其の
	の	177	06	た上は将来，我が国の人心の向ふ所は何	の	国を好み何の政体を貴び何の風俗を喜び職業は何
	の	195	05	す前に，東に当つて出ましたので，ドコ	の	国からもよく見えました．当時私はこゝからチト
	の	215	15	云ふ昔話しの一番古いところは昔々隠岐	の	国に一疋の兎があつた所が其の兎が内地の方へ渡
	の	220	13	スメの話しや，文正の草紙と云つて常陸	の	国に居た大福長者の話しなど種々様々の画入の慰
	の	234	15	で其れで無ければ学問は出来ない，自分	の	国の言葉は学問に用ひられるもので無いと思つて
	の	173	07	になつたので知れませう．若し我が日本	の	国人と北亜米利加の人と親しんだなら其の親和力
	の	003	02	ことも出来，船を造ることも出来れば敵	の	首を取ることも出来るけれども方便の方はたゞ之
	の	053	12	ぬ．と言つて油断してはすみませぬ．私	の	工夫は小学校の初等科の生徒に先づ仮名ばかりで
	の	145	03	々と計らなければなりませぬ．併し一つ	の	工夫が御坐ります．先づ現今の小説に志す人々は
	の	183	13	教へます．此の義務に於ては決して男女	の	区別は御坐りません．双方共に貞操を守るの義務
	の	190	03	律規則の執行を為すので，行政府と政府	の	区別を一と口に云ふと政府は憲法の範囲内で仕事
	の	226	05	演前回におきましては行政上で二大原則	の	区別を致しますることを申し上げました．今日よ
	の	228	06	たやうな有様で御坐います．其れで地方	の	区別を見ますと大名の下に今の郡長のやうなもの
	の	228	15	其の郡の下に町村が有ります．この町村	の	区別に至りましては地学上ドウ区別したがよいか

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（の）	の	263	04	ますが其れとても年令，罪質，犯数，等	の 区別によつて其の雑居の分ちを為す位なもので有
	の	268	03	監獄の種類を述べませう．これには二つ	の 区別が有りまして一つは軍事の監獄で有り，一つ
	の	271	09	う．これにも軍事の監獄と普通の監獄と	の 区別が有りまするが軍事の監獄に関係しましたこ
	の	272	11	つて居りまする．しかし実際は其の性質	の 区別はあると云ふことで御坐います．而して監獄
	の	002	09	はドウでも構はない．ナゼそんなら仮名	の 組の中で人の多い所へはいつたかといふに何でも
	の	165	14	ら論ずる所も大きくなります．この人間	の 組み合つて居る社会といふものは，どの位まで開
	の	080	12	人の総ての悪き所，人の害になる所，人	の 位を下げる所のものを減じ或は除くことで御坐り
	の	085	12	しき性質，人の損害になる原素，また人	の 位を下げる所のものを除き去りまた減ずること，
	の	086	03	悪しき性質，人の損害になる原素また人	の 位を下げる所のものは何で御坐りませうか，また
	の	087	06	人の悪しき性質，人の害になる原素，人	の 位を下げる所のモノゴトまた其の外社会の進歩を
	の	247	13	悪い事をしたから斯くの如き現在の地獄	の 苦みを受けると云ふことを分らせるので有ります
	の	197	16	したのみで満足をしないで，総ての学者	の 苦しんで居る所の彗星と云ふものは若しや惑星と
	の	011	05	ほど一応は御尤で有ります．併し神保町	の 車屋でも呼んで来て「貴様どこだ」と聞いたら「
	の	016	09	ひないです．党類で有るのみならず地球	の グルリを回つて居ります．地球が真中にチャンと
	の	017	15	も遙に大きい．其れのみならず月が地球	の グルリを回つて居ると同様に太陽のグルリを地球
	の	017	15	地球のグルリを回つて居ると同様に太陽	の グルリを地球が始終グルグルと回つて居る．さう
	の	018	10	我々は恥る所は有りませぬ．そこで太陽	の グルリを地球が回つて居る，其の一遍回つて元の
	の	018	12	月といふ僕とタッタ二人づれで毎年太陽	の グルリを旅行する訳のものか，これは調べなけれ
	の	019	13	其のグルリに鍔が有ります，丁度鉛の玉	の グルリに剣術の竹刀の鍔でもつけた様に見えるも
	の	020	02	星即ち螢＊惑星で有ります．矢張り太陽	の グルリを回つて居る星で地球と同様に自分には明
	の	021	09	ない時分には人間は高慢で日も月も地球	の グルリを回つて居る．動物は地球の表面にしか居
	の	025	17	なりませぬ．今度の物さしは地球の太陽	の グルリを回る軌道の半径即ち地球と太陽の距離を
	の	029	03	が肉眼では見えないがよく調べると何か	の グルリを回つて居る様に見ゆるといふ場合が有り
	の	197	09	……惑星は我々の地球と同じことで太陽	の グルリを回つて居る，太陽は夥しいもので地球や
	の	206	01	リンのＥｎｃｋｅと云ふ人が（これは前	の ＣｌａｉｒａｎｔほどにはいきませんがＰｏｎｔ
	の	087	05	，この御方の為めに少しばかりこの趣意	の 委しい所を申しませう．たとへば彼の人の悪しき
	の	229	06	で例へば東京市街を一つの区としてドコ	の 郡にも属せぬと云ふやうにして有ります．故にこ
	の	230	01	ります．其の外間切と云ふもの即ち内地	の 郡の如きものが三十六あります．また村と，村の
	の	004	02	競争しなければならない，トルピドで敵	の 軍艦を沈めるばかりが競争では無い．こちらで出
	の	230	05	して陸軍に於ては数多の県を合せて一つ	の 軍管を置いて全国を七軍管に分ち，海軍では全国
	の	227	12	は何であるかと云ふと，テもなく一地方	の 君主の如きもので，フランス語で云へばプレンス
	の	041	16	に違ふて居る．諸君も知らるゝ通り支那	の 君臣父子夫婦と云ふことなどは西洋のとは甚だし
	の	001	14	の所へ今日この席に居らるゝ愛媛県高松	の 郡長兼県庁の御用掛泉川健といふお方がお出にな
	の	228	06	れで地方の区別を見ますと大名の下に今	の 郡長のやうなものを置き，また村には名主と云つ
	の	005	06	ルベーだぞと忠告してチャンチャン坊主	の 毛をきり支那から留学生の一万人も二万人も西洋
	の	244	12	司法権に於て罪人あるときは之に刑法上	の 刑を適用するけれども，其の刑の執行は執行権の
	の	251	07	な悪事を為しました者は已むを得ず終身	の 刑に処しまするけれども監獄に於て心の教育を受
	の	268	11	居りまする．また時としては数日の拘留	の 刑はこゝに於て執行することも有りまする．第二
	の	271	14	りまする．但し時宜によりまするとき拘留	の 刑に処せられたる者を留め置くこともありまする
	の	272	03	りまする．第四，已決監．こゝには懲役	の 刑，及び禁錮の刑に処せられたる者を拘禁して置
	の	272	03	，已決監．こゝには懲役の刑，及び禁錮	の 刑に処せられたる者を拘禁して置きまする．第五
	の	272	04	，集治監．これは徒刑，流刑，及び禁獄	の 刑に処せられたる者を集治する所で有りまする．
	の	136	02	す．けれども遂に二階に上つて，かの庭	の 景を見下すならば誠に面白いもので有ります．此
	の	024	14	を総称して太陽系と言ひます．系は系図	の 系の字で有りまして私が親子眷属に譬へましたの
	の	240	01	巡閲したる監獄の有様は如何，国事犯等	の 景況如何，何々何々と矢をつく如くに詰問せられ
	の	194	01	とか石の家を建るとかいふのは其の時々	の 経験に本づいて，やるのですから御趣意は一向変
	の	236	02	．其の様の次第で有つたことゆゑ，蘭語	の 稽古も実にむつかしいことで一つの言葉を知るに
	の	255	09	されば昔のオカッピキは悪かつたから今	の 警察官は賤しむべきかと云ふと決して左様なもの
	の	202	07	る位にして勘定をしました．其れも充分	の 計算にはゆきませんが多分千七百五十九年の四月
	の	105	14	ると思ふ．併しながら該言渡を以て一箇	の 刑事裁判の如く誤認せる論者に対しては一言其の
	の	008	05	意になつて居るのも無理はない．この間	の 競馬会社の開業式は一日ならず二日も三日も大騒
	の	108	02	ダー即ち謀殺でありますが，これは日本	の 刑法で言ふ謀殺に比すれば其の範囲が広く例へば
	の	064	06	んや之を引き疾駆するものに於ては一層	の 劇症を発す可きは当然のことでありませう．現に
	の	222	07	勝れた上手が有りませぬ．また徳川時代	の 戯作者は人情には随分渉つたが事柄が卑しかつた
	の	218	16	の平日の動作言行を記して其の間に時々	の 景色と歌とを交ぜたやうなもので馬琴や京伝の小
	の	161	16	は酒に基かないものは無いくらゐだ．夏	の 桀王も酒を飲んだに違ひ無からうが酒池肉林で国
	の	015	08	に出来るもので有ります．さてこの測量	の 結果はと云ふと地球の中心から月の中心までの距
	の	076	11	あつて見ても各々立身の道を得て積極的	の 結果を得て参りますゆゑ其の違ひの有るといふこ
	の	081	10	部の進歩に由つて自然に生ずる所の外部	の 結果で御坐ります．イヽエ人の進歩と云ふものは
	の	108	03	て人を殺す場合のみでなくて悪事を為す	の 結果，人を殺すに至つたものも亦マーダーと為す
	の	200	02	ｍｓｔｅｅｄなどで有ります．其の観測	の 結果を取つてＨａｌｌｅｙが調べましたれば其の
	の	203	05	ヅをのむと云ふ程では有りませんが計算	の 結果は，どの位，精密にゆくかと云つて待つて居
	の	256	13	て行なつて居りまする．さて貧民の救助	の 結果は何かと云へば，ただ二つに止まりまして第

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（の）	の	256	14	と云へば，ただ二つに止まりまして第一	の	結果は貧民の救助即ち慈恵で有りまして第二の結
	の	256	15	は貧民の救助即ち慈恵で有りまして第二	の	結果は犯罪人を予防すること，即ち貧民を其の儘
	の	232	11	理ではコレコレのことは是非とも府県会	の	決議を経て行へ，但し諮問の場合に於ては必ず其
	の	130	01	して御坐りませぬ．世の人の中に基督教	の	結局の勝敗に就て色々の疑ひを起すものが有るの
	の	185	03	せられましたが，これが即ちキリスト教	の	結婚の道で御坐ります．キリスト教に於ては一旦
	の	185	06	々しく婚姻は致しません．現今，我が邦	の	結婚と離縁との比例は如何程であるか只今諳記い
	の	179	12	したが千八百年以来の歴史をみて此の言	の	決して偽りで無いことが知れます．元来キリスト
	の	016	10	して見ると月は分明に地球の眷属，地球	の	家来に違ひ無いです．月の上には山も有り谷も有
	の	017	02	みた様なものは居ない．して見ると我々	の	家来の月は形から大きさもよく地球に似たもので
	の	017	17	を附属にして居つたが今度は我々が太陽	の	家来と言はざるを得んです．太陽と云ふものは非
	の	037	07	のは若干の人民が共に合して一つの統御	の	権を受けて居るものを云ふので他の言葉で申せば
	の	042	01	ことになりて居るが西洋では大いに人民	の	権を許してある．又支那では父子の間で子が親に
	の	044	12	前に云ふ君臣父子夫婦でも君と父と夫と	の	権は強く臣と子と妻の権は弱くて君と父と夫は自
	の	044	12	でも君と父と夫との権は強く臣と子と妻	の	権は弱くて君と父と夫は自ら利して其れに対する
	の	045	07	男と女とは大分違ひが有る．男には参政	の	権が有るが女には其れが無い．又議員を選挙する
	の	045	11	て害を為して居るに違ひ無い．女に参政	の	権を与へぬのは女から参政の権を奪ふてあるので
	の	045	11	．女に参政の権を与へぬのは女から参政	の	権を奪ふてあるので他を害する法が立ちて有るの
	の	045	15	やまぬであらうと云ふことは政府が刑罰	の	権をもちて居ることぢゃ．悪い事をした人を害す
	の	147	12	事実は何から調べるかといふと政治施行	の	権で，きまつて居つて其れが即ち行政法でありま
	の	230	05	を色々に利用しまして陸軍に於ては数多	の	県を合せて一つの軍管を置いて全国を七軍管に分
	の	255	17	知り，監獄の大切なることを知り，懲戒	の	厳にして酷なるべからざることを知らなければな
	の	086	10	きませぬ．これ等の大切なものは此の世	の	権威と勢力また人の立てた所の法則また此の世の
	の	003	15	ずに机の前に坐つて字を習ひ，コレラ病	の	原因を見出すこともお留守にして字を習はなけれ
	の	062	14	ざるは則ち原因の三です．此の如き種々	の	原因よりして人力車濫用の弊を生じ来り三助でも
	の	087	12	ふ返答が出来まする．また所謂，道徳法	の	原因と其の基本は何処に在るかと基督教に問はば
	の	099	07	には隠然たる原因が無ければならぬ無形	の	原因が無ければなるまいと考へまする．私のおも
	の	099	09	等は我々を軽蔑する心あるのが此のこと	の	原因となりしに相違なし．諸君試みに思へ．若し
	の	101	02	．兎角日本人は真面目でないことが一つ	の	原因である．即ち日本人は怒ることもするが併し
	の	102	04	と考へる．これが即ち軽蔑を受ける一つ	の	原因である，賤しみを受くる所以でありまする．
	の	126	03	の中には一向学術を知らず，また基督教	の	原因と趣意と目的と結果を全く覚らざる者が多う
	の	253	12	ち農民の中には盗賊が少ないと云ふこと	の	原因で有りまして盗賊は重もに東京大坂の如き大
	の	110	16	故に寧ろ其の管轄を横浜に移し以て世人	の	嫌疑を避くること英国政府の為めに便宜の処置で
	の	054	07	す．先づ小学校の本，また学問のある人	の	研究の為めの本，それから第三種は慰みの為めの
	の	069	05	まするが斯の如く多年学科上及び実地上	の	研究を要するにも係はらず孛漏生には司法官及び
	の	057	07	ればならぬことが御坐います．総て我々	の	健康と云ふものは実に必要なもので曾てウ／キル
	の	063	13	生上頗る有害なることで又人力車夫自身	の	健康上に至つては更に一層の危害あるものです．
	の	064	16	とも出来ませう．又従つて二十余万の人	の	健康を害することも大いに減じませう．されば人
	の	065	09	るものは力めて之を奨励し以て我が国民	の	健康を満足せしめむとするは則ち先覚者の義務で
	の	191	12	いふことに論究が及んで居ります．日本	の	現在の有様で立法権と執行権はドウ定まつて居る
	の	275	16	せうと考へまする．之を要するに我が国	の	現在の監獄改良は維新前の監獄と異なる点はタッ
	の	278	05	べませぬでありました．此の上は我が国	の	現在の監獄上のことを論述すべきやの順序ではあ
	の	143	03	にたとへて見れば森羅万象日月星辰山水	の	現象を写すが如きもので有る．其の流派にも南北
	の	023	01	りますが其れでおしまひでは無い，化学	の	元素よりは甚だしく毎年いくつも発見されますか
	の	096	01	へば凡そ罪を組成するには内部と外部と	の	元素が無ければなりませぬ．謀殺を以て問ふには
	の	016	10	て居ります．して見ると月は分明に地球	の	眷属，地球の家来に違ひ無いです。月の上には山
	の	024	03	とのものは其の子供だとすれば月は地球	の	眷属で太陽の孫で有ります．地球の外にも眷属を
	の	024	17	対して「太陽系の中である，地球は太陽	の	眷属の一人である」といふ答へが出来ました．こ
	の	215	16	を考へて或る日，鱓と相談をして「貴様	の	眷族が多いか私の眷族が多いか眷族の多少競べを
	の	215	17	鱓と相談をして「貴様の眷族が多いか私	の	眷族が多いか眷族の多少競べをしやう」と云ひま
	の	151	01	律規則を言ふのであります．故に行政法	の	原則は憲法の中にあるのです．併し斯の如く行政
	の	151	08	字の定義のお話しです．第二は此の公法	の	原則，即ち憲法で定めた原則を実地に適用し，ま
	の	151	17	法と密接して居るものです．故に行政法	の	原則を調べるには第一には憲法との関係を調べな
	の	188	07	しましたことを申し上げませぬと行政法	の	原則に大関係をしますから其れを今日チョット申
	の	193	12	とを度々述べられてありますから政治上	の	原則は開闢以来の原則に違ひ無い．かういふこと
	の	193	13	てありますから政治上の原則は開闢以来	の	原則に違ひ無い．かういふことをする，アーいふ
	の	193	15	自由とか所有権とかいふことは日本古来	の	原則に違ひ無い．斯の如くなければならぬのは人
	の	194	03	らない．斯の如く立法権者と執行権者と	の	原則を定めたから，これから行政組織をお話し致
	の	231	01	と沿革はさておきまして先づ第一に二つ	の	原則が有ります．即ち第一には施政者は一人と云
	の	276	14	りまする．何事にても由つて起るところ	の	原則が最も大事なるものでありまする．以上に縷
	の	224	08	ぬから，前に申した小説と同じく士君子	の	見物するもので無いやうになりました．其れゆゑ
	の	162	17	むを得ないものと見える．今申した酒詰	の	原文は大凡六百字あまりも有るが今のは私がアラ
	の	153	14	きめます．この行政法といふものは一国	の	憲法のきまり塩梅で色々に，きまる点もありま
	の	075	11	家に頼んで権利を伸張するのはたゞモト	の	権利を失はぬだけである．此の如きは国家の富を

代表形	判	ページ	行			出現文脈
（の）	の	152	02	法で，きまつて居る原則，例へば政事上	の	權理とか宗教上の自由とか民事上の權理とか皆こ
	の	152	03	事上の權理とか宗教上の自由とか民事上	の	權理とか皆これを制限し規定する所の行政法律規
	の	152	07	即ち人民の政事上，宗教上，民事上，等	の	權理を保護するものであり行政法では憲法できめ
	の	173	14	が国人は，世界の道理に従ふと人の移住	の	權利といふものがあるとによつて其れならといつ
	の	193	09	またかういふことをするとか，また人民	の	權理を保護するとかいふ保証をなされたことがあ
	の	226	09	法律規則を適用すると云ふことと一個人	の	權利，利益と全国の利益との関係を規定すると云
	の	095	01	理の許さない所で御坐ります．今道徳上	の	原理より言ひますれば身を殺しても仁を為すとい
	の	091	02	べきものが御坐りませぬ．基督教は人間	の	權力腕力などのものを怖れぬ豪傑を育てる為めに
	の	150	12	は如何なるものかと言ふに憲法では一国	の	權力をもつて居るもの即ち政府とか天皇とかいふ
	の	140	02	の勝れたものと見えます．またイギリス	の	故宰相ジスレリーなども長技は何で有ると言へば
	の	024	13	は孫であります．其の中で地球は第何番	の	子だと云ふことも知れました．此の家内のことを
	の	122	05	めに最も恐るべき徽毒が殖え，また私生	の	子が殖えます．私生の子はフランスではスタチス
	の	122	05	が殖え，また私生の子が殖えます．私生	の	子はフランスではスタチスチック上から大層な調
	の	122	07	孫に遺伝して「例へば私が酒飲みだと私	の	子が酒を飲み孫が亦酒を飲むと云ふ様になつて行
	の	189	03	て居つたやうに考へます．現に維新の時	の	五箇条の御万機公論に決すといふことがあります
	の	273	04	央監獄は東京，宮城，三池，樺戸，空知	の	五箇所でありまする．また，其の中を区別します
	の	001	06	大になつたに付き懇親会を催して参議方	の	御臨席を願ふに付ては其の方にも席上の演説をせ
	の	001	14	の席に居らるゝ愛媛県高松の郡長兼県庁	の	御用掛泉川健といふお方がお出になりました．一
	の	018	15	．いくらも有りますが最も名高くて諸君	の	御存じのは西郷星で有ります．西郷星とは一時の
	の	051	06	ふことは諸君のお話しもあり殊に外山君	の	御演説は尤もで何も彼もふるつて支那文字の不便
	の	054	13	困ります．手紙の書き方の本は物集先生	の	御著述を待つて居ります．さて又今まで修身の道
	の	068	03	如何と云ふことを簡短に申し述べて諸君	の	御参考に供しようと思ひます．諸君の中に御承知
	の	091	12	御坐ります．万国万民の救ひ主耶蘇基督	の	御功績に由らざれば人が此の罪悪を免れて本当の
	の	107	09	であると考へます．英国の法律には諸君	の	御承知の通り成文法と不文法とありますが今其の
	の	157	03	ものさネ．西洋各国の天子様が羅馬法皇	の	御免許を受けないと天子様になれないと云ふ位な
	の	179	08	七百年頃イザヤといふ預言者がキリスト	の	御降臨を預言した語に「諸の谷は埋められ諸の岡
	の	180	17	其の二三の要点を挙げて婦人矯風会員方	の	御参考に供へやうと存じます．我々は固より婦人
	の	189	03	やうに考へます．現に維新の時の五箇条	の	御万機公論に決すといふことがありますが之を考
	の	192	03	ふと天皇陛下に在る．明治元年に五箇条	の	御公論に決すといふことを言はれた．これを其の
	の	207	06	が……また話しに枝がさきますが，諸君	の	御存じの通りイツでもあることだが殊に秋の頃，
	の	179	10	ん」とあり，またキリストも此の預言者	の	語を引て「我は貧しき者に福音を宣べ伝へ心の傷
	の	067	15	とせず益々法律に経済に従事せられ赫々	の	光華を得られむことを望みます．而して私は法律
	の	006	06	る結果が有る．漢字が有る為めに物理学	の	講義でも化学の講義でも動物学の講義でも植物学
	の	006	06	漢字が有る為めに物理学の講義でも化学	の	講義でも動物学の講義でも植物学の講義でも実物
	の	006	06	物理学の講義でも化学の講義でも動物学	の	講義でも植物学の講義でも実物の方はお留守で字
	の	006	06	化学の講義でも動物学の講義でも植物学	の	講義でも実物の方はお留守で字の講釈に止るのが
	の	006	09	ないで字の講釈をするのが多い．動物学	の	講義でも植物学の講義でも文字の講釈に止つて居
	の	006	09	するのが多い．動物学の講義でも植物学	の	講義でも文字の講釈に止つて居る．これはドウし
	の	103	04	へたからである．古への日本人には非常	の	豪傑があつて武蔵坊弁慶の如き人もあれば加藤清
	の	139	08	非常に貴まれて居る．現に西洋人に古今	の	豪傑はと問はばナポレオンかセクスピヤだと申し
	の	162	05	私が其の大意をひらたく申して見れば汝	の	皇考文王方伯と為り西国に在られしとき庶邦の官
	の	061	01	りたる寺院を見るか又東京に於ても支那	の	公使館の門を見られたならば必ず古代未開時の風
	の	058	03	とですが，これは実に千古の名言で支那	の	孔子ですら「之を好む者は之を楽しむ者に如かず
	の	158	12	ことは知らなかつたと見えます．サスガ	の	孔子様まで萌黄の蚊帳をつつて線香をたてゝ臍を
	の	006	07	植物学の講義でも実物の方はお留守で字	の	講釈に止るのが有る．諸県へお役で出た人の話に
	の	006	08	偏がドウだとか傍がドウだとか言つて虫	の	講釈をするにも虫の訳は説かないで字の講釈をす
	の	006	08	の講釈をするにも虫の訳は説かないで字	の	講釈をするのが多い．動物学の講義でも植物学の
	の	006	09	動物学の講義でも植物学の講義でも文字	の	講釈に止つて居る．これはドウしても免れぬこと
	の	250	13	学校では他の善い者の害を為し且つ学校	の	講釈ぐらゐでは，おつつかないから何か道具じか
	の	162	01	感じたものと見えて殷を亡ぼして後，弟	の	康叔を衛に封じたときに酒誥といふものを作つて
	の	086	09	学問は誠に大切なものなれども，これ等	の	高尚なものを充分に説きませぬ．これ等の大切な
	の	086	17	らぬと云ふことが御坐りませぬ．これ等	の	高尚なる事柄を世の人に委しく教ゆる為めに基督
	の	087	13	はばこれ等即ち神のノリまた基督の総て	の	高尚なる仰せを書き載せ神のミコヽロを顕はす所
	の	089	10	もので御坐ります．それのみならず真理	の	高尚なることなどを兼ねて示す宗教で御坐ります
	の	090	11	さうと思ふ人には一つの立派な手本一つ	の	高尚なる模範即ちｉｄｅａｌが必ず必要で御坐り
	の	092	11	おいてをや．若し諸君御銘々が耶蘇基督	の	高尚なる教を心に得て身に行ふに由つて能く己れ
	の	176	09	法から着手し次第に進んで比較判決など	の	高尚なる所に及ぼして調べるが宜しからう．我が
	の	234	12	にならぬのは当り前で有ります．尤も極	の	高尚の所は原書で無ければならぬなれども当り前
	の	178	04	代なれば兎もあれ，今日の文明たゞ一席	の	口上なりとせず相互に問答研究して学理の上より
	の	253	05	，其れは名前のところは御相談次第で私	の	講ずる学理には一向，関係いたしませぬ．よつて
	の	229	14	や戸長とは違ひ知事の下役ですから人民	の	公撰すべきものでは無いと思ひます．其れから沖
	の	011	13	其れへと知りたいのは欲心で唯今久原君	の	講談にも有りました通り「砂糖と云ふものは何の
	の	016	14	よい問題で有ります．毎度この席で化学	の	講談が有りますから諸君は定めて記臆して居らる

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（の）	の	193	08	子がなされるですが行政府のことは今日	の 講談の目的でありませぬから後にします．それか
	の	209	14	ことで有ります．箇様なことは迚も一席	の 講談に於て断言するは危うげなことで御坐ります
	の	068	13	実務の練習を致します．其れより第二回	の 高等官吏登用大試験及第の後試補官に任ぜられま
	の	224	06	とは勿論，残酷なことや自殺だの情死だ	の 強盗だののことを仕組み根が下等の人の見るもの
	の	177	09	つて便利であつて，また予じめ国人増殖	の 後難を防ぎ止むることも出来，益々日本帝国を繁
	の	059	08	士の病気が減じたと云ふも，これ皆開化	の 効能でありますが，これは開化のづつと進んだ所
	の	074	08	ものがはいつて来るので金を使つただけ	の 効能が別に顕はれるもので御坐んす．さういふ風
	の	121	09	から，よく事実を穿鑿したらば弥々節酒	の 効能も起らうかと思はれます．其れに就ては酒の
	の	077	12	一に社会の為めに利を興し害を除き蒼生	の 幸福を進められむことを切に希望いたします．基
	の	180	14	改良を謀り殊に婦人に正当の地位と真正	の 幸福を與へんと企る者のためにはキリスト教は之
	の	184	02	中は決して婦人が正当の地位を占め真正	の 幸福を受ることは出来ません．また，これから起
	の	185	09	て居る中は婦人が正当の地位を占め真正	の 幸福を得る等といふことは思ひも寄らぬことで御
	の	186	14	ト教が婦人の地位を高くし且，之に真正	の 幸福を与へる理由は種々御坐りますが□かいこと
	の	187	06	束縛を受けた婦人が，これより永く真正	の 幸福を受る時が来たことを神に感謝した凱歌で御
	の	151	10	ふ制限をしなければならない．総て人民	の 公法上で定まつてある権理と義務を行政上の法律
	の	152	06	の関係を一言して見ますと憲法では一国	の 公法の基礎となる原則を定むる，即ち人民の政事
	の	126	17	決して，よいもので御坐りませぬ．西洋	の 高名なる学者といふものは大抵皆な専門家で御坐
	の	090	15	蘇基督より外に御坐りませぬ．この浮世	の 荒野の中で基督の足跡を能く尋ね而して己れの足
	の	109	12	坐ります．して見れば，この人等は端艇	の 効用を知つて居つたに違ひ無い．然るに三人の人
	の	109	13	人も助かつて居らない．三人の人が端艇	の 効用を知つて居つたら他の二十二名は必ず其の人
	の	108	01	スローターを犯したものでも或ひは一日	の 拘留で済むのもあれば或ひは終身徒刑のもありま
	の	268	11	なつて居りまする．また時としては数日	の 拘留の刑はこゝに於て執行することも有りまする
	の	129	16	．勿論，学術に於ては鬼の角をぬきとる	の 効力が御坐りませぬけれども鬼の角を人の額に生
	の	132	05	出来ます．昔より今に至るまで此の聖書	の 効力を減ぼさうと思ふ所の敵が多う御□りました
	の	033	06	で御坐りますが節酒のことに付ては諸君	の 高論卓説もさぞかし多く御坐りませう□起人諸
	の	057	12	して浦和川越熊谷深谷行田到る所衛生会	の 声を聞くのみならず今日の如きも来会せらるゝ者
	の	217	01	有ります．其の作者は分りませぬが文体	の 古雅な所を見れば延喜以前のもので有りませう．
	の	090	06	とが出来ませぬ．神の御言葉と云ふ聖書	の 極古い所に申して御坐ります．即ち「神の御言葉
	の	146	06	と思ひます．斯様いたしまして其の小説	の 極精良なる高尚なるものが果して出来たなら間接
	の	227	05	御坐います．私の聞きました所では日本	の 極古いときは郡に分れまして各郡に其の時分には
	の	214	16	ものゆゑ文筆の業では及ばない所の人情	の 極意を写し出す真の美術だと云ふやうな訳で其れ
	の	101	06	因であります．今一つは何なるか．日本	の 国情が外国に通じないのである．これが矢張り彼
	の	102	06	賤しみを受くる所以でありまする．日本	の 国情が西洋に知れて居ないのがこれ亦軽蔑の一原
	の	102	16	といふこと，また一方に於ては我が日本	の 国情が知られぬといふことがノルマントン号事件
	の	103	17	ることは明瞭でありませう．次ぎに日本	の 国情を外国に知らしむる方便は何かといへば英語
	の	104	06	而して西洋人と交際し西洋人をして日本	の 国情を議らしむるの地位にある者は無論，上流社
	の	098	15	けになるや否や政府は命を下して殺人罪	の 告訴を為し人民は競ふて義捐金を募り遭難者の遺
	の	104	11	はらざるとにあることなれば嘗に殺人罪	の 告訴を以て満足せず嘗に義捐金にのみ熱心せず其
	の	062	16	用と申すは例へば茲に一の閑人あり今日	の 午后六時に番町より神田に行くべき用事あるに当
	の	239	09	出で，其れより汽車に乗り八月二十八日	の 午後五時に上野着の汽車にて帰京いたしました．
	の	098	14	ことであります．全体我が日本人は友愛	の こゝろに富むで居りまするから此の度の事件が世
	の	100	11	船長及び乗組員の心中しらずしらず軽侮	の こゝろ有りたるが為め斯くの如き事件が起つたも
	の	042	09	らぬと云ふことが本趣意で，己を利する	の 心を抱いてはならぬ，己を利する心はすてて只管
	の	086	06	の法と其の基本は何で御坐りますか，人	の 心を深く動かして人間社会を改める所の□んな勢
	の	087	01	基督教は丁度これ等の貴きものに付て人	の 心を照す為めに万民の中に設けられたもので御坐
	の	089	09	歩することは出来ませぬ．併しながら人	の 心の中に厚き志を引き起さするには基□が極優
	の	099	09	とであらう．即ち彼等は我々を軽侮する	の 心あり彼等は我々を軽蔑する心あるのが□のこと
	の	099	12	きあつて見たことは無いが其の最も義侠	の 心に富むで居るものなることは世間の既に認めた
	の	099	13	いふものは災難の場合に当りて殊に義侠	の 心を生ずるものなること論ずるを俟たず．且船長
	の	103	03	便あるまじと思ひまする．日本人が保守	の 心尠なく物事に耐へられないのは宗教が衰へたか
	の	131	01	容易に変ることは致しませぬ．また人間	の 心に植えられたる所の道徳の法も人の色々の浅ま
	の	161	08	が有るといふがドウだとかと云つて比干	の 心を剖いて見たりしたが，これ等は畢竟，酒を飲
	の	169	01	ある様に思はれます．ところが我が国人	の 心は西の方へばかり向ひて東の方には向はない．
	の	212	04	せう．たゞ少し恐ろしいのは若しや彗星	の 心がぶつつかりはしないかと云ふことですが，其
	の	213	11	と云ふ差別が有りますがドチラが多く人	の 心を慰め面白がらせ楽しませるかと申すに小説と
	の	213	16	す．維新の初めには小説と云ふものは人	の 心を乱り風俗を害するなどと云ふ説も有りました
	の	246	08	所行を罰すると云ふことで，即ち其の人	の 心を矯め直すと云ふ趣意で，即ち人心の改良を図
	の	250	16	ゝに於て懲戒と教誨とを施して此の罪人	の 心の教育を致しまする．其れに此の罪人は二年で
	の	252	09	者にあれ，脅迫懲治者にあれ，皆な当人	の 心を改良するが目的で有りまして，また一方から
	の	124	01	相談を致したう御坐います．神学卒業生	の 心得明治十九年六月二十二日神学校生徒卒業式場
	の	218	12	語は婦人の作が多い．其れゆゑ先づ婦人	の 心得になるやうに作つたので，かの勧善懲悪など
	の	242	03	獄，福島武司氏より私に向つて司獄官吏	の 心得を演説して貰ひたいと云ふお頼みが有りまし
	の	089	06	は必ず賤き有様を免れて貴い有様へ進む	の 志が無ければなりませぬ．モトの悪しき有様を出

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（の）	の	089	11	て示す宗教で御坐りますから，進歩する	の	志を起すもので御坐ります．無下に賤い人でも若
	の	089	12	でも若し基督教を用ひるならば進歩する	の	志が必ず厚くなりますれば進歩せぬことが決して
	の	236	12	になることは無かつた．豪傑の士が自分	の	志を堅く立てて人に嫌はれても忌まれても，やり
	の	144,	14	せん．小説を書く人が多数の中には和漢	の	古今に通じて居り筆が流暢でも其の中には西洋の
	の	214	04	をしたもので馬琴などは初めの中は和漢	の	故事が入り用の時は当時有名の雑学者の喜多静廬
	の	164	08	提督をして船を駛せ紅海に至らしめ碧林	の	小島彼時不毛の地たり人の之を主どるなしを経略
	の	038	06	西洋とも古代の説には天然自然に有る所	の	吾人の守るべき法則ぢゃと云ふことなれども併し
	の	239	05	監獄巡閲の命を受けまして，去る六月九	の	午前六時に上野発の汽車にて東京を出立いたし，
	の	210	10	よ彗星が地球に突き当ると言つた，今度	の	こそは本当だ」などと騒ぎ立てたことなどが有り
	の	156	09	す．其れが今では小学校のコレンバカリ	の	小僧がたでも天球儀，地球儀，を見て地が回るん
	の	133	09	内国の偏鄙な村に至りまして存外其の村	の	戸長の如き役人に深切に迎へられました．かの宣
	の	158	17	だ）其の大層な勢ひの雷が今日は電信局	の	小使となつた．今日の学問の極度であるかドウか
	の	067	10	教師諸君の深切なる尽力と又諸君が多年	の	刻苦と勉強とによつて得られたる栄誉は只今この
	の	235	06	葉を以て祝することは出来ませぬが諸君	の	刻苦勉励で今日の栄誉を得られたことで実に感ず
	の	001	07	に付ては其の方にも席上の演説をせよと	の	こと．私は一向仮名のことに付ては不案内で私よ
	の	001	07	上の演説をせよとのこと．私は一向仮名	の	ことに付ては不案内で私よりも既に委しく説の有
	の	001	09	の懇親会に付て参議方も御臨席になると	の	ことなれば此の機会失ふべからず．一体，仮名の
	の	001	10	の会員になつて居るのは考へが有るから	の	こと，考へが無いなら会員になつては居りませぬ
	の	001	12	では無く天子様にまでも申し上げたい位	の	ことゆゑ此の機会失ふべからずと考へまして，つ
	の	002	02	は有りますが，お目通りを致した所，別	の	ことでも無い，お前は仮名の会の会員ださうだが
	の	002	09	が少ない，そこで月の部にはいつたまで	の	こと，仮名遣ひなどはドウでも構はない．ナゼそ
	の	003	07	んで八時間勉強する．其の八時間を百般	の	ことに使ふ訳にはいかない．されば此の八時間の
	の	005	17	いといふことは知らない．兎角人は一方	の	ことより外は分らぬもので政治家は政治のことよ
	の	006	01	ことより外は分らぬもので政治家は政治	の	ことより外には取り合はず，仮名の会の凝り固ま
	の	006	01	取り合はず，仮名の会の凝り固まりは外	の	ことには構はず夢中になつて居るから羅馬字のこ
	の	006	02	には構はず夢中になつて居るから羅馬字	の	ことを言つても取り合はない．兎角，人は一方よ
	の	008	09	ならぬのは此の違ひが本当に分らぬから	の	こと，若し其れが分つたならばなかなか箇様に温
	の	009	06	ムダな空論とは知れど社会には随分ムダ	の	ことも有る故ムダのことを一言演るまでで有りま
	の	009	06	ど社会には随分ムダのことも有る故ムダ	の	ことを一言演るまでで有りまする．地球の位置明
	の	012	11	歩は御存じと見做して別に今日は地理学	の	ことは御話し申しませぬ．「亜細亜から欧羅巴へ
	の	012	12	有る」などいふことは諸君が既に御存じ	の	ことと看做しませう．私は唯其れから先きのこと
	の	012	13	とと看做しませう．私は唯其れから先き	の	ことをお話しします積りで有りますが其れに付て
	の	012	14	いことが有ります．其れは地球の大きさ	の	ことで御坐います．地球は我々の身体に比べると
	の	013	13	まする．で有りまするからして学者が天	の	ことを調べます序に我々には天の中で別にツレは
	の	014	14	ちませぬから先づ距離を測るのが第一番	の	ことで有ります．そこで月までの距離はと言ふと
	の	019	06	に「太白当舟明似月」と云ふのが此の星	の	ことで御坐います．其れからまだ辰星と申しまし
	の	019	17	外にもまだ有りますが此の位でおいて外	の	ことに移りませう．今までお話ししました星の中
	の	024	13	子だと云ふことも知れました．此の家内	の	ことを総称して太陽系と言ひます．系は系図の系
	の	025	04	先づ星と言ふものは大事のもので天文学	の	ことを星学と言ふ位で有りますから星のことを言
	の	025	05	のことを星学と言ふ位で有りますから星	の	ことを言はなければなりませぬ．さて星が我々の
	の	033	05	節酒会賛成者の一人で御坐りますが節酒	の	ことに付ては諸君の高論卓説もさぞかし多く御坐
	の	033	09	趣意を申し上げて見ようと思ひます．酒	の	ことに付ては古人も辛苦されたことと見えて或は
	の	034	08	研き身体を丈夫にしようといふ様な総て	の	ことといふものは皆このシビリザションの道理に
	の	035	11	ぬが私どもは善いと思ひます．其れは外	の	ことでも無い「大いなる社会は大いなる欲，大い
	の	035	15	界の大変動と思はれまする殖民政略など	の	ことも大慾で有りますが独逸や仏蘭西や英吉利な
	の	036	03	す．其れを信仰する人が有れば其れまで	の	ことですが「大いなる社会は大いなる酒好き，大
	の	041	07	開けぬ時は開けぬ道徳の有るのは当り前	の	ことぢゃ．昔開けぬ時分には道徳も法律も別に区
	の	042	14	で道と法とが始めて分れて来た．政治上	の	ことは法律でゆく様になりた．それから後，欧羅
	の	042	15	なりた．それから後，欧羅巴では政治上	の	ことに至りては道徳の筋は用ひぬ，道徳は交際上
	の	042	16	道徳は交際上におもなことで政府が道徳	の	ことを以て責めると云ふことは無い．たゞ自分の
	の	043	05	義ぢゃ．其れ故政府の上でも矢張り道徳	の	ことが，おもになりて居る様ぢゃ．其れぢゃから
	の	043	09	くたゞ力の大いなるものを恐れ敬ふのみ	の	ことぢゃ．禽獣でも地震でも雷でも何でも総て人
	の	044	02	文明は起らぬであらう．併しあまり残忍	の	ことも沢山あるし殺伐なることも有るから教法者
	の	045	09	ると云ふことが出来ず租税其の外，種々	の	ことによりて出来ると出来ぬの違ひが有る．して
	の	046	16	米利加や澳地利や印度などに往いて残忍	の	ことをしたり又亜細亜各国に対して勝手次第のこ
	の	046	16	をしたり又亜細亜各国に対して勝手次第	の	ことをしたり忌憚なく不条理のことを為したり其
	の	046	17	勝手次第のことをしたり忌憚なく不条理	の	ことを為したり其れのみならず同じ開けた西洋の
	の	047	01	は互に社会を為さぬ者同士の間では当然	の	ことであらうと思はれる．社会を為して居らぬか
	の	047	04	は参らぬことぢゃ．其れは固より当り前	の	こととせねばならぬ．其れは黄金世界にならぬ故
	の	047	13	に取りてしまひ，安南でも緬甸でも勝手	の	ことをして実に道徳にも何にも構はぬ．又耶蘇教
	の	048	07	巴のメートル条約に加入したが又子午線	の	ことにも加入する様になるだらう．さすれば国と
	の	049	01	ぬ者同士の間に其れが行はれぬのは当然	の	ことぢゃ．さて此の事に就ては猶ほ委しく説かね
	の	052	03	を尤もと思ひこんで（但しこれは我が国	の	ことでは無い話しとして）数字の外はモロコシの

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（の）	の	052	07	新聞を読うと思つても新聞は無い，究理	の	ことでも歴史でもモロコシの字を用ひたので無け
	の	052	13	い様で御坐りますが，いろいろまた困難	の	ことも起つて来る．其の訳は全体この御国はもと
	の	053	16	へて，どれほどかの年月教へたら上等科	の	ことを学ばないで文通が出来やう．田舎の様子を
	の	054	04	ことを開くに如かずと思ひます．また後	の	ことを考へると前に申した秦の始皇の話しの様に
	の	055	03	．何にもあれ新しいことを起すは大困難	の	ことで御坐りますが幸ひ諸君が会員となつて下さ
	の	061	05	ト見つきの良きものを悦ぶのみで衛生上	の	ことなどは夢にも考へませぬ．我が邦に行はるゝ
	の	061	10	があるかと云ふに如何にも商業上其の他	の	ことで至急を要する場合に於ては随分大いなる利
	の	064	06	のに於ては一層の劇症を発す可きは当然	の	ことでありませう．現に人力車夫に頓死者の多き
	の	064	07	車夫に頓死者の多きは諸君も既に御承知	の	ことでせうが是れ必竟努力疾行するに由つて心臓
	の	067	05	コチラに居りませぬ故に其の後の卒業式	の	ことは存じませぬが今日は幸ひに此の盛場に列す
	の	075	06	挙げて算ふべからざることで則ち其れ等	の	ことが消極的のものであつて害を除く方に付て居
	の	077	02	であり利を興すのが害を除くのである様	の	ことが社会の事柄の多分を占めて居ることで御坐
	の	081	05	様なものでは御坐りませぬ．全く物体上	の	ことで無く霊魂上のことで御坐ります．若し其の
	の	081	05	ませぬ．全く物体上のことで無く霊魂上	の	ことで御坐ります．若し其の内部の性質が何れも
	の	082	10	かえても機械が賑かになつても若し道徳	の	ことが乱れて不道徳盛んならば本当な進歩がキッ
	の	084	03	．たとへて申すならば或る国の人が機械	の	こと学術のことを専ら勉める間は其の外に種々の
	の	084	03	申すならば或る国の人が機械のこと学術	の	ことを専ら勉める間は其の外に種々の進歩が暫く
	の	084	11	時に当ります．また或る時は機械と製造	の	ことが沢山開けた頃が御坐りました．これ則ち蒸
	の	084	12	された時に当ります．また或る時は政治	の	ことが能く進歩したことが御坐りました．これ則
	の	084	13	した．これ則ち千六百四十八年より以降	の	ことで御坐りました．或は貴国の上で申すならば
	の	085	17	する為めに道徳の進歩は必要であるなど	の	ことは既に皆んなお話し申したで御坐ります．さ
	の	092	01	一度も御坐りませぬ．今弁じた所の種々	の	ことに由つて見ればドコから見ても基督教は人間
	の	094	08	で御坐りますゆゑ知りませぬが英吉利法	の	ことは大谷木君が後程，陳べられませうから私は
	の	095	14	知らする所は充分にノルマントン号船長	の	ことに付て証拠が明かで御坐りませうか．暗礁に
	の	096	08	たものであらうと言ふも，これは情況上	の	ことで御坐りまして充分の証拠とは看做せませぬ
	の	096	11	証拠裁判で無ければなりませぬ．英吉利	の	ことは委しく知りませぬが開明諸国は大抵証拠裁
	の	097	07	い話しではありませぬか．この証拠蒐集	の	ことは迚も二三の人を以て為し得べきことで無い
	の	098	13	の悲しみは変じて憤怒となるも蓋し当然	の	ことであります．全体我が日本人は友愛のこゝろ
	の	098	17	の考へまするには今このノルマントン号	の	ことに付て我々が共同して二十五名の人の不幸を
	の	099	05	ふたかといふことを沈思黙慮するが必要	の	ことであらうと考へる．諸君は如何にして斯くの
	の	108	06	何に当るといふことを審究するのが必要	の	ことと考へます．然るに其の所為はマーダーに当
	の	110	09	持つて居る人もあるに違ひ無い．これ等	の	ことに付て考へて見ても疑はしいことである．ま
	の	113	07	るやうなことが有るので知れる．さて酒	の	ことに付ては先刻から段々お話しの有つた通りの
	の	113	08	付ては先刻から段々お話しの有つた通り	の	ことで，これには利も有り害も有るがドウ見ても
	の	114	15	は命が惜いといふことは知つて居るから	の	ことなれども，かういふものを食へば身体が悪く
	の	115	09	付て言つたことだがモウ一つ人類に必要	の	ことが有る．其れは外でも無い，人類といふもの
	の	116	04	実に全く低い動物的の欲に勝たれるから	の	ことで，さういふことを矯むるには，この節酒会
	の	116	16	やうにといふことが一つ殖えて来るから	の	ことぢゃ．抑々約束を破らぬといふことはヤッパ
	の	117	13	と言つても其の程が分らないからイツソ	の	ことに禁酒の方がよいと言ふ者もあれど其れは左
	の	118	04	ひます．私が今日申すのはただ其れだけ	の	ことで有ります．飲酒より生ずる弊害を調査する
	の	122	01	が随分に多い．尤もこれは東京府下だけ	の	ことでは有りますが酒の為めに犯罪人の殖えるこ
	の	122	03	の外に売淫女などが殖えます．これは外	の	ことからも殖えるで有りませうが酒の為めに殖え
	の	122	12	様に思はれます．かういふ様なことは外	の	ことからも起りませうが多くは酒の上から来るも
	の	124	10	基督教をのべ伝へるうちに必ず二た通り	の	ことを経験いたさうと存じます．其の一つはこれ
	の	127	06	論これ等の専門家が其の専門と致した所	の	ことを論ぜず色々の外の廉に移りて天地の間の道
	の	130	08	また学術が基督教を滅ぼすものなりなど	の	ことは誠に拙き論で御坐ります．学術と宗教との
	の	137	09	者でありますから日々法律や政治の改良	の	ことには筆を執つて居る其の言ひ慣れたる自分の
	の	137	12	の有ることと思はれます．私は此の小説	の	ことに委しくは無いが凡そ教育に関する事柄の改
	の	139	12	らぬ人も有るとか申します．素より大家	の	ことなれば高尚の学者社会にては貴まれて居りま
	の	143	04	種々の流派も有れど，これは皆な有形上	の	ことで人の思想即ち無形の人情を写すは筆より外
	の	147	13	其れが即ち行政法であります．また山林	の	ことを調べましても川がイクツあるといふことを
	の	148	06	の通りですが人員の部に付ても人員調査	の	ことなどはスタチスチックの方では大事なもので
	の	148	16	言ふなら，さうなるかも知れないが人間	の	ことは何も彼も学問に関係するものでは無いから
	の	148	17	れば要用な調べも出来ませぬ．また年齢	の	ことにしましても徴兵年齢とか学校年齢とかいふ
	の	149	02	法律を立るとかいふことが知れゝば出生	の	ことにしても公生私生とか其の他，離婚のこと結
	の	149	03	ことにしても公生私生とか其の他，離婚	の	こと結婚のこと，また来住のこと往住のことなど
	の	149	03	も公生私生とか其の他，離婚のこと結婚	の	こと，また来住のこと往住のことなどを調べるに
	の	149	03	の他，離婚のこと結婚のこと，また来住	の	こと往住のことなどを調べるにしてもドレだけの
	の	149	03	のこと結婚のこと，また来住のこと往住	の	ことなどを調べるにしてもドレだけの行政法律規
	の	149	09	居ました．日本でいふマツリゴトは行政	の	ことです．故にスタチスチック家は行政法を知つ
	の	149	13	ものは無くスタチスチックは台所の味噌	の	ことまで関係して居るといふのですが先づ世間公
	の	149	14	係して居るといふのですが先づ世間公け	の	ことに関することであれば相集まつて研究するの
	の	149	15	は必要と考へます．殊に社会上，政治上	の	ことに付ては最も必要でありませう．これが行政

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（の）	の	156	03	いことの話しをしませう．皆さま御存じ	の	ことだが昔は天が円くつて地が四角だといひまし
	の	157	11	さネ．これは学問をなすつた方は御存じ	の	ことだが其の時は堤のきれたやうに，しゃべり出
	の	158	08	あの人はと言ふと，をかしいが，あの雷	の	ことに付ては論語に「迅雷風烈には必ず変ず」と
	の	158	11	怒りだと書いたのを見ると朱子先生も雷	の	ことは知らなかつたと見えます．サスガの孔子様
	の	160	02	行き天へ上りはしない．するとタマシヒ	の	ことで，なければならん．其のタマシヒは天に上
	の	162	02	康叔を戒めた．この酒誥といふものが酒	の	ことに付て文章を為した元祖だ．其の酒誥は至極
	の	164	05	所へ贈つてよこしたが其の書物の中に酒	の	ことに付て一つの話しが載つて居た．今其の文を
	の	165	15	も無いから誰にも分りませぬ．人間社会	の	ことを説くのは今研究中で之について色々の学派
	の	167	08	さんだつて日本に居つては迚もあれだけ	の	ことは分りますまい．西洋に往つて理合をつめて
	の	168	14	し倒されました．丁度私が二十四五の時	の	ことだから今でも時々思ひ出すが何となくモノス
	の	172	13	な所為だと譏る人もありますが，この類	の	ことは我が国人同士でもありさうなことと思へば
	の	173	17	年々増しに増して来ます．現在人別調べ	の	ことが無いから分りませぬが戸籍の調べで積ると
	の	174	15	と考へると百年は遠いやうで死んだアト	の	ことだからドウでもよいやうに思はれますがさう
	の	175	14	いから言ふことは本意では無けれど移住	の	ことに就ては述べて置かなければなりませぬから
	の	175	15	せぬからチョイと凡例を述べましたまで	の	こと．また英国人は「人は地球の寄生物」といふ
	の	186	03	多く御坐ります．幸に我が国には其れ程	の	ことはありませんが矢張男尊女卑の風は免れませ
	の	188	17	ります．また日本におきましても立法上	の	ことと執行上のこととは必ず分けて御坐います．
	の	188	17	本におきましても立法上のことと執行上	の	こととは必ず分けて御坐います．古代のことは能
	の	189	01	のこととは必ず分けて御坐います．古代	の	ことは能く存じませぬが神代の頃に八百万の神が
	の	193	06	下のなされることである．其れから裁判	の	ことも無論，天子がなされるといふことは前にも
	の	193	07	れるといふことは前にも申し上げた通り	の	ことです．其れから行政のことも天子がなされる
	の	193	07	し上げた通りのことです．其れから行政	の	ことも天子がなされるですが行政府のことは今日
	の	193	07	政のことも天子がなされるですが行政府	の	ことは今日の講談の目的でありませぬから後にし
	の	196	03	ん，（尤も婦人方と云ふのは一般の婦人	の	ことで，束髪会へ這入つたり，此の講談会へ聴き
	の	197	03	す．天文学は近来進歩して，彗星の運動	の	ことに付てはドコから出てドコに帰ると云ふこと
	の	197	04	たが其れをお話しする前にチョット惑星	の	ことをお話ししなければなりません．私はイツカ
	の	197	16	した．そこでＮｅｗｔｏｎは惑星の運動	の	ことを発明したのみで満足をしないで，総ての学
	の	201	13	ないことが有りましたが，丁度其の通り	の	ことが彗星の身の上にも有るので有ります．彗星
	の	204	17	イツモの日限に遠方から戻つて来たまで	の	ことで有つたのです．地球と同じやうなもので有
	の	205	03	時はかう云ふ災が有つたと，イツでも前	の	ことを証拠に引いて，こはがつたので有りますが
	の	207	08	れてしまふやうなことが有ります，あれ	の	ことが流星でありまして，秋の頃，沢山に「ソラ
	の	208	02	分り出しました．しかし，これから流星	の	ことを言ひますと長くなりますから先づこの位で
	の	209	09	ふ者も有ります．其れからして尾の長さ	の	ことで有ります．尾と云ふものは大変に長いもの
	の	209	14	かし其れも信じなければ，また其れまで	の	ことで有ります．箇様なことは迚も一席の講談に
	の	210	11	有ります．其れでエウロッパの通俗天文	の	ことを調べる人はショッチュウ其れ等の迷ひを解
	の	213	12	せるかと申すに小説と云ふものは文字上	の	ことで有るから其の面白みも文字を読む者に限り
	の	215	12	くは読みませぬ故にたゞ持ち前の我が国	の	ことばかりに付て申しませう．先づ我が国の小説
	の	218	13	いたので有るからドレにも男女の間がら	の	ことが多い．しかし折々は天人が出たり妖怪が出
	の	218	17	や京伝の小説のやうに斬つたりはつたり	の	ことは夢にも無い．しかし能く味つて見ると，云
	の	219	03	源氏物語の頃（一条天皇の時代）の風俗	の	ことで其の頃は今の如き媒妁人と云ふものは無く
	の	219	10	り集つて世間の女の品定めをし女の種姓	の	ことや器量のことや芸能のこと或ひは心ざまのこ
	の	219	10	の女の品定めをし女の種姓のことや器量	の	ことや芸能のこと或ひは心ざまのことを論じた所
	の	219	10	をし女の種姓のことや器量のことや芸能	の	こと或ひは心ざまのことを論じた所が妻とすべき
	の	219	10	や器量のことや芸能のこと或ひは心ざま	の	ことを論じた所が妻とすべき女は容儀にも芸能に
	の	220	03	作で信ぜられぬことが多く楠正成の桜井	の	ことだの或ひは後醍醐帝の笠置の夢見のことなど
	の	220	03	のことだの或ひは後醍醐帝の笠置の夢見	の	ことなどは作り物語だと云はれましたが如何にも
	の	220	05	有ることで有りませう．まして曽我兄弟	の	ことを書いた曽我物語だの，義経のことを書いた
	の	220	05	兄弟のことを書いた曽我物語だの，義経	の	ことを書いた義経記などは事実よりも作り事の方
	の	220	09	して赤木の短刀を与へたことなどが本当	の	ことのやうに思ふ人が多い．さて足利の時代には
	の	220	12	紙と云つて善と悪のヂーサン，バーサン	の	ことを書いたものや，鉢かつぎの草紙と云つて継
	の	222	09	の来歴はこれまでとして，これから演劇	の	ことを述べませう．演劇は舞と，能の狂言とが転
	の	224	06	残酷なことや自殺だの情死だの強盗だの	の	ことを仕組み根が下等の人の見るもので有るから
	の	224	09	た．其れゆゑ維新以来は官からも不都合	の	ことは禁ぜられ，また世上にも色々と風評が有つ
	の	225	05	改良の効は顕はれますまい．さて，改良	の	ことに付ての可否討論などは世間に高論者も沢山
	の	225	05	世間に高論者も沢山ありますから其の辺	の	ことにトント勝手を知らぬ我輩などが漫りに喙を
	の	225	07	容れる所では無いと思ひますれば其の辺	の	ことには一向関はりませぬで，たゞ古るめかしい
	の	226	07	官権並びに行政議会及び行政裁判の三つ	の	ことに取りかゝりまするが，行政のことと行政裁
	の	226	07	三つのことに取りかゝりまするが，行政	の	ことと行政裁判のこととは事柄が全く分れまする
	の	226	07	かゝりまするが，行政のことと行政裁判	の	こととは事柄が全く分れまする．然れども行政と
	の	226	15	て見ませう．即ち行政官権及び行政議会	の	ことで御坐います．この行政官権と云ふことはフ
	の	229	03	，これも皆な此の数の中に籠つて居ると	の	ことです．其れから村の数は五万九千三百八十あ
	の	232	05	を経なければならぬけれども府県に固有	の	ことでも該事項の外のものは府県会に於て議決す
	の	232	11	違つて居るので，たゞ法理ではコレコレ	の	ことは是非とも府県会の決議を経て行へ，但し諮

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（の）	の	234	13	は原書で無ければならぬなれども当り前	の	ことは日本語で学べるので無ければならない．エ
	の	235	12	いと云ふことをお話ししたい．昔の西洋	の	ことを学ぶと云ふのは蘭学で，ワザは医術，其の
	の	236	09	有つた．モウ一つの大難事と云ふは西洋	の	ことを学ぶと云ふことが其の時分の社会の為めに
	の	237	04	ばかり前で丁度御一新から十年ばかり昔	の	ことで有つたが其の時分でさへも開けぬ藩では西
	の	237	04	たが其の時分でさへも開けぬ藩では西洋	の	ことを学ぶのは甚だ悪む有様で有つた．さう云ふ
	の	237	06	図る為めに西洋学を学ぶので無くて西洋	の	ことを学べば自分の身を害することは有つても利
	の	237	12	るのは人間の当り前のやうになつて西洋	の	ことを学ばぬ人は世に歯せられぬと云ふ有様にな
	の	237	16	を身に引き請けながら学問を勉強した人	の	ことを考へて其の心持になつて，やつたら大変な
	の	238	04	の時分の学者と云はれるものになつた者	の	ことを想像されて其の志を以て勉強されることを
	の	238	06	見るとオランダの医術を伝へた難儀など	の	ことは一々出て居ります．今から見ると意外な難
	の	238	09	ひまして祝辞を述る序でに一言其れだけ	の	ことを御忠告いたします．監獄論明治二十年十月
	の	240	15	は無いと云ふことも有ります．例へば人	の	ことを褒めると云ふことならばイクラ褒めても差
	の	241	06	とか云ふやうなことは内務大臣の命令外	の	ことで有るから申しても構へませぬ．また監獄の
	の	241	07	有るから申しても構へませぬ．また監獄	の	ことにしましても塀が立派で有つたとか，場所が
	の	241	15	如何と云ふことを知らずしてカタッパシ	の	ことを聞かれても何も役に立ちますまい．例へば
	の	242	01	りませぬ．固より諸君の中には監獄全体	の	ことを御熟知なされたる方も有りませうが，中に
	の	242	11	拘禁する所でありまする．只今では監獄	の	ことも警察学と同様にエウロッパに於ては一つの
	の	242	13	学問と云ふことで有りまする．故に監獄	の	ことはナカナカ軽々しきものでは有りませぬ．監
	の	242	14	は有りませぬ．監獄学を知らずして監獄	の	ことを取り扱ひまするのは政治学を知らずして天
	の	243	03	るかと云ふことを述べるには先づ行政権	の	ことを述べなければなりませぬ．凡そ一国には二
	の	244	02	之を執行しますれば，これだけにて天下	の	ことは，まとまる姿になりまする．さて，行政権
	の	244	15	たしまする．其の中にても殊に秩序安寧	の	ことが著しきもので，之を維持せむには陸軍，又
	の	245	04	論に於ては総て普通の罪人，即ち常事犯	の	ことを申すので有りまする．此の他，行政権に於
	の	245	08	りまするから幸に之を利用して，これ等	の	ことをもやられる訳で万，已むを得ざるときは秩
	の	247	03	に入れたと御覧なさい．其の母親は右等	の	ことに無頓着で有りますから「おれが子をおれが
	の	247	08	此の女はムヤミに懲役せろ，ドウセ終身	の	ことだから早く死んだつて構ふことは無い，寧ろ
	の	255	08	か，或ひは躍つたとか何某に対して失敬	の	ことを言つたとか云ふやうなことまで探すもので
	の	256	03	綿密なるもので有りまするから貧民救助	の	ことを簡略に述べませう．貧民の救助と申します
	の	261	17	した通り，フランスにおきましては監獄	の	ことをプリゾンと申します．其の意味はツカマヘ
	の	271	02	するか，又は無罪放免になりまするから	の	ことで有りまする．今度述べまするのは地方監獄
	の	271	07	りまする．さて，これよりは日本の監獄	の	ことを申しませう．付ては先づ日本の監獄の種類
	の	274	06	易いでありませう．これにて欧米の監獄	の	ことと，我が国の監獄のことは大抵お分りになり
	の	274	06	にて欧米の監獄のことと，我が国の監獄	の	ことは大抵お分りになりましたらうから，これよ
	の	275	04	並びに保護は実に盛大なる有様であると	の	ことで御坐います．我が国に於ては維新前のこと
	の	275	05	とで御坐います．我が国に於ては維新前	の	ことは実に論ずるに足りませぬ．牢屋に入れます
	の	275	11	上の細密なることを打ち合せ致されたと	の	ことで有りまする．これ，また非常に監獄の整頓
	の	278	02	三十一日の監獄に関する実例監獄の改良	の	ことを述べました．これで監獄全体に係る事柄は
	の	278	03	申しました通り陸軍海軍の監獄と国事犯	の	ことは一切述べませぬでありました．此の上は我
	の	278	05	ました．此の上は我が国の現在の監獄上	の	ことを論述すべきやの順序ではありまするが現在
	の	278	06	述すべきやの順序ではありまするが現在	の	ことは学術の部を外れて行政の実際に関係いたし
	の	278	12	必要が有ると確信いたしますから其れ等	の	ことは追つて著書に於て論ずることと致しませう
	の	032	11	書の先きを言つたので地理書は地球の中	の	事を調べる学問で私は地球の外へ出て言つたので
	の	042	11	固よりなれども唯其の為めに他を害する	の	事を行ふてはならぬと云ふことが本趣意になりて
	の	058	02	ンサーが曾て申しましたに「何でも総て	の	事を能く覚え能く忘れずに保存するにはオモシロ
	の	067	16	して私は法律科卒業の諸君に特に望む所	の	事が御坐いますから私が見聞致しました独逸国，
	の	109	02	甘んじませうや．彼等乗客は水夫等は船	の	事を知つて居るから其の言ふ通りにしたらば助か
	の	111	03	るを憫むのみであります．然れども今回	の	事たる決して之に止まりませぬ．元来彼等は一般
	の	119	10	を願ひたい．其れは外では無い矢張り酒	の	事で今も三島先生のお話しの有つた通り酒は多く
	の	121	14	の人に尋ねたところが（尤も，これは私	の	事で尋ねたのでは無いが）警視庁では随分其の事
	の	134	01	せることは出来なかつたれど今，我が家	の	事一切皆な喜んでこの人に任せて置きます．そこ
	の	150	03	民法，商法，訴訟法の如き人民と人民間	の	事を規定したもので公法といふものは国と国との
	の	163	12	れからして自から疑ひ出して遂に本能寺	の	事になつたが大閤様でも権現様でも信長の様なこ
	の	164	16	て帰るを得たり．此に由て之を観れば酒	の	事を誤るを見る可き也．我が日本帝国人民の将来
	の	165	12	亦むづかしい．また，この題は一人一己	の	事を説くものでは無くて一国人民の総体の上に関
	の	186	02	所は御坐りません．印度や土耳其の婦人	の	事などを聞けば実に憫然に堪へぬことどもが多く
	の	186	16	等の教ばかりでもキリスト教は社会改良	の	事に於ては非常の勢力ある者で殊に婦人の良友た
	の	189	03	べきものでありませう．其れから執行権	の	事は絶えず分れて居つたやうに考へます．現に維
	の	193	10	をなされたことがあるです．我々は古代	の	事に暗い．古代の事に暗いから明治以後は極新し
	の	193	10	あるです．我々は古代の事に暗い．古代	の	事に暗いから明治以後は極新しいことであり，欧
	の	220	07	の能から今の維劇に至るまで其の書の中	の	事を仕組んだものが多いから安宅の関で弁慶が勧
	の	243	09	ては政府即ち内閣大臣等を設け之に執行	の	事を掌らしめ．天皇陛下が此の二大政権事務の上
	の	243	10	此の二大政権事務の上部を握られて天下	の	事を御親裁あらせらるゝもので御坐います．さて
	の	244	07	また時としては法律の委任を受けて某々	の	事を定むる等のもので，これは執行権に於て制定

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（の）	の	261	16	る所で有りまする．これより欧米の監獄	の 事を一言いたしませう．初めにも申しました通り
	の	277	11	民救助の目的貧民救助の方法欧米の監獄	の 事欧米の監獄の方法欧米諸国に於て実行せる監獄
	の	077	02	すのが害を除くのである様のことが社会	の 事柄の多分を占めて居ることで御坐んす．さう致
	の	086	01	したで御坐ります．さて，これ等の種々	の 事柄は演題の確実なこと，また其の間違ひ無いこ
	の	086	16	つて居る聖書を開き見るならば，これ等	の 事柄がサッパリ分らぬと云ふことが御坐りませぬ
	の	189	14	．裁可して布告するといふやうに立法権	の 事柄にも執行権で干渉することがあり，また執行
	の	232	07	る者も無きにしもあらずとか．此の種類	の 事柄は府県会に諮問しても宜いし諮問しなくても
	の	008	09	もならなければならない位の違ひ．余輩	の 如きも気違ひにならぬのは此の違ひが本当に分ら
	の	037	08	そこで此のネーション即ち社会を動植物	の 如き有機物に比したことは昔より有りたことなれ
	の	057	13	到る所衛生会の声を聞くのみならず今日	の 如きも来会せらるゝ者一千余名もある様ですが斯
	の	059	09	は開化のづつと進んだ所の話しで未だ斯	の 如き場合に至らざる所謂半開化のときはドウかと
	の	061	05	も考へませぬ．我が邦に行はるゝ人力車	の 如きも其れと同じことでチョット便利なものです
	の	061	12	今に至つては非常に濫用の弊を生じて斯	の 如き必要の場合にのみ使用せずして事の緩急に拘
	の	062	05	門外に出るには必ず車に乗る様になり斯	の 如き人々が乗車するときは上の好む所下之に習ふ
	の	062	11	クリボクリして忽ち足を疲らし殊に婦人	の 如きは裾の方には綿を入るゝこと恰も飾り餅を付
	の	062	13	にはパクパクして蝦蟇の様な島田や鍋蓋	の 如き丸髷を頂き居りて運動の自由ならざるは則ち
	の	064	15	力車を業として居る二十余万の人は犬馬	の 如き業を廃し国益となるべき立派な他の業を営む
	の	065	01	文明が進歩し人智が開けて来たならば斯	の 如き犬馬同様の業を営むものは自から減少して来
	の	065	04	ものと思ひます．諸君如何です．さて斯	の 如き類を挙げますれば沢山ありて一朝一夕に論じ
	の	070	11	．然るに前陳の如く僅で御坐いまして斯	の 如き需要供給の不平均で御坐いますから失敬では
	の	074	13	るゝとかいふことが断えず御坐んすが斯	の 如きことを除くといふことは必要なことで御坐ん
	の	076	09	さて又右の如く消極的の学科即ち法律学	の 如きは直接に物を生ずるもので無いと言ひませう
	の	081	01	正改革を遂げる為めに用ゆべき方法は斯	の 如きもので御坐ります．第三．総て人間の進歩と
	の	085	02	々の大事なものの概略を申すならば以上	の 如きもので御坐ります．併しながら今こゝに弁ず
	の	092	10	智慧分別だに無きものも思はず知らず斯	の 如き立派な結果が御坐りますならば況して尚ほ智
	の	093	15	ます．併し純理上から言へば今回の事件	の 如きは我が国に於て之を裁判するのが順序であり
	の	095	03	りませう．況んや其の身船長であれば斯	の 如き場合に在つては必ず乗組人を救はなければな
	の	098	07	有りまするが彼のノルマントン号の事件	の 如きは心之を思ふに堪へず口之を言ふに忍びずと
	の	099	02	といふことは出来まい．我々は何故斯く	の 如き事件が起つたか何故斯くの如き不幸なること
	の	099	03	何故斯くの如き事件が起つたか何故斯く	の 如き不幸なることが起つたか外国人は何故斯くの
	の	099	05	あらうと考へる．諸君は如何にして斯く	の 如き不幸なことが起つたとお考へなさるゝか．私
	の	099	11	を西洋人と同等の人間と見しならば斯く	の 如き事件は起り得べきや．私はあまり船乗につき
	の	100	04	様な事件は起らぬ筈であらう，否な斯く	の 如き挙動は人情の上ドウしても出来あたはざる所
	の	100	11	しらず軽侮のこゝろ有りたるが為め斯く	の 如き事件が起つたものといはねばならぬ蓋しこれ
	の	100	12	れが為めに我々同胞二十五名の人が斯く	の 如き非命の死を遂げたものであらうと考へる．若
	の	103	04	本人には非常の豪傑があつて武蔵坊弁慶	の 如き人もあれば加藤清正の如き人もある．なるほ
	の	103	05	て武蔵坊弁慶の如き人もあれば加藤清正	の 如き人もある．なるほど弁慶は腕力があつたかも
	の	103	09	信仰の深き故であります．また弘法大師	の 如き日蓮上人の如きものを見るも其の通りである
	の	103	09	あります．また弘法大師の如き日蓮上人	の 如きものを見るも其の通りである．今試みに諸君
	の	104	10	可しと雖も其の遠因は軽侮にありて斯く	の 如き軽侮を受くるは気力足らずして国威揚らざる
	の	111	06	思つて居るに違ひ無い．即ち今回の事件	の 如きは彼等が平常我々を虐待する種々様々なる一
	の	111	08	ればならぬと思ふ．而して将来再たび斯	の 如き事のなからむことを熱望いたします．人類的
	の	129	13	かの旧約書は遂にドウなりませうか，斯	の 如き論によつて基督教が遂に滅びてしまふのでは
	の	133	10	偏鄙な村に至りまして存外其の村の戸長	の 如き役人に深切に迎へられました．かの宣教師が
	の	138	14	キゝメも多い．また社会を諷刺する小説	の 如きも大いに効能が御坐ります．また西洋の著作
	の	140	08	名利と言ふものは大層なもので恰も諸侯	の 如き領地を購ひ城郭の如き家に住んで居たと申す
	の	140	08	なもので恰も諸侯の如き領地を購ひ城郭	の 如き家に住んで居たと申すが其の著作はまた実に
	の	143	11	米八丹治郎の梅暦，小三金五郎の娘節用	の 如きものもたゞ男女の痴情を書いたものだと申し
	の	144	02	至つては禁ぜられて今は無けれども春画	の 如きも有る．斯様な画が有るからとて画と言ふも
	の	147	16	なることであります．其れからまた季候	の 如きにしましても季候を調べるのは是非，必要で
	の	150	03	規定して，たとへば民法，商法，訴訟法	の 如き人民と人民間の事を規定したもので公法とい
	の	190	13	種類であります．裁判権といふものは斯	の 如きもので，この裁判権の中に二つの種類がある
	の	219	03	天皇の時代）の風俗のことで其の頃は今	の 如き媒妁人と云ふものは無くて婦人をみそめると
	の	227	12	あるかと云ふと，テもなく一地方の君主	の 如きもので，フランス語で云へばプレンス即ち藩
	の	230	01	す．其の外間切と云ふもの即ち内地の郡	の 如きものが三十六あります．また村と，村のやう
	の	235	04	本語を以て教ふる専門学校の元祖で今日	の 如き盛大な有様になつて今日の如き卒業生の出来
	の	235	04	祖で今日の如き盛大な有様になつて今日	の 如き卒業生の出来ることとなつたは実に祝すべき
	の	240	14	を申し上げる訳には参りませぬ．尤も右	の 如きことでも中には他人に漏らしても不都合は無
	の	246	01	ふ考へが沢山ありましたから彼れは斯く	の 如き悪い事をした．因つて牢屋に，はふりこんで
	の	247	13	かけで有りまして悪い事をしたから斯く	の 如き現在の地獄の苦みを受けると云ふことを分ら
	の	249	03	寧に取り扱はなければなりませぬ．斯く	の 如き関係で有りますから，警察と裁判が何ほど立
	の	252	03	の懲治を掌りまするけれども元来，斯く	の 如き子供があるのは則ち両親の家庭教育が行き届
	の	252	04	行き届かないからで有りまするから斯く	の 如き両親に任して置いても覚束なく，両親が無い

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（の）	の	253	13	原因で有りまして盗賊は重もに東京大坂	の	如き大都府に沢山製造されまする訳で有りまする
	の	254	10	との二つの理由よりして放免者保護会社	の	如きものを設けて或ひは仕事を教へ或ひは通常の
	の	261	10	の犯罪人となるの恐れ有る貧民は養育院	の	如きものの管轄と致し，将来の犯罪人となる恐れ
	の	261	11	の貧民即ち盲人，聾，唖，癈疾，不具者	の	如きは訓盲唖院，又は養育院の如きものの管轄と
	の	261	11	，不具者の如きは訓盲唖院，又は養育院	の	如きものの管轄と致し，生れて未だ身体の動作も
	の	261	13	属しまする貧民，例へば棄児或ひは孤児	の	如きは棄児院，又は孤児院の如きものの管轄と致
	の	261	13	或ひは孤児の如きは棄児院，又は孤児院	の	如きものの管轄と致すと云ふのが私の論の目的と
	の	262	02	場所と云ふことで有りまする．イギリス	の	如きはペニテンシヤリーと申しまして其の意味は
	の	264	03	れば之を二十人づゝに分ち，五つの家族	の	如きものをこしらへて其の各家族に家族長と云ふ
	の	276	11	違ひを致すことになりませう．若し斯く	の	如き囚徒が有りましたときには其の自由を剝ぐこ
	の	008	05	日ならず二日も三日も大騒ぎ，人は黒山	の	如く提燈は星の如く褒美は五六百円のものもあり
	の	008	05	三日も大騒ぎ，人は黒山の如く提燈は星	の	如く褒美は五六百円のものもあり，花火を打ち揚
	の	032	05	とは言へませぬ．ことによれば第一の説	の	如く我々の見ることを得るだけ随つて知ることを
	の	060	07	とを強ち悪く言ふのではありませぬが斯	の	如く贅沢を行ふ人がドウいふ芸術が出来てドウい
	の	061	15	に通学するに必ず乗車せしむるあり．斯	の	如く人力車濫用の弊たる我が邦人をして暗々裏に
	の	063	15	覧なされ，人力車夫の業たるや農工商等	の	如く時を定めて営業すること少なくして炎暑厳寒
	の	064	01	なければなりますまい．さて営業既に斯	の	如くなるが故に胃病を起し心臓病を起し肺病に罹
	の	064	05	ことを論じましたが乗車する人ですら斯	の	如く心臓病を発するでありませう．況んや之を引
	の	064	09	み得べき屈撓な壮年男子です．然るに斯	の	如く犬馬同様の業を営み新造病否心臓病等に罹り
	の	064	11	にハヤ憫然の至りでありませう．併し斯	の	如く有害なるにも拘はらず日に月に多きを加ふる
	の	069	04	，次三年で都合十年間で有りまするが斯	の	如く多年学科上及び実地上の研究を要するにも係
	の	069	15	意をせよ」と云ふ忠告を致しました．斯	の	如くは志願者一個人の為めから言へば甚だ不便な
	の	070	03	に係つて居ります．孛漏生国の有様は斯	の	如くで御坐いますが眼を転して我が国の裁判官代
	の	070	11	の数を要せねばなりませぬ．然るに前陳	の	如く僅で御坐いまして斯の如き需要供給の不平均
	の	070	17	卒業生が出来ることで御坐いませう．斯	の	如く法律学者の輩出いたしますのは我が国家の大
	の	071	02	出せらるゝを喜んで沈黙するに忍びず斯	の	如く陳べますが諸君益々進んで学識を実業に利用
	の	076	04	ふといふ訳では御坐んせぬ．其の訳は右	の	如く申して参りますと経済学はドウいふものかと
	の	076	08	類に属することで御坐んせう．さて又右	の	如く消極的の学科即ち法律学の如きは直接に物を
	の	076	17	を容れぬのです．右のMacleod氏	の	如く積極消極と限界されたは宜しう御坐んすが実
	の	096	05	とはまだ現はれて来ませぬから．又英国	の	如く怠務殺人となすにもせよ其の本務を怠りたる
	の	098	16	に贈るなど寔に懇切なことである。斯く	の	如く尽力すれば二十五名の魂魄は定めて地下に瞑
	の	099	03	幸なることが起つたか外国人は何故斯く	の	如く乗客につらきことをしたか二十五名の人は何
	の	099	04	きことをしたか二十五名の人は何故斯く	の	如く不幸な目に逢ふたかといふことを沈思黙慮す
	の	100	07	いふことである．諸君今試みに，この王	の	如く尊まれたる羅馬人がノルマントン号の乗客な
	の	100	09	．畢竟するに二十有余名の同胞は羅馬人	の	如く尊敬されざるは勿論，英人の如く尊敬さるゝ
	の	100	10	羅馬人の如く尊敬されざるは勿論，英人	の	如く尊敬さるゝこと無く米人の如く尊敬さるゝこ
	の	100	10	論，英人の如く尊敬さるゝこと無く米人	の	如く尊敬さるゝこと無く船長及び乗組員の心中し
	の	101	04	ことが出来ない．我々日本人は索撒人種	の	如く長く耐へることの出来ないといふのが，これ
	の	102	15	固より無理のないことであります．斯く	の	如く一方に於ては日本人がうつりやすく真面目で
	の	103	14	ころで無きことが明瞭であります．斯く	の	如く昔時の人は宗教を信ずるが故に気力あり今時
	の	105	14	併しながら該言渡を以て一箇の刑事裁判	の	如く誤認せる論者に対しては一言其の妄を弁ぜね
	の	127	07	間の道理を広く論ずる間には，なみの人	の	如くに色々の間違ひに陥り易いもので御坐ります
	の	127	17	ちの色々の論を天の黙示，或は神の示現	の	如くに喜んで受け容れて而して此の色々の新らし
	の	128	16	の新らしい説，新らしい論を求めて風見	の	如くに今，不意に吹き出した所の風に従つてゆく
	の	132	01	理を避けて学術のよく定まつた事実を斯	の	如くに用ふるならば，この貴い学術をして宗教に
	の	133	15	，奉公人を多勢使ひますが中に一人の鬼	の	如くにけしからぬイタヅラな奴が御坐りました．
	の	149	12	の方では行政法に関係して居ることは斯	の	如くではあるけれども凡そ如何なる事物でもスタ
	の	151	02	の原則は憲法の中にあるのです．併し斯	の	如く行政法の範囲を定めると至つて小さいものの
	の	193	16	ふことは日本古来の原則に違ひ無い．斯	の	如くなければならぬのは人間が寄つて国を為して
	の	194	03	すから御趣意は一向変つて居らない．斯	の	如く立法権者と執行権者との原則を定めたから，
	の	207	11	隕如雨」とありましたが星の隕るのが雨	の	如くではアンマリひどいことであらうと云つて註
	の	228	03	国が有つたやうな有様で御坐います．斯	の	如くで有りますから日本帝国の中に，また諸侯国
	の	230	15	ものです．府県，郡区，町村の三つは右	の	如く無形人ですから議政，施政，行政裁判を各々
	の	248	03	も教諭師の言はるゝ通りで有るから斯く	の	如く現在，地獄の責めに遇ふのである」と云ふの
	の	257	14	両性質を有するものでありまする．斯く	の	如く貧民救助の中にも単に救助に止まるものも有
	の	259	02	救つてやるべきもので有りまする．斯く	の	如く貧民の救助は慈恵と云ふのが一つで，また慈
	の	259	05	を以てやるべきもので有りまする．斯く	の	如く貧民の救助は犯罪人の予防減少に大関係をも
	の	259	09	の考へまする所では貧民救助の方法は次	の	如く定めたら宜しからうと信じます．第一，救助
	の	271	01	員は僅かに三十七人でありまする．斯く	の	如く人員の少ないのは二十四時間を出でざる中に
	の	082	02	の進歩で御坐ります．学術の進歩も亦斯	の	如し学術が自分に進歩するもので御坐りませぬ．
	の	090	07	御言葉はこの浮世の旅人の道を照す光り	の	如し」と云ふ明文が御坐ります．また耶蘇基督御
	の	037	07	統御の権を受けて居るものを云ふので他	の	言葉で申せばネーション即ち国民と云ふことぢゃ
	の	053	03	の様なおつな習はしがあつて漢語が日本	の	言葉になりました．さういふ訳で見ると言葉は漢

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（の）	の	155	09	はゞつたい訳さネ．極点といふのは日本	の 言葉では極上無類飛切といふのだから，ざつとマ
	の	221	14	なりました．また三馬，一九などは今日	の 言葉を用ゐて滑稽を述るのに妙を得，為永春水な
	の	221	15	を述るのに妙を得，為永春水なども日用	の 言葉を以て一家の人情本を作りましたは何れも洒
	の	234	14	たから近世に至つてもギリシャやローマ	の 言葉を貴んで其れで無ければ学問は出来ない，自
	の	234	15	れで無ければ学問は出来ない，自分の国	の 言葉は学問に用ひられるもので無いと思つて居ま
	の	234	16	れが段々開けて今日ではギリシャローマ	の 言葉を用ひないでも自国の言葉で十分，学理を説
	の	234	16	リシャローマの言葉を用ひないでも自国	の 言葉で十分，学理を説くことが出来るやうになり
	の	234	17	とが出来るやうになり，ギリシャローマ	の 言葉は半分は飾りものになつて来ました．日本で
	の	235	01	になつて来ました．日本でも後には日本	の 言葉で高尚な学問も出来，また先生も十分に出来
	の	236	03	蘭語の稽古も実にむつかしいことで一つ	の 言葉を知るにも容易なことでは分らない．字を引
	の	201	07	ます．ミチグサをくふと云つても小学校	の 子供がミチグサをくふのとは少し違つて，これは
	の	216	11	紀に書いて有りますが，これなどは後世	の 子供だましの話しに能く似て居ります．尤も此の
	の	035	03	前に述べた様なことは致しませぬ．西洋	の 諺にも「酒が腹中に入れば，智慧は徳利の中に入
	の	158	03	居る通り万物万事が政治は政治学，万物	の 理を知るのが物理学でやるのだからドウしても勤
	の	214	14	つて小説と云ふものは天下の真の象と真	の 理とを能く探り得る美術てあつて，かの高尚な哲
	の	214	16	になり，また演劇に至つてはナホサラ真	の 理をして見せるものゆゑ文筆の業では及ばない所
	の	219	01	ない面白みの有るのは今の学者の云ふ真	の 理と云ふものに近い訳でも有りませうか．さて，
	の	212	01	中に居つたので有ります．また彗星の頭	の コナゴナの中は地球がショッチュウ通つて居りま
	の	215	09	ゴトは，さておき」と読ませましたが私	の 此のお話しも「アダシゴトは，さておき」と致し
	の	245	04	如きもので有りまするから私の述ぶる所	の 此の監獄論に於ては総て普通の罪人，即ち常事犯
	の	213	14	ものだから第一に世間の流行を追つて時	の 好みに応じなければならないもので御坐います．
	の	224	03	別し年々新狂言を作るに付ては兎角，時	の 好みを追つて人気に適ふやうにと心がける所から
	の	061	03	ませう．故に概して言ふときは半開化人	の 好むものは恰も三歳の童子が物品を撰ぶと同じこ
	の	062	06	になり斯の如き人々が乗車するときは上	の 好む所下之に習ふは古今の通例なれば中以下のも
	の	058	17	こまりだと云ふ（居候が無くなつて先生	の こまるも無理はない）位なことで今では其の居候
	の	250	14	では，おつつかないから何か道具じかけ	の 懲らしめを与へて見せなければならないと云ふの
	の	006	01	のことより外には取り合はず，仮名の会	の 凝り固まりは外のことには構はず夢中になつて居
	の	135	11	亦狭う御坐ります．ナゼといふのに人間	の これ等の大事なもの多くは皆な基督教に係はるも
	の	166	07	といふことも半分は分つて居る様なもの	の これから後，幾年あるといふことは分りませぬ．
	の	164	08	至らしめ碧林の小島彼時不毛の地たり人	の 之を主どるなしを経略せんと欲す．一日行て亜丁
	の	156	09	くのださうでござす．其れが今では小学校	の コレンバカリの小僧がたでも天球儀，地球儀，を
	の	026	15	鹿児島辺か高知辺からは見ゆる星で八月	の 頃，宵の中にチョイと出て，やがてひつこむ星で
	の	029	11	有ります．諸君御存じで有りませうが秋	の 頃に天を見てお出でなさると真つ白なものが有り
	の	055	06	はなければならない様な訳で私どもも孫	の 頃は楽にもなりませうが今の所では漢字を読ませ
	の	084	13	．或は貴国の上で申すならば勿論御維新	の 頃に当りませう．欧羅巴各国において箇様な種々
	の	096	10	も情況の裁判は禁じて御坐ります．徳川	の 頃は情況裁判が行はれて居りましたが今では証拠
	の	159	05	東洋の方へ来ると，さうはいけない．明	の 頃に天主教が渡りまして今日は繁昌になりました
	の	161	14	て有るが実に其の通りだ．元亀天正など	の 頃には酒の上から人を斬つたことが有つた．其の
	の	168	12	ずる有様でありました．西洋でも千百年	の 頃に天が落ちるとか云つて大層騒いだことがあつ
	の	189	01	す．古代のことは能く存じませぬが神代	の 頃に八百万の神が集まつて政を議したさうで御坐
	の	198	06	最も容易いテダテが有ります．其れは春	の 頃にタケノコがのびまして，まだ竹にならない時
	の	207	07	存じの通りイツでもあることだが殊に秋	の 頃，星が天の中から，とれて流れてしまふやうな
	の	207	08	す，あれのことが流星でありまして，秋	の 頃，沢山に「ソラ飛んだ，また飛んだ」と云ふこ
	の	219	02	話しが横道に入ります．其れは源氏物語	の 頃（一条天皇の時代）の風俗のことで其の頃は今
	の	220	16	．其れから徳川時代になつて寛文，天和	の 頃より浅井了意が東海道名所記などを作り，井原
	の	221	04	証になることが多い．降つて正徳，享保	の 頃には其頓，自笑などと云ふ作者が有つて西鶴の
	の	221	07	どの赤本作者の手に落ち，其れから元禄	の 頃より前太平記，前々太平記などと云ふウソバナ
	の	212	02	ョッチュウ通つて居ります．流星は彗星	の こわれたのだとすれば，彗星が家ならば流星は古
	の	178	01	スがアトランチックの海浜にて古き器物	の コワレをさがせしも木ひろひなりと見る人は通り
	の	001	09	演説をしたいことは無い．併し仮名の会	の 懇親会に付て参議方も御臨席になるとのことなれ
	の	155	09	類飛切といふのだから，ざつとマア学問	の 献立をならべなければ学者らしく見えない．先づ
	の	005	10	が，いくらクルベーでも構はない．支那	の 今日の通りになつたのは当り前．我が国にも二十
	の	098	16	である．斯くの如く尽力すれば二十五名	の 魂魄は定めて地下に瞑するに違ひなし．併しなが
	の	181	13	は禁酒禁煙は抑も末でまだ其の上に弊害	の 根本たる者があらうと存じます．若しも世の弊風
	の	170	07	りますまい．欧羅巴へ行く者の方は富貴	の 財で行き亜米利加へ行く者の方は人に頼つたので
	の	271	06	告中の者とで有りまする．以上の諸監獄	の 在監人を合計しまするとと四万八千八百五十六人と
	の	003	05	て見なければならない．一体，人には時	の 際限が有つて一日に二十四時間あるが，まるきり
	の	077	05	とかに由て其れを奪はれると矢張り己れ	の 財産にはならない．そこで法律と経済とは社会上
	の	260	03	申して一方にばかり偏したときには天下	の 財産を以て之を補ふとも引き足らないやうになり
	の	269	09	て，只今申した八千四百十四人の幼年者	の 罪質を区別して見まするとと謀殺，故殺，放火，強
	の	032	09	けたかも知れませぬ．いづれにしても私	の 最初に持ち出しました問題即ち「我々はどこに居
	の	085	06	ぶまいと存じます．なぜなれば此の演説	の 最初から既に弁じた所を以て充分の証拠を立てる
	の	105	11	事庁に於て開かれたる法廷を以て船長等	の 再審を為すものである」と報道するものもありま

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（の）	の	142	06	著すに致せ最も大切なるもので中々凡庸	の 才智では旨く出来ないもので御坐ります．小説家
	の	097	08	力を合して証拠蒐集に力を尽され道徳上	の 罪人なる船長ドレーキをして亦法律上の罪人たる
	の	097	09	の罪人なる船長ドレーキをして亦法律上	の 罪人たるに充分なる証拠を蒐集することに尽力さ
	の	121	17	ことと存じます．其れで警視庁の懲役場	の 罪人の上から調べて見ますと酒から罪を犯した者
	の	245	04	述ぶる所の此の監獄論に於ては総て普通	の 罪人，即ち常事犯のことを申すので有りまする．
	の	268	13	は地方監獄で有りまして，こゝには通常	の 罪人を入れて置き，第三は中央監獄と申しまして
	の	070	01	邦国の幸ひで御坐います．而して孛漏生	の 裁判官代言人の数は何程かと言ふと裁判官が三千
	の	070	03	の如くで御坐いますが眼を転して我が国	の 裁判官代言人の有様を観ますれば従前判事と唱へ
	の	094	02	配するものにて殊に裁判は其の犯罪の地	の 裁判所にて管轄すべきものでありまするから．尤
	の	094	05	日本の領海なれば裁判法理に照せば日本	の 裁判権理に付するのが至当で御坐りませう．併し
	の	096	09	看做せませぬ．既に我が治罪法にも情況	の 裁判は禁じて御坐ります．徳川の頃は情況裁判が
	の	105	12	るを免れませぬ．我輩は固より英国領事	の 裁判を以て至当なるものとは看做さず実に疎漏に
	の	106	11	や否やを調べる為めである．故に刑事上	の 裁判に非ずして寧ろ行政上の処分のものと考へま
	の	106	13	慰め其の遺族の怨みを晴すべき公平正当	の 裁判あらむことを翼望する場所は則ち今回神戸領
	の	110	15	なしと認めたるものであれば幾分か公平	の 裁判を為さざるかの疑ひ無きを得ませぬ．故に寧
	の	190	08	といふのが一般の有様であります．今日	の 裁判は委託裁判といふ有様であります．日本では
	の	190	15	司法裁判といふものにしろドチラも同一	の 裁判であるのです．たゞ其の違ふ所は行政裁判で
	の	150	16	を設けるもので憲法で定まつて居るもの	の 細密なる部分を定めるものが行政法であります．
	の	275	11	して典獄会議を開かれまして監獄取扱上	の 細密なることを打ち合せ致されたとのことで有り
	の	244	06	有ります．規則と申しまするものは法律	の 細目を定め，また時としては法律の委任を受けて
	の	069	17	の人を得ることが出来ませう．実に邦国	の 幸ひで御坐います．而して孛漏生の裁判官代言人
	の	278	10	．若し果して幾分か諸君を益したらば私	の 幸ひは実に此の上も無きことに御坐います．なほ
	の	059	14	亦輸入いたしたでありませう．所で人間	の 性と云ふものは兎角便利な物を悦び奇麗な物を愛
	の	060	01	麗なものや便利なものを欲するのは自然	の 性です．御覧なされ今如何様な田舎に行つても山
	の	027	06	ない幾ど八分と少しで来ます，丁度九段	の 坂下からこゝまで人力車で来る位な間に来ます，
	の	163	05	．其れが信長の大疵だ．或るとき七合入	の 盃を出して柴田勝家に酒を飲ませ其れから明智光
	の	163	07	めれば喜ぶだらうが飲めないから七合入	の 盃には驚いたと見える（七合入の盃といふことは
	の	163	07	七合入の盃には驚いたと見える（七合入	の 盃といふことは日本外史には書いて無いが何かで
	の	163	10	てがつた．光秀は仕方が無いから七合入	の 盃で飲んだら信長は光秀の頭をおこして，これは
	の	139	13	人望家で無いと申します．然るに小説家	の サカレイと申したら上はクエン陛下より下は裏店
	の	008	07	押し返されぬ程の騒ぎ．其れは豆粒の中	の 盛なので外を見れば盛でも何でも無い．他国の有
	の	057	13	るゝ者一千余名もある様ですが斯く衛生	の 盛んなる有様を見るのは必竟当路者の尽力多きに
	の	073	05	演説などが有りまして賢才の擢出し教育	の 盛んなること実に欣喜に堪へませぬ．則ち其れだ
	の	084	01	行くもので御坐りませぬ．或る時は進歩	の 盛んな時も御坐りまするし或る時は殆んど無い位
	の	086	07	の心を深く動かして人間社会を改める所	の 盛んな勢力は何処に御坐りますか，これに付て若
	の	100	05	する．つらつら歴史を案ずるに昔し羅馬	の 盛んなる時代には「朕は王なり」といふよりは「
	の	119	06	会で有りますから諸君のお骨折で此の会	の 盛んになつたのを祝して何かお話しでもしようと
	の	142	12	て馬琴の八犬伝を書いた時分が最も小説	の 盛んなる時で其の後は大体，馬琴の流亜を汲んで
	の	032	11	ります．今日お話ししましたのは地理書	の 先きを言つたので地理書は地球の中の事を調べる
	の	123	04	の子でも生れると其れから先き母親が指	の 先きに酒を附けて始終其の子供に嘗めさせると云
	の	203	01	た来るに違ひ無い．天王星と云つて土星	の 先きに大きな惑星が有りますがＨａｌｌｅｙの時
	の	246	04	から悪い事をしたとて其の人が頭から足	の 先きまで悪いと云ふことでも無し，また悪い事を
	の	218	11	たもので御坐います．ソコデ物語は婦人	の 作が多い．其れゆゑ先づ婦人の心得になるやうに
	の	220	02	太平記と云ふものは児島某と云ふ小説家	の 作で信ぜられぬことが多く楠正成の桜井のことだ
	の	220	17	一代男や一代女などを作り其の他，色々	の 作が出来ましたが其の言葉つきから趣向の立て方
	の	222	02	殊に残酷なものでは有りませぬか．馬琴	の 作も，始めは同じやうで有つたが晩年には注意し
	の	145	11	彼の演劇改良会では金は集まつたが演劇	の 作者が無い．尤も依田先生の吉野拾遺と云ふ作も
	の	202	11	中で待つて居つたです．この有様を日本	の 作者に言はせましたら「各々カタヅをのんで待つ
	の	221	12	其の時分，京伝は元来，洒落本，草双紙	の 作者で有りましたが後には画入読本と云ふものを
	の	222	03	の小説に採るやうにしました．こゝが他	の 作者より学問が有つたから了簡がついたことと見
	の	220	03	説家の作で信ぜられぬことが多く楠正成	の 桜井のことだの或ひは後醍醐帝の笠置の夢見のこ
	の	108	16	に避けやうといふときには，おもなる人	の 避け方に気を付けて必ず其の人の避ける方向に向
	の	108	17	なる人の避け方に気を付けて必ず其の人	の 避ける方向に向つて避けるに違ひ無い．また船が
	の	172	02	阿片を飲むことになつて居ませう）外国	の 酒類の輸入を予防せしめたこと我が国の民間の教
	の	108	13	るといふときに其の乗客は船長運転手等	の 指図を如何に思ひませうか危険を避けやうといふ
	の	108	14	とを攻究しなければならないか．船長等	の 指図に従ふより外はありますまい．然れば誰も彼
	の	015	17	ねるから物さしをズット大きくして地球	の 直径を物さしにします．さうすると此の距離は三
	の	016	01	離は三十と云ふ数になります，即ち地球	の 直径の三十倍ほどで有ります．してこの距離が分
	の	016	04	の直径三千二百四十八里で有りますが月	の 直径は八百八十七里ほか有りませぬ．其れ故に地
	の	016	04	八十七里ほか有りませぬ．其れ故に地球	の 直径十一分の三，即ち地球の直径を十一に割つて
	の	016	05	れ故に地球の直径十一分の三，即ち地球	の 直径を十一に割つて其の三つにほか当りませぬ．
	の	017	10	直径は三十五万二千六百二十三里で地球	の 直径の百八倍半ほど有ります．さつきの一寸の玉
	の	025	15	しくなります．第一今度は物さしが地球	の 直径ではいけなくなります．三千二百里も有る物

〔速記叢書講談演説集〕

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（の）	の	184	05	教即ちキリスト教に於ては結婚を以て神	の	定めたまふた律法とすることで御坐ります．一夫
	の	214	04	中は和漢の故事が入り用の時は当時有名	の	雑学者の喜多静廬や村田了阿などの所へ買ひ出し
	の	220	07	はれます．しかしながら猿楽の能から今	の	雑劇に至るまで其の書の中の事を仕組んだものが
	の	170	02	人物もありませうが云はゞ先づ玉石混淆	の	雑種人でありませう．けれども国人の移住は大変
	の	040	17	の配偶をせなんだり老人や親などを殺す	の	さへも其の時には善い事にもなりたので其れが風
	の	048	13	さなければならぬと云ふことも無く彼我	の	差別も漸々に薄くなりて来て，そこで道徳も大い
	の	182	07	の教を主張する者で一夫多妻は貴賤貧富	の	差別なく誰でも彼でも平等に之を厳禁いたします
	の	082	04	有益なるもので御坐りますけれども進歩	の	様々の種類の中で未だ申さぬ一つの大切な種類が
	の	084	17	つたもので御坐りませぬ．世の種々の国	の	様々の進歩を調ぶると云ふことは万国史を勉強す
	の	091	11	ます．所謂罪悪で御坐ります．世の進歩	の	妨げを為すものはこの罪悪で御坐ります．万国万
	の	125	02	じたいと思ひまする所は則ち若い伝道師	の	妨げまた其の務めの邪魔になるもので御坐ります
	の	004	11	足で踏みつける様なものだが其の蟻も目	の	さめたのでは無い眠つて居る蟻である．だが其の
	の	223	02	観阿弥世阿弥の父子が奮発して其れまで	の	猿楽の舞を修正して多くの新曲を作り滑稽にかゝ
	の	008	07	鹿鳴館に往て見ると賑で押し返されぬ程	の	騒ぎ．其れは豆粒の中の盛なので外を見れば盛で
	の	168	10	らしの様で日本の人心が俄に騒ぎたつた	の	騒ぎたゝないのでは無い大変な狼狽を始めて日本
	の	016	04	有りませぬ．其れ故に地球の直径十一分	の	三，即ち地球の直径を十一に割つて其の三つにほ
	の	062	14	き居りて運動の自由ならざるは則ち原因	の	三です．此の如き種々の原因よりして人力車濫用
	の	182	12	りませんが今若し日本国中の人を上中下	の	三等に区別して其の中執れに妾を蓄る者が最も多
	の	202	15	lleyの言つた通りに千七百五十九年	の	三月十二日に於てClairantの勘定したよ
	の	253	07	年囚の部と致して之に教育，教誨，懲戒	の	三事を施します．尤も其の不良の度合ひに応じて
	の	241	06	旅宿の取扱が丁寧で有つたとか，岩手県	の	山景は麗しく有つたとか云ふやうなことは内務大
	の	133	04	の時に基督信徒をひどい目にあはせた所	の	残酷な者さへも信者の愛信の厚いこと，また其の
	の	223	05	云ふ踊の間に，お国は男の姿に出たち夫	の	三左衛門は女に出たち，伝助と云ふ滑稽家を交ぜ
	の	016	01	十と云ふ数になります，即ち地球の直径	の	三十倍ほどで有ります．してこの距離が分りまし
	の	065	12	を改めなければ後年必ず測るべからざる	の	惨状を醸すに至りませう．古語に曰く「木静なら
	の	143	17	ますから仕方が無い．彼の南宗北宗など	の	山水の美景或ひは武人の像を画くものも有れば男
	の	033	07	してくれとのお頼みゆゑ亨二は亨二だけ	の	賛成いたした趣意を申し上げて見ようと思ひます
	の	013	01	します．直径は一番大きい処で僅か日本	の	三千二百四十八里と四分の一で一番小さい所は三
	の	214	07	彦でさへ，さうだから，ましてや京伝だ	の	三馬だのに於ては狂言作者同様に下等の人情を鑿
	の	084	06	坐りませう．たとへば横浜から亜米利加	の	サンフランシスコまでの里数と一昼夜に船のはし
	の	061	14	る人にして日々幾分かの運動を要する人	の	散歩するに方つて尚ほ人力車を用るあり，或は又
	の	019	05	しいことを言はなくつても諸君が御承知	の	山陽の詩に「太白当舟明似月」と云ふのが此の星
	の	248	02	ふので，此に於て始めて「ナルホドおれ	の	したことは悪かつた，如何にも教誨師の言はるゝ
	の	267	06	性質の悪く無い者が非常に性質の悪い者	の	したことを学ぶといふやうなことになりまする．
	の	202	07	算にはゆきませんが多分千七百五十九年	の	四月のナカバには出るだらう，尤も三十日前か三
	の	236	11	自分の利益になることは無かつた．豪傑	の	士が自分の志を堅く立てて人に嫌はれても忌まれ
	の	098	09	と考へまする．苟くも人情あるものは人	の	死を聞いて悲しまぬものはなく殊に其の非命の死
	の	098	09	聞いて悲しまぬものはなく殊に其の非命	の	死を聞きては流涕長大息いたさぬものは殆んどあ
	の	100	12	我々同胞二十五名の人が斯くの如き非命	の	死を遂げたものであらうと考へる．若し果して，
	の	110	04	すが同胞二十五人の死骸も印度人十二人	の	死が乗つた端艇は漕いで来たのかといふに，たゞ
	の	211	11	には地球は老病で死んでしまふから非業	の	死は遂げやしないと云ふ説が有ります．実はコッ
	の	019	05	とを言はなくつても諸君が御承知の山陽	の	詩に「太白当舟明似月」と云ふのが此の星のこと
	の	004	07	てはならない．それに平気になつて多く	の	字を頭に繰り込んで唐紙に字ぐらゐ書いて居ては
	の	024	14	称して太陽系と言ひます．系は系図の系	の	字で有りまして私が親子眷属に譬へましたのは決
	の	052	04	は無い話しとして）数字の外はモロコシ	の	字を用ひぬことと触れ出し一字使つた者は懲役一
	の	052	05	たら懲役二年に処することとしモロコシ	の	字を書いた書物は広い原へ持つて往つて焼いてし
	の	052	07	無い，究理のことでも歴史でもモロコシ	の	字を用ひたので無ければ横文字の書物より外は無
	の	053	13	」でも「ほへと」でも宜しいがモロコシ	の	字を知らないうちに仮名を教へ仮名の字面を知り
	の	053	14	へ仮名の字面を知りましたら先づ「は」	の	字と「な」の字を知れば「はな」とはこんなもの
	の	053	14	を知りましたら先づ「は」の字と「な」	の	字を知れば「はな」とはこんなものだと教へ「み
	の	105	15	ねばなりませぬ．若し該言渡にして論者	の	思惟さるゝ如く果して刑事裁判ならしめたら仮令
	の	148	09	つて居るか知りませぬが例へば五万以上	の	市街は日本にイクツあるといふことを西洋のヤー
	の	110	04	調べに着手して居りますが同胞二十五人	の	死骸も印度人十二人の死が乗つた端艇は漕いで来
	の	141	10	で有りませう．之を改良するには小説家	の	資格からして改良して行かねばならぬ．小説家の
	の	141	12	らして改良して行かねばならぬ．小説家	の	資格は只今述べたる三箇条なれども其ればかりで
	の	144	10	．兎に角，非凡の小説を得んには小説家	の	資格と云ふものを高めておきたいと思ひます．其
	の	080	12	も此の三つの手続きが御坐ります．一つ	の	仕方は人の総ての悪き所，人の害になる所，人の
	の	080	14	上げる所のものを能く養ふて盛んにする	の	仕方．また一つには現に成り立つて居る人の種々
	の	080	16	素をつくる仕方で御坐ります．此の三つ	の	仕方は一個人に付ても，また社会に付ても適用す
	の	085	11	良と進歩とに付て必ず三つの段或は三つ	の	仕方が御坐ります．其の一は人の悪しき性質，人
	の	126	08	．学術の色々の反対論に答へるには色々	の	仕方が御坐りまするが其の中に至極よいものも御
	の	126	10	ものも御坐ります．今から私は其の色々	の	仕方を順に従つて申し上げ，また兼ねて其の得失
	の	127	02	ことは出来ますまい．この者が用ふる所	の	仕方は随分ケンノンな仕方で御坐ります．西洋の

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（の）	の	127	11	は御坐りませぬ．故に私もこの若い勇者	の	仕方をよしとすることは出来ませぬ．第二．また
	の	128	14	ひは決して御坐りませぬ．故に此の第二	の	仕方も亦よい仕方で御坐りませぬと存じまする．
	の	131	04	坐ります．これまで説きました所の三つ	の	仕方は皆な誤つた仕方で御坐ります．されば学術
	の	132	14	た破ることと駁つことは露西亜の虚無党	の	仕方で有ります．基督教の仕方で御坐りませぬ．
	の	132	14	西亜の虚無党の仕方で有ります．基督教	の	仕方で御坐りませぬ．偽りを倒すよりも真を立て
	の	132	17	す．即ち卒業生が己が身に基督教を行ふ	の	仕方で御坐ります．人が，まのあたり受ける所の
	の	134	15	の反対論に答へむには其の外にまだ色々	の	仕方が御坐りませうけれども先づ今日説きまする
	の	227	09	総裁して居りました．これに就ては任命	の	仕方や何かは行政上，正しくいつて居つたとは云
	の	230	17	画のお話しで有りますが其れから行政上	の	仕方になりまするとと沿革はさておきまして先づ第
	の	259	04	助に政府，又は府県，町村より補助する	の	仕方を以てやるべきもので有りまする．斯くの如
	の	103	06	弁慶があの様な豪傑なのは概して信仰心	の	然らしめたものである．清正が非常の武勇を現は
	の	103	07	非常の武勇を現はしたのは矢張り信仰心	の	然らしめたのである．即ち弁慶が天台の宗旨を信
	の	027	08	，かたつ方の端までゆくに瞬きをする程	の	時間はかゝりませぬ．月まで行きますにも二セコ
	の	096	07	礁に乗りあげてより沈没に至るまで充分	の	時間があつたから救ひ得られさうなものであるに
	の	275	14	，有力者に於て非常に尽力せられまする	の	時機にまで到りましたから，これも遠からずして
	の	266	02	ませう．此の表の中で第一の犯罪予防部	の	事業は二つの場所にて之を執行いたしまする．其
	の	266	10	とで有りまする．」第二の懲必＊感化部	の	事業は俗に監獄と申しまする所，即ち地方監獄，
	の	266	17	すことで有ります．第三の未決者監禁部	の	事業は警察署の留置場，及び各地方の未決監則ち
	の	267	07	ふやうなことになりまする．故に此の部	の	事業は必ず分房法を用ひなければなりませぬ．第
	の	267	08	ければなりませぬ．第四の出獄人授業部	の	事業は慈恵上より成り立つところの放免者保護会
	の	267	10	ことに尽力するので有りまする．此の部	の	事業は最も大切なることで有りまして若し此の部
	の	267	17	有りまするから此の方法を参考して実際	の	事業を為すときには必ず大いなる効能が有らうと
	の	275	13	罪懲治者，並びに出願懲治者の教育保護	の	事業を世間の有志者，有力者に於て非常に尽力せ
	の	276	08	．これ則ち文明国に於て将さに為すべき	の	事業であらうと信じまする．若し此の大原則を誤
	の	253	06	ぬ．よつて，この矯正院に於ては其の中	の	仕切りを三つに分けまして出願懲治者の部，不治
	の	254	02	は仕事を知らざる者．其れで，この第一	の	資金を多少有する者は長い間，監獄に居りまして
	の	254	06	ければならぬやうになります．また第二	の	資金なき者と云ふのは前のと同様でありまして第
	の	141	17	のも有ります．斯る先生では本当の小説	の	仕組は出来ません．凡て物事と言ふものは仕組と
	の	224	10	付て来ましたが，まだ兎角，強盗や情死	の	仕組は止みませぬ．これ等は風俗にも関係するこ
	の	260	10	養育院即ち乞食院，矯正院即ち不良少年	の	慈恵所など色々と有りまするから一方にばかり偏
	の	068	05	では裁判官たるの能力を有するには二回	の	試験を要しまして第一回の試験は三年間大学に於
	の	068	05	するには二回の試験を要しまして第一回	の	試験は三年間大学に於て法律学を修め殊に其の中
	の	068	07	ぬ．而して第一回試験の及第から第二回	の	試験までは見習生となつて実務を見習はなければ
	の	068	12	学に入り三年間法律学科を専修し第一回	の	試験を受けて見習生となり少くも四年間実務の練
	の	211	07	我々の所へ這入つて来ると丁度何か化学	の	試験をする時に壜が破裂して悪い瓦斯がソコラに
	の	093	15	て居ります．併し純理上から言へば今回	の	事件の如きは我が国に於て之を裁判するのが順序
	の	098	07	ことが有りまするが彼のノルマントン号	の	事件の如きは心之を思ふに堪へず口之を言ふに忍
	の	098	14	のこゝろに富むで居りまするから此の度	の	事件が世間に公けになるや否や政府は命を下して
	の	099	07	と考へまする．私のおもへらく，此の度	の	事件の大原因は「軽蔑」といふ二字に過ぎないこ
	の	104	09	であります．之を要するにノルマントン	の	事件は悲しむ可し憤る可しと雖も其の遠因は軽侮
	の	111	06	ないと思つて居るに違ひ無い．即ち今回	の	事件の如きは彼等が平常我々を虐待する種々様々
	の	127	17	学者たちの色々の論を天の黙示，或は神	の	示現の如くに喜んで受け容れて而して此の色々の
	の	052	02	悪いときには効が無い．例へば仮りに秦	の	始皇の様な大決断の人があると定め其の人が仮名
	の	052	09	この時に差しつかへてしまふ．其の外秦	の	始皇に出かけられたと思ふと大層な不都合が出て
	の	053	07	る．さういふ所からして，いろいろ今秦	の	始皇にやられては不都合が有ると思はれます．私
	の	054	05	．また後のことを考へると前に申した秦	の	始皇の話しの様に書物を皆な焼いてしまつても英
	の	055	10	を以て全く仮名の世界にしてしまひ，秦	の	始皇の大決断を望む準備が出来る様で無ければな
	の	232	04	論者になりますと地方税規則第三条掲載	の	事項は府県会の議決を経なければならぬけれども
	の	082	06	完全な進歩が迚も出来ませぬ．此の一つ	の	至極大切なものは即ち道徳の進歩で御坐ります．
	の	131	06	もので御坐りませうか．第四．其の一つ	の	至極よい仕方はこれで御坐ります．洋学を致した
	の	247	13	まして悪い事をしたから斯くの如き現在	の	地獄の苦みを受けると云ふことを分らせるので有
	の	052	02	決断の人があると定め其の人が仮名の会	の	仕事を尤もと思ひこんで（但しこれは我が国のこ
	の	124	15	ことで御坐ります．けれども若い伝道師	の	仕事は皆残らず順風に助けられて楽の出来るもの
	の	177	15	世間に有り来りの未来記にも及ばず戸長	の	仕事同様なることを言ふ愚かなることなりと笑ふ
	の	224	17	小説の方は，これまでと違つて立派な人	の	仕事となりまして看る人の意も，これまでとは格
	の	229	10	にしたやうなもので有るから区長は郡長	の	仕事と戸長の仕事をして居ります．今，性質から
	の	229	10	もので有るから区長は郡長の仕事と戸長	の	仕事をして居ります．今，性質から云へば区は郡
	の	254	07	と云ふのは前のと同様でありまして第三	の	仕事を知らざる者も，これもドウも仕方が無いか
	の	267	11	も大切なることで有りまして若し此の部	の	仕事が行き届きませぬと常に何千何万と云ふ将来
	の	270	14	減少するは教育の普及を図ることが第一	の	仕事でありまする．俗に智識がひろまるほど不良
	の	178	05	り我が帝国の将来を知るの方法あらば何	の	仔細もなきことなれば有志の学者は講究あらんこ
	の	108	10	りませぬ．併しながら未だ知り得ない所	の	事実を考へるのは敢て難いことでは無い．船長運
	の	109	14	聞して其の効用を知るであらう．これ等	の	事実であるに同胞が端艇に乗ることを肯じなかつ

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（の）	の	109	16	怪しむべき事実が有る．只今申した数多	の 事実によつて考へて見れば日本人はミスミス溺れ
	の	128	04	の色々の論，未だ学者たちでさへも学術	の 事実とせぬことが多う御坐ります．近来盛んに起
	の	147	15	とかいふのは行政法であります．これ等	の 事実をスタチスチックで調べるのは行政法の便益
	の	019	04	の名を白とつけ字は太白と言つて酒飲み	の 詩人で世に知られた人で有ります．併しコンナむ
	の	084	08	と時間と知れてあつたならば向ふに到着	の 時節も亦知れぬことで御坐りませぬ．さりながら
	の	204	12	年と云ふ時で今にもキリシタン宗門破滅	の 時節になると云ふ有様で「各々安き心なし」とで
	の	201	07	をくふのとは少し違つて，これは天地間	の 自然にあるのです．これはムツカシク言へばキリ
	の	143	04	も有れど，これは皆な有形上のことで人	の 思想即ち無形の人情を写すは筆より外は無い．即
	の	228	06	ます．其れで地方の区別を見ますと大名	の 下に今の郡長のやうなものを置き，また村には名
	の	228	15	の下役のやうなもので有ります．其の郡	の 下に町村が有ります．この町村の区別に至りまし
	の	229	11	て居ります．今，性質から云へば区は郡	の 下につくべきもので有ります．其れならば区は郡
	の	247	01	へお戻し申さう」と云つて直ちに其の膝	の 下に，生れたばかりの赤子を入れて圧しつぶすと
	の	105	10	判決して無罪としたのは実以て言語同断	の 次第である」と言ひ或ひは「兵庫県知事より求刑
	の	215	10	せう．先づ小説の成り立ちよりして来歴	の 次第を申しませう．しかし之を申すには西洋の小
	の	232	13	が学問上の精神で有らうと考へます．右	の 次第ですから行政官権及び行政議会と云ふことを
	の	236	02	で書いたことださうで有ります．其の様	の 次第で有つたことゆゑ，蘭語の稽古も実にむつか
	の	221	05	ます俗耳を喜ばせるを手柄とし専ら遊里	の 事態などを書いた八文字屋本と云ふものが流行し
	の	083	01	恥かしく衰微いたしました．また其の後	の 時代において彼の盛んな羅馬帝国が其の通りに成
	の	178	03	笑ふの類に止まるは面白からず．其の頃	の 時代なれば兎もあれ，今日の文明たゝ一席の口上
	の	219	02	ります．其れは源氏物語の頃（一条天皇	の 時代）の風俗のことで其の頃は今の如き媒妁人と
	の	220	10	のことのやうに思ふ人が多い．さて足利	の 時代には物語がやゝ廃れて草紙の世となり画巻物
	の	228	14	ものを置いてあります．これは府県知事	の 下役のやうなもので有ります．其の郡の下に町村
	の	229	14	ぬ．して郡長は区長や戸長とは違ひ知事	の 下役ですから人民の公撰すべきものでは無いと思
	の	069	09	御坐いましたが千八百八十五年即ち昨年	の 七月一日には三千八百三十九人となつて居ります
	の	239	04	手県，青森県，秋田県，山形県，新潟県	の 七県の監獄巡閲の命を受けまして，去る六月九の
	の	177	17	て我れ之を発明すと呼びつゝシュラキセ	の 市中をハダカにて，かけまはりしも見る人はをか
	の	014	06	ると云ふことは知れて居ましたが昔の人	の 知つて居つたのは先づ其の位なものです．其れか
	の	051	13	様に日又一日に仮名文字の用ひが殖る様	の 実があがりませぬでは名簿ばかりでは盛大と私に
	の	213	09	面白い話しでは有りませぬ．マー先生方	の シッカリとした演説の間の狂言のやうなもので御
	の	102	12	属国やら更に分らぬさうであります．国	の 実況が分らず国の名さへも知らぬ様では軽蔑も無
	の	108	07	又メンスローターに当るかといふに当時	の 実況は我々が想像に止まることで果してマーダー
	の	035	05	ぬが私は面白いことと思ひます．私ども	の 実験にも世間にさういふ連中があつて往来に酔ひ
	の	189	05	二つ以上の頭を以てし，きめた事は一人	の 執行権者が行ふといふ主義に違ひ無いやうに見え
	の	190	03	．第二は行政府である．これも法律規則	の 執行を為すので，行政府と政府の区別を一と口に
	の	243	15	掌ることで有ります．また司法権は法律	の 執行を掌ることで有りまするが単に民法，刑法だ
	の	243	15	ことで有りまするが単に民法，刑法だけ	の 執行，又は適用を掌ることとなつて居りまして其
	の	244	05	於て執行いたしまする事柄は第一は法律	の 執行で第二は規則の制定及び執行で有ります．規
	の	244	10	もので御坐います．其れから第三は政治	の 執行で，これは内閣で定めた政治を実際に行ふこ
	の	244	11	際に行ふことで有りまする．第四は憲法	の 執行で，これは憲法に於て定めたことを実際に行
	の	244	12	際に行ふことで有りまする．第五は裁判	の 執行で，司法権に於て罪人あるときは之に刑法上
	の	244	13	刑法上の刑を適用するけれども，其の刑	の 執行は執行権の中の行政権に属しまする．其れか
	の	245	16	．さて，監獄は前に申し上げたる通り刑	の 執行を掌る所で有りまする．就ては刑とは何かと
	の	246	10	味で御坐います．よつて監獄に於ては刑	の 執行を掌る即ち人心の改良を掌ると云ふもので有
	の	102	11	国に遊んだ人の話しを聞くに西洋で日本	の 実際の有様を知つてる人は万人に一人も無いは勿
	の	159	01	実際人々の精神に，のみこんだのが学問	の 実際といふものに違ひない．教法の極点といふと
	の	278	06	るが現在のことは学術の部を外れて行政	の 実際に関係いたしまするから此の講談の範囲外で
	の	102	03	必ずそれを外さない．糞汁も厭はない芋	の シッポも嫌はない．日本人は清潔を好んで矢鱈無
	の	086	14	からざること即ち基督教の必要はこれ等	の 質問に由つて明らかになります．若し基督教に問
	の	091	03	は至極善い宗教で御坐ります．新約聖書	の 使徒行伝と云ふ書物に委しく書いてある所の彼の
	の	007	02	書く方が，はやって来て字を書くことだ	の 支那流の道徳だの礼式だの品行だのといふものが
	の	038	10	其の様に表裏反対して居るかと云へば昔	の 支那流で言ふと開けぬ者は智慧が有らぬゆゑ天然
	の	083	06	諸君に近い国の例を申しますならば隣り	の 支那で御坐ります．諸君御案内の通り支那では昔
	の	019	13	が有ります，丁度鉛の玉のグルリに剣術	の 竹刀の鍔でもつけた様に見えるもので有ります．
	の	219	09	ります．また源氏物語の箒木の巻に雨夜	の 品定めと云つて源氏の君，頭の中将，外に両名ば
	の	219	09	の中将，外に両名ばかり集つて世間の女	の 品定めをし女の種姓のことや器量のことや芸能の
	の	081	03	せぬ．人が自分の勝手に作つて用ゆる所	の 品々の進歩で御坐りませぬ．進歩といふものは内
	の	212	09	つては金剛石や金銀にもかへられない程	の 品物を得ることが出来るかも知れません．しかし
	の	171	10	せう．一昨日，亜米利加に行つて居る私	の 次男から手紙が着きましたが今度合衆国では蒸気
	の	145	15	円あるさうで二三年の中には大きな煉瓦	の 芝居も立つさうです．私は金は出さねども此の演
	の	170	08	の働きの方には限りがありませうが人民	の 自発の方には限りはありますまい，して見れば，
	の	157	14	のお弟子のガリレオ，これは支那では明	の 時分で日本では足利時代の人だが其の前は天と言
	の	221	06	と云ふものが流行し其れから明和，天明	の 時分には一変して洒落本となり恋川春町，芝全交
	の	223	12	ふ者も出来て続き狂言を作り元禄，宝永	の 時分になつては三番続き五番続きの狂言の趣きを

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（の）	の	223	15	います．そこで操人形と云ふものが慶長	の 時分から有つたもので追々遣ふ者の上手も出来，
	の	223	17	形を遣ふことになりました．元文，宝永	の 時分には竹本筑後掾，世に義太夫と云ふ浄瑠璃が
	の	086	07	御坐りますか，これに付て若し世の人々	の 自分の見込み，また一般の輿論に問ふならば明ら
	の	111	01	一言すべきことが御坐ります．若し今回	の 事変にして単に今回の事変のみに止まらしむるな
	の	111	01	ります．若し今回の事変にして単に今回	の 事変のみに止まらしむるなれば我輩はたゞ船長の
	の	067	01	蓋し今日に在ることでありませう．孛国	の 司法制度を説き併せて所感を述ぶ明治十九年七月
	の	069	01	ならぬ訳で有ります．之を以て孛漏生国	の 司法官吏たること及び代言人たるの難いことが想
	の	058	13	が言ふた通り英吉利は衛生が進んで人民	の 死亡も少なくなつたと云ふのも即ち開化の為めで
	の	257	11	．之と同じく貧病人を救助するのも一時	の 資本前貸しで有ります．而して壮健なる貧民を救
	の	257	12	年を矯正（即ち心の救助を）するは一時	の 資本前貸しと犯罪人の予防との両性質を有するも
	の	260	06	ば一万円の年額を要する為めに三十万円	の 資本が備はつた上は其の上の資本は無益なるもの
	の	260	07	に三十万円の資本が備はつた上は其の上	の 資本は無益なるもので有りまするから，これは他
	の	260	08	に分配すべきもので有ります．故に相当	の 資本が備はりたる上は最早，濫りに寄附を受けな
	の	136	03	もので有ります．此の帝国の本州と諸々	の 島は皆な眼の前に，この庭に敷て御座ります．こ
	の	210	06	のかも知れません．方々で「今度は世界	の シマヒだから今の中にオイシイものでも，たべて
	の	053	14	シの字を知らないうちに仮名を教へ仮名	の 字面を知りましたら先づ「は」の字と「な」の字
	の	036	11	せう．どうか皆様のお骨折りを以て大慾	の 社会になることを希ひます．賛成いたした趣意を
	の	037	06	至りてむづかしい．世界の全人類は一つ	の 社会であると云ふ説も有るがこゝに云ふのは若干
	の	038	13	とは善悪も邪正も顚倒して道徳は其の時	の 社会を維持し且進歩を営むの術ぢゃと云ふことで
	の	038	13	且進歩を営むの術ぢゃと云ふことで野蛮	の 社会では野蛮に相応した術を用ひて其の社会を維
	の	038	15	維持し進歩を謀らねばならぬ．故に野蛮	の 社会などで誰も斯く為さむと思ふたのでは無から
	の	039	10	る訳かと云ふと其の様な社会では若し他	の 社会から攻撃されたときに足手まとひが有ると其
	の	039	12	ゆゑ本当の役に立つ者だけで無ければ他	の 社会と戦争をしたときに其の社会を保ちゆくこと
	の	046	13	か仏国とか日本とか支那とかは各々別々	の 社会になりて居る．社会が進化して来た所で其の
	の	046	14	て居ることぢゃ．其れ故ドウしても一つ	の 社会を為さぬ者同士の間に道徳の行はれると云ふ
	の	047	06	れど其れよりは各国が今日まで未だ一つ	の 社会にならぬのが歎はしいと言ふ方がよい．各国
	の	047	07	が歎はしいと言ふ方がよい．各国が一つ	の 社会になりても道徳が行はれねば其の時こそ始め
	の	080	07	んな銘々に能く進歩するならば其の全体	の 社会が必ず善く進歩してゆく筈で御坐ります．一
	の	080	09	して滞るならば即ち箇様な人間を含む所	の 社会は必ず進歩せいで止まつて居る訳で御坐りま
	の	092	12	く己れを進歩させる時は兼ねてまた貴国	の 社会を進歩させるの有り難い好結果は必ず現はれ
	の	179	16	日より西洋諸国に於て行はれた種々様々	の 社会改良にして直接か間接にキリスト教の力に籍
	の	180	14	宜からうと存じます．然らば目下我が邦	の 社会改良を謀り殊に婦人に正当の地位と真正の幸
	の	181	09	て許さぬことで御坐ります．今日我が邦	の 社会に於て改良を加ふべきことは色々あつて既に
	の	181	11	のもまた大事な改良で御坐りませう．酒	の 社会を害することは実に夥しいことで御坐りませ
	の	236	10	西洋のことを学ぶと云ふことが其の時分	の 社会の為めに嫌はれたので医者などが西洋医者に
	の	048	08	れば国と国とが段々と相結合して先づ一	の 社会様のものを為すことになり一つの法律を用ふ
	の	188	05	政法とスタチスチックとの関係，行政法	の 釈義並に行政法と憲法との関係を一言申し上げて
	の	239	12	，高等小学校，中学校，師範学校，大小	の 社寺，等ナカナカ沢山なことで有りました．此の
	の	180	07	は異邦人或は自主なる者或は奴隷なる者	の 差別なし，皆兄弟たり」との聖書の教では御坐り
	の	125	02	所は則ち若い伝道師の妨げまた其の務め	の 邪魔になるもので御坐ります．勿論，今この一席
	の	125	03	ます．勿論，今この一席の間に其の色々	の 邪魔と妨げをチャント部分けして委さに説くこと
	の	144	05	けるが宜しい．日本今日の小説とて美術	の 旨意に適つたものは無いでは無いが随分不都合な
	の	012	06	御座います．追々お話しします中に問題	の 趣意もよく分りませう．話しをあとに戻しまして
	の	033	01	トお話し申しました．節酒会を賛成する	の 趣意明治十八年三月二十二日大日本節酒会の第一
	の	127	13	せぬ．第二．また或る説教師は総て学術	の 趣意を感心して，また前に申した仕方の間違つて
	の	135	03	且弁論するならば我れ等の区域，我れ等	の 趣意が至つて狭いものにはなりはせぬかといふ不
	の	135	04	世界が狭いものと言はれるならば基督教	の 趣意も亦狭いもので御坐りませう．ナゼなれば基
	の	135	06	．若し万国万民が狭いものならば基督教	の 趣意は実に狭いもので御坐ります．基督教は則ち
	の	135	11	と死などのものが狭いものならば基督教	の 趣意は亦狭う御坐ります．ナゼといふのに人間の
	の	135	13	教を専らに研究しまた其の為めに励む者	の 趣意は決して狭いものでは御坐りませぬ．却つて
	の	150	15	政法といふものはたゞ憲法に基いて憲法	の 趣意を拡張する為めに法律，規則を設けるもので
	の	241	12	し致しまることは前に申しました区別	の 趣意で致しまするが，諸君の私にお問ひなさるこ
	の	247	09	苦しめて彼奴を早く殺してしまふ方が刑	の 趣意に適ふだらう」などと考へるやうなことが起
	の	023	04	と木星は一尺一寸あります，直径が太陽	の 十分の一ありまして地球からの距離は太陽よりは
	の	203	04	な人が勘定をして今度は千八百三十五年	の 十一月の十三日に太陽に近い所に戻つて来るだら
	の	203	04	定をして今度は千八百三十五年の十一月	の 十三日に太陽に近い所に戻つて来るだらうと言ひ
	の	217	05	やうとおつしやつたが其れも否んで八月	の 十五夜に天人の迎ひに応じて天に昇つたと云ふ趣
	の	269	02	まして其の中，六箇所が女子部で，アト	の 十八箇所が男子部で有りまする．此の所には一万
	の	062	13	島田や鍋蓋の如き丸髷を頂き居りて運動	の 自由ならざるは則ち原因の三です．此の如き種々
	の	091	13	に由らざれば人が此の罪悪を免れて本当	の 自由を得て進歩することが出来ませぬ．なぜなれ
	の	151	09	用し，また制限する．例へば人民は言論	の 自由があると言つてもムヤミなことを言ふことが
	の	152	02	る原則，例へば政事上の権理とか宗教上	の 自由とか民事上の権理とか皆これを制限し規定す
	の	165	16	中で之について色々の学派があつて人間	の 自由や同等権利など一偏の道理を説く学派もあり

代表形	判	ページ	行			出現文脈
（の）	の	169	01	り向ひて東の方には向はない．これは人	の	自由心と物理と関係の無い証拠で東漸とは形ちば
	の	193	14	れをも参照して細則をきめるだけで人民	の	自由とか所有権とかいふことは日本古来の原則に
	の	013	04	直に周囲を知ることが出来ませう．地球	の	周囲を測つて見ますと長い所が僅か一万二百五里
	の	092	02	るもので御坐ります．基督教は即ち進歩	の	宗教で常に人を善の方へ進ませて貴い方へ上げる
	の	130	06	無いもので有ります．私ども常に陳る所	の	宗教の基また学者が常に調べ且説く所の万物は同
	の	131	15	実を取つて而して之を以て其の演べる所	の	宗教の色々の面白い譬喩とし，また固い証拠を設
	の	103	07	の然らしめたのである．即ち弁慶が天台	の	宗旨を信仰し清正が法華宗を信仰したればこそ固
	の	096	15	同胞の為めに尽すべき第一の職分は証拠	の	蒐集に尽力することで御坐ります．其の証拠が充
	の	262	16	法はヨホド実際に困難でありまして多く	の	囚人を一つの場所に集めて仕事をさせるときは如
	の	264	03	．この家族法と申しまするは例へば百人	の	囚人あれば之を二十人づゝに分ち，五つの家族の
	の	158	10	クリしたに違ひない．後世，朱子が論語	の	集註を書いた時分に天の怒りだと書いたのを見る
	の	262	11	は一房に一囚をおきまして，夜も昼も他	の	囚徒と面を見合すことも，話しをさせることも有
	の	262	14	厳密なる規則を以て囚徒を緘黙せしめ他	の	囚徒と同一の場所にて役業に就かしめ，夜分は一
	の	263	03	第三は雑居法と云ひまして，これは多く	の	囚徒を集め別に区別を致しませぬもので有ります
	の	266	13	ました者は緘黙法を用ひまして昼は多く	の	囚徒同様の場所に於て仕事を致させ，夜は一房に
	の	269	03	まする．此の所には一万五千七百〇六人	の	囚徒がありました．矯正院即ち感化院は男子の部
	の	274	10	とを一言いたしませう．監獄は実に数万	の	囚徒を取り扱ふ所で前に述べましたる如く一種の
	の	048	16	社会を異にして，居るから其の間に道徳	の	十分行はれる道理が無い．今日各国の間に道徳の
	の	021	17	いかも知れない．併し事によつたら火星	の	住民はズット野蛮で有るかも知れませぬが，さう
	の	120	04	飲むことが世界に流行する所を見れば各	の	住民は，ほとんど飲酒家の鑑札を持つて居る様な
	の	006	11	るので本につかないでは出来ない．孟子	の	主義はドウか會子の主義はドウかと聞くとなかな
	の	006	11	では出来ない．孟子の主義はドウか會子	の	主義はドウかと聞くとなかなか出来ない，いつで
	の	043	01	那は道徳を以て天下を治めると云ふ三代	の	主義で法律は賤しむる様になりて居る．併し支那
	の	043	05	今日まで存する主義ぢゃが其れは全く昔	の	主義ぢゃ．其れ故政府の上でも矢張り道徳のこと
	の	044	10	．併し道徳と雖も矢張り其の説く所の真	の	主義通りには参らぬものぢゃ．支那は道徳の国な
	の	044	15	はれるもので無い．其れのみならず法律	の	主義も矢張り主義通りには行はれぬことぢゃ．即
	の	048	11	と思はれる．さうしたら先刻申した法律	の	主義と云ふものは無論行はれる様になるであらう
	の	276	03	ふ如き主義でありました．然るに維新後	の	主義は罪を犯す者があれば何卒して其の心を改良
	の	276	06	義であり，維新後は自由剝奪と云ふだけ	の	主義でありまする．また維新前は復讐と云ふ意味
	の	227	14	天子は何をして居られたかと云ふと真正	の	主権者なるは勿論なれど其の形ち，大名に対して
	の	177	14	都合なることも多かるべし．殊に初めて	の	趣向なれば胡乱に思はれて箇様なることならば世
	の	080	02	申します．抑も昔よりこのかた人間社会	の	種々の進歩に気をつけて見れば其の中に種々の大
	の	080	15	方．また一つには現に成り立つて居る人	の	種々の善き所に加へて人を貴くし，また人を活発
	の	084	04	か或は後れてあるかも知れませぬ．進歩	の	種々の種類が皆な一所に並んで進み行くならば全
	の	084	17	の能く定まつたもので御坐りませぬ．世	の	種々の国の様々の進歩を調ぶると云ふことは万国
	の	086	01	話し申したで御坐ります．さて，これ等	の	種々の事柄は演題の確実なこと，また其の間違ひ
	の	089	03	とも無くして人の真の有様を示しまた人	の	種々の不足不完全を明らかに教ゆる宗教で御坐り
	の	089	13	とが決して御坐りませぬ．第三．また人	の	種々の進歩を励ます為めには人の目の前にある貴
	の	092	01	ことは一度も御坐りませぬ．今弁じた所	の	種々のことに由つて見ればドコから見ても基督教
	の	219	10	名ばかり集つて世間の女の品定めをし女	の	種姓のことや器量のことや芸能のこと或ひは心ざ
	の	099	14	護すべき責任のあるものである即ち当時	の	主人の地位に立ちて居るもの重大なる責任のある
	の	103	15	し．さすれば日本人を真面目ならしむる	の	手段は宗教を盛んにするにあることは明瞭であり
	の	038	13	徳は其の時の社会を維持し且進歩を営む	の	術ぢゃと云ふことで野蛮の社会では野蛮に相応し
	の	038	17	其の社会に相応した維持と進歩とを営む	の	術を得たものは漸々に栄え其れが出来ぬ社会は亡
	の	174	07	来ます．これが則ちスタチスチック学者	の	術であります．さて現今の人数三千八百十五万一
	の	267	08	分房法を用ひなければなりませぬ．第四	の	出獄人授業部の事業は慈恵上より成り立つところ
	の	182	08	します．さうしてこれが即ちキリスト教	の	儒道や仏道と大に違ふ所の一で，また社会を改良
	の	073	04	業式に出ましたが段々過刻より卒業証書	の	授与また卒業諸君の演説などが有りまして賢才の
	の	082	04	るもので御坐りますけれども進歩の様々	の	種類の中で未だ申さぬ一つの大切な種類が御坐り
	の	084	04	後れてあるかも知れませぬ．進歩の種々	の	種類が皆な一所に並んで進み行くならば全国民の
	の	177	01	べたやうに男女の人数，年齢，職業など	の	種類を分つて其の国々にまとめ何年の調べとして
	の	189	02	御坐います．これ等は議政といふ立法権	の	種類に属すべきものでありませう．其れから執行
	の	190	11	勅裁を経るといふやうなことは自為裁判	の	種類であります．裁判権といふものは斯の如きも
	の	190	13	斯の如きもので，この裁判権の中に二つ	の	種類がある．一は行政裁判一は司法裁判である．
	の	191	05	制度を論じて申したのにイギリスには力	の	種類が三つある．即ち法律を制定するの力其れか
	の	256	04	もので有ります．而して此の慈恵に二つ	の	種類が有りまして，第一は公けの救助，第二は私
	の	256	10	ることで有ります．今，申しました二つ	の	種類の外に天災の救助と云ふものが有ります．こ
	の	257	01	すると云ふことになりまする．さて貧民	の	種類は何かと申しまするとこれ亦，二種類しか
	の	257	02	れ亦，二種類しか有りませぬ．其の第一	の	種類は天然の貧民で有りまして，例へば盲人，聾
	の	257	03	盲人，聾，唖，癈疾，不具者，等で第二	の	種類は社会上の貧民で有りまして，例へば衣食住
	の	258	01	れます．第一，貧民の救助．これに二つ	の	種類が有りまして第一種は盲人，聾，唖，癈疾，
	の	258	06	二かどを以て救助いたしまする者に二つ	の	種類が有りまして，第一種は壮健なる貧民にして
	の	258	10	させなければなりませぬ．此の不良少年	の	種類は四種ありまして，其の一は出願懲治者，其

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（の）	の	260	09	けないと云ふことに致したい．また救助	の 種類もイクツも有りまして例へば訓盲□院，養育
	の	268	02	と存じます．さて，これより欧洲の監獄	の 種類を述べませう．これには二つの区□が有りま
	の	271	08	とを申しませう．付ては先づ日本の監獄	の 種類から申しませう．これにも軍事の□獄と普通
	の	277	14	諸国に於て実行せる監獄事業欧洲の監獄	の 種類仏国に於ける千八百八十一年（明□十四年）
	の	277	16	三十一日の監獄に関する実例日本の監獄	の 種類明治十七年十二月三十一日の監獄に関する実
	の	200	17	ります．さてＨａｌｌｅｙの曰く「前々	の 順でゆけば，今から七十何年後には同じのが出て
	の	217	12	に古いのは宇津保物語で，此の作者は源	の 順だと云ひますが能く分りませぬ．物語に俊蔭の
	の	241	04	を得られぬものと存ぜられます．尤も私	の 巡閲したる途中で福島県の道路が善かつたとか，
	の	047	10	ゃ．其れの出来ぬのを歎息するのが歎息	の 順序で其の後に猶ほ道徳が行はれぬならば其の時
	の	147	08	との関係より始めて並べて見るのも一つ	の 順序でありませう．さて，スタチスチックと行政
	の	278	05	国の現在の監獄上のことを論述すべきや	の 順序ではありまするが現在のことは学術の部を外
	の	051	01	これにて了ることで御坐らう．仮名世界	の 準備明治十八年一月二十五日仮名の会員の総集会
	の	258	09	且，懲戒，懲治を施し，また将来，就業	の 準備として仕事の教育も致させなければなりませ
	の	239	15	社社員，明治法律学校校員生徒，其の他	の 諸友人知人等が屢々私の茅屋をお尋ね下されて，
	の	242	06	致しました．其の演説の大趣意は其の時	の 諸新聞に出ましたが甚だ欠くる所も有り，また一
	の	271	06	と控訴上告中の者とで有りまする．以上	の 諸監獄の在監人を合計しまると四万八千八百五
	の	096	02	．謀殺を以て問ふには予謀殺意及び殺害	の 所為が無ければなりませぬ．其の証拠を挙げてか
	の	106	06	判所に於て船長又は其の他海員に不応為	の 所為があると思料する場合に於ては一応其の事の
	の	106	08	任に堪へざるか若しくは怠慢其の他不法	の 所為あるに於ては其の海員の業務を停止し又は其
	の	108	05	分は今ノルマントン号の船長ドレーキ等	の 所為は何に当るといふことを審究するのが必要の
	の	070	05	六十四人で御坐いまして其の中に法学士	の 称を持つて居る人数は調べ落しましたが二十人た
	の	080	10	．第二．人間の進歩の働き方，其の発達	の 仕様，其の方法等を見れば三つの明らかな手続き
	の	139	14	店社会のおかみさんまでが其のクシャミ	の 仕様までをも，うかゞつて居ます．フランスのビ
	の	258	15	力なき者，又は引取人なき者，又は他人	の 使傭するを嫌ふ者が有ります．現在は引取人の無
	の	143	06	情と申すものは極り無きもので種々雑多	の 情を起すに違ひ無い．其の情を有りのまゝに写す
	の	164	09	て亜丁に抵る英将の邀飲を被り以て地主	の 情を修む．酒酣なる時に当り主，客に請ふて曰く
	の	100	07	如く尊まれたる羅馬人がノルマントン号	の 乗客なりしと考へよ．若し羅馬人にして彼のノル
	の	100	08	．若し羅馬人にして彼のノルマントン号	の 乗客でありしならば船長の処置に決してこの様な
	の	172	05	な金を使つて）布いてくれたこと下の関	の 償金を返して，くれたこと罪人引き渡しの条約を
	の	082	11	せぬ．万国史を調ぶれば只今申したこと	の 証拠は真に沢山ありまして甚だ明らかで御坐りま
	の	085	06	演説の最初から既に弁じた所を以て充分	の 証拠を立てることが出来やうと存じます．既に申
	の	096	09	これは情況上のことで御坐りまして充分	の 証拠とは看做せませぬ．既に我が治罪法にも情況
	の	132	17	御坐ります．人が，まのあたり受ける所	の 証拠は明かにして実に固いもので有ります．また
	の	133	01	固いもので有ります．また卒業生の行ひ	の 証拠はたゞの議論に負け易いもので御坐りませぬ
	の	222	11	の濫觴をザット述べませう．先づ我が国	の 上古には久米舞，吉志舞など云ふ固有の舞が有り
	の	152	11	か植物かと言ふと同じく憲法と行政法と	の 詳細の分界は甚だむづかしいことも有ります．ツ
	の	162	07	礼を行はしむるが為めのみ文王また群臣	の 小子に教へて曰く常に酒を飲んで以て其の官職を
	の	162	08	んで以て其の官職を怠ること勿れまた民	の 小子を戒めて曰く農民は平日土物を愛し耕作を勤
	の	224	06	奇怪なことは勿論，残酷なことや自殺だ	の 情死だの強盗だののことを仕組み根が下等の人の
	の	137	02	改良論明治二十年一月九日大日本教育会	の 常集会東京神田区錦町第一高等中学校構内講義室
	の	263	08	なる分房法を用ひ，其の後ち段々と改悛	の 情状をあらはすに随つて段々に雑居を許して果し
	の	004	12	が其の蟻は字を知つて居ることは日本人	の 上手な者よりは余計に知つて居るに違ひは無い．
	の	203	03	Ｄａｍｏｉｓｅａｕと云ふ二人とも計算	の 上手な人が勘定をして今度は千八百三十五年の十
	の	223	15	慶長の時分から有つたもので追々遣ふ者	の 上手も出来，浄瑠璃と云ふものが段々流行して其
	の	139	05	甚だ深い害が出て参ります．其れ故今日	の 小説中に之は害の有るものと認めたるときは之を
	の	141	02	忍びぬ程で有つたと申します．また日本	の 小説家の品格を申さば源氏物語の紫式部や枕の草
	の	141	03	雲の上の人にて別なことなれども其の他	の 小説家は概して卑しめられたるもので有ります．
	の	141	17	来ぬものも有ります．斯る先生では本当	の 小説の仕組は出来ません．凡て物事と言ふものは
	の	143	08	を持ちこまねばならぬものとすれば真正	の 小説は出来ぬものでドウ言ふ塩梅にしたら人を感
	の	144	05	美術上より遠ざけるが宜しい．日本今日	の 小説とて美術の旨意に遵つたものは無いでは無い
	の	144	06	随分不都合なものが流行して居る．今日	の 小説家は皆な学問あり才識あり品行端正なりと云
	の	144	10	ラヌものが沢山あります．兎に角，非凡	の 小説を得んには小説家の資格と云ふものを高めて
	の	144	11	西洋の学問が第一入りまする．また西洋	の 小説を多く読んで貰ひたい．少し悦ばしいことに
	の	144	12	を読んだ然るべき人たちがソロソロ西洋	の 小説を訳したり又は著はしたりして参りましたが
	の	144	15	洋の書物を読まない者も有る．また西洋	の 小説を読んだ者は筆先が鈍し．兎角双方旨く参ら
	の	144	16	旨く参らぬから日本の筆の立つ人と西洋	の 小説の読める者と此の二派を集めて筆の立つ人に
	の	145	03	併し一つの工夫が御坐ります．先づ現今	の 小説に志す人々は日本流の人も西洋流の人も敢て
	の	145	04	西洋流の人も敢て論ぜず多く集めて一つ	の 小説改良会を組み立てるが宜しい．そこで互に討
	の	215	02	ふことで殊に近日西洋学者は競つて西洋	の 小説を翻訳するとか又は自分で著述するやうにな
	の	215	11	を申しませう．しかし之を申すには西洋	の 小説も支那の小説も並べてお話しをしなければ面
	の	215	11	．しかし之を申すには西洋の小説も支那	の 小説も並べてお話しをしなければ面白くないが私
	の	215	11	話しをしなければ面白くないが私は西洋	の 小説は勿論，支那の小説とても深くは読みませぬ
	の	215	12	白くないが私は西洋の小説は勿論，支那	の 小説とても深くは読みませぬ故にたゞ持ち前の我

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（の）	の	215	14	とばかりに付て申しませう．先づ我が国	の 小説は昔話しから出たもので小説の原とも云ふ昔
	の	217	08	説により且は既に遊仙窟などと云ふ支那	の 小説文も舶来して人々の翫びとなつて居ましたか
	の	218	16	と歌とを交ぜたやうなもので馬琴や京伝	の 小説のやうに斬つたりはつたりのことは夢にも無
	の	221	10	説が有りますが此の時分になつて我が国	の 小説は全く地に墜ちたものと見えます．其の時分
	の	222	03	で有つたが晩年には注意して意匠を支那	の 小説に採るやうにしました．こゝが他の作者より
	の	222	05	と見えます．箇様な訳で有るから我が国	の 小説は却つて昔物語の中で源氏などは今云ふ人情
	の	109	05	二十七節に拠れば二百噸以上四百噸以下	の 商船は端艇二艘を備へ，四百噸以上六百噸以下は
	の	200	15	で有りますが，丁度そんなもので，彗星	の 正体を見顕はさうと思へば必ず其の道によつて考
	の	117	02	はないやうにしたいといふは即ち人類的	の 上等の欲で，そこで節酒会といふものが出来て一
	の	257	09	救助をしなければなりませぬ．また並み	の 少年を養育するのは将来に善良有益の人民を造る
	の	263	16	防部と申しまして，此の部に於ては不良	の 少年を教育感化し，また無籍の幼年者を教育感化
	の	130	01	坐りませぬ．世の人の中に基督教の結局	の 勝敗に就て色々の疑ひを起すものが有るのは不思
	の	100	03	と考へたるならば其の平常，義俠に富む	の 商売柄から考へて見ても決して彼の様な事件は起
	の	243	09	掌らしめ．天皇陛下が此の二大政権事務	の 上部を握られて天下の事を御親裁あらせらるゝも
	の	172	06	償金を返して，くれたこと罪人引き渡し	の 条約を立てたこと条約改正の議に第一の同意者と
	の	165	01	を誤るを見る可き也．我が日本帝国人民	の 将来を前知するの説及び其の方法明治二十年一月
	の	165	10	さい．して其の題は「我が日本帝国人民	の 将来を前知するの説と方法」といふことでありま
	の	175	13	ぬので共食ひ同士倒れになり我が日本国	の 将来も望みの無いことになりませう．このことは
	の	178	05	互に問答研究して学理の上より我が帝国	の 将来を知るの方法あらば何の仔細もなきことなれ
	の	224	01	松門左衛門だの竹田出雲だのと云ふ名人	の 浄瑠璃作者が出て世間の人気が人形座の方に向い
	の	151	07	は官と言ひ戸長も官吏であれば戸長役場	の 書記も官吏です．併しこれは文字の定義のお話し
	の	111	07	我々は此の事に付て輿論を以て充分彼等	の 所業の不当なることを論じなければならぬと思ふ
	の	248	01	する．此の教誨法が有るので始めて己れ	の 所業の悪かつたことを覚り，一方では懲戒法で苦
	の	175	12	やうにすると土地は狭くなり，また一つ	の 職業でも，共争ひに争ふやうになつて身に着，口
	の	142	03	なれども，たゞ柱を削り塀を塗るは普通	の 職人にも出来る．小説家は其の仕組をこしらへた
	の	096	15	日吾人が我が同胞の為めに尽すべき第一	の 職分は証拠の蒐集に尽力することで御坐ります．
	の	034	01	日本ばかりでなく西洋でも総て酒は人間	の 食物の様になつて居るのは西洋の人も歎息して居
	の	059	07	ひます．又近くは我が陸軍や海軍で兵士	の 食物を改良し空気の通暢を善くし衛生に注意せら
	の	058	05	で陳べます．併しあまり俗語すぎて高貴	の 諸君に向つては不敬に存じますから此の段は何卒
	の	067	07	二科に就て卒業をせられたる所の数十人	の 諸君が卒業証書を得られましたのを観まして大い
	の	067	16	ことを望みます．而して私は法律科卒業	の 諸君に特に望む所の事が御坐いますから私が見聞
	の	131	09	，米国，独逸国などに毎年出版になる所	の 書籍類も実に夥しう御坐ります．今日も其の色々
	の	047	16	れが自然今日にありては已むを得ぬ当然	の 処置であるからであらうと思はれる．さりながら
	の	100	08	ルマントン号の乗客でありしならば船長	の 処置に決してこの様なつらきことは無からうと思
	の	110	17	嫌疑を避くること英国政府の為めに便宜	の 処置であらうと信じます．終りに臨み我輩は一言
	の	053	12	断してはすみませぬ．私の工夫は小学校	の 初等科の生徒に先づ仮名ばかりで教へたい．先づ
	の	106	08	の業務を停止し又は其の免状を没収する	の 処分を為すべし」といふことがあるが英国領事が
	の	106	11	故に刑事上の裁判に非ずして寧ろ行政上	の 処分のものと考へます．さればノルマントン号の
	の	012	10	れは私の目的で有りませぬから，地理学	の 初歩は御存じと見做して別に今日は地理学のこと
	の	131	10	実に夥しう御坐ります．今日も其の色々	の 書名を挙げることが出来ませぬほどで御坐ります
	の	052	08	ロコシの字を用ひたので無ければ横文字	の 書物より外は無いから英書か仏書の読める人は宜
	の	055	02	ので御坐ります．今私の申した目録だけ	の 書物を拵へるのは口で言へば易い様だが大困難の
	の	144	14	通じて居り筆が流暢でも其の中には西洋	の 書物を読まない者も有る．また西洋の小説を読ん
	の	216	12	ります．尤も此のやうなことは支那の昔	の 書物を見ると随分ありますから小説の起原はドコ
	の	235	14	たことで有りますが其の始めにオランダ	の 書物を読んで，さうして医者になると云ふ人の辛
	の	153	09	は行政法で定めるのです．其れから人民	の 所有権は侵すべからざるものといふことを憲法で
	の	230	12	の共有と云ふのが多いので，郡其れ自ら	の 所有と云ふものは無いさうです．若し郡の所有財
	の	230	13	所有と云ふものは無いさうです．若し郡	の 所有財産と云ふやうなものが有れば郡を無形人と
	の	240	03	て其の人の為めに見たことは其の注文者	の 所有物で有りますから私が勝手に申し上げること
	の	240	06	つたもので有りまするゆゑ，該景況は私	の 所有権で無くして内務大臣の所有権で有りまする
	の	240	07	該景況は私の所有権で無くして内務大臣	の 所有権で有りまする．然れば内務大臣の許可なく
	の	174	01	調べのことが無いから分りませぬが戸籍	の 調べで積ると明治十五年から同十八年まで毎年の
	の	177	01	どの種類を分つて其の国々にまとめ何年	の 調べとして五年も積み十年もたてば何の国は往来
	の	198	01	と云ふ考へを起しました．Ｎｅｗｔｏｎ	の 調べました所によれば，太陽から引かれて居りま
	の	228	13	と云ふものは明治十八年十二月三十一日	の 調べに拠れば八百〇二あります．この郡には郡長
	の	037	11	実の有機物ぢゃと云ふことになりた．私	の 知りて居る所ではＳｐｅｎｃｅｒＬｉｌｉｅｎｆ
	の	258	14	二つの外に放免者即ち出獄人にして必需	の 資力なき者，又は引取人なき者，又は他人の使傭
	の	241	08	低かつたとか云ふやうなことは世間公衆	の 知る所にして公有物の部に属しまするから，これ
	の	013	09	．この住つて居る場所は円いものでタカ	の 知れたハゞの見えたもので我々の住つて居る所で
	の	025	13	れない，大きい小さいの争ひは例の距離	の 知れた上でなければ論にならない．星の距離は月
	の	197	14	ます．コンナ塩梅にして回つて居ること	の 知れたのは学術の話しにはイツも引き合ひに出る
	の	176	07	す．この調べの方法は事実の上から道理	の 知れるやうにしなければなりませぬ．これに付て
	の	055	10	ければなりませぬと思ひます．この自分	の 持論を述べて諸君に伺ひますので御坐ります．半

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（の）	の	127	15	．而して色々の骨折をして近来聞いた所	の 新発明などを基督教に符合させようと思ふ様で御
	の	193	11	明治以後は極新しいことであり，欧羅巴	の 新主義をもつて来て採用するやうに見えまするが
	の	044	10	ぢゃ．併し道徳と雖も矢張り其の説く所	の 真の主義通りには参らぬものぢゃ．支那は道徳の
	の	145	07	り出すがよからう．其の中には段々小説	の 真面目を顕はす様にもなり段々其の事業を拡張し
	の	063	04	本の人力車は大約二十万にして之を全国	の 人員に比例して見ると人民百八十五人に付き人力
	の	148	12	ウかしなければならぬといふときに市街	の 人員五万以上のは独立させるといふことになると
	の	124	04	君演説今こゝに演説する所はおもに今日	の 神学卒業生の為めに致すもので御坐りますが，い
	の	132	04	．また総て神学卒業生は常に研究する所	の 新旧約聖書の明文を以て基督教の色々の反対論に
	の	223	03	して其れまでの猿楽の舞を修正して多く	の 新曲を作り滑稽にかゝつた方は狂言として別にし
	の	235	15	を読んで，さうして医者になると云ふ人	の 辛苦したことと云ふものは一と通りでは無い．其
	の	087	02	ります．この故に聖書と云ふものを己れ	の 信仰と品行とのノリとする者はこれ等の大事なも
	の	087	15	既に申し上げた通りこの聖書を専らに己	の 信仰と品行とのノリとする人はこれ等の大切なる
	の	070	08	ので御座います．而して孛漏生と日本と	の 人口を比較するが要用で御坐いますが孛漏生の人
	の	070	08	を比較するが要用で御坐いますが孛漏生	の 人口は二千七百二十七万九千百十一人，日本の人
	の	070	09	は二千七百二十七万九千百十一人，日本	の 人口は三千七百四十五万千七百六十四人で御坐い
	の	160	06	．一言につめると学問教法ともタマシヒ	の 真実を得るといふことに帰してしまふもので，ご
	の	101	11	忽ちにして改革を計画し而して採長補短	の 斟酌なく保守して而して進歩するの覚悟なきこと
	の	107	06	女の父母たり兄弟たり将た良人たる人々	の 心情は果して如何であらうか実に気の毒なことで
	の	209	17	辺に進んでは居りません．今日，天文学	の 駸々として進むのも其の辺ですが，進んで居ない
	の	168	10	時だつたが其の時は大あらしの様で日本	の 人心が俄に騒ぎたつたの騒ぎたゝないのでは無い
	の	169	03	ものと見えます．丁度この時分に我が国	の 人心が印度や支那の旧物に倦んで，いや気が起つ
	の	169	07	つて西に利が見えないやうだのに我が国	の 人心は西に向つて貿易の利とは反対を示すやうに
	の	169	10	しませう．然るに此の両三年以来我が国	の 人心の東に向くシルシがあるやうで，其の訳は亜
	の	177	06	来工合を明かに調べた上は将来，我が国	の 人心の向ふ所は何の国を好み何の政体を貴び何の
	の	274	10	取り扱ふ所で前に述べましたる如く一種	の 人心改良学校でありまするから行政上，決してオ
	の	067	10	君は我が天父の無形なる愛護と教師諸君	の 深切なる尽力と又諸君が多年の刻苦と勉強とによ
	の	138	17	とにも向つて参ります．また其のキゝメ	の 深浅を云ひましたら小説の方が固くるしい本より
	の	012	16	大きさのことで御坐います．地球は我々	の 身体に比べると非常に大きなものです．我々の住
	の	062	08	とを知らざる野蛮人の多きと我が邦人民	の 身体の価直の廉なるとは原因の二です．第三は衣
	の	075	10	を失つて居る故に医者に頼んで全くモト	の 身体にするのである．権利を失はむとする故に法
	の	100	11	如く尊敬さるゝこと無く船長及び乗組員	の 心中しらずしらず軽侮のこゝろ有りたるが為め斯
	の	065	05	がツマリ我が邦今日の有様は未だ半開化	の 人物が多く文明の何たるを知らずして所謂五里霧
	の	170	01	其の亜米利加に行く者の中には随分下等	の 人物もありませうが云はゞ先づ玉石混淆の雑種人
	の	247	05	だ」と思つて居るで有りませう．此れ等	の 人物に向つては其の悪いと云ふことの理由を能く
	の	110	07	も知れない．啻に其れのみで無い．今日	の 新聞で船長は四千弗の保釈金を出し其の外の者も
	の	067	11	今この満場に於て喝采を得られたる諸君	の 身辺に充満して居ること故更に私が諸君に向つて
	の	003	08	い．されば此の八時間の使ひ様で此の国	の 進歩や学力の進歩が出来て来る．八時間の使ひ方
	の	003	08	の八時間の使ひ様で此の国の進歩や学力	の 進歩が出来て来る．八時間の使ひ方を智識の方便
	の	013	16	々は眼が随分遠くきゝます．殊に物理学	の 進歩してから眼が益々遠ぎゝする様になりまして
	の	079	05	ふことで御坐ります．これ即ち人間社会	の 進歩を成就する為めには基督教は必ず無ければな
	の	079	06	種々の貴い性質の中に必ず只今弁ずる所	の 進歩すると云ふ性質が御坐ります．先づ人間は進
	の	079	13	の出来るので御坐ります．けれども人間	の 進歩と云ふものは何で御坐りませうか．其のワケ
	の	079	15	と云ふことで御坐ります．けれども社会	の 進歩と云ふものはたゞ進み行くことばかりで御坐
	の	080	02	す．抑も昔よりこのかた人間社会の種々	の 進歩に気をつけて見れば其の中に種々の大切な事
	の	080	05	論に取りかゝりませう．第一．凡そ社会	の 進歩は一個人の進歩に由るもので御坐ります．な
	の	080	05	ませう．第一．凡そ社会の進歩は一個人	の 進歩に由るもので御坐ります．なぜなれば社会と
	の	080	10	つて居る訳で御坐りませう．第二．人間	の 進歩の働き方，其の発達の仕様，其の方法等を見
	の	080	17	べきもので御坐ります．畢竟，人の総て	の 進歩，総ての改正改革を遂げる為めに用ゆべき方
	の	081	02	如きもので御坐ります．第三．総て人間	の 進歩と云ふものは其の本心本性本質の進歩で無け
	の	081	02	間の進歩と云ふものは其の本心本性本質	の 進歩で無ければなりませぬ．人が自分の勝手に作
	の	081	03	人が自分の勝手に作つて用ゆる所の品々	の 進歩で御坐りませぬ．進歩といふものは内部から
	の	081	10	歩と云ふもので御坐りませぬ．人の内部	の 進歩に由つて自然に生ずる所の外部の結果で御坐
	の	081	10	所の外部の結果で御坐ります．イゝエ人	の 進歩と云ふものは必ず人みづからの進歩で無けれ
	の	081	11	エ人の進歩と云ふものは必ず人みづから	の 進歩で無ければなりませぬ．人が勝手に造り且，
	の	081	13	から起らずしてたゞ目に見える様な外部	の 進歩は根なくしてアサハカなもので真物で無く偽
	の	081	15	の常に為す所また勉める所種々なれば人	の 進歩も亦たゞ一と筋のもので無く其の種類多く御
	の	081	16	多く御坐ります．たとへば能く人が智慧	の 進歩商法の進歩製造の進歩経済の進歩学術の進歩
	の	081	17	ます．たとへば能く人が智慧の進歩商法	の 進歩製造の進歩経済の進歩学術の進歩等とよく申
	の	081	17	へば能く人が智慧の進歩商法の進歩製造	の 進歩経済の進歩学術の進歩等とよく申すで御坐り
	の	081	17	が智慧の進歩商法の進歩製造の進歩経済	の 進歩学術の進歩等とよく申すで御坐りませう．併
	の	081	17	歩商法の進歩製造の進歩経済の進歩学術	の 進歩等とよく申すで御坐りませう．併しながら商
	の	082	01	く申すで御坐りませう．併しながら商法	の 進歩と云ふものは実に商法の進歩に付て人の進歩
	の	082	01	ながら商法の進歩と云ふものは実に商法	の 進歩に付て人の進歩で御坐ります．学術の進歩も

〔速記叢書講談演説集〕

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
(の)	の	082	01	歩と云ふものは実に商法の進歩に付て人	の	進歩で御坐ります．学術の進歩も亦斯の如し学術
	の	082	01	進歩に付て人の進歩で御坐ります．学術	の	進歩も亦斯の如し学術が自分に進歩するもので御
	の	082	02	ので御坐りませぬ．学術に付て人々自分	の	進歩で御坐ります．政事の進歩経済の進歩などは
	の	082	03	付て人々自分の進歩で御坐ります．政事	の	進歩経済の進歩などは皆んな其の通りで御坐りま
	の	082	03	分の進歩で御坐ります．政事の進歩経済	の	進歩などは皆んな其の通りで御坐ります．これ等
	の	082	06	．此の一つの至極大切なものは即ち道徳	の	進歩で御坐ります．道徳の進歩と云ふものは即ち
	の	082	07	のは即ち道徳の進歩で御坐ります．道徳	の	進歩と云ふものは即ち貴い道徳的に付て人の進歩
	の	082	07	歩と云ふものは即ち貴い道徳的に付て人	の	進歩で御坐ります．たとひ，人が種々の進歩いた
	の	082	08	の進歩で御坐ります．たとひ，人が種々	の	進歩いたしても道徳的の進歩を致しませねば完全
	の	082	08	とひ，人が種々の進歩いたしても道徳的	の	進歩を致しませねば完全なる進歩を成就すること
	の	082	13	は立派に開けた国で御坐りましたが道徳	の	進歩が無かったゆゑ遂に亡びてしまひました．今
	の	083	03	くの間，余程盛んに開けてあつたが道徳	の	進歩がサツパリ無かつた故に遂にまた衰へました
	の	083	08	りますけれども本当の道徳を知らず道徳	の	進歩いたさずして居るに由つて今日支那の全国中
	の	083	10	商法など誠に能く進んで居りますが道徳	の	進歩充分で有りませぬから仏国当時の有様実に気
	の	083	11	様実に気の毒で御坐りまする．この道徳	の	進歩の必要と云ふものは一個人の為め全国民の為
	の	083	13	一様に必要で御坐ります．ドコにか智慧	の	進歩学術の進歩美術の進歩製造の進歩が出来て居
	の	083	13	で御坐ります．ドコにか智慧の進歩学術	の	進歩美術の進歩製造の進歩が出来て居ります所に
	の	083	13	す．ドコにか智慧の進歩学術の進歩美術	の	進歩製造の進歩が出来て居ります所には必ず道徳
	の	083	13	か智慧の進歩学術の進歩美術の進歩製造	の	進歩が出来て居ります所には必ず道徳の進歩が無
	の	083	14	の進歩が出来て居ります所には必ず道徳	の	進歩が無ければなりませぬ．さもなければ完全な
	の	083	16	が迚も出来ませぬ．第五，また人間社会	の	進歩に付てかう云ふことが御坐ります．只今申し
	の	083	17	歩の中には種類がありますに由つて社会	の	進歩と云ふものは常に一様に進んで行くことでは
	の	084	03	術のことを専ら勉める間は其の外に種々	の	進歩が暫くの間止まつて居るか或は後れてあるか
	の	084	05	所に並んで進み行くならば全国民の総体	の	進歩も亦川が流れる如くに進み行く筈で御坐りま
	の	084	08	とで御坐りませぬ．さりながら人間社会	の	進歩はさういふものでは御坐りませぬ．たとへば
	の	084	14	ませう．欧羅巴各国において箇様な種々	の	進歩が御坐りました時分には外の進歩が或は後れ
	の	084	14	な種々の進歩が御坐りました時分には外	の	進歩が或は後れて居たか或は全く滞止したのであ
	の	084	16	りました．何れの国においても其の総体	の	進歩は速力の能く定まつたもので御坐りませぬ．
	の	084	17	ので御坐りませぬ．世の種々の国の様々	の	進歩を調ぶると云ふことは万国史を勉強する人に
	の	085	01	た有益なることで御坐ります．先づ人間	の	進歩の有様とまた其の進歩に付て種々の大事なも
	の	085	09	ならば此のことで御坐ります．即ち社会	の	進歩と云ふものは劣りたる所より優れた所へ進み
	の	085	16	また完全なる進歩を成就する為めに道徳	の	進歩は必要であるなどのことは既に皆んなお話し
	の	086	04	ものは如何なるもので有りますか，社会	の	進歩と所謂文明開化を妨げるもの，また之を進ま
	の	087	07	位を下げる所のモノゴトまた其の外社会	の	進歩を妨げるものは如何なるものかと基督教に問
	の	088	04	けれども既に演べましたものの外に社会	の	進歩の為め種々の必要なものが御坐ります．これ
	の	088	06	もなる所を申しませう．第一．先づ種々	の	進歩を致さうと思ひます人は己れの不充分なるこ
	の	089	06	りますまいと存じます．第二．また種々	の	進歩をせむとする御方は必ず賤き有様を免れて貴
	の	089	13	して御坐りませぬ．第三．また人の種々	の	進歩を励ます為めには人の目の前にある貴い目的
	の	090	04	云ふことが御坐りませぬ．第四．また人	の	進歩を助くるには人の導きになる教，色々の教訓
	の	090	09	光りを受けて世渡りするものは必ず種々	の	進歩をする訳で御坐ります．第五．種々の進歩を
	の	090	10	進歩をする訳で御坐ります．第五．種々	の	進歩を致さうと思ふ人には一つの立派な手本一つ
	の	090	17	て御坐りませぬ．第六．併しながら種々	の	進歩を成就する為めには骨折りと熱心などのもの
	の	091	06	夥しう御坐ります．第七．併し人間社会	の	進歩は一個人と社会とを論ぜず一体，人の進歩を
	の	091	07	進歩は一個人と社会とを論ぜず一体，人	の	進歩を妨げて最も大いなる邪魔を為すものは何で
	の	091	11	御坐ります．所謂罪悪で御坐ります．世	の	進歩の妨げを為すものはこの罪悪で御坐ります．
	の	092	06	う存じます．この演説の初めに社会総体	の	進歩は其の社会の中に籠つて居る一個人たるもの
	の	092	07	の社会の中に籠つて居る一個人たるもの	の	進歩に因ると申したが，これに付て面白いタトへ
	の	037	06	ると云ふ説も有るがこゝに云ふのは若干	の	人民が共に合して一つの統御の権を受けて居るも
	の	096	17	るなら充分駁撃するが宜しい．故に全国	の	人民は証拠を集め材料を確かめなければなりませ
	の	104	02	居りまするが大改革を行ふには最も適当	の	人民であります．即ち国語を変ずるといふことは
	の	150	04	国との関係を規定し其の次は国と其の国	の	人民及び其の国に住つて居る者（外国人でも何で
	の	171	13	たら益々便利になりませう．また我が国	の	人民は北亜米利加に向つて行く因縁があります．
	の	257	09	みの少年を養育するのは将来に善良有益	の	人民を造るもので有りまするから其の費用は誰が
	の	266	09	しして専ら教育を施し丁年に至れば通常	の	人民に入れることで有りまする．」第二の懲必＊
	の	106	01	事の請求を容れ現に法廷を開き船長以下	の	審問に着手したといふことである．然れば則ち該
	の	106	07	あると思料する場合に於ては一応其の事	の	審問を為し若し果して海員たるの任に堪へざるか
	の	166	04	しでは分りませぬが併し畢竟，人間生活	の	真理を発明しやうといふ為めに骨折り最中で其の
	の	222	05	つて昔物語の中で源氏などは今云ふ人情	の	真理と云ふものに近いもので其の後の草紙に至つ
	の	063	04	．所で私が斯く濫用と申す証拠には日本	の	人力車は大約二十万にして之を全国の人員に比例
	の	063	12	人物が多きにも拘らず一千人に付き五個	の	人力車あるときは非常の多数にしてツマリ濫用の
	の	057	14	生の盛んなる有様を見るのは必竟当路者	の	尽力多きに居るものと思ひます．是れ私が当路者
	の	028	07	思つて居るです．箇様な遠方に若し我々	の	親類が居ても便りといふは唯明り使ひばかり，こ
	の	079	11	立つ社会の中にも御坐ります．又世界中	の	人類にも御坐りますけれども一番有り難いことは

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（の）	の	083	12	一個人の為め全国民の為め，また世界中	の	人類の為めにも一様に必要で御坐ります．ドコに
	の	111	05	るの極，之を虐待して殆ど彼等と同種類	の	人類でないと思つて居るに違ひ無い．即ち今回の
	の	128	08	国の学者皆よく互に同意して近来の色々	の	新論を承知するまで待つ方が宜しう御坐りませう
	の	130	17	出来ぬ日月星を含む所の大空が人の色々	の	新論，新説，新発明によつて容易に変ることは致
	の	064	03	ルフュート氏は汽車の連乗に由つて心臓	の	衰弱を起し婦人に在てはヒステリ症（俗に血の道
	の	221	14	ものて有るから其の作である稲妻双紙だ	の	酔菩提の類は近ごろ劇場でするやうになりました
	の	202	02	ａｎｔと云つてＮｅｗｔｏｎに次ぐほど	の	数学者で有りますが，この人が出まして彗星が太
	の	174	11	ませう，其の「三八，〇〇〇，〇〇〇」	の	数字なるシャレ骨にたゞ一つ銭といふ皮肉を附け
	の	067	06	律経済の二科に就て卒業をせられたる所	の	数十人の諸君が卒業証書を得られましたのを観ま
	の	143	17	出来ぬ奴があります．併しこれ等は小説	の	末の余弊でありますから仕方が無い．彼の南宗北
	の	223	05	ヤゝ子踊だのと云ふ踊の間に，お国は男	の	姿に出たち夫の三左衛門は女に出たち，伝助と云
	の	059	16	の輸入するけれども其の中で最も多く人	の	好くものは何かと云ふに先づ奇麗なものや便利な
	の	179	10	るは直く嶮しきは易くせられ人々みな神	の	救をみん」とあり，またキリストも此の預言者の
	の	075	13	ｅの方が余計に出来てＮｅｇａｔｉｖｅ	の	少ない方がよいといふ．これは先進の説に意見を
	の	271	01	三十七人でありまする．斯くの如く人員	の	少ないのは二十四時間を出でざる中に監獄に送つ
	の	091	12	ものはこの罪悪で御坐ります．万国万民	の	救ひ主耶蘇基督の御功績に由らざれば人が此の罪
	の	140	02	つて力の有つたものですから其の筆先き	の	勝れたものと見えます．またイギリスの故宰相ジ
	の	042	15	欧羅巴では政治上のことに至りては道徳	の	筋は用ひぬ，道徳は交際上におもなことで政府が
	の	120	11	どが移住して参りました．またイギリス	の	スタチスチック，ジョルナルなどを見ますと麦酒
	の	154	02	やうと思ひます．それに付てはこれだけ	の	スタチスチックを要するといふことを併せて述べ
	の	133	09	ことで御坐ります．一人の宣教師は支那	の	ズット内国の偏鄙な村に至りまして存外其の村の
	の	063	09	ども欧米に在ては非常に時間を貴び鉄道	の	ステーションに於ても五分も待つて居るときは人
	の	099	12	侠の心に富むで居るものなることは世間	の	既に認めたる事柄である．而して人といふものは
	の	164	15	以て戯れと為す．至れば則，果して英機	の	已に樹つを見る．懊悔頓に生す，機を失して贖ふ
	の	080	12	の手続きが御坐ります．一つの仕方は人	の	総ての悪き所，人の害になる所，人の位を下げる
	の	080	17	適用すべきもので御坐ります．畢竟，人	の	総ての進歩，総ての改正改革を遂げる為めに用ゆ
	の	087	13	教に問はばこれ等即ち神のノリまた基督	の	総ての高尚なる仰せを書き載せ神のミコゝロを顕
	の	264	06	の部に於ては幼年犯罪者を除いて其の他	の	総ての犯罪人を懲必〆し感化する所で有りまして
	の	137	16	八犬伝や春水の梅暦の方が面白い．西洋	の	スペンサーやミル，ベンサム等の本を読みました
	の	012	16	に比べると非常に大きなものです．我々	の	住つて居る都府，我々の住つて居る国などに比べ
	の	012	16	ものです．我々の住つて居る都府，我々	の	住つて居る国などに比べても随分大きい．さりな
	の	013	09	ればならないで御坐います．これが我々	の	住つて居る場所で有ります．この住つて居る場所
	の	013	10	でタカの知れたハゾの見えたもので我々	の	住つて居る所で無いものは何と言ふものかと云ふ
	の	021	07	て解しにくい．そこで地球の表面に我々	の	住つて居ると同様に火星の表面の上にも人間か人
	の	173	02	だと言ふやうになり法律には無いが田舎	の	隅のものまでよく知つて居て恩を知らぬものを「
	の	248	14	，即ち俗に未決者と申しまする者は裁判	の	済むまでは監獄に預つて居りまする．然れども此
	の	043	03	が立ちて来て刑律其の外総て具りて政府	の	する仕事は法律の方がおもになりて参りた．併し
	の	274	17	の改良の中で最も重もなる者は一房一囚	の	制でありまするけれどもナカナカ費用がかゝるの
	の	141	02	格を申さば源氏物語の紫式部や枕の草子	の	清少納言などは固より雲の上の人にて別なことな
	の	031	11	ることが出来る様になりまして此の純粋	の	星雲は常の星と違つて瓦斯だと云ふことが知れま
	の	016	16	で有りませうが空気と水が無くては人間	の	生活は出来ませぬ．月には空気も無く水も無い以
	の	018	08	坐います．して見ると太陽は我々の為め	の	生活の根元で有りまして随分主人親分と貴んでも
	の	021	04	却つて不思議で有ります．全く動物植物	の	生活の出来るのは空気が有つたり水が有つたり其
	の	105	17	君も知らるゝ如く英国領事は兵庫県知事	の	請求を容れ現に法廷を開き船長以下の審問に着手
	の	071	04	らざる諸君は益々刻苦勉励せられて他日	の	成業を期待せられ又学科上に就て教師の任を執ら
	の	152	07	法の基礎となる原則を定むる，即ち人民	の	政事上，宗教上，民事上，等の権理を保護するも
	の	189	10	つて居ります．併しながらドチラも一国	の	政治に関係のありまするものですから立法権にも
	の	190	02	す．即ち第一には政府といふものが一国	の	政治をきめて執行するといふものである．第二は
	の	243	12	府は即ち内閣にして，こゝに於ては天下	の	政治を法律と憲法との範囲内に於て定めることに
	の	075	16	て見るときは法律学と経済学と其の学科	の	性質上より論じて見ますると法律は消極的の価値
	の	076	03	なければならぬといふのはこれは事業上	の	性質から論ずるので徹頭徹尾違ふといふ訳では御
	の	076	12	るといふことはたゞ二個の学科の学術上	の	性質から論じまして右の通りになるといふことを
	の	077	08	君に望みまする所は法律と経済との学科	の	性質に相違あるにも係はらず諸君が各々学び得た
	の	081	06	魂上のことで御坐ります．若し其の内部	の	性質が何れも能く完全して居るならば外部の有様
	の	090	12	西のレナンと云ふ不信者さへも耶蘇基督	の	性質と其の行状を頻りに称美いたします．また近
	の	130	04	基督教は則ち造物主の御心と人間の天然	の	性質に基いたもので有ります．故に実に固うして
	の	190	06	る．第三には裁判権であります．裁判権	の	性質は執行権者がドコまでも裁判するといふので
	の	196	11	の様にこはがりました所以は畢竟，品物	の	性質が知れないからで有つて，他の惑星や太陽や
	の	087	14	仰せを書き載せ神のミコゝロを顕はす所	の	聖書なりと云ふ明らかな返答が出来るので御坐り
	の	180	08	奴隷なる者の差別なし，皆兄弟たり」と	の	聖書の教では御坐りませんか．殊に婦人の地位を
	の	103	08	したればこそ固く信じて疑はず百折不撓	の	精神が出るのでありませう．皆な宗教信仰の深き
	の	159	01	ウかは私には保証が出来ないが実際人々	の	精神に，のみこんだのが学問の実際といふものに
	の	232	12	採用せずとも，宜しいと云ふのが学問上	の	精神で有らうと考へます．右の次第ですから行政

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（の）	の	177	07	我が国の人心の向ふ所は何の国を好み何	の 政体を貴び何の風俗を喜び職業は何々に巧みで何
	の	081	07	ります．たとへば屋敷の立派なこと機械	の 盛大なこと新発明の賑かなること人の快楽を助け
	の	059	13	コレラ痘瘡等の悪病より煙草，酒其の他	の 贅沢品も亦輸入いたしたでありませう．所で人間
	の	244	06	る事柄は第一は法律の執行で第二は規則	の 制定及び執行で有ります．規則と申しまするもの
	の	244	08	有りまする．法律に至つては必ず立法権	の 制定に係るもので御坐います．其れから第三は政
	の	053	12	すみませぬ．私の工夫は小学校の初等科	の 生徒に先づ仮名ばかりで教へたい．先づ「いろは
	の	124	05	致すもので御坐りますが，いづれの学校	の 生徒たる者も皆多年勉強して終に卒業する積りで
	の	191	04	を人が解し違ひたので同氏がイギリス国	の 制度を論じて申したのにイギリスには力の種類が
	の	275	12	とで有りまする．これ，また非常に監獄	の 整頓を助けたるものに相違御坐いませぬ．また近
	の	088	12	の儘で満足して居ります．モウ多年米国	の 政府が骨折つて教訓いたしましたことも御坐りま
	の	088	15	土人も亦其の通りで御坐ります．英吉利	の 政府でも種々世話を致しましたがヤハリいけませ
	の	153	11	政法できめなければならない．また人間	の 姓名は自由であるから束縛されることは無いとい
	の	261	02	無いやうになりませう．第七，被救助者	の 姓名は役員の外，他人に知らしめざること．これ
	の	204	03	なもので有りますが，日本で云へば安倍	の 晴明とでも云ふやうな人に其の彗星を占つて，も
	の	099	14	こと論ずるを俟たず．且船長は幾多船客	の 生命を保護すべき責任のあるものである即ち当時
	の	038	06	き法則ぢゃと云ふことなれども併し近頃	の 西洋の説では其れは甚だ間違ふたることで道徳は
	の	126	15	てDarwin氏Spencer氏など	の 西洋の有名なる学者に勝つことが出来ようと思ふ
	の	235	12	にしたいと云ふことをお話ししたい．昔	の 西洋のことを学ぶと云ふのは蘭学で，ワザは医術
	の	037	14	ふものぢゃと云ふことが分りた．動植物	の 生理心理は矢張り社会の生理心理にもあてはまる
	の	037	14	分りた．動植物の生理心理は矢張り社会	の 生理心理にもあてはまることぢゃ．有機物は総て
	の	186	16	キリスト教は社会改良の事に於ては非常	の 勢力ある者で殊に婦人の良友たることは明白で御
	の	014	01	眼が益々遠ぎゝする様になりまして我々	の 世界の外にも別に之に似たものが有るといふこと
	の	016	13	我々の測量に届かないです．其れでは月	の 世界には．人間みた様なものは有るであらうかド
	の	021	11	直に神だと思つて居りましたが今では外	の 世界にも人民のある事が知れた．して見れば外の
	の	021	11	も人民のある事が知れた．して見れば外	の 世界にはどれだけ人間世界より進んだものが有る
	の	055	09	．ドウゾ皆様のお骨折りを以て全く仮名	の 世界にしてしまひ，秦の始皇の大決断を望む準備
	の	180	09	し之を疑ふものがあればキリスト降世前	の 世界に於てギリシヤやローマが文物隆盛を極めた
	の	211	02	して大きくなつて自分が彗星になつて他	の 世界を見物にあるき出すものだから其れほどに恐
	の	220	07	の中の事を仕組んだものが多いから安宅	の 関で弁慶が勧進帳を読み，箱根で工藤祐経が箱王
	の	043	04	参りた．併し天子は民の父母，民は天子	の 赤子などと云ふのは今日まで存する主義ぢゃが其
	の	032	02	ものであるかも知れませぬ．此の二番目	の 説にすれば最初の問題に続けて「太陽系はアマノ
	の	032	05	キリとは言へませぬ．ことによれば第一	の 説の如く我々の見ることを得るだけ随つて知るこ
	の	037	09	したことは昔より有りたことなれども昔	の 説は有機物に似て居ると云ふ様なことで有りたが
	の	038	05	ゃが道徳と云ふものは支那西洋とも古代	の 説には天然自然に有る所の吾人の守るべき法則ぢ
	の	038	06	ぢゃと云ふことなれども併し近頃の西洋	の 説では其れは甚だ間違ふたることで道徳は決して
	の	038	12	其れを知る様になると云ふなれども近頃	の 説では野蛮の国と文明の国とは善悪も邪正も顛倒
	の	073	16	二個の全く反対したるものより生ずると	の 説を思ひ出しました．一体この説は前人に労力は
	の	075	08	．而じて其所に至つてMacleod氏	の 説が御坐んすがドウも消極的の価値は其れだけの
	の	075	14	eの少ない方がよいといふ．これは先進	の 説に意見を加へぬ其の儘の説で御坐んす．兎も角
	の	075	14	．これは先進の説に意見を加へぬ其の儘	の 説で御坐んす．兎も角も利を興す方のガハに使用
	の	159	13	チラでも地質学や哲学が開けてから天主	の 説に不服を言ひます．ナゼならばドウしても地質
	の	165	01	也．我が日本帝国人民の将来を前知する	の 説及び其の方法明治二十年一月十六日スタチスチ
	の	165	10	は「我が日本帝国人民の将来を前知する	の 説と方法」といふことであります．一寸さきはヤ
	の	191	08	を論定したのでも無い．モンテスキュー	の 説を読んで見ましても裁判をするは法律を執行す
	の	209	12	す．私は先年フランスのFayeの彗星	の 説を訳して東洋学芸雑誌に出して置きましたが，
	の	209	16	天文学者でも無いものがヤジムマに彗星	の 説を述べるやうになりますから．実に天文学はま
	の	251	02	民に立ちかへります．然るところ「お前	の 説は至つて御尤もなれど終身刑の者があるが，こ
	の	077	09	利を興し害を除きまするることが恰も電気	の 積極消極の様なもので積極と積極とは相親和せず
	の	137	05	流行いたしまして現に只今も書き方改良	の 説明もありましたが演劇改良其の他家屋の改良，
	の	267	13	と云ふ結果になりまする．前の表と只今	の 説明とに就いてお考へになれば監獄に於て執行す
	の	065	08	あることです．先覚者たる者は能く事物	の 是非を淘汰し健康に害あるものは速に之を除き，
	の	248	03	ゝ通りで有るから斯くの如く現在，地獄	の 責めに遇ふのである」と云ふので心を改め，遂に
	の	037	16	社会にては人間が即ちCellで動植物	の Cellと全く同じことぢゃ．其の様なる訳ゆゑ
	の	228	01	の一つで丁度，列国の一国主が其の列国	の 世話をして居たと云ふやうなものです．何にしろ
	の	264	04	きまして，さうして，この家族長が教育	の 世話もし，また感化にも尽力し，且職業の教育を
	の	198	15	ますなら是非，其のあるく道が此の二つ	の 線の中でなければならない．モウ一つ双曲線と云
	の	134	14	坐ります．故に神学卒業生は常に基督教	の 善を顕はして而して其の総ての行ひを以て基督教
	の	037	06	きまりたる解は至りてむづかしい．世界	の 全人類は一つの社会であると云ふ説も有るがこゝ
	の	134	06	かに申されましたことが御坐ります「人	の 善悪は其の実によつて之を知るべし」と仰せられ
	の	133	09	新聞紙で読んだことで御坐ります．一人	の 宣教師は支那のズット内国の僻邑な村に至りまし
	の	272	01	治場．こゝには刑法に於て不論罪懲治者	の 宣告を受けたる者と両親，又は親族等より願ひ出
	の	083	08	進歩いたさずして居るに由つて今日支那	の 全国中の有様は気の毒千万で御坐ります．また時
	の	154	01	はこれ位にしまして，この次ぎには日本	の 全国行政，地方行政，町村行政の三つに付て講究

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（の）	の	128	03	の新らしい論の中に無証拠な設理即ち後	の	穿鑿を助ける為めに学者が仮りに設ける所の色々
	の	166	11	参りました．昔の学風といふものは事実	の	穿鑿をしない．たゞ考への上の道理を以て事実を
	の	176	08	チスチックは第一必要でスタチスチック	の	穿鑿法，簿記法から着手し次第に進んで比較判決
	の	145	05	が面白からう．其の中にまた和漢洋兼備	の	先生たちを撰り出して委員と致し其の委員が好い
	の	181	03	信ずる者で御坐ります．また近来は教外	の	先生等にも社会を改良するには是非ともキリスト
	の	192	04	ふことを言はれた．これを其の時分から	の	先生に承りますと公論といふはお前の言ふ輿論と
	の	234	06	ら，さう云ふ人が後に日本語の専門学校	の	先生になれば其の人が自分の学び得た所を脳髄か
	の	005	07	二万人も西洋へ行く様にしたい．この間	の	戦争に誰か少しばかり戦争らしいことをやつたの
	の	241	16	．例へば或る人の邸を見に行つて其の邸	の	全体を見ずに，ただ溝の端の竹が一本曲つて居る
	の	095	04	ればなりませぬ．然るをノルマントン号	の	船長は我が同胞を助けなかつたのは実に道徳上に
	の	099	10	．諸君試みに思へ．若しノルマントン号	の	船長が我々日本人民を西洋人と同等の人間と見し
	の	102	13	では軽蔑も無理はない．ノルマントン号	の	船長が不取扱なしたのは固より無理のないことで
	の	108	05	ります．そこで自分は今ノルマントン号	の	船長ドレーキ等の所為は何に当るといふことを審
	の	171	15	衆国人が我が国人に対して我が国，開港	の	先導者となつたこと我が国，の第二海外貿易の道
	の	127	06	に勝つことは出来ますまい．勿論これ等	の	専門家が其の専門と致した所のことを論ぜず色々
	の	127	11	者また熟練した理論者にあらざれば西洋	の	専門家の論は非難し易いものでは御坐りませぬ．
	の	233	08	とで有ります．実に此の専修学校は私立	の	専門学校の一番の元祖で其れから近来イクラも専
	の	234	06	も出来るから，さう云ふ人が後に日本語	の	専門学校の先生になれば其の人が自分の学び得た
	の	234	08	るで有らう．其れで無ければ迚も日本語	の	専門学校と云ふものは出来ないと云ふことを話し
	の	248	04	期が終つて社会に再び出まると，モト	の	善良なる人間になるので有りまする．然るを監獄
	の	223	02	もので有りませう．足利の始めに観世氏	の	祖，観阿弥世阿弥の父子が奮発して其れまでの猿
	の	051	02	準備明治十八年一月二十五日仮名の会員	の	総集会東京神田区錦町学習院に於て近藤真琴君演
	の	174	03	なります．昨明治十九年一月には日本国	の	総人数は三千八百十五万一千二百十七人で大約毎
	の	214	14	するに従つて小説と云ふものは天下の真	の	象と真の理とを能く探り得る美術てあつて，かの
	の	144	01	の南宗北宗などの山水の美景或ひは武人	の	像を画くものも有れば男と女とチヽクリあつて居
	の	174	02	た数から死んだ数を除いたものと就籍等	の	増人数を四箇年に平均すると三十六万二千七百七
	の	189	11	が関係することがあります．例へば法律	の	草案を出すとか，また法律を議するときには政府
	の	065	02	て来ませう．故に私は人力車や丸髷島田	の	増減は日本男女の文明如何を卜するに足るものと
	の	184	12	．其れは兎に角に今日我が邦に於て離縁	の	造作ないことは誰も能く知つて居ることで心ある
	の	220	12	で其の上へ説き明しを附けたもので福富	の	草紙と云つて善と悪のヂーサン，バーサンのこと
	の	220	12	ーサンのことを書いたものや，鉢かつぎ	の	草紙と云つて継母に悪まれたムスメの話しや，文
	の	220	13	て継母に悪まれたムスメの話しや，文正	の	草紙と云つて常陸の国に居た大福長者の話しなど
	の	222	06	情の真理と云ふものに近いもので其の後	の	草紙に至つては勝れた上手が有りませぬ．また徳
	の	273	08	監は皆な已決監でありまするから已決監	の	総数は百六十六となりまする．此の所に於て懲治
	の	274	01	坐います．これ等を合しますると在監人	の	総数は七万二千二百五十二人となりまする．今，
	の	084	05	皆な一所に並んで進み行くならば全国民	の	総体の進歩も亦川が流れる如くに進み行く筈で御
	の	165	12	一己の事を説くものでは無くて一国人民	の	総体の上に関係することを説くのだから論ずる所
	の	219	11	もよらず，たゞ心が落ち付いて深切で夫	の	相談相手になるのを第一にすることにツマリ論が
	の	144	07	小説を見受けませぬ．今，申す通り古人	の	精粕を嘗めずに一機軸を出したと言ふものは私の
	の	124	13	働くもので御坐ります．なんと全智全能	の	造物主たる神と共に働くものは己れの大切な職分
	の	155	12	しに三十七から有つたネ．この間も大学	の	総理先生は十七八，数へたネ．数学，星学，化学
	の	090	15	坐りませぬ．この浮世の荒野の中で基督	の	足跡を能く尋ね而して己れの足を之に合はして世
	の	015	08	す．随分此の測量はむつかしいが天文学	の	測量の中ではこれが最も精密に出来るもので有り
	の	016	13	有りましても分量が甚だ少くて迚も我々	の	測量に届かないです．其れでは月の世界には．人
	の	150	13	居るもの即ち政府とか天皇とかいふもの	の	組織，また其の職務の遺伝法といふものなどを書
	の	151	03	政法の中に，はいるものは日本の行政法	の	組織だと行政官吏，行政議会，其れから行政裁判
	の	152	01	二には行政官吏，行政議会，行政裁判所	の	組織職務を研究しなければなりませぬ．第三には
	の	188	15	まで即ち今の共和政治になりますまで国	の	組織となる憲法を十一度取り変へましたが立法権
	の	226	12	第一部に於ては行政官権並びに行政議会	の	組織及び職権と云ふことを講究し，即ち施政と云
	の	226	14	ことに致し，第二部に於ては行政裁判所	の	組織と権限とを講究することに致します．先づ第
	の	067	04	君演説諸君．私はこの専修学校の始めて	の	卒業式に招かれましたことが御坐いました．其の
	の	067	05	其の後はコチラに居りませぬ故に其の後	の	卒業式のことは存じませぬが今日は幸ひに此の盛
	の	067	14	を抛つことが出来ませぬから諸君も今日	の	卒業を以て足れりとせず益々法律に経済に従事せ
	の	070	12	失敬では御坐いますが今日僅に二十四人	の	卒業生では，まだまだ遺憾と思ひます．この上に
	の	070	14	ます．たゞ甚だ喜ぶ所は私は昨日は大学	の	卒業式に招かれまして出席いたしましたがアチラ
	の	070	16	出来，又来る十七日には英吉利法律学校	の	卒業式にも案内を受けて居りますが又何人か卒業
	の	073	04	川潤次郎君演説私はこのたび始めて本校	の	卒業式に出ましたが段々過刻より卒業証書の授与
	の	127	01	家で御坐ります．今漸く世に出て来た所	の	卒業生が容易に之に勝つことは出来ますまい．こ
	の	233	05	八回だと云ふことで有りますが一番初め	の	卒業の年で有りましたか私が参つて祝辞を述べま
	の	234	06	たつと留学生も帰つて来るし日本の大学	の	卒業生も出来るから，さう云ふ人が後に日本語の
	の	102	12	勿論，日本はドウいふ国やら日本は支那	の	属国やら更に分らぬさうであります．国の実況が
	の	020	03	つて居ります．所で此の星は地球の軌道	の	外を通つて太陽を繞つて居ますから若し太陽の向
	の	030	02	の上にある星が一番多い．又アマノガハ	の	外にある星の中でも精しく調べて見るとアマノガ

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（の）	の	030	16	マノガハの中であらうか或はアマノガハ	の 外に有る星もあらうか，あらかた先づアマノガハ
	の	031	17	ものであるかも知れず，或はアマノガハ	の 外にアマノガハみた様なものが沢山散らけて居て
	の	032	12	は地球の中の事を調べる学問で私は地球	の 外へ出て言つたので有ります．これだけでは実は
	の	260	05	りませう．第五，必需入額及び予備入額	の 備はりたる上は更に寄附を受けざること．これも
	の	019	07	す．其れからまだ辰星と申しまして太陽	の ソバに居て滅多に離れない太陽の秘蔵子，太陽の
	の	020	04	陽の向ふの方に此の星が居る時には太陽	の ソバに見ゆるもので有りますから距離が遠い時で
	の	201	13	の上にも有るので有ります．彗星が太陽	の ソバを離れて来ると一体，主人と云ふは太陽ばか
	の	207	04	にはモウ大かたＢｉｅｌａの彗星が地球	の ソバに帰つて来る時分だと云ふ時に非常に流星が
	の	085	12	坐ります．其の一は人の悪しき性質，人	の 損害になる原素，また人の位を下げる所のものを
	の	086	02	．なぜと云ふならば人の悪しき性質，人	の 損害になる原素また人の位を下げる所のものは何
	の	014	07	ヤリして何だか分らず俗に兎が餅を搗く	の だと言ひます処が余程はつきり見えまして全く高
	の	018	06	ｏｎが「蒸気車の走るのは太陽が動かす	の だ」と言つたと云ふことを桜井先生が講談になり
	の	025	12	いと言つたらドウでせう．遠い所に居る	の だから小さく見えても実は非常に大きいかも知れ
	の	028	02	るのは近いので，小さく見ゆるのは遠い	の だと思へば平均の上では大違ひは有りますまい．
	の	053	05	言つても本を版にすることだか船の出る	の だか分らない．其れと同じ理屈で「しぶんくゎい
	の	110	05	に，たゞ風の為めに吹き寄せられて来た	の だといふ．然らば船長其の他の人々が大勢一つの
	の	121	15	べて居て，これは酒の為めに盗みをした	の だ，これは婦人の為めに賊を働いたのだこれは貧
	の	121	15	たのだ，これは婦人の為めに賊を働いた	の だこれは貧乏の為めに人の物を盗んだのだと云ふ
	の	121	16	のだこれは貧乏の為めに人の物を盗んだ	の だと云ふことを調べて居ります．実に結構なこと
	の	155	08	ナ．学問と宗教との極点を論ずるといふ	の だから口はゞつたい訳さネ．極点といふのは日本
	の	155	09	のは日本の言葉では極上無類飛切といふ	の だから，ざつとマア学問の献立をならべなければ
	の	156	07	も日が出ると言ひますが日の方から出る	の だから日が出ると言ふのだらうが，所が其れが出
	の	156	08	が其れが出るとは言はれない．地が円い	の だから地の方で回つて，いくのださうでござす．其
	の	156	08	地が円いのだから地の方で回つて，いく	の ださうでござす．其れが今では小学校のコレンバカ
	の	156	16	，究理に究理を積んでトウトウ地が回る	の だと言ひ出した．其の時はみんな驚いたネ．たゞ
	の	158	03	治学，万物の理を知るのが物理学でやる	の だからドウしても動きません．其れが学問の極点
	の	162	13	の群飲の者を以て死刑に処すべしといふ	の だ．書経には偽書が有るといふことだがこの酒誥
	の	162	17	りも有るが今のは私がアラマシを書いた	の だ．また酒の為めに大事業が中道で成らずにしま
	の	165	13	国人民の総体の上に関係することを説く	の だから論ずる所も大きくなります．この人間の組
	の	166	15	なつて来ます．事実から道理を見上げる	の だから誰も駁つことは出来ますまい．世間に「百
	の	167	03	実と道理とピッタリ合ふやうにしてゆく	の だから事実を求めることが，むづかしくなり金も
	の	212	02	通つて居ります．流星は彗星のこわれた	の だとすれば，彗星が家ならば流星は古材木の様な
	の	235	17	のも無い．初めはオランダ通事に習つた	の だが其のオランダ通事も初めは蘭字を習ふことは
	の	175	01	ませぬ．かねて申します通り「人は義務	の 体」と言ひますから義務が何も彼も我が身にかゝ
	の	033	15	つて何社とか何会とかを立てて人間社会	の 大事業を企つる時などには，いつでも酒が媒にな
	の	035	14	ある」といふことで有ります．今日世界	の 大変動と思はれまする殖民政略などのことも大慾
	の	036	10	商になるといふのでは無い，エコノミー	の 大主義でよくためて，よくつかふが宜う御坐りま
	の	055	10	全く仮名の世界にしてしまひ，秦の始皇	の 大決断を望む準備が出来る様で無ければなりませ
	の	068	09	て後始めて第二回試験即ち高等官吏登用	の 大試験を受けることが出来ます．通例学漏生に於
	の	099	08	まする．私のおもへらく，此の度の事件	の 大原因は「軽蔑」といふ二字に過ぎないことであ
	の	152	16	律規則は始終変りませぬ．千七百九十年	の 大革命の時からのものがイマダに行はれて居ます
	の	172	10	加は我が国産の第一なる製茶，生糸など	の 大得意先きで，これは貿易表を見ると，よく分り
	の	188	11	す．この立憲権力といふものは他の二つ	の 大権力を定める．其の二つの大権力といふものは
	の	188	12	は他の二つの大権力を定める．其の二つ	の 大権力といふものは立法権と執行権といふもので
	の	188	14	りませぬ．フランスでは千七百八十九年	の 大革命より千八百七十一年まで即ち今の共和政治
	の	236	09	も思ふ半分も出来なかつた．其れが一つ	の 大難事で有つた．モウ一つの大難事と云ふは西洋
	の	236	09	其れが一つの大難事で有つた．モウ一つ	の 大難事と云ふは西洋のことを学ぶと云ふことが其
	の	237	10	後，今日になつて学問をする人は右二つ	の 大難事が全く消滅しました．先生もあり，本もあ
	の	237	15	折りよい所へ骨を折つて，オマケに己れ	の 大利益となることだから申し分は無い．其れだか
	の	242	06	於て一場の演説を致しました．其の演説	の 大趣意は其の時の諸新聞に出ましたが甚だ欠くる
	の	021	01	と火星が外を回つて居ます．これが我々	の 第二の道づれで有ります．道づれどこでは無い今
	の	033	02	意明治十八年三月二十二日大日本節酒会	の 第一総集会東京神田区北神保町神保園に於て杉亨
	の	057	02	年六月十三日大日本私立衛生会埼玉支会	の 第三総会埼玉県入間郡川越町喜多院に於て渡辺鼎
	の	057	05	私は今日此の大日本私立衛生会埼玉支会	の 第三総会に罷り出まして聊かお話しを致さうと思
	の	106	05	ング，アクト，アメンドメント，アクト	の 第二十三節に「英国のボールド，ヲフ，トレード
	の	109	04	たパッセンヂャー，アクト即ち船客条例	の 第二十七節に拠れば二百噸以上四百噸以下の商船
	の	113	02	し明治十八年六月二十七日大日本節酒会	の 第一小集会東京神田区錦町東京大学予備門構内講
	の	115	15	類ばかりに有るものだから，これが人類	の 第二の高い欲で有る．人類の第一の欲は前に言つ
	の	115	16	これが人類の第二の高い欲で有る．人類	の 第一の欲は前に言つた通り身命の惜いといふこと
	の	119	02	ず明治十八年十二月二十日大日本節酒会	の 第三小集会東京神田区錦町東京大学予備門構内講
	の	149	07	のみは言ひませぬ．日本でも先年太政官	の 第五科といふ所で杉亨二先生がスタチスチック課
	の	161	02	害明治十九年三月二十一日大日本節酒会	の 第二総集会東京神田区錦町東京大学予備門構内講
	の	165	02	明治二十年一月十六日スタチスチック社	の 第一総集会東京九段坂下靖国神社附属地内東京統

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（の）	の	171	16	国，開港の先導者となつたこと我が国，	の 第二海外貿易の道を開いたこと我が国人に阿片の
	の	172	10	存じませぬ．また北亜米利加は我が国産	の 第一なる製茶，生糸などの大得意先きで，これは
	の	169	09	．これには色々な訳もありませうが今日	の 題の外だから言ふのはよしませう．然るに此の両
	の	147	05	協会会堂に於て宇川盛三郎君講演行政法	の 大意を講究しやうと云ふ趣意は色々ありますが先
	の	217	02	延喜以前のもので有りませう．竹取物語	の 大意は竹取の翁と云ふ人が竹を割つた所が中から
	の	179	02	地位明治二十年三月五日東京婦人矯風会	の 大会東京京橋区木挽町厚生館に於て井深梶之助君
	の	068	06	律学を修め殊に其の中一年半は必ず独逸	の 大学に於て修めなければ試験を受くることは出来
	の	234	06	今少したつと留学生も帰つて来るし日本	の 大学の卒業生も出来るから，さう云ふ人が後に日
	の	163	03	を取ることもむづかしかつたらう．信長	の 大業を成就することの出来なかつたのは色々訳も
	の	070	17	法律学者の輩出いたしますのは我が国家	の 大幸，之より喜ばしいことは無いと感ずることで
	の	162	06	天の我が民に酒を作らしむるは郊社宗廟	の 大祭に灌献の礼を行はしむるが為めのみ文王また
	の	085	02	の進歩の有様とまた其の進歩に付て種々	の 大事なものの概略を申すならば以上の如きもので
	の	087	03	の信仰と品行とのノリとする者はこれ等	の 大事なものに付て誤ること，つまづくことは容易
	の	135	11	坐ります．ナゼといふのに人間のこれ等	の 大事なもの多くは皆な基督教に係はるもので御坐
	の	231	09	会が有つて議政に与かる．其れから各省	の 大臣は行政事務を部分けして担任して居りまして
	の	231	11	二つ以上の頭を集めてやるのです．各省	の 大臣は施政者で有るから一人です．府県になりま
	の	177	04	有様を見ることも出来ませう．其の年々	の 大数を得るに従つて其の運動の有様に常と変との
	の	170	09	りますまい，して見れば，これは我が国	の 大勢に関係することで後日に至つてよく分りませ
	の	242	15	扱ひまするのは政治学を知らずして天下	の 大政を掌ると何ぞ異なるところが有りませうや．
	の	035	08	欲だといふことがよく分りませう．己れ	の 大切なる智慧までも徳利の中へ質物にするとは何
	の	080	02	の進歩に気をつけて見れば其の中に種々	の 大切な事実，面白い事柄また肝要な道理が含まつ
	の	082	05	進歩の様々の種類の中で未だ申さぬ一つ	の 大切な種類が御坐ります．此の種類が完全して居
	の	086	09	高尚なものを充分に説きませぬ．これ等	の 大切なものは此の世の権威と勢力また人の立てた
	の	086	13	求めることが出来ませうか．アヽ基督教	の 大切なことの明らかになるは丁度こゝで御坐りま
	の	087	15	の信仰と品行とのノリとする人はこれ等	の 大切なるものに付て或は間違ふこと或はつまづく
	の	124	14	能の造物主たる神と共に働くものは己れ	の 大切な職分を尽しながら多くの助けと益を受ける
	の	184	06	とすることで御坐ります．一夫一婦の教	の 大切なことは前に述べた通りで御坐りますが，た
	の	255	17	て監獄の賤しからざることを知り，監獄	の 大切なることを知り，懲戒の厳にして酷なるべか
	の	158	04	す．今日，三十七八科に及ぶ学科は今日	の 大体ではきまつて居ますが，アスが日に狂ふまい
	の	129	06	す．箇様な人は世俗の学問を皆な基督教	の 大敵とするもので御坐ります．これ等の人の思ふ
	の	019	03	は金星とも言ひます．昔し或る唐人が母	の 胎内に居るとき此の母が長庚星が懐に這入ると云
	の	218	01	も趣向も巧みになり殊に源氏物語は非凡	の 大筆で今以て和文を作るにも言語の学問をするに
	の	187	05	此はマリヤが我れ知らず世界万国の婦人	の 代表者として数千年来種々の圧制束縛を受けた婦
	の	255	11	，かういふことを以て尊卑を定めると昔	の 大名の中には随分宜しくないことをして大名にな
	の	065	10	覚者の義務です．実に我が邦は内地雑居	の 大役が前途に横たはつて居るし，食物や家屋や人
	の	025	05	言はなければなりませぬ．さて星が我々	の 太陽の様なものでは無からうかと云ふ疑ひが起る
	の	025	17	ければなりませぬ．今度の物さしは地球	の 太陽のグルリを回る軌道の半径即ち地球と太陽の
	の	029	01	のが有ります．して見ますと果して我々	の 太陽系は外にツレがあるのです．色々な星の中に
	の	029	05	と云ふことが察せられます．そこで我々	の 太陽の同士が即ち此の星と云ふもので有るといふ
	の	030	10	をして居るとしまして，そこの中に我々	の 太陽系がはいつて居るとしますと或る向には星が
	の	032	01	アマノガハから其れへ移るのは丁度我々	の 太陽系から脇の太陽系に移る様なものであるかも
	の	032	02	其れへ移るのは丁度我々の太陽系から脇	の 太陽系に移る様なものであるかも知れませぬ．此
	の	113	11	ませう．併しながら飲食といふものは人	の 大慾であるから之を節するといふことは至つてむ
	の	157	02	今は其れも無いが，モト羅馬法皇は天主	の 代理だといふから実に強気なものさネ．西洋各国
	の	213	07	，たゞ小説なり演劇なりに付て故事来歴	の 大略を演るまでで決して当今流行の改良をはかる
	の	115	15	りに有るものだから，これが人類の第二	の 高い欲で有る．人類の第一の欲は前に言つた通り
	の	116	17	約束を破らぬといふことはヤッパリ人類	の 高い欲だからドウか約束を破らぬやうにしたい．
	の	117	02	，そこで節酒会といふものが出来て一つ	の 高い欲が殖えて来た訳だから自分一人で節して居
	の	135	14	．聖書を手に持つて而して聖書に説く所	の 高い所より世の中の有様を見れば天地の間の限り
	の	136	06	とも無く分ることも御坐りませぬ．二階	の 高い所から見れば面白いこと覚ること誠に感心の
	の	136	08	ることも浅う御坐ります．けれども聖書	の 高い所からして悍りながら神の御眼を借りて世の
	の	048	05	感ずることが多い．故に電信だの郵便だ	の 互に条約が有り又今日の官報に出て居た様に日本
	の	074	11	くて右に向いても左に向いても艱難辛苦	の 類のみ多きもので天気でさへ暑いとか寒いとかい
	の	107	15	へば幼年の者が弁別なしに人を殺すなど	の 類であります．第三種はメンスローターで，これ
	の	169	16	行く者の方は大抵貧乏書生やハタラキテ	の 類で自ら思ひ立つて艱難しても一身を立てたい官
	の	178	03	りに林檎の落ちしも痛みしならんと笑ふ	の 類に止まるは面白からず．其の頃の時代なれば兎
	の	218	03	せぬ．次に狭衣，取替へバヤ，住吉など	の 類の色々の作り物語が顕はれ後には栄花物語，続
	の	221	14	るから其の作である稲妻双紙だの酔菩提	の 類は近ごろ劇場でするやうになりました．また三
	の	222	13	たのは衰へまして今は僅かに東舞と倭舞	の 類を存し，また神楽，催馬楽に古風を伝へて居り
	の	030	11	の所には星が沢山見えませう．而して星	の 沢山見ゆる部分は帯の形して天を取りまいて居る
	の	241	17	つて其の邸の全体を見ずに，ただ溝の端	の 竹が一本曲つて居るとか折れて居るとか云ふやう
	の	022	17	夥しいことで今日まで発見になりました	の だけが二百いくつと云ふ程ありますが其れでおし
	の	224	01	が盛に行はれ，其れゆゑ近松門左衛門だ	の 竹田出雲だのと云ふ名人の浄瑠璃作者が出て世間

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（の）	の	145	13	ゝつたとか何とか云ふので思ひの外，金	の ダシテが有つて私も一万円私も二万円を出しませ
	の	215	17	様の眷族が多いか私の眷族が多いか眷族	の 多少競べをしやう」と云ひました．ソレデ鰐が眷
	の	253	08	尤も其の不良の度合ひに応じて右各科目	の 多少をきめることで有りまする．また，只今申し
	の	270	03	ことでは有りませぬか．また，不良少年	の 多少は其の教育の有無に関係することが最も甚し
	の	275	09	改良を受けまして明治十四年九月十九日	の 太政官達第八十一号を以て監獄則を発表せられま
	の	063	12	千人に付き五個の人力車あるときは非常	の 多数にしてツマリ濫用の多きシルシでありませう
	の	124	14	のは己れの大切な職分を尽しながら多く	の 助けと益を受ける筈では御坐りませぬか．これ実
	の	125	01	．逆風に妨げられる所もあらう．卒業生	の 助けになるものが多けれども其の妨げと邪魔にな
	の	166	09	物理学，機械学，数学などの色々の学科	の 助けによつて世の中も益々開け行くこととなつて
	の	047	01	らず同じ開けた西洋の各国同士でも道理	の 立たぬ様なことをするのは互に社会を為さぬ者同
	の	064	13	しに因るものにしてツマリ人民が人力車	の たゞチョット便利と云ふことを知つて緊要なる衛
	の	039	16	は剛勇即ち徳義と云ふことでありて行ひ	の 正しい人を徳義の有る人と云ふ訳では無く強い人
	の	133	05	も信者の愛信の厚いこと，また其の行義	の 正しいことに感服したことは歴史に明かに記して
	の	125	12	坐りませぬ．総て真の学術また其の色々	の 正しき結局は基督教に敵対したる者で御坐りませ
	の	144	16	鈍し．兎角双方旨く参らぬから日本の筆	の 立つ人と西洋の小説の読める者と此の二派を集め
	の	144	16	の小説の読める者と此の二派を集めて筆	の 立つ人に西洋の智識をつぎこむ様にしたら宜しか
	の	076	16	るから場合によつてハッキリとして限界	の 立てらるゝことも御坐んせうが其の間，髪を容れ
	の	086	10	大切なものは此の世の権威と勢力また人	の 立てた所の法則また此の世の富などに係はらぬも
	の	220	17	作が出来ましたが其の言葉つきから趣向	の 立て方まで下等社会のものに向くのを目途とした
	の	014	09	山や深い谷などで有ります．山だの川だ	の 谷だの岡だのは地理書に有ることで地理書とは地
	の	014	10	学問だと思つて居たに月の表面にも山だ	の 谷だのが有るからは月が地球と似たものでは有る
	の	179	09	がキリストの御降臨を預言した語に「諸	の 谷は埋められ諸の岡は夷げられ曲りたるは直く嶮
	の	133	07	為めに殺されたる者の血は却つて基督教	の 種となりました．」先だつて隣のモロコシに面白
	の	221	09	加賀騒動とか云ふ類が段々出来て講談師	の 種や貸本屋の料となりました．これは大かた浄瑠
	の	135	09	ことで御坐ります．また若し人間の色々	の 楽みと哀み人の色々の願ひと望み，人の限り無き
	の	162	10	家庭の間に用ひ献酬歓を承けて以て天倫	の 楽みを全くすべし若し故なく群を成し相聚り酒を
	の	164	13	しと．英将従容として言て，曰く惜む君	の 謀る所已に晩し余早に兵艘三隻をして前往駐守せ
	の	201	06	折れるもので有ります．一体，彗星は長	の 旅をする間にはミチグサをくつて来ます．ミチグ
	の	090	06	坐ります．即ち「神の御言葉はこの浮世	の 旅人の道を照す光りの如し」と云ふ明文が御坐り
	の	077	02	害を除くのである様のことが社会の事柄	の 多分を占めて居ることで御坐んす．さう致すと法
	の	016	06	と月との位置を比べて見ますと直径一寸	の 玉を拵へまして其れを地球の雛形にすると其の玉
	の	016	07	ると其の玉から三尺離して直径二分七厘	の 玉をおきましたのが月の雛形になります．距離も
	の	017	10	の百八倍半ほど有ります．さつきの一寸	の 玉を地球の雛形としまして太陽の雛形はドンナも
	の	017	11	ナものであらうといふと一丈一尺ばかり	の 玉を三丁半の距離に置いたのが太陽になります．
	の	017	12	距離に置いたのが太陽になります．一寸	の 玉は手の指ででもまはりますが一丈一尺の玉は両
	の	017	12	玉は手の指ででもまはりますが一丈一尺	の 玉は両手でも抱きまはすことは出来ませぬ．同じ
	の	019	13	すと其のグルリに鍔が有ります，丁度鉛	の 玉のグルリに剣術の竹刀の鍔でもつけた様に見え
	の	022	07	ませう．先づさつき申しました直径一寸	の 玉を地球の雛形とし一丈一尺の玉を太陽の雛形と
	の	022	08	直径一寸の玉を地球の雛形とし一丈一尺	の 玉を太陽の雛形とします．さうすると一番近い星
	の	022	09	七厘少し余で有ります，即ち三分七厘余	の 玉を一丁十五間の所に置いたのが水星の雛形にな
	の	022	13	実は三丁と十四間程で大きさは即ち一寸	の 玉．其の次ぎが螢＊惑星即ち火星で太陽の雛形か
	の	023	06	．其の次ぎが天王星，これは三寸八九分	の 玉で距離は一里二十六丁の処にあり，海王星は三
	の	023	08	幾ど三里で有ります．地球の雛形の一寸	の 玉を太陽の雛形一尺一寸ばかりの玉より三丁と十
	の	023	08	の一寸の玉を太陽の雛形一尺一寸ばかり	の 玉より三丁と十四間ほど離すと見れば海王星は本
	の	180	01	，ハワルドをして欧羅巴諸国の監獄改良	の ために甘じて一身を犠牲になさしめた者は何で御
	の	180	06	ォールスやクラルクソンをして奴隷廃止	の ために千辛万苦を甘ぜしめた者は何で御坐ります
	の	180	15	当の地位と真正の幸福を與へんと企る者	の ためにはキリスト教は之に如何なる関係を有する
	の	186	13	子の教育を勤めること，また婦人が社会	の ために働くことを励ますこと，婦人特有の温柔謙
	の	187	09	者と称ふべし」と此の凱歌を唱へつゝ神	の ため国のために御尽力あるべきことと存じます．
	の	187	10	べし」と此の凱歌を唱へつゝ神のため国	の ために御尽力あるべきことと存じます．私が婦人
	の	003	14	我が国の有様で居ますと文字を習ふヒマ	の 為めに稲を植るヒマも水車改正の時もへづられて
	の	004	06	競争は一日一刻も止む時の無きもので病	の 為めに人口が減らさるゝ間にも各国と共に競争を
	の	018	08	意で御坐います．して見ると太陽は我々	の 為めの生活の根元で有りまして随分主人親分と貴
	の	034	16	酒を飲まない人は古へより功を成し国家	の 為めになつた人が有りますが酒を飲んで大事業を
	の	042	08	分れたのぢゃ．道と云ふものは何でも人	の 為めにしなくてはならぬと云ふことが本趣意で，
	の	042	10	ならぬ，己を利する心はすてて只管他人	の 為めになることをせねばならぬと云ふこと，又法
	の	044	11	の国なれども決して己の利をすてて他人	の 為めにすると云ふ主義が本当には行はれぬことぢ
	の	045	17	処するとかするが其れは悪い事をした人	の 為めには実に迷惑の訳ぢゃ．悪い事をしたから刑
	の	046	02	る法則は誰が立てたことか．これは社会	の 為めにすておく訳にゆかぬから悪い事をせぬ人が
	の	046	04	ふ訳では無けれども社会の維持と進歩と	の 為めに必要な事ぢゃ．併し悪い事をした人から云
	の	046	05	ゃ．併し悪い事をした人から云へば政府	の 為めに害せられるのぢゃ．して見れば他を害する
	の	048	17	ぬことぢゃ．道徳は社会の維持と保存と	の 為めに出来たものぢゃ．其れ故，社会を為さぬ者
	の	054	07	づ小学校の本，また学問のある人の研究	の 為めの本，それから第三種は慰みの為めの本，そ

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（の）	の	054	07	研究の為めの本，それから第三種は慰み	の	為めの本，それを類を分けて見ますと御国より始
	の	058	13	死亡も少なくなつたと云ふのも即ち開化	の	為めで，又独逸の或る都府に於てはこれまで大層
	の	062	03	一です．なぜなれば紳士貴女などが運動	の	為めと思つて徒歩にて市中に出るときは人之を見
	の	069	15	を致しました．斯の如くは志願者一個人	の	為めから言へば甚だ不便なことで御坐いますが一
	の	074	06	か子供ならば玩弄物を買ふとか又は家政	の	為めに田地を買ひ貸家を建つて家賃を取るなどと
	の	074	16	してくれる人は其れを供給してもらふ人	の	為めには価値を有するので其の価値はＮｅｇａｔ
	の	075	13	は無くて富を減ずるもので有るから国家	の	為めに希ふ所はＰｏｓｉｔｉｖｅの方が余計に出
	の	077	09	らず諸君が各々学び得たる所を以て社会	の	為めに利を興し害を除きますることが恰も電気の
	の	077	11	に積極的消極的の学科を以て同一に社会	の	為めに利を興し害を除き蒼生の幸福を進められむ
	の	079	01	切に希望いたします．基督教は社会進歩	の	為めに必要なり明治十九年九月十一日本郷青年奨
	の	079	04	今弁ずる所の演題は「基督教は社会進歩	の	為めに必要なり」と云ふことで御坐ります．これ
	の	083	12	の道徳の進歩の必要と云ふものは一個人	の	為め全国民の為め，また世界中の人類の為めにも
	の	083	12	の必要と云ふものは一個人の為め全国民	の	為め，また世界中の人類の為めにも一様に必要で
	の	083	12	の為め全国民の為め，また世界中の人類	の	為めにも一様に必要で御坐ります．ドコにか智慧
	の	085	03	こゝに弁ずる演題は「基督教は社会進歩	の	為めに必要なり」と云ふことで御坐りますゆゑに
	の	087	05	あらうか」と問ひますならば，この御方	の	為めに少しばかりこの趣意の委しい所を申しませ
	の	087	17	た箇様な論じ方に由つて見れば社会進歩	の	為め基督教の必要は必ず明らかになりませうと存
	の	088	04	も既に演べましたものの外に社会の進歩	の	為め種々の必要なものが御坐ります．これ等も亦
	の	091	05	も無く臆することも無く命にかけて天国	の	為めに常に骨折りしたことが御坐ります．併しな
	の	096	15	りませぬか．然れば今日吾人が我が同胞	の	為めに尽すべき第一の職分は証拠の蒐集に尽力す
	の	098	12	タの泡と消え海底の藻屑と化したのは何	の	為めである即ち外国人が不注意の為めである否な
	の	098	12	のは何の為めである即ち外国人が不注意	の	為めである否な故意に出でたのであるとありては
	の	106	16	十五名及び印度人の火夫十二名が船長等	の	為めにステゴロシにされ空しく海底の藻屑となり
	の	109	08	とにきまつて居ります．而してこれは何	の	為めにおくものであるかといふに若し船が衝突す
	の	109	09	かけることが有るかも知れぬゆゑ其の時	の	為めに備へるものなることは誰れも想像すること
	の	109	10	することでありませう．決して端艇は何	の	為めに附いてあるか知らぬといふことは御坐りま
	の	110	05	端艇は漕いで来たのかといふに，たゞ風	の	為めに吹き寄せられて来たのだといふ．然らば船
	の	110	17	し以て世人の嫌疑を避くること英国政府	の	為めに便宜の処置であらうと信じます．終りに臨
	の	115	13	と思つても酒を飲むと，やゝもすれば酒	の	為めに品行を破る．酒の為めに品行を破るやうで
	の	115	14	やゝもすれば酒の為めに品行を破る．酒	の	為めに品行を破るやうでは人類といふものの甲斐
	の	116	08	勿論若い時から好きは好きだが今まで酒	の	為めに大いに身体を悪くしたと思ふことも無く，
	の	116	09	体を悪くしたと思ふことも無く，また酒	の	為めに品行を乱したといふ覚えも無い．されども
	の	116	12	て酒を過したあとで，あつたから全く酒	の	為めだと思つて其れからは自分でも，さういふこ
	の	117	15	はいつて全く酒を禁じたらば却つて身体	の	為めによく有るまいと思ひます．昔から禁酒をし
	の	121	15	では随分其の事を調べて居て，これは酒	の	為めに盗みをしたのだ，これは婦人の為めに賊を
	の	121	15	酒の為めに盗みをしたのだ，これは婦人	の	為めに賊を働いたのだこれは貧乏の為めに人の物
	の	121	16	婦人の為めに賊を働いたのだこれは貧乏	の	為めに人の物を盗んだのだと云ふことを調べて居
	の	122	01	は東京府下だけのことでは有りますが酒	の	為めに犯罪人の殖えることはドコでも少いことで
	の	122	03	外のことからも殖えるで有りませうが酒	の	為めに殖えることが有るのはチョイと考へると其
	の	124	04	に演説する所はおもに今日の神学卒業生	の	為めに致すもので御坐りますが，いづれの学校の
	の	124	05	て終に卒業する積りである故に，これ等	の	為めにも全く無益で有るまいと希望いたします．
	の	124	13	Ｐａｕｒｏの御言葉によつて見れば伝道	の	為めに働く者は皆，神と共に働くもので御坐りま
	の	129	07	人の思ふには近来盛んに開けた所の学術	の	為めには基督教が遂に全く滅びてしまふであらう
	の	131	12	の論を読む者は世の中の色々の激しき論	の	為めに不安心なることは滅多に御坐りませぬ．第
	の	133	06	かういふ格言が御坐りました．「基督教	の	為めに殺されたる者の血は却つて基督教の種とな
	の	135	05	ませう．ナゼなれば基督教は則ち世界中	の	為めで御坐ります．若し万国万民が狭いものなら
	の	135	07	ので御坐ります．基督教は則ち万国万民	の	為めで御坐ります．耶蘇基督が世を逝りませぬ前
	の	147	10	べるといふことがあるが，これ等は何等	の	為めに調べるかといふに日本帝国の境界はこれだ
	の	163	01	のは私がアラマシを書いたのだ．また酒	の	為めに大事業が中道で成らずにしまつたものが有
	の	163	14	でありながら箇様になつたのを見れば酒	の	為めに天下を執ることも出来ずにしまつた．酒の
	の	163	15	天下を執ることも出来ずにしまつた．酒	の	為めに物事に失敗するといふこともよく知れる．
	の	164	01	酒を飲む相手にしたといふことだが，酒	の	為めに身を立て家を興したといふ者は一人も無し
	の	164	04	三年前，支那政府の命令を承け学事視察	の	為めに欧羅巴亜米利加を巡回し支那へ帰つて作つ
	の	167	16	した．文字でも其の通り相互に智識交換	の	為めに書くものや法令文書の往復まで先づドウか
	の	169	15	えます．欧羅巴に行く者の方は学術研究	の	為めで官費を仰ぐ者か，または華族とか何とか云
	の	194	05	と離れて居ることではありましたが順序	の	為めに申し上げて，おきますのです．彗星の話明
	の	204	04	身の上に宜しからんことが有るから功徳	の	為めに寺を建てて坊主の俸給をお殖しなさい」と
	の	212	05	知れません．其のぶつつかる所の人たち	の	為めには実に気の毒で有りますが，其れは学問の
	の	212	06	は実に気の毒で有りますが，其れは学問	の	為めには，どの位，利益にならうか測り知れませ
	の	236	10	ことを学ぶと云ふことが其の時分の社会	の	為めに嫌はれたので医者などが西洋医者になつて
	の	237	01	とでは無かつた．先づ砲術などはイクサ	の	為めにしなければならぬと云ふので有つたが其れ
	の	240	02	又は他人の命，又は依頼を受けて其の人	の	為めに見たことは其の注文者の所有物で有ります
	の	241	02	ナカ軽忽には言はれませぬ．よつて他人	の	為めに巡閲したることは善悪利害を問はず其の人

代表形	判	ページ	行			出現文脈
（の）	の	245	01	に関することには警察を用ひ，悪人取締	の	為めに監獄を用ふることとなりまする．尤も監獄
	の	253	01	計の用が有りまする．付てはこれ等の者	の	為めに矯正院を設くることになつて居ります．こ
	の	253	09	で有りまする．また，只今申した如き者	の	為めには農業をさせるのが宜しいと云ふ実験が有
	の	254	09	人と云ふ虞れが有りまするから，これ等	の	為めには慈恵と犯罪予防との二つの理由よりして
	の	255	03	る者もあるさうですが，これ等は昔の人	の	為めに我々の受ける迷惑で有らうと考へます．コ
	の	255	14	なことも無いではありますまい．これ等	の	為めに今日の華族は皆な賤しむべきもので有るか
	の	256	11	ものが有ります．これは洪水，暴風雨等	の	為めに田を流し畑を荒されたる等の時に起るもの
	の	257	04	壮健なる貧民），貧病人，及び家庭教育	の	足らざるが為めに心の人なみにならざる者（即ち
	の	258	08	少年にして親族の矯正なき者，又は矯正	の	足らざる者を矯正すること（即ち心の救助）で有
	の	155	05	語家ならシンウチとか何とか云つていい	の	だらうが，こんなモウロクだから，しまひに出た
	の	156	07	日の方から出るのだから日が出ると言ふ	の	だらうが，所が其れが出るとは言はれない．地が
	の	051	10	月は会員が二千何百人になつた，かしこ	の	誰が会員になつた，して会費が如何程になつたな
	の	210	09	また山師が「ベルリンのプロフェッソル	の	誰がいよいよ彗星が地球に突き当ると言つた，今
	の	085	11	から続いて改良と進歩とに付て必ず三つ	の	段或は三つの仕方が御坐ります．其の一は人の悪
	の	045	08	通選挙の国も有るが又制限を立てて丁年	の	男子は誰でも選挙にかゝると云ふことが出来ず租
	の	109	07	一千噸以上一千五百噸以下のものは六艘	の	端艇を備へなければならぬことにきまつて居りま
	の	220	08	箱根で工藤祐経が箱王丸に対面して赤木	の	短刀を与へたことなどが本当のことのやうに思ふ
	の	133	07	ました．「基督教の為めに殺されたる者	の	血は却つて基督教の種となりました．」先だつて
	の	054	03	を用の弁ずるまで学ばさうとすると不毛	の	地が出来て肝腎のものを失ふ．この用を弁するに
	の	094	02	ず支配するものにて殊に裁判は其の犯罪	の	地の裁判所にて管轄すべきものでありまするから
	の	164	08	駛せ紅海に至らしめ碧林の小島彼時不毛	の	地たり人の之を主どるなしを経略せんと欲す．一
	の	170	14	はありますまい．支那や朝鮮はたゞ商売	の	地で利を争ふばかり位なことであらうと思はれま
	の	176	13	住であるかといふことを記し，行く先き	の	地で人が生れゝば記し死ねば除き，また帰国して
	の	216	02	行く中に海を渡つてしまつた．さて因幡	の	地へ上つた所が鱘は「兎が私たちをだました」と
	の	099	15	き責任のあるものである即ち当時の主人	の	地位に立ちて居るもの重大なる責任のあるものに
	の	104	06	し西洋人をして日本の国情を議らしむる	の	地位にある者は無論，上流社会なれば，この社会
	の	140	16	れます．其の時分には日本ではまだ小説	の	地位と言ふものが進まず彼れは戯作者だ人情本書
	の	179	01	らんことを切望に堪へず．基督教と婦人	の	地位明治二十年三月五日東京婦人矯風会の大会東
	の	179	06	社会の弊風を改良すること取り分け婦人	の	地位を高くすることにはキリスト教は最も親密な
	の	179	07	す．依て私はこれよりキリスト教と婦人	の	地位との関係に就て聊か考へを述べやうと存じま
	の	180	08	聖書の教では御坐りませんか．殊に婦人	の	地位を高くしたのは全くキリスト教の力で御坐り
	の	180	13	国の最も大なる差別は何かと問はゞ婦人	の	地位有様と答へても宜からうと存じます．然らば
	の	180	14	我が邦の社会改良を謀り殊に婦人に正当	の	地位と真正の幸福を與へんと企る者のためにはキ
	の	181	02	供へやうと存じます．我々は固より婦人	の	地位を進むるにはキリスト教の力に依らなければ
	の	184	02	風が行はれて居る中は決して婦人が正当	の	地位を占め真正の幸福を受ることは出来ません．
	の	185	09	を出す風が行はれて居る中は婦人が正当	の	地位を占め真正の幸福を得る等といふことは思ひ
	の	186	14	こと，其の他にもまたキリスト教が婦人	の	地位を高くし且，之に真正の幸福を与へる理由は
	の	220	12	附けたもので福富の草紙と云つて善と悪	の	ヂーサン，バーサンのことを書いたものや，鉢か
	の	043	15	などが蔓延し人間の力は無かりたが人間	の	智慧が出来て害になる禽獣を除き用に立つものを
	の	082	09	ることが出来ませぬ．たとひ，イクラ人	の	智慧が開けても学術が盛んになつても商法がさか
	の	083	09	有様は気の毒千万で御坐ります．また時	の	近い例を申しますならば彼の仏蘭西の国を御覧な
	の	031	13	に在るものが有り或はアマノガハと方角	の	違つた様に見ゆるのも有ります．そこで又アマノ
	の	008	08	ば気違ひにでもならなければならない位	の	違ひ．余輩の如きも気違ひにならぬのは此の違ひ
	の	045	10	外，種々のことによりて出来ると出来ぬ	の	違ひが有る．して見れば只今でも権を得たものは
	の	183	09	ります．一夫一婦と申しても此処に雲泥	の	違ひが御坐ります．儒者の教にも妻が夫に対して
	の	203	07	ました，丁度七十五六年の中で僅か三日	の	違ひで有りました．して見ますと，この彗星と云
	の	215	04	と云ふは実に昔に比べて見れば月鼈雲泥	の	違ひでは御坐いませぬか．しかし，これとはアベ
	の	043	09	禽獣でも地震でも雷でも何でも総て人間	の	力で制することの出来ぬものが神様となりて居る
	の	043	15	野蛮未開の時には禽獣などが蔓延し人間	の	力は無かりたが人間の智慧が出来て害になる禽獣
	の	103	02	本人は真面目になり得べきか．私は宗教	の	力に依るの外に方便あるまじと思ひまする．日本
	の	126	12	者は一向疑ひを起さず恐れを知らず己れ	の	力を疑ふことを致さずして自分の智力を以て総て
	の	167	13	まい．ヤッパリ新しい問題は新しい学問	の	力によらなければ，ならぬのは勿論でありませう
	の	179	16	社会改良にして直接か間接にキリスト教	の	力に籍らぬものは御坐りますまい．彼のジョン，
	の	180	09	人の地位を高くしたのは全くキリスト教	の	力で御坐ります．若し之を疑ふものがあればキリ
	の	181	02	より婦人の地位を進むるにはキリスト教	の	力に依らなければならぬことを堅く信ずる者で御
	の	181	04	社会を改良するには是非ともキリスト教	の	力を借りるより外は致し方がないと論ずる人が御
	の	184	14	大急務で之を改むるには矢張キリスト教	の	力に依らなければなりません．曾て或る人がキリ
	の	185	14	此の悪習を洗滌するには矢張キリスト教	の	力を借りなければ，なりません．第三には男女同
	の	191	05	の種類が三つある．即ち法律を制定する	の	力其れから政を行ふの力，其れから裁判をするの
	の	191	06	ち法律を制定するの力其れから政を行ふ	の	力，其れから裁判をするの力とかう申したので権
	の	191	06	から政を行ふの力，其れから裁判をする	の	力とかう申したので権力即ち大権といふものが三
	の	025	01	何の中か」と言ひますに先づ第一に我々	の	地球などに比べると夥しい大きいもので有ります
	の	197	09	あのことに立ちかへつて……惑星は我々	の	地球と同じことで太陽のグルリを回つて居る，太

〔速記叢書講談演説集〕

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（の）	の	171	08	，国に余地がある．また其の中にパナマ	の	地峡でもスッカリ開けたら渡航するにも大層な便
	の	107	04	といつて出立した学生もあり或ひは結婚	の	約が整つて喜んで旅だちした花嫁もあつたといふ
	の	227	06	何と云ひましたか知りませぬが先づ只今	の	知事のやうなものが有りました．其れから封建の
	の	002	15	御存じで御坐りませうが抑々智識には真	の	智識と智識の様に見ゆるも実は真の智識の方便に
	の	002	16	は真の智識と智識の様に見ゆるも実は真	の	智識の方便に過ぎざる智識が有りまする．例へば
	の	002	17	るとか薬を煉るとか其の外物理上化学上	の	智識をこちらへ得れば風雨を凌ぐことも出来れば
	の	003	04	けでは役に立たぬ．されば其の方便と真	の	智識との関係を考へて見なければならない．一体
	の	003	09	便の方に使ひ過ればイヤでもオーでも真	の	智識を得る為めの時は少なくなる．三時間方便に
	の	003	11	へ時が一番かゝつて居るかといふと肝腎	の	智識に時をかけるが少なくつて智識の方便に莫大
	の	145	01	者と此の二派を集めて筆の立つ人に西洋	の	智識をつぎこむ様にしたら宜しからうと思ひます
	の	143	12	三金五郎の娘節用の如きものもたゞ男女	の	痴情を書いたものだと申しますが私は斯様なもの
	の	032	14	併しどの国の歴史を書くにも先づ其の国	の	地図から始めるが順序ですから私は今日「地球の
	の	135	16	す．かの庭の中にこの麗しい大日本帝国	の	地図が委しく造つて御坐ります．また緯度経度を
	の	134	09	人々爾等の善き行ひを見て天に在す爾等	の	父を崇むべし」と．この言葉は人々皆承知する所
	の	141	13	小説には仕組と言ふものが大切ゆゑ非常	の	智能力が入りまする．たとへば経書を読みまして
	の	176	12	業，年齢などを記し，また其の行く先き	の	地名を記し，其れが一時の出稼ぎであるか永住で
	の	039	14	は却りて善くないことの様になりて居る	の	ぢゃ．昔羅馬の初めに「剛勇」と云ふ字と「徳義
	の	039	17	訳では無く強い人を徳義の有る人と云ふ	の	ぢゃから何でも強くなくてはならぬと云ふことに
	の	040	13	く其の為めに其の社会を維持して参りた	の	ぢゃ．これは実に余儀ないことで維持と進歩とを
	の	042	08	利し法は己を利すると云ふことで分れた	の	ぢゃ．道と云ふものは何でも人の為めにしなくて
	の	043	10	ることの出来ぬものが神様となりて居る	の	ぢゃ．然るに進化して開けた教法では必ず道徳と
	の	043	16	のを使ふて其れで開ける様になりて来た	の	ぢゃ．若し初めより仏法の教が行はれたらば人類
	の	044	03	を矯めようと云ふので右様の教を起した	の	ぢゃ．曲りたものを真直にしようと云ふには真直
	の	044	06	蘇教も矢張り已むことを得ぬことをした	の	ぢゃ．併し極めて必要なる点は越えてしまふて居
	の	044	08	もので唯人を害しさへせねば其れで許す	の	ぢゃ．且法は政府が権をもちて居るから背けば罰
	の	045	03	は貴族が占め下院は人民の名代人が出る	の	ぢゃが，さうして見れば貴族一般が人民の害を為
	の	045	05	，法律の上で一般人民を害する法が有る	の	ぢゃ．其れなら共和政治は公明正大ぢゃから其の
	の	045	12	ふてあるので他を害する法が立ちて有る	の	ぢゃ．則ち一方の人を利して一方の人に不利なる
	の	045	13	て一方の人に不利なる法律が立ちて居る	の	ぢゃ．併しこれは多くは其の社会に必要なことぢ
	の	046	05	た人から云へば政府の為めに害せられる	の	ぢゃ．して見れば他を害することを行ふてはなら
	の	046	08	る上は悪い事をした人は到底害を受ける	の	ぢゃ．其れぢゃから法律と道徳との本主義を云へ
	の	046	10	全く十分には行はれぬに相違ないと申す	の	ぢゃ．これから肝腎の話しになるのぢゃが今言ふ
	の	046	11	申すのぢゃ．これから肝腎の話しになる	の	ぢゃが今言ふた通りぢゃから「社会外に道徳なし
	の	161	06	し家を亡ぼし国を亡ぼすものが有る．殷	の	紂王などは酒の池，肉の林を造つたといふが，一
	の	161	16	らうが酒池肉林で国を亡ぼした元祖は殷	の	紂王だらうと思はれる．武王はふかく其れに感じ
	の	219	09	巻に雨夜の品定めと云つて源氏の君，頭	の	中将，外に両名ばかり集つて世間の女の品定めを
	の	014	16	ますとはドンナことかと言ひますと地球	の	中心から月の中心まで何里あると云ふことを調べ
	の	014	16	ナことかと言ひますと地球の中心から月	の	中心まで何里あると云ふことを調べるので有りま
	の	015	09	す．さてこの測量の結果はと云ふと地球	の	中心から月の中心までの距離が日本の里数で九万
	の	015	09	測量の結果はと云ふと地球の中心から月	の	中心までの距離が日本の里数で九万七千五百里で
	の	272	05	する．尤も集治監には二種類，即ち本地	の	集治監と島地の集治監とありまする．本地の集治
	の	272	05	監には二種類，即ち本地の集治監と島地	の	集治監とありまする．本地の集治監は徒刑，流刑
	の	272	05	治監と島地の集治監とありまする．本地	の	集治監は徒刑，流刑，禁獄，及び旧法の懲役終身
	の	272	06	役終身の者を集治いたしますので，島地	の	集治監は単に徒刑，流刑に処せられた者だけを集
	の	272	09	道庁に監獄署を置かれましたので北海道	の	集治監も通常の監獄も皆な北海道庁監獄署と云ふ
	の	273	07	四百三十九の監舎となりまする．五箇所	の	集治監は皆な已決監でありまするから已決監の総
	の	273	12	者を一時，仮りに留め置いて追つて島地	の	集治監に差し回すと云ふ趣意でありまする．これ
	の	122	10	有りました．其の外御承知の通り卒中だ	の	中風だのと云ふ病を起したり発狂したり夫婦の間
	の	223	07	ら始まつたもので其の上人は朱雀，村上	の	朝の人で古いものサ．これまでが演劇の成り立ち
	の	033	10	亡ぼす者あらむ」と言はれ又「酒は百薬	の	長」とも言はれまして説が両端になつて居ります
	の	033	12	方には世間で賛成者が少くして酒は百薬	の	長だといふ方には賛成者が多い．我が邦では子が
	の	120	17	「随分飲んでもいゝものだ」とか「百薬	の	長だ」とか言ふ位なことで有りました．前に申し
	の	169	04	化に仲間入りをしやうとて其れには彼れ	の	長を取り我が短を補はなければならない何でもや
	の	121	17	に結構なことと存じます．其れで警視庁	の	懲役場の罪人の上から調べて見ますと酒から罪を
	の	272	06	の集治監は徒刑，流刑，禁獄，及び旧法	の	懲役終身の者を集治いたしますので，島地の集治
	の	070	02	人で御坐います．これは千八百八十三年	の	調査に係つて居ります．孛漏生国の有様は斯の如
	の	124	07	図らず今度のお話しの序に僅でも其の他	の	聴衆諸君の御為めになることが御坐るならば，な
	の	229	04	十ありまして合せて七万一千五百九十七	の	町村と云ふものが有ります．其れから区と云ふも
	の	230	11	其れを近ごろ調べて見ますと例へば十五	の	町村が有つて一郡を組成し其の十五の町村が聯合
	の	230	11	五の町村が有つて一郡を組成し其の十五	の	町村が聯合して共有して居るのを郡の共有と云ふ
	の	266	10	人民に入れることで有りまする．」第二	の	懲必ホ感化部の事業は俗に監獄と申しまする所，
	の	193	11	て来て採用するやうに見えまするが天子	の	勅詔を段々と見ますとこれ皆な王政復古といふこ
	の	138	14	きも大いに効能が御坐ります．また西洋	の	著作中にも其の善きものは之を見て自ら反省する

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（の）	の	274	14	ることと致し全国の監獄は総て中央政府	の 直轄と致しました為めに大いに改良を施すことが
	の	274	16	た非常の英断を以て地方監獄を中央政府	の 直轄と定め以て大いに改良を加へました．其の二
	の	032	15	は今日「地球の位置」と言ふ題で全世界	の 地理をザットお話し申しました．節酒会を賛成す
	の	126	12	ず己れの力を疑ふことを致さずして自分	の 智力を以て総て学術に本づきたる反対論を駁つこ
	の	230	06	国を五つの海軍区に分ち各海軍区に一つ	の 鎮守府を置いてあります．其の外，裁判区山林区
	の	094	03	も土地にはいつて居るもので此の度の船	の 沈没したのはドコかと言ふに紀州沖であります．
	の	105	05	つて居りまする英国荷船ノルマントン号	の 沈没事件に付ては神戸在留の英国領事が今月の五
	の	106	12	ものと考へます．さればノルマントン号	の 沈没した為め紀海の魚腹に葬られたる我が同胞二
	の	124	06	ます．併しまた若し図らず今度のお話し	の 序に僅でも其の他の聴衆諸君の御為めになること
	の	210	11	ことなどが有ります．其れでエウロッパ	の 通俗天文のことを調べる人はショッチュウ其れ等
	の	047	17	が昔と事違ひ商売が開け工業が開け世界	の 痛痒相感ずる様な有様になりて互に利害の関係が
	の	062	06	するときは上の好む所下之に習ふは古今	の 通例なれば中以下のものは無理にも乗車して上等
	の	003	08	使ふ訳にはいかない．されば此の八時間	の 使ひ様で此の国の進歩や学力の進歩が出来て来る
	の	003	08	進歩や学力の進歩が出来て来る．八時間	の 使ひ方を智識の方便の方に使ひ過ればイヤでもオ
	の	074	09	はれるもので御坐んす．さういふ風の金	の 使ひ方を原語でＰｏｓｉｔｉｖｅＶａｌｕｅ即ち
	の	158	13	出来ないが其の雷先生が今日では電信局	の 使ひ野郎になつて銘々どもが「京都へ電信をお頼
	の	002	05	は知らないが私のはいつたのは仮名の会	の 月の部といふので其れが「かなのとも」であつた
	の	017	02	なものは居ない．して見ると我々の家来	の 月は形から大きさもよく地球に似たもので有りま
	の	205	11	有ることと思へば宜しい．Ｈａｌｌｅｙ	の 次にＥｎｃｋｅの彗星と云ふが有りますが三年と
	の	211	10	レを研究する学問によつて見ますと彗星	の 突き当る前には地球は老病で死んでしまふから非
	の	224	05	とするやうになり，少し学問気の有る者	の 作つたのは却つて見物が少ないと云ふ位で有るか
	の	146	03	とは無けれども資本の取りかへしと労力	の 儀ひはつきます．私はドッカの鼻いきを，うかゞ
	の	218	03	狭衣，取替へバヤ，住吉などの類の色々	の 作り物語が顕はれ後には栄花物語，続世継，水鏡
	の	104	11	して国威揚らざると言語通ぜずして国情	の 伝はらざるとにあることなれば啻に殺人罪の告訴
	の	059	08	皆開化の効能でありますが，これは開化	の づつと進んだ所の話しで未だ斯の如き場合に至ら
	の	274	12	が今日の文明世界に於て政府，及び学者	の 務むるところとなつて居りまする．フランスに於
	の	173	04	と嘲けり罵つて交りを絶つのが今日民間	の 常であります．我が国の人はこの恩といふ教に養
	の	184	13	とは誰も能く知つて居ることで心ある者	の 常に憂へ且恥る所で御坐ります．されば此の悪風
	の	129	15	学術はけしからぬものにして人の額に鬼	の 角を生えさせるもので御坐ります．実にをかしい
	の	129	16	御坐りませぬか．勿論，学術に於ては鬼	の 角をぬきとるの効力が御坐りませぬけれども鬼の
	の	129	17	きとるの効力が御坐りませぬけれども鬼	の 角を人の額に生えさせるものでも決して御坐りま
	の	019	13	ます，丁度鉛の玉のグルリに剣術の竹刀	の 鍔でもつけた様に見えるもので有ります．これだ
	の	181	08	坐ります．即ち一人の夫にして一人以上	の 妻を有つことを許さず妾を蓄るごときことは決し
	の	183	07	申す一夫一婦といふことは公然さへ一人	の 妻をもつて居れば内証ではドウいふことをしても
	の	184	07	通りで御坐りますが，たとひ一人で多く	の 妻を持ち又は妾を置くことはせんでも若し何時で
	の	255	13	が無いとは言はれますまい．或ひは自分	の 妻を将軍へ妾同様に売り付けて其の禄高を増して
	の	093	01	かで御坐りませう．ノルマントン号船長	の 罪を鳴らさんとせば宜しく先づ証拠蒐集に尽力す
	の	093	06	君演説諸君．私は「ノルマントン号船長	の 罪を鳴らさんとせば宜しく先づ証拠蒐集に尽力す
	の	096	12	でなければいけませぬ．我々がこれだけ	の 罪になるといふに充分なる証拠を探さずして之を
	の	178	02	と見る人は通り過ぎしならん．ネウトン	の つむりに林檎の落ちしも痛みしならんと笑ふの類
	の	018	11	地球を引きつれて居るばかりで外に地球	の ツレは無いか，地球は月といふ僕とタッタ二人づ
	の	114	05	つれば其の上には欲は無いが人類は人類	の 手で食物をこしらふると，いふことが有るから飲
	の	221	07	となり恋川春町，芝全交などの赤本作者	の 手に落ち，其れから元禄の頃より前太平記，前々
	の	002	05	のはいつたのは仮名の会の月の部といふ	の で其れが「かなのとも」であつたか，いろは会で
	の	004	11	つける様なものだが其の蟻も目のさめた	の では無い眠つて居る蟻である．だが其の蟻は字を
	の	014	16	の中心まで何里あると云ふことを調べる	の で有ります．「ドウして其れが知れるだらう，物
	の	018	02	来ないまでで皆間接に太陽から来て居る	の で有ります，こゝに燭しますラムプも，そこでた
	の	018	04	りますストーヴも皆太陽がたいてくれる	の で有ります．又我々が手を動かすも足を動かすも
	の	018	04	も足を動かすも皆太陽が動かしてくれる	の で有ります．此のことはこの理医学講談会に続い
	の	023	10	をこゝへ持つて来ることが出来なかつた	の で有ります．実に此の世界は広いもの（此の世界
	の	023	13	が言ひたいから一万里を小さいと言つた	の では無い，海王星の距離などに比べると実に言ふ
	の	023	14	に言ふに足らぬ位だから小さいと言つた	の で有ります．其れでは太陽からして海王星までの
	の	025	10	いので眼で見て小さいのが果して小さい	の で有るかドウか分らない．家根の上から下をある
	の	028	01	ら数多の星の中で大きく見ゆるのは近い	の で，小さく見ゆるのは遠いのだと思へば平均の上
	の	029	14	は乳をこぼした様で有るからさう言つた	の で有ります，支那では「銀河」と言ひます，銀に
	の	032	11	話ししましたのは地理書の先きを言つた	の で地理書は地球の中の事を調べる学問で私は地球
	の	032	12	調べる学問で私は地球の外へ出て言つた	の で有ります．これだけでは実は余り面白くない．
	の	036	10	へると言つても決して吝嗇になるといふ	の では無い，エコノミーの大主義でよくためて，よ
	の	037	07	一つの統御の権を受けて居るものを云ふ	の で他の言葉で申せばネーション即ち国民と云ふこ
	の	038	16	蛮の社会などで誰も斯く為さむと思ふた	の では無からうが自然其れに相応した術が起り其の
	の	040	07	其の様な社会では男女共同の方が正しい	の で若し一人の夫が一人の女房をもつと却りて道に
	の	040	15	も云ふべき者が却りて賞められ貴ばれた	の で其れに反して今日から見れば善人とも云ふべき
	の	052	08	ことでも歴史でもモロコシの字を用ひた	の で無ければ横文字の書物より外は無いから英書か

代表形	判	ページ	行	出現文脈	
(の)	の	052	17	て来て一筆啓上といふ様な文体になつた	ので漢文で公文を書いたのが流れて来たので御坐り
	の	052	17	ので漢文で公文を書いたのが流れて来た	ので御坐ります．其の間に平仮名を使つたのは草紙
	の	055	11	この自分の持論を述べて諸君に伺ひます	ので御坐ります．半開化は衛生の害明治十九年六月
	の	060	07	し休日に休むといふことを強ち悪く言ふ	のではありませぬが斯の如く贅沢を行ふ人がドウい
	の	070	07	坐います，これはシッカリと調べました	ので御座います．而して孛漏生と日本との人口を比
	の	075	10	故に医者に頼んで全くモトの身体にする	のである．権利を失はむとする故に法律家に頼んで
	の	076	03	いふのはこれは事業上の性質から論ずる	ので徹頭徹尾違ふといふ訳では御坐んせぬ．其の訳
	の	076	13	右の通りになるといふことを申しました	ので御坐んす．さて私が考へて見ますに利を興すと
	の	077	02	錯雑を致します．害を除くのが利を興す	のであり利を興すのが害を除くのである様のことが
	の	077	02	利を興すのであり利を興すのが害を除く	のである様のことが社会の事柄の多分を占めて居る
	の	079	12	は諸君各々が自ら進歩することの出来る	ので御坐ります．けれども人間の進歩と云ふものは
	の	084	15	歩が或は後れて居たか或は全く滞止した	のでありました．何れの国においても其の総体の進
	の	087	01	教ゆる為めに基督教は即ち世に下された	ので御坐ります．基督教は丁度これ等の貴きものに
	の	087	14	の聖書なりと云ふ明らかな返答が出来る	ので御坐ります．この故に既に申し上げた通りこの
	の	091	14	の艱難に遭ひ遂に己れが貴い血を流した	ので御坐ります．申すも憚り有る様なれども私は年
	の	098	12	が不注意の為めである否な故意に出でた	のであるとありては我々の悲しみは変じて憤怒とな
	の	101	06	何なるか．日本の国情が外国に通じない	のである．これが矢張り彼等より軽侮軽蔑を受くる
	の	102	17	ントン号事件の起るべき大原因となつた	のであらうと考へる．若し果して然るなれば此の大
	の	103	07	現はしたのは矢張り信仰心の然らしめた	のである．即ち弁慶が天台の宗旨を信仰し清正が法
	の	103	09	固く信じて疑はず百折不撓の精神が出る	のでありませう．皆な宗教信仰の深き故であります
	の	103	17	る方便は何かといへば英語を盛んにする	のであります．前段にも申したるが如く日本人は浮
	の	104	07	語を以て演説すれば我々の目的は達する	のであります．之を要するにノルマントンの事件は
	の	121	14	ところが（尤も，これは私の事で尋ねた	のでは無いが）警視庁では随分其の事を調べて居て
	の	123	10	る訳にはいくまいかと云ふ御相談を致す	ので有ります．然るべくは此の次ぎの会の問題にで
	の	126	15	名なる学者に勝つことが出来ようと思ふ	ので御坐ります．箇様な者の勇気は感心なものだか
	の	129	14	き論によつて基督教が遂に滅びてしまふ	のでは有るまいか」と云ふ．箇様な臆病な人の思ふ
	の	133	17	になつたやうに，まるで変つて来ました	ので御坐る．昔は極軽い事柄をも，かの人に任せる
	の	134	02	せて置きます．そこで私が基督教を見た	ので有ります」と答へました．只今説きまする仕方
	の	143	12	のだと申しますが私は斯様なものを貴ぶ	のでは有りません，斯様なものは之を擯斥する積り
	の	147	11	れだけのものであるといふことを調べる	のであるが其の事実は何から調べるかといふと政治
	の	151	01	関を要する道具に関係の法律規則を言ふ	のであります．故に行政法の原則は憲法の中にある
	の	156	01	，社会学，史学，文学まだ此の外にある	ので，ごすけれども先づ此の通り聞きました．此の
	の	156	14	，これはコペルニカスといふ人が考へた	ので其の人は天文を骨を折つて見たが日蝕や月蝕が
	の	165	05	日は総集会で御坐りますが祝詞は皆さん	のでモウ充分だから私は別に述べませぬ．私が今日
	の	168	10	の人心が俄に騒ぎたつたの騒ぎたゝない	のでは無い大変な狼狽を始めて日本を焦土としても
	の	170	07	行き亜米利加へ行く者の方は人に頼つた	ので無く全く自発して行くのでありませう，富貴の
	の	170	07	は人に頼つたので無く全く自発して行く	のでありませう，富貴の働きの方には限りがありま
	の	175	07	づかしいことも，やりとげやうと，いふ	ので額に汗を流して骨も折る．家族でも子がみな死
	の	176	04	移住出稼ぎは日本帝国を広く大きくする	ので，あれば本国なる日本帝国も広く大きくなるに
	の	181	05	すが何故にキリスト教には此の力がある	ので御坐りますか．キリスト教にはドウいふ真理が
	の	181	06	ドウいふ真理があつて其の改革が出来る	ので御坐りますか．私の考へではキリスト教に此の
	の	190	03	府である．これも法律規則の執行を為す	ので，行政府と政府の区別を一と口に云ふと政府は
	の	190	06	は執行権者がドコまでも裁判するといふ	ので御座んするけれども，さう手が届かない．また
	の	i91	06	，其れから裁判をするの力とかう申した	ので権力即ち大権といふものが三つあるとも，また
	の	191	07	，また二つあるとも云ふことを論定した	のでも無い．モンテスキューの説を読んで見まして
	の	196	15	るやうです，（尤も実は朝，太陽が出る	のでは無くつて太陽の出るのが朝なので有りますけ
	の	196	15	出るのでは無くつて太陽の出るのが朝な	ので有りますけれど）．故に彗星はドンナ所から出
	の	199	13	うには見ゆるが事によつたら楕円の長い	のでは無からうかと云ふ考へがＮｅｗｔｏｎの頭に
	の	200	13	，ひつこんで，また女になつて出て来る	ので始めて芝居を見る者などには同じ団十郎でも見
	の	201	13	其の通りのことが彗星の身の上にも有る	ので有ります．彗星が太陽のソバを離れて来ると一
	の	205	04	も前のことを証拠に引いて，こはがつた	ので有りますが，其れは彗星が出た為めに災が有る
	の	205	04	すが，其れは彗星が出た為めに災が有る	ので無く人間社会には災が絶えずに有るので有りま
	の	205	05	ので無く人間社会には災が絶えずに有る	ので有ります．近頃，望遠鏡の発明が有りましてか
	の	206	07	が今日まで一番大きな道をあるいて居る	ので有ります．其の後発見しましたのはＥｎｃｋｅ
	の	206	08	円を書いてＨａｌｌｅｙのよりも小さい	ので有ります．其れからして，この外にイクラも有
	の	207	17	るとＢｉｅｌａの彗星は失せてしまつた	のでは無く，化けて流星になつたものと見えます．
	の	210	05	本人が利口で取り合はないからだと云ふ	のでは無く，マルデ訳が分らないから騒がないのか
	の	212	01	りました，其れが彗星の尾の中に居つた	ので有ります．また彗星の頭のコナゴナの中は地球
	の	218	13	では無くて人情の方を専らとして書いた	ので有るからドレにも男女の間がらのことが多い．
	の	229	06	きな所を郡より引きはなして区と定める	ので例へば東京市街を一つの区としてドコの郡にも
	の	231	04	ふので行政官と云ふものをお使ひなさる	ので御坐んすから行政官は総て執行権に隷属するも
	の	232	08	しなくても宜いとの考へは間違つて居る	ので，諮問すると云ふのは議定させるで無く諮問す
	の	232	09	けの意味で，諮問しなくても宜いと云ふ	のでは学問上，決して御坐いますまい．諮問もせず

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
(の)	の	234	13	なれども当り前のことは日本語で学べる	の	で無ければならない．エウロッパの昔もギリシャ
	の	236	15	なども西洋学をした為めに災にかゝつた	の	で有つた．其の外，西洋学をした為めに藩を逐は
	の	237	01	イクサの為めにしなければならぬと云ふ	の	で有つたが其れを取るだけで其の外に学ぶべきこ
	の	237	06	して自分の利を図る為めに西洋学を学ぶ	の	で無くて西洋のことを学べば自分の身を害するこ
	の	240	12	は○○君之を知りたる訳にして私が知る	の	では有りませぬ．故に○○君の許可なくしては他
	の	245	04	て普通の罪人，即ち常事犯のことを申す	の	で有りまする．此の他，行政権に於て関係いたし
	の	246	05	訳では決して無い．則ち其の所行が悪い	の	で有るから其の罪を悪んで其の人を悪まずと云ふ
	の	247	14	獄の苦みを受けると云ふことを分らせる	の	で有りまする．たゞ道理を講釈するだけでは分ら
	の	248	03	から斯くの如く現在，地獄の責めに遇ふ	の	である」と云ふので心を改め，遂に刑期が終つて
	の	248	05	出まするど，モトの善良なる人間になる	の	で有りまする．然るを監獄に這入りましてからは
	の	248	07	其の宜しきを得ざると云ふことに基づく	の	で有りませう．前に申しました所が則ち監獄の目
	の	249	01	むを得ず未決監と申すところに留め置く	の	で有りまする．よつて未決者は至つて丁寧に取り
	の	255	02	昔の牢番人が悪かつたので，監獄が悪い	の	では決して有りませぬ．今でも「あれは監獄の役
	の	264	08	の部に於ては未決者を一時監禁しておく	の	で有りまする．第四は出獄人授業部と申しまして
	の	267	10	旋して通常の雇人と致すことに尽力する	の	で有りまする．此の部の事業は最も大切なること
	の	267	16	其の極宜しい所だけを引き抜いて申した	の	で有りまするから此の方法を参考して実際の事業
	の	272	15	務大臣は単に之を監督することに止まる	の	でありまする．さて，これよりは明治十七年十二
	の	274	11	てオロソカにすることは出来ないと云ふ	の	で監獄改良と云ふ事柄が今日の文明世界に於て政
	の	276	04	して善良なる人民にしてやりたいと云ふ	の	で暫くの間，其の自由を剝ぐと云ふことにきめた
	の	276	05	間，其の自由を剝ぐと云ふことにきめた	の	で有りまする．故に維新前は棒罰と云ふ主義であ
	の	278	08	本論は専ら監獄全体に係る事柄を述べた	の	で有りまするから細密なる点にまでは及びませぬ
	の	195	05	御記臆で御坐りませうが，これは朝，日	の	出ます前に，東に当つて出ましたので，ドコの国
	の	195	07	地方に旅を致して居りましたが，朝，日	の	出ます前にあるかなければならない用事が有りま
	の	205	01	のやうにこはがつた訳と云ふものは彗星	の	出ました度ごとにドコかに何か災の無いことは無
	の	205	02	災の無いことは無いから，この前に彗星	の	出た時にはかう云ふことが有つた，イツ彗星の出
	の	205	03	時にはかう云ふことが有つた，イツ彗星	の	出た時はかう云ふ災が有つたと，イツでも前のこ
	の	205	06	有りましてから少くも一年三度位，彗星	の	出ない時は有りません，チョットして何公が死ん
	の	219	04	づ便りを求めて公然と文をやり其の返書	の	体や歌のヨシアシなどを考へて気に入れば云ひよ
	の	219	05	入れば云ひより，また女の方でも男の文	の	体や風聞によつて，ゆかしくも，きらはしくも思
	の	147	02	明治二十年二月十二日スタチスチック社	の	定期講談会東京九段坂下靖国神社附属地内東京統
	の	188	02	明治二十年三月十二日スタチスチック社	の	定期講談会東京九段坂下靖国神社附属地内東京統
	の	226	02	明治二十年五月十四日スタチスチック社	の	定期講談会東京九段坂下靖国神社附属地内東京統
	の	151	08	役場の書記も官吏です．併しこれは文字	の	定義のお話しです．第二は此の公法の原則，即ち
	の	210	01	んで居ないのも其の辺で有ります．昨日	の	定説も今日はすたり，今日，可とせし説も明日は
	の	164	11	入り遂に実を吐き相告げ並に詢ふに前進	の	程途を以てす．なんぞぞ意はん英将，便に乗じ衣
	の	176	12	其の行く先きの地名を記し，其れが一時	の	出稼ぎであるか永住であるかといふことを記し，
	の	053	15	みる」といふ様に教へ其れで年始暑寒用	の	手紙といふ様なものを書くことを教へて，どれほ
	の	130	07	手より出て来るものだから学術が基督教	の	敵になり或は基督教が学術を滅ぼし或はまた学術
	の	132	06	まで此の聖書の効力を滅ぼさうと思ふ所	の	敵が多う御坐りましたけれども，かの敵の色々の
	の	132	08	らぬもので御坐りました．これ等の色々	の	敵は既に久しき以前に世を去りましたもので御坐
	の	179	13	来キリスト教は正理自由の友で無理圧制	の	敵で御坐ります．故にキリスト教は何処に往ても
	の	017	07	距離の様にやさしくは有りませぬが測量	の	出来ないことは有りませぬ．今日の所でも三千七
	の	020	01	ししました星の中で一番我々のよく観測	の	出来ます星は火星即ち螢＊惑星で有ります．矢張
	の	043	09	雷でも何でも総て人間の力で制すること	の	出来ぬものが神様となりて居るのぢゃ．然るに進
	の	047	09	社会を拵へる様にしたいものぢゃ．其れ	の	出来ぬのを歎息するのが歎息の順序で其の後に猶
	の	096	07	得られさうなものであるに之を救ふこと	の	出来なかつたのは恐らくは怠つたものであらうと
	の	101	04	日本人は索撒人種の如く長く耐へること	の	出来ないといふのが，これぞ日本人が外国人から
	の	141	16	とひ学問は有つても其れを運用すること	の	出来ぬものも有ります．斯る先生では本当の小説
	の	142	11	らねばなりませんが源氏物語や枕の草子	の	出来た頃は未だ小説が盛んであつたとは云へませ
	の	143	16	でもありませんが随分人の前で読むこと	の	出来ぬ奴があります．併しこれ等は小説の末の余
	の	163	04	かつたらう．信長の大業を成就すること	の	出来なかつたのは色々訳も有るだらうが論より証
	の	177	06	ることは明かに知れます．この常と変と	の	出来工合を明かに調べた上は将来，我が国の人心
	の	206	13	御坐りませう．其れは丁度サトイモに子	の	出来たやうな塩梅で親子づれで段々遠方にいつて
	の	212	07	測が出来ず，行かうと云つても行くこと	の	出来ないで，これまで知れなかつたものを知るこ
	の	217	01	中，竹取物語が始めで源氏物語にも物語	の	出来始の親と記して有ります．其の作者は分りま
	の	269	16	十二歳より十六歳までの間が一番，間違	の	出来やすい時で有るものと見えます，故に人の父
	の	013	06	ふに此の位の距離は僅かの間に通ること	の	出来るものです．昔はさうでは有りませぬが今日
	の	017	06	ます．太陽は距離を精密に測量すること	の	出来るものの中にはいつて居ます．併し月の距離
	の	021	04	不思議で有ります．全く動物植物の生活	の	出来るのは空気が有つたり水が有つたり其の外の
	の	022	16	位の球で同し親類と看做せば看做すこと	の	出来るもので有ります．火星から木星に移る間に
	の	046	02	で有りながら一方の人間を処罰すること	の	出来る法則は誰が立てたことか．これは社会の為
	の	068	11	ます．通例学漏生に於て学生となること	の	出来るものは年令満十八歳にして中学の予備科を
	の	079	12	難いことは諸君各々が自ら進歩すること	の	出来るので御坐ります．けれども人間の進歩と云

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（の）	の	124	16	師の仕事は皆残らず順風に助けられて楽	の 出来るものでは御坐りませぬ．逆風に妨げられる
	の	151	12	ヌでこれは財産を所有し負債を起すこと	の 出来るものが無形人であります．即ち日本では府
	の	235	04	き盛大な有様になつて今日の如き卒業生	の 出来ることとなつたは実に祝すべきことで有りま
	の	157	05	いふものに差支が起るからコペルニカス	の 弟子のガリレオをつかまへ「おのれは太い奴だ」
	の	024	02	い，皆太陽から仕送りをして貰つて居る	の です．例へば太陽は一軒の主であつて，あとのも
	の	029	01	と果して我々の太陽系は外にツレがある	の です．色々な星の中に二つ以上組み合つてある星
	の	029	06	が分ります．其の同士は非常に沢山ある	の ですから太陽系みた様なものは天の中に沢山あり
	の	054	14	道は我が国では孝経をたのみにして居る	の ですが漢字が無くなると孝経がなくなる．其の時
	の	062	07	も乗車して上等社会をまねる様になつた	の です．第二は身体運動は衛生上に必要なものと云
	の	076	17	ことも御坐んせうが其の間，髪を容れぬ	の です．右のＭａｃｌｅｏｄ氏の如く積極消極と限
	の	149	14	所の味噌のことまで関係して居るといふ	の ですが先づ世間公けのことに関することであれば
	の	151	01	す．故に行政法の原則は憲法の中にある	の です．併し斯の如く行政法の範囲を定めると至つ
	の	151	11	行政上の法律規則で行はれるやうにする	の です．第三は無形人即ちモーラル，ペルソンヌで
	の	153	06	これは省くとかいふのは行政法で定める	の です．また憲法では宗教自由（耶蘇教でもモルモ
	の	153	09	か伯爵だとか，いふのは行政法で定める	の です．其れから人民の所有権は侵すべからざるも
	の	190	01	人で御坐んすが其の中に三つの者がある	の です．即ち第一には政府といふものが一国の政治
	の	190	15	ふものにしろドチラも同一の裁判である	の です．たゞ其の違ふ所は行政裁判では行政上に関
	の	192	02	のが今日の有様即ち昔からの有様である	の です．立法権は誰に在るかといふと天皇陛下に在
	の	194	01	ふのは其の時々の経験に本づいて，やる	の ですから御趣意は一向変つて居らない．斯の如く
	の	194	05	たが順序の為めに申し上げて，おきます	の です．彗星の話明治十八年十月十六日理医学講談
	の	201	07	少し違つて，これは天地間の自然にある	の です．これはムツカシク言へばキリは有りません
	の	204	17	遠方から戻つて来たまでのことで有つた	の です．地球と同じやうなもので有るのに，あのや
	の	211	12	星の中へ頭を突こんだことが現に有つた	の です．尤も僅の間では有りますが現にアリアリと
	の	228	13	いが，たゞ大いなる市街が無い所を云ふ	の です．郡と云ふものは明治十八年十二月三十一日
	の	229	13	町，即ち市街のものを区長と名づけます	の ですから，戸長を人民で撰挙するときには，区長
	の	231	03	リ天皇陛下御一人でおやりなされば宜い	の ですが，さうは御手が届かないと云ふので行政官
	の	231	06	，また施政は，一人，議政は数人でやる	の です．之を四段に分けまして上から言ひますと，
	の	231	11	．議政は総て二つ以上の頭を集めてやる	の です．各省の大臣は施政者で有るから一人です．
	の	252	15	るに未丁年の者はまだ教育最中であつた	の ですから此奴には教育も与へなければならない．
	の	080	11	の改正改革と云ふものに付ても此の三つ	の 手続きが御坐ります．一つの仕方は人の総ての悪
	の	130	09	誠に拙き論で御坐ります．学術と宗教と	の 出所は一つのもので有る故に必ずドコまでも互に
	の	227	17	者でも無く，また管轄権を有つて居つた	の でも無い．諸侯の一つで丁度，列国の一国主が其
	の	053	04	ん」と言つても本を版にすることだか船	の 出るのだか分らない．其れと同じ理屈で「しぶん
	の	196	15	実は朝，太陽が出るのでは無くつて太陽	の 出るのが朝なので有りますけれど）．故に彗星は
	の	205	08	丁度同じ位なもの故，イツもイツも彗星	の 出る度ごとに災が有ると云つて，こはがつたもの
	の	208	07	ホド易い．大抵の人が時計を持つて汽車	の 出る時に時計を見，汽車の止る時に時計を見て，
	の	156	12	をかしい．地が回るとなると天が円いだ	の 天が回るのとは言はれない．地が一昼夜の間にグ
	の	015	05	月とありますに地球の表面に於て二個所	の 点を取りまして先づ精密に其の距離を測りまして
	の	044	04	りては直に元の通りになるから全く反対	の 点まで持て参らねばならぬことぢゃが其れと同じ
	の	044	07	るＡｂｓｏｌｕｔｅｎｅｃｅｓｓｉｔｙ	の 点は越えて居ることぢゃ．然るに法は大いにヒカ
	の	060	08	来てドウいふ働きをするかと云ふに芸術	の 点に至つては誠にハヤお恥かしき次第にて仮名つ
	の	076	01	も宜しう御坐んせう．是れ等が則ち必要	の 点は同一にして必要なる所以の点に至つては同一
	の	076	01	則ち必要の点は同一にして必要なる所以	の 点に至つては同一で無いといふもので御坐んす．
	の	241	04	ことと致さなければなりませぬ．所有権	の 点に於ては無論，言ふを得られぬものと存ぜられ
	の	261	02	人に知らしめざること．これは貧民救助	の 点，即ち慈恵の点に於て誠に必要の点で有らうと
	の	261	03	ること．これは貧民救助の点，即ち慈恵	の 点に於て誠に必要の点で有らうと思ひます．其の
	の	261	03	救助の点，即ち慈恵の点に於て誠に必要	の 点で有らうと思ひます．其の方法は異名又は番号
	の	275	10	へました．其の後，内務省に於て各府県	の 典獄，即ち監獄長を集めまして典獄会議を開かれ
	の	157	03	いふから実に強気なものさネ．西洋各国	の 天子様が羅馬法皇の御免許を受けないと天子様に
	の	214	03	馬琴や種彦でさへ傍ら狂歌師や川柳前句	の 点者などをしたもので馬琴などは初めの中は和漢
	の	024	06	ます．これは近頃亜米利加のワシントン	の 天象台の教師ＡｓａｐｈＨａｌｌと言ふ人が発見
	の	205	17	Ｅｎｃｋｅの彗星と云ふのはマルセイユ	の 天象台の門番のＰｏｎｓと云ふ人が肉眼で見出し
	の	130	04	せぬ．基督教は則ち造物主の御心と人間	の 天然の性質に基いたもので有ります．故に実に固
	の	211	16	せんだつたが其の時にヒトリ，イギリス	の 天文学者が夜あかしをして居つた所，何だか天が
	の	007	02	とだの支那流の道徳だの礼式だの品行だ	の といふものが今日盛になつて来るばかり．其れだ
	の	035	07	なものは所謂る智慧が徳利の中にはいる	の と，よく事実に合ふことで有りませう．それで酒
	の	040	02	は徳義の人では無かりた．盗賊を賞する	の と同じことで何でも強いのが徳義で有りたと見え
	の	040	05	たゞ禽獣同様に（こゝらに犬や猫が居る	の と同し様に）男女同居してゆくだけで有りたが少
	の	041	16	那の君臣父子夫婦と云ふことなどは西洋	の とは甚だしく違ふて居る．支那では上の方に十分
	の	117	10	す．すべて会を設けてすると一人でする	の とは違ひますから会を立てて約したことが有ると
	の	118	02	，一人で孤立して守ると人と約束をする	の とは約束をした方が固くなるわけゆゑ此の節酒会
	の	122	10	た．其の外御承知の通り卒中だの中風だ	の と云ふ病を起したり発狂したり夫婦の間に不和を
	の	141	06	問が無いと不品行とに因り且卓見が無い	の と小説の本意と言ふものを知らずして之を進歩せ

代表形	判	ページ	行	出現文脈	
（の）	の	156	12	地が回るとなると天が円いだの天が回る	のとは言はれない．地が一昼夜の間にグルリと回つ
	の	168	05	が成長したり智慧も段々と開けたりする	のと同じやうなもので，これは当り前なことで若し
	の	169	14	ありますまい．我が国人の欧羅巴に行く	のと亜米利加に行くのとは其の目的が違つて居るや
	の	169	14	国人の欧羅巴に行くのと亜米利加に行く	ののとは其の目的が違つて居るやうに見えます．欧羅
	の	200	09	はば人相書のやうなものが有らうから先	のと今度のと其の形ちを比べれば直に分る筈ぢゃ，
	の	200	09	書のやうなものが有らうから先のと今度	のと其の形ちを比べれば直に分る筈ぢゃ，何も面倒
	の	201	07	云つても小学校の子供がミチグサをくふ	のとは少し違つて，これは天地間の自然にあるので
	の	203	14	過ぎると同じ太陽が同じ所に戻つて来る	のと同じことで有るから，何もこはい因縁が有りま
	の	216	14	れから我が国に古く霊異記だの感霊録だ	のと云ふ仏法の霊験を書物に著したものの中には小
	の	217	14	たかと云ふに仏経に提婆品だの普門品だ	のと云ふ品目を立てたのに拠つたもので有りませう
	の	223	05	めました．これは念仏踊だのヤヽ子踊だ	のと云ふ踊の間に，お国は男の姿に出たち夫の三左
	の	224	01	，其れゆゑ近松門左衛門だの竹田出雲だ	のと云ふ名人の浄瑠璃作者が出て世間の人気が人形
	の	237	14	の学生が骨を折つて勉強されても昔の人	のと比べて見れば何でも無いことで骨の折りよい所
	の	252	13	危険でありまするのが一つの理由である	のと，また監獄に這入つて居りまする者は丁年以上
	の	254	06	す．また第二の資金なき者と云ふのは前	のと同様でありまして第三の仕事を知らざる者も，
	の	267	03	れて置きまする目的は逃走の虞れが有る	のと証拠の湮滅する虞れがあるので起るもので有り
	の	040	10	とが，まるでウラハラで有る．其の開け	のの度に応して道徳善悪が定まることで其れで無けれ
	の	058	08	らぬが併し物は一利一害で開化も亦開化	の度に依つて種々のよしあしが御坐います．試みに
	の	073	12	同一のもので御坐んす．而して其の必要	の度は同一では御坐んすが必要なる所以は如何と言
	の	173	08	親しんだなら其の親和力は実にドコまで	の度合ひに及ぶか定めて，うまい味ひがあらうと思
	の	253	08	，懲戒の三事を施します．尤も其の不良	の度合ひに応じて右各科目の多少をきめることで有
	の	270	04	，前に申した八千四百十四人の者の教育	の度合ひを其の入院の時に調べましたのを見まする
	の	172	07	の条約を立てたこと条約改正の議に第一	の同意者となつたことなどであります．尤も条約改
	の	172	08	などであります．尤も条約改正に第一	の同意者となつたと，いふことは風聞ですから，よ
	の	037	07	に云ふのは若干の人民が共に合して一つ	ノの統御の権を受けて居るものを云ふので他の言葉で
	の	247	15	分らない位な者で有りますから此の外部	の道具じかけを用ふることと致します．其の第二は
	の	262	07	りました．故に今日の監獄は決して復讐	の道具などと云ふものでは有りませぬ．全く罪人を
	の	069	08	ｎｄａｒの数も千八百七十五年七月一日	の統計には千九百八十三人で御坐いましたが千八百
	の	218	15	大かたは源氏の君や其の他の人々の平日	ノの動作言行を記して其の間に時々の景色と歌とを交
	の	261	12	如きものの管轄と致し，生れて未だ身体	の動作も充分ならざる子供の部分に属しまする貧民
	の	018	13	調べなければならない．然るに近頃地球	の同士が沢山あるといふことが発見になりました，
	の	018	14	いふことが発見になりました，其の地球	の同士は学者は其れを惑星と名づけまする．いくら
	の	029	05	ことが察せられます．そこで我々の太陽	ノの同士が即ち此の星と云ふもので有るといふことが
	の	060	16	張り子の虎とダイヤモンドを出して三歳	の童子に示さば童子は必ずダイヤモンドを捨て張り
	の	061	04	ふときは半開化人の好むものは恰も三歳	ノの童子が物品を撰ぶと同じことで，たヾチョット見
	の	007	04	ことを請ふを競ふ世の中．なかなか漢字	ノの貴いことを知つては居やうが不便なことを知つて
	の	079	06	ふ主意で御坐ります．人たるものは種々	の貴い性質の中に必ず只今弁ずる所の進歩すると云
	の	090	02	教を能く心得たる人には目的が無く己れ	の貴いゆくさきを知らずと云ふことが御坐りませぬ
	の	117	06	用を破つては済まないといふのが人類的	ノの貴い欲で有ります．此の会が有つてお互ひに約束
	の	087	01	たので御坐ります．基督教は丁度これ等	ノの貴きものに付て人の心を照す為めに万民の中に設
	の	007	02	，はやって来て字を書くことだの支那流	ノの道徳だの礼式だの品行だのといふものが今日盛に
	の	041	06	たならば其の社会は立ちはせぬ．其の時	ノの道徳は其の時に適せねばならぬ，開けぬ時は開け
	の	041	14	は右申した如く野蛮の時に在りては今日	ノの道徳と全く違ふて居るし又開けて来た後でも今の
	の	044	14	を害して居ることぢゃが其れが実は支那	ノの道徳にかなふて居るものと思はれる．其れぢゃか
	の	083	08	も随分明らかに御坐りますけれども本当	ノの道徳を知らず道徳の進歩いたさずして居るに由つ
	の	130	03	もので有ります．イヽエ基督教と基督教	ノの道徳法の基は決して弱きものでは御坐りませぬ．
	の	130	16	具へて居る大空と人の霊魂の中に住む所	ノの道徳法で御坐ります」と．実に面白いお話しで御
	の	131	01	ませぬ．また人間の心に植えられたる所	ノの道徳の法も人の色々の浅ましい論によつて容易に
	の	138	15	て自ら反省することもあれば随つて社会	ノの道徳を改良することも出来まする．政治小説には
	の	145	08	り段々其の事業を拡張したなら遂に社会	の道徳を助ける様にもなり風俗を直し政治を改良す
	の	255	05	オカッピキと申す者が有つてムヤミに人	の道徳内の悪事までも探索して之を持ち出しました
	の	017	01	るかも知れませぬから事によつたら下等	ノの動物位は居るかも知れませぬ．けれども我々みた
	の	079	07	間は進歩する動物で御坐ります．世の中	の動物は数へも尽すことが出来ぬ程なれども進歩と
	の	114	03	出来ないものなれど人類といふものは他	の動物よりは違つて居るものだから其の人類が他の
	の	114	03	りは違つて居るものだから其の人類が他	の動物の通りでは言訳が無い．他の動物は却つて自
	の	114	04	類が他の動物の通りでは言訳が無い．他	ノの動物は却つて自然のものを食して腹が満つれば其
	の	114	06	ものが出来ると其れだけに飲食の欲も他	ノの動物より煩んになるのに其れを節することが出来
	の	114	07	れを節することが出来ないといふては他	ノの動物に対して言訳の無いやうな話しで有ります．
	の	114	09	訳の無いやうな話しで有ります．また他	ノの動物は命が惜いといふことは一と通りは知つて居
	の	114	13	人類的の欲と言つて，飲食の欲の方は他	ノの動物にも人類にも通じて有るから動物的の欲と言
	の	115	07	ものは其れを節するやうにしなければ他	ノの動物に対しても言訳が無いで有るまいか．今，言
	の	115	11	ば，ならないといふことで有ります．他	ノの動物は酒を飲まないが人類は酒を飲む．然るに人
	の	100	09	うと思はれます．畢竟するに二十有余名	の同胞は羅馬人の如く尊敬されざるは勿論，英人の

代表形	判	ページ	行		出現文脈
(の)	の	105	06	渡しました判決に付て或る論者は「我々	の 同胞二十五名を彼の一件に付て失つた，此の事に
	の	109	11	といふことは御坐りますまい．既に三人	の 同胞は端艇を下すことに尽力して居つたといふこ
	の	034	08	こととといふものは皆このシビリザション	の 道理によつて分るもので有ります．然る他にかの
	の	090	05	ので御坐ります．若し人が知識浅く天地	の 道理に疎いならば迚も進歩することが出来ませぬ
	の	127	07	を論ぜず色々の外の隙に移りて天地の間	の 道理を広く論ずる間には，なみの人の如くに色々
	の	131	11	ドコまでも基督教と学術との関係の本当	の 道理は分ることが出来ませぬ．其の両方の論を読
	の	132	10	ふのに人の色々の間違ひを駁つよりも真	の 道理を設ける方が余程よいもので御坐ります．若
	の	134	10	べし」と．この言葉は人々皆承知する所	の 道理に善く適ひたるものでは御坐りませぬか．原
	の	165	16	があつて人間の自由や同等権利など一偏	の 道理を説く学派もあり，神は造物内にもあれば人
	の	166	03	出来たといふ学派もあつて其の学派学派	の 道理はいづれも奥の深きことにて，この様なるア
	の	166	11	のは事実の穿鑿をしない．たゞ考への上	の 道理を以て事実を見下す仕方だからモノゴトに，
	の	166	13	から道理を見上げる仕方だからモノゴト	の 道理がタシカで「ハゝアなるほど，かういふ訳だ
	の	169	02	係の無い証拠で東漸とは形ちばかりで何	の 道理も無いものと見えます．丁度この時分に我が
	の	173	14	りませぬ．併しながら我が国人は，世界	の 道理に従ふと人の移住の権利といふものがあると
	の	175	16	国人は「人は地球の寄生物」といふ人間	の 道理に随つてドコへでも出稼ぎし移住して居るか
	の	016	08	きさも大分違ひますが兎も角も月は地球	の 党類には違ひないです．党類で有るのみならず地
	の	017	02	に似たもので有りますが其の表面に我々	の 党類は住つて居ない，申さば明き家みた様なもの
	の	025	08	ります）学者の眼から見ると惑星が地球	の 党類で有ると同様に星が太陽の党類では有るまい
	の	025	08	星が地球の党類で有ると同様に星が太陽	の 党類では有るまいかと考へます．併し素人は其れ
	の	241	05	ます．尤も私の巡閲したる途中で福島県	の 道路が善かつたとか，宮城県の旅宿の取扱が丁寧
	の	028	03	比較して段々と距離の比例を取ると非常	の 遠くに居ます星が有ります．今のαCentau
	の	002	07	に私は別にこれぞといふ考へも無く，昔	の 通りに仮名違ひをして見ようといふ仮名組だから
	の	005	04	し支那人を相手にするといふ様なら支那	の 通りにやられてしまはなければならない．其れだ
	の	005	11	くらクルベーでも構はない．支那の今日	の 通りになつたのは当り前．我が国にも二十年ほど
	の	015	07	から先きは地球の上で或る距離を測る時	の 通りに例の角度で月までの距離を測り出します．
	の	022	06	ます．そんな大きな数を持ち出しても例	の 通り見当が分り兼ねますから鎌形を以て解き明し
	の	034	02	息して居ることで有ります．一体御承知	の 通り酒と申すものはナルコチカと言つて麻酔の効
	の	044	04	と云ふには真直にしたばかりては直に元	の 通りになるから全く反対の点まで持て参らねばな
	の	059	07	が陸軍や海軍で兵士の食物を改良し空気	の 通暢を善くし衛生に注意せらるゝので兵士の病気
	の	076	13	の学科の学術上の性質から論じまして右	の 通りになるといふことを申しましたので御坐んす
	の	083	06	ば隣りの支那で御坐ります．諸君御案内	の 通り支那では昔より儒学が能く開けて居りました
	の	107	09	考へます．英国の法律には諸君の御承知	の 通り成文法と不文法とありますが今其の不文法に
	の	114	04	つて居るものだから其の人類が他の動物	の 通りでは言訳が無い．他の動物は却つて自然のも
	の	119	17	密の流行病を生ずるもので有つて御承知	の 通り流行病には疱瘡，コレラ，チフスなどと云ふ
	の	122	10	と云ふことで有りました．其の外御承知	の 通り卒中だの中風だのと云ふ病を起したり発狂し
	の	139	09	ンかセクスピヤだと申しまする．御承知	の 通りセクスピヤは彼の芝居を書きましたる人なる
	の	148	05	であるとかきめるので土地ばかりでも右	の 通りですが人員の部に付ても人員調査のことなど
	の	159	03	ない．教法の極点といふと教法は御承知	の 通り西洋にバイブルコーランと言つて仏者が仏経
	の	207	06	た話しに枝がさきますが，諸君の御存じ	の 通りイツでもあることだが殊に秋の頃，星が天の
	の	209	10	いもので三年前に見えましたのも御存じ	の 通り随分長う御坐りました．ドウして彗星にはコ
	の	214	09	んだつた．また演劇の俳優は誰も御存じ	の 通り昔は河原者と呼ばれ穢多非人のやうに言ひ習
	の	216	07	うと思ひます．また仁徳天皇の時，摂津	の 菟我野と云ふ所に鹿が二疋居りました所が牡鹿が
	の	059	09	未だ斯の如き場合に至らざる所謂半開化	の ときはドウかと云つて見ると色々な害が有るもの
	の	061	02	．又緋縅の鎧や天保銭や丸髷島田を御覧	の ときは又未開化人の用ゆるものたるを知られませ
	の	156	05	来のおキマリになつて居て私なども子供	の とき孔子様の学問をした時分には天が円いと思つ
	の	218	08	物語を作つた趣意は先づ慰みもので日長	の ときや雨夜などの徒然を慰むる為めで有りました
	の	230	04	行政上の区画と定めましたのは廃藩置県	の ときからで有ります．また，この区画を色々に利
	の	231	16	長が議長になつて議場を整理し可否同数	の ときは議長之を決すると云ふことも有り，また府
	の	272	09	りまする．然るところ昨年．官制の改革	の ときに北海道庁に監獄署を置かれましたので北海
	の	003	09	ばイヤでもオーでも真の智識を得る為め	の 時は少なくなる．三時間方便に使へばあとは五時
	の	003	12	をかけるが少なくつて智識の方便に莫大	の 時を費すことになつて居る．今喋々といふにも及
	の	003	14	ふヒマの為めに稲を植るヒマも水車改正	の 時もへづられて電信機の改正もせずに机の前に坐
	の	020	10	ることは確に知れて居るです．月の観測	の 時には海は無いと云ふことを申しましたが火星を
	の	029	12	有りませう，雲かと思へば雲で無い晴天	の 時にも見ゆる，併しながら少し月が出たり何かす
	の	041	14	いに誤りた説で道徳は右申した如く野蛮	の 時に在りては今日の道徳と全く違ふて居るし又開
	の	043	14	道理とは違ふて居ることぢゃ．野蛮未開	の 時には禽獣などが蔓延し人間の力は無かりたが人
	の	152	16	始終変りませぬ．千七百九十年の大革命	の 時からのものがイマダに行はれて居ます．憲法で
	の	168	09	易を請ひに来ました．丁度私が二十四五	の 時だつたが其の時は大あらしの様で日本の人心が
	の	168	14	は押し倒されました．丁度私が二十四五	の 時のことだから今でも時々思ひ出すが何となくモ
	の	189	03	分れて居つたやうに考へます．現に維新	の 時の五箇条の御万機公論に決すといふことがあり
	の	203	02	に大きな惑星が有りますがHalley	の 時までは知れなんだのが今度はよく知れて，どの
	の	204	01	とで有ります．其のオヒトヨシと云ふ帝	の 時には天文学の代りに星占学と云ふものが有りま
	の	214	04	琴などは初めの中は和漢の故事が入り用	の 時は当時有名の雑学者の喜多静廬や村田了阿など

代表形	判	ページ	行			
(の)	の	216	07	ことで有らうと思ひます．また仁徳天皇	の	時，摂津の菟我野と云ふ所に鹿が二疋居りました
	の	256	11	雨等の為めに田を流し畑を荒されたる等	の	時に起るもので，これは日本では備荒儲蓄法を以
	の	270	04	百十四人の者の教育の度合ひを其の入院	の	時に調べましたのを見まするに一丁字をも知らざ
	の	059	02	，これ則ち衛生の有り難い証拠で又開化	の	徳でありませう．此の県下で六伝染病中チフスの
	の	186	13	ことを励ますこと，婦人特有の温柔謙遜	の	徳を貴ぶこと，其の他にもまたキリスト教が婦人
	の	085	14	現に成り立つて居る所の善き性質また人	の	得益になる原素，人を貴くするものを能く養ひて
	の	064	03	の頗る多くありますが曾て英国ロンドン	の	ドクトルフュート氏は汽車の連乗に由つて心臓の
	の	246	15	其の心を取り直させると云ふのが当り前	の	ところ，其の所行の善いか悪いかは言はずして，
	の	253	05	へる所の感化院と言はうが，其れは名前	の	ところは御相談次第で私の講ずる学理には一向，
	の	022	14	雛形から四丁と五十五間先づザット六丁	の	処に五分三厘に足りない玉が有るのが火星の雛形
	の	023	06	は三寸八九分の玉で距離は一里二十六丁	の	処にあり，海王星は三寸八分の球で太陽を距るこ
	の	023	09	王星は本郷よりも王子よりもズット遠く	の	処に置かなければならない，其れだから其の雛形
	の	001	14	れども少し申します．この四五日前に私	の	所へ今日この席に居らるゝ愛媛県高松の郡長兼県
	の	017	07	測量の出来ないことは有りませぬ．今日	の	所でも三千七百八十五万里余といふことは知れて
	の	018	10	を地球が回つて居る，其の一遍回つて元	の	所へ来ます間が即ち一年と言ふもので有ります．
	の	022	09	ます，即ち三分七厘余の玉を一丁十五間	の	所に置いたのが水星の雛形になります．其の次ぎ
	の	023	05	は余程遠い．其の次ぎに土星は三十一丁	の	所で木星より小さい，幾ど九寸三分程で有ります
	の	024	08	ますとドンナけちな望遠鏡でも星の真中	の	所に筋の様なものが見えます，丸に一文字の紋所
	の	026	05	用ひますと海王星を太陽から三里ばかり	の	所へ置きまして此の星をば一万九千九百里ばかり
	の	026	06	まして此の星をば一万九千九百里ばかり	の	所に置かなければなりませぬ．こんな長い距離は
	の	030	11	と或る向には星が少しほか見えず或る別	の	所には星が沢山見えませう．而して星の沢山見ゆ
	の	055	06	私どもも孫の頃は楽にもなりませうが今	の	所では漢字を読ませるのは惜い月日だと思つても
	の	085	10	る所より完全なる所へ進み畢竟文明開化	の	所へ進み行くことで御坐ります．それから続いて
	の	144	09	眼界が狭くつてまだ見当りませんが只今	の	所では十銭か十五銭で買へるツマラヌものが沢山
	の	145	12	依田先生の吉野拾遺と云ふ作も有れど今	の	所ではこればかり．其れでも貴顕の人のお言葉が
	の	153	13	ムヤミに変ることを禁じます．またお前	の	所のムスコは気違ひなら外に出してはいけないな
	の	158	02	方が無い．モノゴトにしろ，実際，真実	の	所をカッキリと落ち付けるのが学問でござす．誰で
	の	164	05	支那へ帰つて作つた書物で其の人から私	の	所へ贈つてよこしたが其の書物の中に酒のことに
	の	209	04	ますが小さな星までも能く見えます．頭	の	所はドウで有るかと云ひますに頭は説が不揃ひで
	の	209	08	瓦斯体で有りさうに見えます．中には心	の	所だけは堅まつたもので，あとの尾や他の部分は
	の	211	06	ことは有るかも知れません．彗星が我々	の	所へ這入つて来ると丁度何か化学の試験をする時
	の	214	05	有名の雑学者の喜多静廬や村田了阿など	の	所へ買ひ出しに行きました．さう云ふ訳で有るか
	の	234	12	ぬのは当り前で有ります．尤も極の高尚	の	所は原書で無ければならぬなれども当り前のこと
	の	240	09	偶者が無い．ところで私に頼んで「何某	の	所に娘が有るによつて行つて見て来て貰ひたい」
	の	233	06	と云ふことで有りますが一番初めの卒業	の	年で有りましたか私が参つて祝辞を述べましたが
	の	053	16	なものを書くことを教へて，どれほどか	の	年月教へたら上等科のことを学ばないで文通が出
	の	225	03	主が有つて儲けづくも有りますから多く	の	年月を重ねなければ迚も改良の効は顕はれますま
	の	047	11	息すべきことぢゃ．欧羅巴人が亜米利加	の	土人を逐ひまくりて其の土地を奪ふてしまひ，開
	の	088	09	ならば進歩することが出来ませぬ．米国	の	土人，ニュージーランド島のマオリと云ふ人種の
	の	088	11	度こゝで御坐ります．たとへば亜米利加	の	土人は自分の不完全なることを知らで森林の中で
	の	088	14	ドウもいけませぬ．ニュージーランド島	の	土人も亦其の通りで御坐ります．英吉利の政府で
	の	218	08	は先づ慰みもので日長のときや雨夜など	の	徒然を慰むる為めで有りました．また傍ら上等社
	の	147	17	必要でありますがスタチスチックで何れ	の	土地の季候は何度であると調べて見てこれはナル
	の	148	04	調べるならば其の鉱物といふものは表面	の	土地所有者に属するものであるとか全国即ち政府
	の	227	04	所に申し上げませう．先づ第一に行政上	の	土地の区画と云ふことが大事で御坐います．私の
	の	208	07	を持つて汽車の出る時に時計を見，汽車	の	止る時に時計を見て，ミチノリの書いたものと見
	の	075	12	利を失はぬだけである．此の如きは国家	の	富を増すものでは無くて富を減ずるもので有るか
	の	086	10	勢力また人の立てた所の法則また此の世	の	富などに係はらぬもので御坐ります．さらば，こ
	の	002	03	無いと申したら，一体お前は元の「かな	の	とも」で有るか又は何で有るかとのお尋ねで有り
	の	002	04	かとのお尋ねで有りました．私は「かな	の	とも」か，いろは会か，そんなことは知らないが
	の	002	05	名の会の月の部といふので其れが「かな	の	とも」であつたか，いろは会であつたか知らない
	の	179	13	が知れます．元来キリスト教は正理自由	の	友で無理圧制の敵で御坐ります．故にキリスト教
	の	199	17	問題で有りました．そこでNewton	の	友だちのHalleyが千六百八十二年の八月に
	の	060	16	例へば今茲に種々の色を着けたる張り子	の	虎とダイヤモンドを出して三歳の童子に示さば童
	の	060	17	ば童子は必ずダイヤモンドを捨て張り子	の	虎を取りませう．又諸君が田舎に於て真赤に塗り
	の	168	07	つたのは三百年ばかり前に葡萄牙，和蘭	の	渡来に始まつたが其の頃は世界開化の勢ひが弱く
	の	138	02	持ちも有りませうがリットンやスコット	の	ドラマやノベルを読めば寝ることを忘るゝ様なこ
	の	241	05	県の道路が善かつたとか，宮城県の旅宿	の	取扱が丁寧で有つたとか，岩手県の山景は麗しく
	の	241	14	ひます．といふものは例へば国事犯罪人	の	取扱方は如何，女囚の取扱方は如何など云はれま
	の	241	14	例へば国事犯罪人の取扱方は如何，女囚	の	取扱方は如何など云はれますけれども監獄全体は
	の	146	03	売れゝば大いなることは無けれども資本	の	取りかへしと労力の償ひはつきます．私はドッカ
	の	244	17	外乱に関することは陸海軍を用ひ，日々	の	取締に関することには警察を用ひ，悪人取締の為
	の	278	11	上も無きことに御坐います．なほ，監獄	の	取締法，役法，囚徒取扱法，工銭，給与，衛生，

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（の）	の	018	15	のは西郷星で有ります．西郷星とは一時	の	名で実は螢＊惑星とも火星とも言ひます．肉眼で
	の	019	04	懐に這入ると云ふ夢を見たので生れた子	の	名を白とつけ字は太白と言つて酒飲みの詩人で世
	の	102	13	ぬさうであります．国の実況が分らず国	の	名さへも知らぬ様では軽蔑も無理はない．ノルマ
	の	102	08	即ち日本人を警戒するが故であつて拠ろ	の	ない話し．日本だからと申しても制度文物の外国
	の	102	14	号の船長が不取扱なしたのは固より無理	の	ないことであります．斯くの如く一方に於ては日
	の	011	12	さりながら人間の物知りたがりには限り	の	無いもので其れから其れへと知りたいのは欲心で
	の	036	11	が宜う御坐ります，これは誰もトガメテ	の	無いことでせう．どうか皆様のお骨折りを以て大
	の	060	02	も熊の居らないではないザンギリアタマ	の	無い所や蝙蝠傘を用ひない所は少ないと云ふは必
	の	095	11	併し結局取り調べた上若し充分なる証拠	の	無い時はドウするか．証拠が無ければ輿論は何と
	の	114	07	来ないといふては他の動物に対して言訳	の	無いやうな話しで有ります．また他の動物は命が
	の	130	05	で有ります．故に実に固うして変ること	の	無いもので有ります．私ども常に陳る所の宗教の
	の	131	02	るものでは無い．ドチラも神の変ること	の	無い御心に本づいたものなるが故で御坐ります．
	の	155	11	言ふに及ばないがヒョットすると御存じ	の	無い方が有るかも知れないからオシが強いやうだ
	の	162	14	の無逸だのは正銘なもので決して間違ひ	の	無いものと私は思ふ．この酒誥の中に酒を飲んだ
	の	169	02	はない．これは人の自由心と物理と関係	の	無い証拠で東漸とは形ちばかりで何の道理も無い
	の	175	13	同士倒れになり我が日本国の将来も望み	の	無いことになりませう．このことは吉事で無いか
	の	195	14	年前の彗星にしろ「戦争や何かには関係	の	無い」と云ふ人ばかりでは無く，中には「凄い」
	の	198	04	の抛物線と楕円と云ふことは若しお分り	の	無い方があるといけませんから，話しに枝は咲き
	の	205	02	彗星の出ました度ごとにドコかに何か災	の	無いことは無いから，この前に彗星の出た時には
	の	258	15	するを嫌ふ者が有ります．現在は引取人	の	無い者，又は帰郷旅費の無い者は別房留置者と名
	の	258	15	．現在は引取人の無い者，又は帰郷旅費	の	無い者は別房留置者と名づけまして監獄の中に置
	の	261	01	ば一方にばかりしか銭を使ふと云ふこと	の	無いやうになりませう．第七，被救助者の姓名は
	の	081	10	のは進歩と云ふもので御坐りませぬ．人	の	内部の進歩に由つて自然に生ずる所の外部の結果
	の	081	12	また器械等のものでは御坐りませぬ．人	の	内部から起らずしてたゞ目に見える様な外部の進
	の	002	09	ウでも構はない．ナゼそんなら仮名の組	の	中で人の多い所へはいつたかといふに何でもよい
	の	008	07	賑で押し返されぬ程の騒ぎ．其れは豆粒	の	中の盛なので外を見れば盛でも何でも無い．他国
	の	011	07	と言ふで御坐いませう．「神保町はどこ	の	中だ」と聞いたら「神田だ」と答へ「神田はどこ
	の	011	07	聞いたら「神田だ」と答へ「神田はどこ	の	中だ」と聞いたら「東京」「東京はどこの中だ」
	の	011	07	中だ」と聞いたら「東京」「東京はどこ	の	中だ」と聞いたら「日本」「日本はどこの中だ」
	の	011	08	中だ」と聞いたら「日本」「日本はどこ	の	中だ」と言つたら車屋位では答へは出来ないかも
	の	011	09	つたことの有るものなら「日本は亜細亜	の	中だ」「亜細亜は」と言つたら「亜細亜は地球の
	の	011	13	も有りました通り「砂糖と云ふものは何	の	中だ」と言つたら「含水炭素の中」「含水炭素は
	の	011	14	ものは何の中だ」と言つたら「含水炭素	の	中」「含水炭素は何の中か」と言つたら「有機物
	の	011	14	つたら「含水炭素の中」「含水炭素は何	の	中か」と言つたら「有機物」「有機物は何の中か
	の	011	14	か」と言つたら「有機物」「有機物は何	の	中か」と言つたら「化合物」「化合物は何だ」と
	の	011	15	合物」「化合物は何だ」と言ふに「物質	の	中」「物質とは何だ」と言ふとこゝでむづかしく
	の	012	02	く満足せねばならないです．「地球は何	の	中か」といふ問題も其れと同じ様に段々とおしつ
	の	012	08	．話しをあとに戻しまして日本は亜細亜	の	中，亜細亜は地球の中と云ふことが有りましたが
	の	012	08	まして日本は亜細亜の中，亜細亜は地球	の	中と云ふことが有りましたが，さういふことを調
	の	013	13	者が天のことを調べます序に我々には天	の	中で別にツレは有るまいか同士は有るまいかと云
	の	014	02	から先づ其れからお話し致しませう．天	の	中にありて一番我々の眼に着くものは大陽，月，
	の	015	08	分此の測量はむつかしいが天文学の測量	の	中ではこれが最も精密に出来るもので有ります．
	の	017	06	距離を精密に測量することの出来るもの	の	中にはいつて居ます．併し月の距離の様にやさし
	の	019	15	星と言ふものが発見になりましたが其れ	の	中に一つはヤット肉眼で見えるといふまでで今一
	の	020	01	に移りませう．今までお話ししました星	の	中で一番我々のよく観測の出来ます星は火星即ち
	の	020	08	とが出来る．天文学者が知つて居るもの	の	中で月が一番よく知れ其の次ぎは火星で有ります
	の	024	16	これでズット前に言ひました「地球は何	の	中であるか」といふ問に対して「太陽系の中であ
	の	024	16	中であるか」といふ問に対して「太陽系	の	中である，地球は太陽の眷属の一人である」とい
	の	025	01	ら先きがむつかしくなる．「太陽系は何	の	中か」と言ひますに先づ第一に我々の地球などに
	の	025	03	所に同士が有るであらうか，まるで世界	の	中に孤立して居て外に党類は有るまいかと云ふに
	の	025	03	て居て外に党類は有るまいかと云ふに天	の	中には日と月と惑星と其外に星と言ふものが有る
	の	026	02	ぬ．先づ今日までに知れて居ります距離	の	中で一番近いのが今の物さしの二十二万千八百倍
	の	026	15	か高知辺からは見ゆる星で八月の頃，宵	の	中にチョイと出て，やがてひつこむ星で有ります
	の	028	01	さりながら，ならして言つたら数多の星	の	中で大きく見ゆるのは近いので，小さく見ゆるの
	の	029	01	陽系は外にツレがあるのです．色々な星	の	中に二つ以上組み合つてある星で無ければ本当に
	の	029	06	あるのですから太陽系みた様なものは天	の	中に沢山あります．段々先きへ行くに従つてチッ
	の	030	03	が一番多い．又アマノガハの外にある星	の	中でも精しく調べて見るとアマノガハの近所が一
	の	030	10	此の盆の形をして居るとしまして，そこ	の	中に我々の太陽系がはいつて居るとしますと或る
	の	030	13	星のかたまりで太陽も地球の仲間もそこ	の	中に居るに違ひない．其れですから，さつきの問
	の	030	14	ら，さつきの問題をのばして「地球は何	の	中であるか」と言つたら「太陽系」「太陽系は何
	の	030	14	か」と言つたら「太陽系」「太陽系は何	の	中か」と言つたら「アマノガハの中だ」と言ふこ
	の	030	15	系は何の中か」と言つたら「アマノガハ	の	中だ」と言ふことが出来ます．あらゆる星は皆悉
	の	030	16	来ます．あらゆる星は皆悉くアマノガハ	の	中であらうか或はアマノガハの外に有る星もあら

代表形	判	ページ	行	出現文脈		
（の）	の	030	17	星もあらうか，あらかた先づアマノガハ	の	中で無ければならない．然るに中にはアマノガハ
	の	031	05	名高くなつたもので有ります．此の星雲	の	中にはチョットした望遠鏡で見ては唯雲の様に見
	の	031	14	ゆるのも有ります．そこで又アマノガハ	の	中にも大分瓦斯体であつて望遠鏡で見ても矢張り
	の	032	03	初の問題に続けて「太陽系はアマノガハ	の	中」「アマノガハは数多ある星雲の中の一つだ」
	の	032	03	ガハの中」「アマノガハは数多ある星雲	の	中の一つだ」と言へます．併し此の説は全く確な
	の	032	06	とを得る限りのものは総て皆アマノガハ	の	中にあるものでは無からうかとも思はれます．若
	の	032	11	地理書の先きを言つたので地理書は地球	の	中の事を調べる学問で私は地球の外へ出て言つた
	の	034	04	ョンといふものの意味を尋ねますれば月	の	中には兎が餅を搗いて居るとか雷は大鼓をしょつ
	の	035	03	諺にも「酒が腹中に入れば，智慧は徳利	の	中に入る」といふことが有りますが何と面白いこ
	の	035	07	などといふ様なものは所謂る智慧が徳利	の	中にはいるのと，よく事実に合ふことで有りませ
	の	035	08	ませう．己れの大切なる智慧までも徳利	の	中へ質物にするとは何と無欲なものでは御坐りま
	の	068	04	君の御参考に供しようと思ひます．諸君	の	中に御承知の方も御坐いませうが孛漏生国では裁
	の	073	09	聞き苦しう御坐んせう．先刻も卒業諸君	の	中で法律と経済との関係といふことで御演説が御
	の	073	15	ｉｔｉｃａｌＥｃｏｎｏｍｙといふもの	の	中に凡そ物の価を生ずるといふものは二個の全く
	の	079	06	坐ります．人たるものは種々の貴い性質	の	中に必ず只今弁ずる所の進歩すると云ふ性質が御
	の	079	11	りまするし又多くの人より成り立つ社会	の	中にも御坐ります．又世界中の人類にも御坐りま
	の	080	06	成り立つもので御坐ります故に人間社会	の	中に含まれたる一個人たるものが皆んな銘々に能
	の	082	04	で御坐りますけれども進歩の様々の種類	の	中で未だ申さぬ一つの大切な種類が御坐ります．
	の	083	04	に遂にまた衰へました．今日欧羅巴各国	の	中で至つて弱い国はイスパニヤとポルトガルで御
	の	083	16	ことが御坐ります．只今申した通り進歩	の	中には種類がありますに由つて社会の進歩と云ふ
	の	087	01	貴きものに付て人の心を照す為めに万民	の	中に設けられたもので御坐ります．この故に聖書
	の	088	11	人は自分の不完全なることを知らで森林	の	中で弓を射て世渡りをして家を立ることを知らね
	の	089	09	ることは出来ませぬ．併しながら人の心	の	中に厚き志を引き起さするには基督教が極優れた
	の	090	13	称美いたします．また近来様々の不信者	の	中にも耶蘇基督を直接に誹る者が滅多に御坐りま
	の	090	15	より外に御坐りませぬ．この浮世の荒野	の	中で基督の足跡を能く尋ね而して己れの足を之に
	の	092	06	演説の初めに社会総体の進歩は其の社会	の	中に籠つて居る一個人たるものの進歩に因ると申
	の	121	13	の罪を犯す者が多くなることは先年罪人	の	中に何から罪を犯した者が多いかと云ふことを警
	の	125	04	説くことが出来ませぬ故に其の種々の物	の	中からたゞ一つの著るしいものを択んで而して之
	の	125	17	ぬと．これ等の色々の不承知を言ふお方	の	中に，よく熟したる学者も御坐りませう．けれど
	の	126	02	貴い名によつて基督教を破らむとする者	の	中には一向学術を知らず，また基督教の原因と趣
	の	126	11	得失を弁じませう．第一．年若き卒業生	の	中に珍らしい勇者が御坐ります．この者は一向疑
	の	128	03	ふならば西洋の学者の色々の新らしい論	の	中に無証拠な設理即ち後の穿鑿を助ける為めに学
	の	128	05	す．近来盛んに起つて来る所の色々の論	の	中に追々と学術のかたい事実となるものも御坐り
	の	128	09	御坐りませう．其の外に学術の色々の論	の	中にたゞ一人か二人が起した所の論が多う御坐り
	の	128	17	に限つたものでは御坐りませぬ．国政家	の	中にも喜んで色々の無証拠な設理を受け容るもの
	の	129	01	ものが御坐ります．さのみならず学術家	の	中にも箇様なものが無いと言はれませぬ．けれど
	の	129	17	るものでも決して御坐りませぬ．世の人	の	中に基督教の結局の勝敗に就て色々の疑ひを起す
	の	130	02	りませぬけれども教師たちと神学卒業生	の	中には箇様な臆病なものは実に適当せぬもので有
	の	130	16	立派な天体を具へて居る大空と人の霊魂	の	中に住む所の道徳法で御坐ります」と．実に面白
	の	132	11	ります．若しあなた方，世の色々の迷ひ	の	中にて造物主の御心に本づいたる道理を固く立て
	の	135	16	庭には面白いものが御坐ります．かの庭	の	中にこの麗しい大日本帝国の地図が委しく造つて
	の	140	12	たと申します．これは馬琴自ら書いた物	の	中に其の不平を訴へたことが見えましたから確か
	の	144	14	足いたされません．小説を書く人が多数	の	中には和漢の古今に通じて居り筆が流暢でも其の
	の	145	14	とてモハヤ十五六万円あるさうで二三年	の	中には大きな煉瓦の芝居も立つさうです．私は金
	の	150	09	研究するのに，しにくいです．この公法	の	中で刑法，治罪法を除けば憲法といふのが一つで
	の	151	01	のであります．故に行政法の原則は憲法	の	中にあるのです．併し斯の如く行政法の範囲を定
	の	151	03	に至ると甚だ広いものです．第一行政法	の	中に，はいるものは日本の行政法の組織だと行政
	の	162	14	間違ひの無いものと私は思ふ．この酒詰	の	中に酒を飲んだ者を死刑に処するといふことの有
	の	164	05	から私の所へ贈つてよこしたが其の書物	の	中に酒のことに付て一つの話しが載つて居た．今
	の	170	01	やうに見えます．其の亜米利加に行く者	の	中には随分下等の人物もありませうが云はゞ先づ
	の	186	08	す．故に新約書にもキリストを信ずる者	の	中に在つては「或は奴隷或は自主或は男或は女の
	の	190	10	いふ言葉を使ふ所があります．また裁判	の	中にも執行権者が自分でする裁判といふものがあ
	の	190	13	いふものは斯の如きもので，この裁判権	の	中に二つの種類がある．一は行政裁判一は司法裁
	の	193	17	此の原則には開闢以来カハリは無い．穴	の	中に居るとか石の家を建るとかいふのは其の時々
	の	197	06	イツカ「地球の位置」と云ふ題で太陽系	の	中にはドンナ惑星があると云ふことをお話ししま
	の	198	15	なら是非，其のあるく道が此の二つの線	の	中でなければならない．モウ一つ双曲線と云ふも
	の	203	07	のが十六日に来ました，丁度七十五六年	の	中で僅か三日の違ひで有りました．して見ますと
	の	207	07	ツでもあることだが殊に秋の頃，星が天	の	中から，とれて流れてしまふやうなことが有りま
	の	210	07	．方々で「今度は世界のシマヒだから今	の	中にオイシイものでも，たべて置かう」などと云
	の	211	08	病でも流行るかも知れません．しかし尾	の	中に我々が這入りこむことが有つても心にぶつつ
	の	211	12	と云ふ説が有ります．実はコッチが彗星	の	中へ頭を突こんだことが現に有つたのです．尤も
	の	211	13	では有りますが現にアリアリと彗星の尾	の	中に五時間が六時間，居つたに違ひ有りません．
	の	212	01	つただけで有りました，其れが彗星の尾	の	中に居つたので有ります．また彗星の頭のコナゴ

代表形	判	ページ	行			出現文脈
（の）	の	212	01	ので有ります．また彗星の頭のコナゴナ	の	中は地球がショッチュウ通つて居ります．流星は
	の	212	03	の様なもので有りますから，本当の彗星	の	中へ這入れるのは推して知れませう．たゞ少し恐
	の	214	04	の点者などをしたもので馬琴などは初め	の	中は和漢の故事が入り用の時は当時有名の雑学者
	の	216	15	のと云ふ仏法の霊験を書物に著したもの	の	中には小説めいたことも有りますが，これは僧徒
	の	218	09	ました．また傍ら上等社会の婦人は深窓	の	中に居つて世態人情を知つて居ないから其れを知
	の	220	07	猿楽の能から今の雑劇に至るまで其の書	の	中の事を仕組んだものが多いから安宅の関で弁慶
	の	222	05	で有るから我が国の小説は却つて昔物語	の	中で源氏などは今云ふ人情の真理と云ふものに近
	の	222	17	北条時代には田楽が盛に行はれて其の舞	の	中に故事などを交ぜてすることとなりました．こ
	の	228	03	ます．斯の如くで有りますから日本帝国	の	中に，また諸侯国が何百か有つて，各諸侯国で租
	の	229	03	あるとか云ひますが，これも皆な此の数	の	中に籠つて居るとのことです．其れから村の数は
	の	229	11	べきもので有ります．其れならば区は郡	の	中にあるかと云ふと中では無いが下にあるべきも
	の	240	06	るところは私の目を通つて内務大臣の目	の	中に這入つたもので有りまするゆゑ，該景況は私
	の	242	01	になるものでは有りませぬ．固より諸君	の	中には監獄全体のことを御熟知なされたる方も有
	の	243	11	らるゝもので御坐います．さて，執行権	の	中には政府があり行政権があり司法権があります
	の	244	13	用するけれども，其の刑の執行は執行権	の	中の行政権に属しまする．其れから第六は全国の
	の	244	17	を用ふることになります．故に秩序安寧	の	中，内乱，外乱に関することは陸海軍を用ひ，日
	の	251	12	不良少年と名づけまする．此の不良少年	の	中には種類が三通り有りまして満二十歳以下でも
	の	253	12	せぬやうになります．これ等が則ち農民	の	中には盗賊が少ないと云ふことの原因で有りまし
	の	253	17	．其れから放免囚即ち監獄を出ました者	の	中で種類が三つ有りまする．其の第一は資金を多
	の	255	11	いふことを以て尊卑を定めると昔の大名	の	中には随分宜しくないことをして大名になつた先
	の	257	14	ものでありまする．斯くの如く貧民救助	の	中にも単に救助に止まるものも有り，又は救助と
	の	258	16	無い者は別房留置者と名づけまして監獄	の	中に置いてあります．これは全国を調べたら随分
	の	263	12	を異にして居りまするけれども皆な四つ	の	中の一つを用ふるだけに止ります．さて，また欧
	の	266	01	お分りになることで有りませう．此の表	の	中で第一の犯罪予防部の事業は二つの場所にて之
	の	271	04	九十九人でありまする．尤も此の在監人	の	中，六千七百五十三人は未決者と控訴上告中の者
	の	274	17	いに改良を加へました．其の二国の改良	の	中で最も重もなる者は一房一囚の制でありまする
	の	053	08	はれます．私は漸進家で気の短い様な気	の	長い様な性質で気を長くしなければならぬ所は気
	の	199	13	線のやうには見ゆるが事によつたら楕円	の	長いのでは無からうかと云ふ考へがNewtωn
	の	268	14	は中央監獄と申しまして，こゝには刑期	の	長い者を入れて置き，第四は矯正院即ち感化院で
	の	015	11	．物さしを替ると云ふのは例へば糸など	の	長さを測りまして此の糸は八寸だと言へば，どの
	の	015	12	まして此の糸は八寸だと言へば，どの位	の	長さと云ふことがよく分る，けれどもちつと長い
	の	200	07	ひなすつて「先の彗星もドンナ形ちで尾	の	長さがどの位，心の大きさがどの位と帳面にとめ
	の	209	09	ると云ふ者も有ります．其れからして尾	の	長さのことで有ります．尾と云ふものは大変に長
	の	202	07	ゆきませんが多分千七百五十九年の四月	の	ナカバには出るだらう，尤も三十日前か三十日後
	の	022	03	ませぬ．そこで其の通りにイクラも地球	の	仲間が有ると云ふことを申し上げましたが其の中
	の	030	13	アマノガハは星のかたまりで太陽も地球	の	仲間もそこの中に居るに違ひない．其れですから
	の	036	08	いことです．どうか此の会も大いなる欲	の	仲間にはいつて段々諸君のお力を以て益々盛大に
	の	128	17	に従つてゆくものは決して基督教の教師	の	仲間に限つたものでは御坐りませぬ．国政家の中
	の	231	15	考へます）尤も行政上では施政者が議政	の	仲間入りをしてやることが有ります．町村会で戸
	の	111	08	ぬと思ふ．而して将来再たび斯の如き事	の	なからむことを熱望いたします．人類的の欲をし
	の	254	01	第一は資金を多少有する者，第二は資金	の	なき者，第三は仕事を知らざる者．其れで，この
	の	004	05	する．交易上の競争は一日一刻も止む時	の	無きもので病の為めに人口が減らさるゝ間にも各
	の	061	07	に米の飯は食はない所があつても人力車	の	無き所は無い位で其の数は実に夥しきものです．
	の	107	02	ぬ．たゞこの感情を言ひ現はすべき言語	の	無きを憾むのみであります．諸君は我が同胞中に
	の	258	02	はざる者，又は救助せざる者，又は親族	の	無き者で有ります．第二種は貧病人にして親族の
	の	220	14	居た大福長者の話しなど種々様々の画入	の	慰み本が出来ました．かの桃太郎，カチカチ山，
	の	046	06	ぬでは無いか．人間の有らむ限りは刑罰	の	無くなる時は無からう．世の中が開けて来ると黄
	の	148	11	坂とか京都とかは無論で，それから尾張	の	名古屋とかいふことが有りませう．日本で今，市
	の	193	05	．政府の名義を以てやることは天皇陛下	の	なされることである．其れから裁判のことも無論
	の	247	16	心の教育法で有りまして其の目的は「汝	の	為したる所業は悪い，人間の行ひはコレコレにし
	の	196	09	は人が夥しく死んだ」の「国が亡びた」	の	などと云ふことがイクラも書物などに書いて有り
	の	065	11	車の濫用や丸髷島田の窮屈髷や長袖広帯	の	ナマケ服など共に皆改むべきの最も急務なるもの
	の	150	10	一つであります．憲法は其の国と人民と	の	成り立ちで其の次は行政法であります．行政法は
	の	168	04	ものが新しく改良になつて来るのは人間	の	成り立ちに於て然るべきことで丁度子供が成長し
	の	215	09	トは，さておき」と致して小説と演劇と	の	成り立ちを申しませう．先づ小説の成り立ちより
	の	215	10	劇との成り立ちを申しませう．先づ小説	の	成り立ちよりして来歴の次第を申しませう．しか
	の	223	07	の朝の人で古いものサ．これまでが演劇	の	成り立ちとも云ふべきもので有ります．其の後，
	の	051	08	ませぬ．たゞ愈々広く益々盛んに此の会	の	成りゆくことを御相談いたしたいと思ひます．然
	の	158	09	烈には必ず変ず」とあるから孔子様も雷	の	鳴るときには青くか黄いろくか，なつてビックリ
	の	065	06	日の有様は未だ半開化の人物が多く文明	の	何たるを知らずして所謂五里霧中にさまよひ居る
	の	252	01	はなりませぬが根性の悪い者，また悪事	の	何たるを知らざる者が有ります．これは純粋の不
	の	175	05	ありますか．また此の四箇年の間は国人	の	難儀な年柄でさえ人数の殖ゆることが今申した通
	の	235	11	多いに就ては今の学問をする人は昔の人	の	難儀をしたことを十分に考へるやうにしたいと云

代表形	判	ページ	行	出現文脈		
（の）	の	040	12	でもモトは箇様な社会から変遷して来た	の	に違ひ無い．其れは今から言へば道徳に背いた様
	の	122	08	．また独逸でコレラ病に罹る者を調べた	の	には平常酒を多く飲む者が余計にコレラ病に罹つ
	の	132	10	実に結構な仕方で有ります．ナゼといふ	の	に人の色々の間違ひを駁つよりも真の道理を設け
	の	135	11	の趣意は亦狭う御坐ります．ナゼといふ	の	に人間のこれ等の大事なもの多くは皆な基督教に
	の	150	09	は法典となつて居りませぬから研究する	の	に，しにくいです．この公法の中で刑法，治罪法
	の	167	09	往つて理合をつめて来たからこそ分つた	の	に違ひない．アーいふことがチャント分ると，ど
	の	172	11	亜米利加人が我が金銀貨の価の不平均な	の	に乗じて大いなる利益を攫み去つたことがあつて
	の	175	17	者になり商売も上手になり運動も自在な	の	によつて今日の英国を為した訳であらうと思はれ
	の	185	05	尤もキリスト信徒は其の代りに妻を選ぶ	の	に最も注意して決して軽々しく婚姻は致しません
	の	191	05	同氏がイギリス国の制度を論じて申した	の	にイギリスには力の種類が三つある．即ち法律を
	の	200	05	星の軌道がＨａｌｌｅｙの勘定した彗星	の	に，よく似て居りました．其れで，これは先に現
	の	205	01	たのです．地球と同じやうなもので有る	の	に，あのやうにこはがつた訳と云ふものは彗星の
	の	214	07	，さうだから，ましてや京伝だの三馬だ	の	に於ては狂言作者同様に下等の人情を鑿つことば
	の	215	01	非常に尊まれ其れから劇場に見物に行く	の	にも礼服を着けて見物に行くと云ふことで殊に近
	の	217	15	婆品だの普門品だのと云ふ品目を立てた	の	に拠つたもので有りませう．其れは源氏物語の標
	の	221	15	九などは今日の言葉を用ゐて滑稽を述る	の	に妙を得，為永春水なども日用の言葉を以て一家
	の	247	04	で有りますから「おれが子をおれが殺す	の	に何の構つたことが有るものか，其れをムヤミに
	の	062	09	が邦人民の身体の価直の廉なるとは原因	の	二です．第三は衣服の歩行に適せざることです．
	の	067	06	場に列するの栄を得ました．且法律経済	の	二科に就て卒業をせられたる所の数十人の諸君が
	の	083	03	申しますならばイスパニヤとポルトガル	の	二箇国が暫らくの間，余程盛んに開けてあつたが
	の	202	16	来ました．これが天文学に於て同じ彗星	の	二度現はれることの分つた始めで有ります．今度
	の	231	02	権，即ち天皇陛下に隷属すると云ふこと	の	二原則で有ります．施政はツマリ天皇陛下御一人
	の	237	07	も左様なる利害を顧みず志を堅くして右	の	二大難事を遂げて来たのは実に感服の外ありませ
	の	238	01	う．ただ今日のヤサシイことを知つて昔	の	二大難事を知らぬと昔から当り前だと思つて骨折
	の	238	03	らうと思はれます．諸君は何卒，昔の人	の	二大難事に耐へて其の時分の学者と云はれるもの
	の	261	09	管轄と致し，放免者は慈恵と犯罪予防と	の	二点よりするところの放免者保護会社の管轄と致
	の	081	08	敷の立派なこと機械の盛大なこと新発明	の	賑かなること人の快楽を助けるものの能く完全し
	の	026	03	ます距離の中で一番近いのが今の物さし	の	二十二万千八百倍で有ります．地球から太陽まで
	の	097	05	とになつたといふことでありますが先月	の	二十四日から今日まで，すておくとは随分長い話
	の	109	13	人の人が端艇の効用を知つて居つたら他	の	二十二名は必ず其の人より伝聞して其の効用を知
	の	204	16	れば，これは全くハレーの彗星がイツモ	の	日限に遠方から戻つて来たまでのことで有つたの
	の	103	04	ないのは宗教が衰へたからである．古へ	の	日本人には非常の豪傑があつて武蔵坊弁慶の如き
	の	174	05	倍即ち七千六百三十万二千四百三十四人	の	日本国人となりませう．一体，数字はシャレ骨の
	の	210	05	ソンナ風説は行はれません．さう云ふ説	の	日本に行はれないのは日本人が利口で取り合はな
	の	252	07	て，また出願人は誰も無いが例へば東京	の	日本橋のやうな所で掏児でもしやうとする傾きの
	の	040	06	る様になりても今現に多くの兄弟で一人	の	女房を共有して居る社会が有る．其の様な社会で
	の	040	07	同の方が正しいので若し一人の夫が一人	の	女房をもつと却りて道に背くことになりて居る．
	の	135	15	明かになります．神田橋外の学習院の奥	の	庭には面白いものが御坐ります．かの庭の中にこ
	の	071	05	の成業を期待せられ又学科上に就て教師	の	任を執らるゝ方は一層の勉励と培育とを加へられ
	の	106	07	其の事の審問を為し若し果して海員たる	の	任に堪へざるか若しくは怠慢其の他不法の所為あ
	の	224	01	だのと云ふ名人の浄瑠璃作者が出て世間	の	人気が人形座の方に向いたから狂言座の方でも其
	の	046	01	したとて同じ人間同士で有りながら一方	の	人間を処罰することの出来る法則は誰が立てたこ
	の	099	10	号の船長が我々日本人民を西洋人と同等	の	人間と見しならば斯くの如き事件は起り得べきや
	の	100	01	外はない．彼等は実に我々日本人を同等	の	人間と思はぬに相違なし．若し彼等にして我々を
	の	100	02	に相違なし．若し彼等にして我々を同等	の	人間と考へたるならば其の平常，義侠に富むの商
	の	250	06	．付ては此の三つの教育を終りまして並	の	人間になりましたのを丁年者と申しまする．丁年
	の	143	02	説の本意と云ふものは何だと云ふと人間	の	人情を写し出す一つの美術で御坐ります．これを
	の	143	05	は皆な有形上のことで人の思想即ち無形	の	人情を写すは筆より外は無い．即ち小説の管内で
	の	214	07	の三馬だのに於ては狂言作者同様に下等	の	人情を鑿つことばかり専としたものだから自ら幇
	の	214	16	見せるものゆゑ文筆の業では及ばない所	の	人情の極意を写し出す真の美術だと云ふやうな訳
	の	221	01	としたものと見えます．しかし其の時代	の	人情風俗を知るにはよいもので後に馬琴などが趣
	の	221	15	，為永春水なども日用の言葉を以て一家	の	人情本を作りましたは何れも洒落本の口調から変
	の	169	12	．亜米利加に行く者と欧羅巴に行く者と	の	人数，年齢，職業などを書いたものを見ませぬか
	の	173	17	とがあります．其の訳はといふと我が国	の	人数が年々増しに増して来ます．現在人別調べの
	の	174	08	スチック学者の術であります．さて現今	の	人数三千八百十五万一千二百十七人の端数を除い
	の	177	01	記し其れを集めて前に述べたやうに男女	の	人数，年齢，職業などの種類を分つて其の国々に
	の	259	13	と云ふ如きことであります．第三，救助	の	人数を時節によつて定限すること．これは濫りに
	の	135	10	た若し人間の色々の楽みと哀み人の色々	の	願ひと望み，人の限り無き苦楽，人の命と死など
	の	195	06	．当時私はこゝからチト遠方のアメリカ	の	熱帯地方に旅を致して居りましたが，朝，日の出
	の	018	08	す．して見ると太陽は我々の為めの生活	の	根元で有りまして随分主人親分と貴んでも我々は
	の	196	17	むと云ふことを知つたらば彗星を怖れる	の	念は滅つて来るに違ひ有りません．夜間い所で人
	の	260	06	も亦，最も必要なことで，例へば一万円	の	年額を要する為めに三十万円の資本が備はつた上
	の	174	16	思はれますがさうでは無く我が日本国民	の	年齢の一代ぐらゐなもので百年といふと遠いやう

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（の）	の	224	06	，残酷なことや自殺だの情死だの強盗だ	のことを仕組み根が下等の人の見るもので有るか
	の	220	07	だらうと思はれます．しかしながら猿楽	の能から今の雑劇に至るまで其の書の中の事を仕組
	の	119	05	明治十八年十二月二十日で大日本節酒会	の納会で有りますから諸君のお骨折で此の会の盛ん
	の	068	04	御坐いませうが孛漏生国では裁判官たる	の能力を有するには二回の試験を要しまして第一回
	の	087	11	な全知全能の神にして即ち人に進歩する	の能力を与へたる神のミコヽロに合ひたるものなり
	の	132	07	て空気を切るが如くに一向アトにシルシ	の残らぬもので御坐りました．これ等の色々の敵は
	の	175	08	折る．家族でも子がみな死ぬと親も先き	の望みもなくなつてしまふと同じ道理であります．
	の	243	04	そ一国には二大政権あるもので国民全体	の望みを表はすものを立法権と云ひ，また右の望み
	の	243	05	みを表はすものを立法権と云ひ，また右	の望みを執行するものを執行権と申しまする．この
	の	243	08	於ては元老院等の議会を設けて国民全体	の望みに適ふやうに事を議決せしめ，また一方に於
	の	009	03	らう．この子供等がオトナになつて千年	の後には仮名が便利になりはせまいかと思はれる．
	の	068	14	れより第二回の高等官吏登用大試験及第	の後試補官に任ぜられまする順序で御座います．（
	の	174	14	ます．さて今，申したやうな訳ゆゑ百年	の後に其の衣食の費用は二倍して二十二億八千万円
	の	204	07	何やらして其の疲れかしてトウトウ三年	の後に死なれました．其の後に出ました一番の大き
	の	219	15	仮名文の物語小説が有つたればこそ千年	の後までも其の風俗を知ることが出来て歴史編纂な
	の	222	12	ど云ふ固有の舞が有りました．三韓来朝	の後，三韓とモロコシから伝はつた舞楽が追々盛に
	の	245	04	ども無きが如きもので有りまするから私	の述ぶる所の此の監獄論に於ては総て普通の罪人，
	の	087	02	に聖書と云ふものを己れの信仰と品行と	のノリとする者はこれ等の大事なものに付て誤るこ
	の	087	13	に在るかと基督教に問はばこれ等即ち神	のノリまた基督の総ての高尚なる仰せを書き載せ神
	の	087	15	通りこの聖書を専らに己の信仰と品行と	のノリとする人はこれ等の大切なるものに付て或は
	の	093	08	名といふものが助からずして船長並に他	の乗組人等が其の生命を全うしたといふことが世上
	の	094	13	於て悲歎に堪へぬことで御坐ります．他	の乗組人は大抵助かつて居りながら我が人民は助か
	の	001	10	からず．一体，仮名の会員になつて居る	のは考へが有るからのこと，考へが無いなら会員に
	の	002	05	，そんなことは知らないが私のはいつた	のは仮名の会の月の部といふので其れが「かなのと
	の	003	03	つて居ても仕方が無い．言葉だの文字だ	のは智識の方便即ちテダテで其れを知つただけでは
	の	003	10	三時間方便に使へばあとは五時間になる	のは知れきつたこと．それで今我が国の有様を見る
	の	005	08	誰か少しばかり戦争らしいことをやつた	のはアメリカへ留学したものでトルピドへ破裂丸を
	の	005	11	も構はない．支那の今日の通りになつた	のは当り前．我が国にも二十年ほど前にさういふこ
	の	008	09	位の違ひ．余輩の如きも気違ひにならぬ	のは此の違ひが本当に分らぬからのこと，若し其れ
	の	008	15	子供に教ふるに一つには字もむづかしい	のは成るたけ教へず，また一つには仮名か羅馬字で
	の	011	13	の無いもので其れから其れへと知りたい	のは欲心で唯今久原君の講談にも有りました通り「
	の	014	03	ノガハなどで有ります．其の中一番近い	のは月で有ります．この月と云ふものは望遠鏡の開
	の	014	06	知れて居ましたが昔の人の知つて居つた	のは先づ其の位なものです．其れから望遠鏡で月を
	の	014	09	どで有ります．山だの川だの谷だの岡だ	のは地理書に有ることで地理書とは地球の学問だと
	の	015	11	物さしを替へます．物さしを替ると云ふ	のは例へば糸などの長さを測りまして此の糸は八寸
	の	018	06	Ｓｔｅｐｈｅｎｓｏｎが「蒸気車の走る	のは太陽が動かすのだ」と言つたと云ふことを桜井
	の	018	15	も有りますが最も名高くて諸君の御存じ	のは西郷星で有ります．西郷星とは一時の名で実は
	の	021	04	有ります．全く動物植物の生活の出来る	のは空気が有つたり水が有つたり其の外の色々のも
	の	023	12	．周囲が僅か一万里ばかりと申しました	のはこゝです．私は大きなことが言ひたいから一万
	の	024	14	で有りまして私が親子眷属に譬へました	のは決して無理では無い他人が太陽系と付けました
	の	027	03	の一秒時間に行く距離です，明りの行く	のはいくらか時を費します，若し時間を費さないで
	の	028	01	て言つたら数多の星の中で大きく見ゆる	のは近いので，小さく見ゆるのは遠いのだと思へば
	の	028	02	きく見ゆるのは近いので，小さく見ゆる	のは遠いのだと思へば平均の上では大違ひは有りま
	の	029	15	銀河」と言ひます，銀に其れを見立てた	のは奇麗だからで有ります，併し銀よりは立派です
	の	032	01	所謂る星雲でアマノガハから其れへ移る	のは丁度我々の太陽系から脇の太陽系に移る様なも
	の	032	11	た積りで有ります．今日お話ししました	のは地理書の先きを言つたので地理書は地球の中の
	の	034	01	も総て酒は人間の食物の様になつて居る	のは西洋の人も歎息して居ることで有ります．一体
	の	034	09	のナルコチカを飲んで食物と同様に思ふ	のは実に条理が分らぬことでは有りませぬか誠に不
	の	037	06	社会であると云ふ説も有るがこゝに云ふ	のは若干の人民が共に合して一つの統御の権を受け
	の	039	14	害を被むる様になるから其れ故，殺さぬ	のは却りて善くないことの様になりて居るのぢゃ．
	の	041	02	になりて来たものと見える．前に申した	のは風習を比較する近頃の学者の考へであるが其れ
	の	041	07	ばならぬ，開けぬ時は開けぬ道徳の有る	のは当り前のことぢゃ．昔開けぬ時分には道徳も法
	の	043	04	は民の父母，民は天子の赤子などと云ふ	のは今日まで存する主義ぢゃが其れは全く昔の主義
	の	045	08	が無い．又議員を選挙する権も亜米利加	のは州によりて普通選挙の国も有るが又制限を立て
	の	045	11	居るに違ひ無い．女に参政の権を与へぬ	のは女から参政の権を奪ふてあるので他を害する法
	の	047	01	国同士でも道理の立たぬ様なことをする	のは互に社会を為さぬ者同士の間では当然のことで
	の	047	08	．今各国の間に道徳が行はれぬのを歎く	のは順序を失して居る．其れよりは一つに寄りて大
	の	049	01	会を為さぬ者同士の間に其れが行はれぬ	のは当然のことぢゃ．さて此の事に就ては猶ほ委し
	の	052	12	も甚だ困る．其の外一旦に大決断をやる	のは宜い様で御坐りますが，いろいろまた困難のこ
	の	053	01	で御坐ります．其の間に平仮名を使つた	のは草紙物語より出でまた漢文に訓読を下して，す
	の	054	08	西洋の歴史，理学，化学，最も入り用な	のは算術，算術も仮名ばかりで書いた本が入り用で
	の	055	02	．今私の申した目録だけの書物を拵へる	のは口で言へば易い様だが大困難の至りで御坐りま
	の	055	07	なりませうが今の所では漢字を読ませる	のは惜い月日だと思つても已むことを得ず教へます

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（の）	の	057	11	るに今当路者が斯く衛生に注意せらるゝ	のは実に有り難いことで此の近県の様子を見まする
	の	057	14	様ですが斯く衛生の盛んなる有様を見る	のは必竟当路者の尽力多きに居るものと思ひます．
	の	058	11	奏楽をお聞きなさることも出来ると云ふ	のは何でありませう．必竟我が邦が開化して鉄道が
	の	059	17	くても奇麗なものや便利なものを欲する	のは自然の性です．御覧なされ今如何様な田舎に行
	の	068	14	序で御座います．（この試補官と申した	のはＡｓｓｅｓｓｏｒと称するもので御座います）
	の	070	17	う．斯の如く法律学者の輩出いたします	のは我が国家の大幸，之より喜ばしいことは無いと
	の	075	01	は大分利が多う御坐んすが只今申した方	のは疾病に罹ると医者を頼むとか権利を伸張せむが
	の	075	11	する故に法律家に頼んで権利を伸張する	のはたゞモトの権利を失はぬだけである．此の如き
	の	075	15	．兎も角も利を興す方のガハに使用する	のは積極的のもので害を除く方は消極的のものであ
	の	076	03	お断りをして置かなければならぬといふ	のはこれは事業上の性質から論ずるので徹頭徹尾違
	の	089	14	ある貴い目的，高尚なるゆくアテのある	のは大切で御坐ります．人はメアテとする所ないな
	の	094	04	いつて居るもので此の度の船の沈没した	のはドコかと言ふに紀州沖であります．紀州沖であ
	の	094	12	十五人が水中に葬むられ魚の腹を肥した	のは我輩に於て悲歎に堪へぬことで御坐ります．他
	の	094	16	て証拠も無い者を以て有罪であるといふ	のは法理の許さない所で御坐ります．今道徳上の原
	の	095	04	トン号の船長は我が同胞を助けなかつた	のは実に道徳上に於て罪すべき人で御坐りまする．
	の	096	08	のであるに之を救ふことの出来なかつた	のは恐らくは怠つたものであらうと言ふも，これは
	の	097	02	．併し水潜り器機もあれば証拠を尋ねる	のは敢て難いことではありますまい．海底を探ね，
	の	098	11	ウタカタの泡と消え海底の藻屑と化した	のは何の為めである即ち外国人が不注意の為めであ
	の	102	13	．ノルマントン号の船長が不取扱なした	のは固より無理のないことであります．斯くの如く
	の	103	04	人が保守の心勘なく物事に耐へられない	のは宗教が衰へたからである．古への日本人には非
	の	103	06	ないが併しながら弁慶があの様な豪傑な	のは概して信仰心の然らしめたものである．清正が
	の	103	07	のである．清正が非常の武勇を現はした	のは矢張り信仰心の然らしめたのである．即ち弁慶
	の	105	09	留の英国領事は之を判決して無罪とした	のは実以て言語同断の次第である」と言ひ或ひは「
	の	108	10	ながら未だ知り得ない所の事実を考へる	のは敢て難いことでは無い．船長運転手等は我々同
	の	109	15	が端艇に乗ることを肯じなかつたといふ	のは甚だ請け取れぬことでは御坐りませぬか．また
	の	113	14	に，また欲が熾んに有るから之を節する	のは甚だむつかしいことで誰でも知つて居る通り飲
	の	114	15	向つて棒をふり上ぐれば，すぐに逃げる	のは，これは命が惜いといふことは知つて居るから
	の	115	09	も言訳が無いで有るまいか．今，言つた	のは身体に付て言つたことだがモウ一つ人類に必要
	の	118	04	うに致したいと思ひます．私が今日申す	のはただ其れだけのことで有ります．飲酒より生ず
	の	120	15	が割合に少なく思はれます．今，申した	のは西洋の学者が西洋の飲酒の弊害を除かんとの骨
	の	121	11	とを諸君に御相談致したい．箇条と云ふ	のは酒を多く飲む人は「寿命が短くなる」「病死す
	の	122	04	りませうが酒の為めに殖えることが有る	のはチョイと考へると其の関係が妙に思はれませう
	の	130	01	勝敗に就て色々の疑ひを起すものが有る	のは不思議なことでは御坐りませぬけれども教師た
	の	141	14	でも出来るが話しを作つて旨く聞かせる	のは甚だむつかしいもので御坐ります．彼奴は学者
	の	147	15	全国から出すとか町村から出すとかいふ	のは行政法であります．これ等の事実をスタチスチ
	の	147	15	これ等の事実をスタチスチックで調べる	のは行政法の便益になることが大いなることであり
	の	147	17	た季候の如きにしましても季候を調べる	のは是非，必要でありますがスタチスチックで何れ
	の	148	07	なものであります．併し人員を調査する	のはドレほどスタチスチックの法に適つて居つても
	の	148	12	ならぬといふときに市街の人員五万以上	のは独立させるといふことになると至つて少ない．
	の	149	15	関することであれば相集まつて研究する	のは必要と考へます．殊に社会上，政治上のことに
	の	150	09	つは別に法典となつて居りますが其の外	のは法典となつて居りませぬから研究するのに，し
	の	151	04	所であります．こゝで官吏と言ひました	のは漢学者などは色々お説がありませうが行政上で
	の	153	05	，これは徴兵に取りこれは省くとかいふ	のは行政法で定めるのです．また憲法では宗教自由
	の	153	09	とか，また侯爵だとか伯爵だとか，いふ	のは行政法で定めるのです．其れから人民の所有権
	の	155	08	だから口はゞつたい訳さネ．極点といふ	のは日本の言葉では極上無類飛切といふのだから，
	の	162	13	ふことだがこの酒誥だの洛誥だの無逸だ	のは正銘なもので決して間違ひの無いものと私は思
	の	162	15	んだ者を死刑に処するといふことの有る	のはチト苛酷に過ぎた様だが乱国を治めるには重き
	の	162	17	誥の原文は大凡六百字あまりも有るが今	のは私がアラマシを書いたのだ．また酒の為めに大
	の	163	04	長の大業を成就することの出来なかつた	のは色々訳も有るだらうが論より証拠，酒を嗜んで
	の	165	06	に述べませぬ．私が今日述べやうと思ふ	のは矢張りスタチスチックに関係した重大なことで
	の	165	11	ミの世といふのに将来を前知するといふ	のは，むづかしいことで之を説くといふのも亦むづ
	の	165	15	にも分りませぬ．人間社会のことを説く	のは今研究中で之について色々の学派があつて人間
	の	167	02	では事実も道理も分りませぬ．さて，昔	のは事実と道理とハナレバナレになつて段々人が信
	の	167	03	るから追々に，すたれてしまひます．今	のは事実と道理とピッタリ合ふやうにしてゆくのだ
	の	167	13	新しい学問の力によらなければ，ならぬ	のは勿論でありませう．我が日本には昔より東漸と
	の	168	04	々と古いものが新しく改良になつて来る	のは人間の成り立ちに於て然るべきことで丁度子供
	の	168	07	．その新しい物の我が日本に入り来つた	のは三百年ばかり前に葡萄牙，和蘭の渡来に始まつ
	の	169	09	もありませうが今日の題の外だから言ふ	のはよしませう．然るに此の両三年以来我が国の人
	の	175	09	ふと同じ道理であります．併し人の増す	のは当り前ではあるが増すばかりが国家の繁昌では
	の	180	08	りませんか．殊に婦人の地位を高くした	のは全くキリスト教の力で御坐ります．若し之を疑
	の	183	02	られます．また我々の最も不思議に思ふ	のは世間で妾や権妻といふ者を何とも思はぬことで
	の	183	17	来ず，たゞ出来ぬのみか，彼れ是れいふ	のは却つて悪いことになつて居ました．ナント無理
	の	193	13	ことをする，アーいふことをするといふ	のは外国の例などを見てこれをも参照して細則をき

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
(の)	の	193	16	則に違ひ無い．斯の如くなければならぬ	の	は人間が寄つて国を為して居るといへば例へば家
	の	194	01	穴の中に居るとか石の家を建るとかいふ	の	は其の時々の経験に本づいて，やるのですから御
	の	196	03	たかも知れません，（尤も婦人方と云ふ	の	は一般の婦人のことで，束髪会へ這入つたり，此
	の	196	08	なりません．一体，この彗星をこはがる	の	は東洋の方ばかりでは無く，西洋では東洋よりも
	の	197	10	ので地球や其の外の惑星をひつぱります	の	は，丁度，地球が他の物をひつぱると同じやうに
	の	197	14	ンナ塩梅にして回つて居ることの知れた	の	は学術の話しにはイツも引き合ひに出るＮｅｗｔ
	の	201	03	ことをＨａｌｌｅｙが言ひませんだつた	の	は，これも諸君の疑団の一つになつて「其の様に
	の	203	16	ふことがアトで知れました．最も名高い	の	は西暦八百三十七年に出た彗星で有りますが其の
	の	203	17	たが，このＤéｂｏｎｎａｉｒｅと云ふ	の	は綽号でオヒトヨシと云ふことで有ります．其の
	の	204	08	ました．其の後に出ました一番の大きい	の	は千五百三十一年の前，即ち千四百五十六年に出
	の	205	16	ら．さて，このＥｎｃｋｅの彗星と云ふ	の	はマルセイユの天象台の門番のＰｏｎｓと云ふ人
	の	206	07	居るので有ります．其の後発見しました	の	はＥｎｃｋｅのよりは大きな楕円を書いてＨａｌ
	の	206	09	も有ると言ひましたが其の中で珍らしい	の	はＢｉｅｌａの彗星と云ふて，この人がイツも六
	の	207	15	うに思はれます．其の星が隕ちたと云ふ	の	は今言ひました流星と同じことと思はれます．し
	の	208	06	ものでは無いか，ドンナものかと調べる	の	は，むつかしい．ソンナことを調べるのは，むつ
	の	208	06	のは，むつかしい．ソンナことを調べる	の	は，むつかしいが運動を調べるのはヨホド易い．
	の	208	06	調べるのは，むつかしいが運動を調べる	の	はヨホド易い．大抵の人が時計を持つて汽車の出
	の	208	15	で有ります．これをそれぞれに調べます	の	は，むつかしいと云ひますが，知れて居りますだ
	の	210	05	ません．さう云ふ説の日本に行はれない	の	は日本人が利口で取り合はないからだと云ふので
	の	211	09	入りこむことが有つても心にぶつつかる	の	はヨホド稀なことと云はなければなりません．確
	の	212	03	りますから，本当の彗星の中へ這入れる	の	は推して知れませう．たゞ少し恐ろしいのは若し
	の	212	04	は推して知れませう．たゞ少し恐ろしい	の	は若しや彗星の心がぶつつかりはしないかと云ふ
	の	217	12	始めで有らうと思ひます．其の次に古い	の	は宇津保物語で，此の作者は源の順だと云ひます
	の	217	13	の巻とか吹上の巻とか云ふ標目の見えた	の	は此の書が始めで有りますが此の名はドウ云ふ所
	の	217	17	色々の物語が出来ましたが今以て名高い	の	は伊勢物語，其れから源氏物語で段々文章も趣向
	の	218	04	のにも巻々の標目を立てゝ小説めかした	の	は同体の仮名文だからで有りませう．さて，伊勢
	の	219	01	見ると，云ふに云はれない面白みの有る	の	は今の学者の云ふ真の理と云ふものに近い訳でも
	の	222	13	舞楽が追々盛になつて上古から伝はつた	の	は衰へまして今は僅かに東舞と倭舞の類を存し，
	の	224	05	うになり，少し学問気の有る者の作つた	の	は却つて見物が少ないと云ふ位で有るから奇怪な
	の	224	12	が演劇改良会と云ふものを起されました	の	は定めて此の弊を矯正しやうと云ふので，強ち西
	の	228	11	云ふこととに付て申しますと，府と云ふ	の	は大いなる市街のある所を云ひ，また県と云ふの
	の	228	12	なる市街のある所を云ひ，また県と云ふ	の	は別に府と違つた所は無いが，たゞ大いなる市街
	の	229	07	やうにして有ります．故にこの区と云ふ	の	は大いなる市街と云ふ意味で，所によると，また
	の	230	04	ります．之を行政上の区画と定めました	の	は廃藩置県のときからで有ります．また，この区
	の	232	08	へは間違つて居るので，諮問すると云ふ	の	は議定させるで無く諮問するだけの意味で，諮問
	の	234	12	無ければ国の本当に開けるやうにならぬ	の	は当り前で有ります．尤も極の高尚の所は原書で
	の	235	03	みならず段々と盛んになればソコに至る	の	は必然で有ります．そこで此の専修学校は日本語
	の	235	12	ししたい．昔の西洋のことを学ぶと云ふ	の	は蘭学で，ワザは医術，其の後，砲術に移りまし
	の	237	03	ことで有つた．私などが西洋学を始めた	の	は今から三十年ばかり前で丁度御一新から十年ば
	の	237	04	でさへも開けぬ藩では西洋のことを学ぶ	の	は甚だ悪む有様で有つた．さう云ふ有様で有つた
	の	237	08	志を堅くして右の二大難事を遂げて来た	の	は実に感服の外ありませぬ．実に今日と利害，幸
	の	237	12	も勝手に出来る．また西洋の学問をする	の	は人間の当り前のやうになつて西洋のことを学ば
	の	238	08	されたときには昔に百倍する功績の有る	の	は当然で有りますから，此の上にも御勉強なさる
	の	242	15	知らずして監獄のことを取り扱ひまする	の	は政治学を知らずして天下の大政を掌ると何ぞ異
	の	247	05	ものか，其れをムヤミにおれをいぢめる	の	は訳の分らないことだ」と思つて居るで有りませ
	の	248	06	者になると云ふことが実際に有りまする	の	は，ツマリ懲戒にのみ偏して教誨其の宜しきを得
	の	248	13	に止まりまして，さて其の刑を執行する	の	は監獄で有りまする．また，刑事上の被告人，即
	の	250	09	良民を以て終わりまする．只今，申した	の	は本街道で有りまするけれども，また時としては
	の	250	17	年でよからうと云ふやうに，きめまする	の	は裁判官で御坐います．さうして今，申した罪人
	の	252	03	るけれども元来，斯くの如き子供がある	の	は則ち両親の家庭教育が行き届かないからで有り
	の	252	12	居りまするから，これとマゼコゼにする	の	は至つて危険でありまするのが一つの理由である
	の	253	03	とになつて居ります．この矯正院と言ふ	の	は未丁年者の監獄と云ふ意味で之を矯正院と言は
	の	254	06	なります．また第二の資金なき者と云ふ	の	は前のと同様でありまして第三の仕事を知らざる
	の	257	09	なりませぬ．また並みの少年を養育する	の	は将来に善良有益の人民を造るもので有りまする
	の	260	17	惰民製造の弊を来すと云ふのを判断する	の	は容易いことで有る．よつて監督者が有れば一方
	の	270	17	い説と存じられます．今度，述べまする	の	は留置場で其の数は三千〇五十箇所，其の人員は
	の	271	01	でありまする．斯くの如く人員の少ない	の	は二十四時間を出でざる中に監獄に送つてしまひ
	の	271	03	らのことで有りまする．今度述べまする	の	は地方監獄で其の数は三百八十二箇所，其の在監
	の	273	08	する．此の所に於て懲治監と申しまする	の	は矯正院に当るものでありまするけれども未だ立
	の	276	01	狂つて参りまする．さて此の一つと云ふ	の	は何であるかと申せば維新前は罪人は棒罰すると
	の	061	12	は非常に濫用の弊を生じて斯の如き必要	の	場合にのみ使用せずして事の緩急に拘らず道の遠
	の	099	13	事柄である．而して人といふものは災難	の	場合に当りて殊に義侠の心を生ずるものなること
	の	099	16	て平常はこの義侠の勇気に富み殊に危難	の	場合に臨み義侠心の発達するものなることを考へ

代表形	判	ページ	行		出現文脈
(の)	の	232	11	とも府県会の決議を経て行へ，但し諮問	の 場合に於ては必ず其の意見を採用せずとも，宜し
	の	040	04	云ふことが分るであらう．又大古は夫婦	ののの 配偶と云ふものは全く無くて，たゞ禽獣同様に（
	の	040	05	してゆくだけで有りたが少し開けて夫婦	ののの 配偶が出来る様になりても今現に多くの兄弟で一
	の	040	17	なり盗賊を働いたり子供を殺したり夫婦	ののの 配偶をせなんだり老人や親などを殺すのさへも其
	の	240	17	すが，為めに競争者が出来て遂に○○君	ののの 配偶者になるべきものを他人に望まれ其の配偶者
	の	070	17	ことで御坐いませう．斯の如く法律学者	ののの 輩出いたしますのは我が国家の大幸，之より喜ば
	の	071	02	ことで御坐います．さて今日は卒業諸君	ののの 輩出せらるゝを喜んで沈黙するに忍びず斯の如く
	の	073	05	た卒業諸君の演説などが有りまして賢才	ののの 輩出し教育の盛んなること実に欣喜に堪へませぬ
	の	070	15	坐いました．今日はこの専修学校で昨日	ののの 倍数ほど卒業生が出来，又来る十七日には英吉利
	の	002	04	いろは会か，そんなことは知らないが私	ののの はいつたのは仮名の会の月の部といふので其れが
	の	214	09	云ふことは有りませんだつた．また演劇	ののの 俳優は誰も御存じの通り昔は河原者と呼ばれ穢多
	の	058	14	があつた所が其の都府で下水を改良し水	ののの 通利を良くしてから其のチフス先生（先生ではな
	の	131	12	．其の両方の論を読む者は世の中の色々	ののの 激しき論の為めに不安心なることは滅多に御坐り
	の	027	07	六千里ほど走りますから地球のかたつ方	の 端から，かたつ方の端までゆくに瞬きをする程の
	の	027	07	から地球のかたつ方の端から，かたつ方	ののの 端までゆくに瞬きをする程の時間はかゝりませぬ
	の	241	16	に行つて其の邸の全体を見ずに，ただ溝	ののの 端の竹が一本曲つて居るとか折れて居るとか云ふ
	の	223	02	艦とも云ふべきもので有りませう．足利	ののの 始めに観世氏の祖，観阿弥世阿弥の父子が奮発し
	の	039	15	いことの様になりて居るのぢゃ．昔羅馬	ののの 初めに「剛勇」と云ふ字と「徳義」と云ふ字が同
	の	092	06	りに一言を申したう存じます．この演説	ののの 初めに社会総体の進歩は其の社会の中に籠つて居
	の	201	01	の人が千七百五十八年の終りか五十九年	ののの 初めには見つけるであらう」と断言しました．と
	の	201	02	ころが，この五十八年の終りか五十九年	ののの 初めとばかりで何月何日と云ふことをＨａｌｌｅ
	の	213	16	し小説と演劇と違ひが御坐います．維新	ののの 初めには小説と云ふものは人の心を乱り風俗を害
	の	263	08	してこしらへたるもので有りまして刑期	ののの 初めは厳密なる分房法を用ひ，其の後ち段々と改
	の	067	04	三好退蔵君演説諸君．私はこの専修学校	ののの 始めての卒業式に招かれましたことが御坐いまし
	の	063	05	人に付き五個四の比例です．而して欧米	ののの 馬車の数は何程あると云ふに英国に於ては一千八
	の	199	10	星はドンナで有るかと云ひますと，極遠	ののの 場所から太陽の近所に来て其れからまた次第に遠
	の	228	16	たがよいか知れませぬが，例へは一方里	ののの 場所が有るとしますと其の中で家邸又は公園と云
	の	262	15	を以て囚徒を緘黙せしめ他の囚徒と同一	ののの 場所にて役業に就かしめ，夜分は一房に一囚づゝ
	の	262	16	際に困難でありまして多くの囚人を一つ	ののの 場所に集めて仕事をさせるときは如何しても話し
	の	266	02	表の中で第一の犯罪予防部の事業は二つ	ののの 場所にて之を執行いたしまする．其の甲の場所は
	の	266	03	場所にて之を執行いたしまする．其の甲	ののの 場所は矯正院（則ち俗は感化院と申すところ）で
	の	266	06	るけれども専ら教育を主と致します．乙	ののの 場所は懲治場で有りまして此の所に於ては幼年犯
	の	266	13	緘黙法を用ひまして昼は多くの囚徒同様	ののの 場所に於て仕事を致させ，夜は一房に一囚づゝ分
	の	084	06	ンフランシスコまでの里数と一昼夜に船	ののの はしる里数が能く分つて居り且蒸汽船が横浜をた
	の	018	06	，即ちＳｔｅｐｈｅｎｓｏｎが「蒸気車	ののの 走るのは太陽が動かすのだ」と言つたと云ふこと
	の	201	14	て来ると一体，主人と云ふは太陽ばかり	ののの 筈だけれども天王星や海王星や地球までが人なみ
	の	174	08	今の人数三千八百十五万一千二百十七人	ののの 端数を除いて仮りに三千八百万人として一箇年一
	の	080	10	る訳で御坐りませう．第二．人間の進歩	ののの 働き方，其の発達の仕様，其の方法等を見れば三
	の	119	16	簡短なる言葉にて「酒を好むことは悪鬼	ののの 働きなり，また酒疫なり」と述べました．之を解
	の	120	06	に移住して貴き人間を腐敗させる刺戟剤	ののの 働きを為すものだ」と言ひました．此の移住と云
	の	132	06	う御坐りましたけれども，かの敵の色々	ののの 働きは水の外面に文字を書き或は刀を抜いて空気
	の	166	05	も，まだ半は分りませぬ．たとへば引力	ののの 働きは分つて居るがドウして其の引力が出来て居
	の	170	08	全く自発して行くのでありませう，富貴	ののの 働きの方には限りがありませうが人民の自発の方
	の	069	11	補官と申す者は千八百八十五年即ち昨年	ののの 八月五日までに千○二十人と云ふ非常なる数に増
	の	199	17	友だちのＨａｌｌｅｙが千六百八十二年	ののの 八月に出ました彗星で勘定をしました．其の時に
	の	276	12	自由を剝ぐことが今，一層長くなるだけ	ののの 罰に止めて然るべきことと考へまする．其の他，
	の	137	16	はずと知れたことで四書五経よりは馬琴	ののの 八犬伝や春水の梅暦の方が面白い．西洋のスペン
	の	140	06	ーノベルスを書いて丁度其の時代が馬琴	ののの 八犬伝を書いた時分と，イギリスでウ／ヲタース
	の	142	12	んど其の跡を絶ちズット下りまして馬琴	ののの 八犬伝を書いた時分が最も小説の盛んなる時で其
	の	099	16	勇気に富み殊に危難の場合に臨み義侠心	ののの 発達するものなることを考へ而して二十五名の我
	の	205	05	えずに有るので有ります．近頃，望遠鏡	ののの 発明が有りましてから少くも一年三度位，彗星の
	の	004	01	国と競争しなければならない．ドコの国	ののの ハテとでも交際し競争しなければならない，トル
	の	007	15	好むとまた茶道がはやる．これはいづく	ののの ハテでも人情だから仕方が無いが若し其れがよい
	の	216	04	りかゝつてかわいさうだと思召されかま	ののの はなを取つて池に散らし其の上に，ころがして療
	の	146	03	しと労力の償ひはつきます．私はドッカ	ののの 鼻いきを，うかゞつて金を集めることはイヤだ．
	の	006	07	釈に止るのが有る．諸県へお役で出た人	ののの 話にも偏がドウだとか傍がドウだとか言つて虫の
	の	046	11	に相違ないと申すのぢゃ．これから肝腎	ののの 話しになるのぢゃが今言ふた通りぢゃから「社会
	の	054	05	後のことを考へると前に申した秦の始皇	ののの 話しの様に書物を皆な焼いてしまつても英仏の本
	の	059	08	りますが，これは開化のづつと進んだ所	ののの 話しで未だ斯の如き場合に至らざる所謂半開化の
	の	102	10	ものは尠くない．然るに外国に遊んだ人	ののの 話しを聞くに西洋で日本の実際の有様を知つてる
	の	123	04	に教員をして居る人でありますが其の人	ののの 話しに其処では男の子でも女の子でも生れると其
	の	156	03	むつかしい．先づ一つ，むつかしいこと	ののの 話しをしませう．皆さま御存じのことだが昔は天
	の	164	06	たが其の書物の中に酒のことに付て一つ	ののの 話しが載つて居た．今其の文を読みませう．余亜

〔速記叢書講談演説集〕

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
(の)	の	167	06	なりませう．さつきの宇川さんの「離縁	の	話し」なども，まだよく分らぬことだが段々気が
	の	195	01	めに申し上げて，おきますのです．彗星	の	話明治十八年十月十六日理医学講談会東京神田区
	の	197	14	にして回つて居ることの知れたのは学術	の	話しにはイツも引き合ひに出るＮｅｗｔｏｎから
	の	212	13	す．お互に長生きをして其の頃また彗星	の	話をするのも随分面白いことで有りませう．其の
	の	216	11	りますが，これなどは後世の子供だまし	の	話しに能く似て居ります．尤も此のやうなことは
	の	217	10	せて然るべき学者が始めて此の空中楼閣	の	話しを作つたものと見えます．しかしながら天に
	の	220	13	ぎの草紙と云つて継母に悪まれたムスメ	の	話しや，文正の草紙と云つて常陸の国に居た大福
	の	220	14	の草紙と云つて常陸の国に居た大福長者	の	話しなど種々様々の画入の慰み本が出来ました．
	の	220	15	．かの桃太郎，カチカチ山，舌切雀など	の	話しも此の頃に出来たものかと思はれます．其れ
	の	252	12	ありませぬ．と云ふものは監獄では罪悪	の	甚しい者が沢山居りまするから，これとマゼコゼ
	の	187	02	一千八百八十年前に処女マリヤが救世主	の	母となつたことを知つた時に神を讃美して「我心
	の	219	08	たと云ふことで有ります．また源氏物語	の	箒木の巻に雨夜の品定めと云つて源氏の君，頭の
	の	025	11	上から人のあるくのを見れば，まるで蟻	の	はふ様に見える，其れだから人は小さいと言つた
	の	161	06	ものが有る．殷の紂王などは酒の池，肉	の	林を造つたといふが，一体，紂王といふ人はムヤ
	の	210	12	りますが，日本などではドウかソンナ説	の	流行らない中に用心をしなければなりません．し
	の	215	14	が国の小説は昔話しから出たもので小説	の	原とも云ふ昔話しの一番古いところは昔々隠岐の
	の	094	12	）我が同胞二十五人が水中に葬むられ魚	の	腹を肥したのは我輩に於て悲歎に堪へぬことで御
	の	161	07	いふ人はムヤミなことをする人で孕み女	の	腹を剖いて胎を見たり，聖人には七つの竅が有る
	の	116	10	たといふ覚えも無い．されども二三年前	の	春二年ほど続いて腸胃痛がありて十二時間ばかり
	の	199	17	りました．そこでＮｅｗｔｏｎの友だち	の	Ｈａｌｌｅｙが千六百八十二年の八月に出ました
	の	106	15	の法廷であります．想ふに去月二十四日	の	晩，彼の紀州大島沖に於て沈没しました彼のノル
	の	151	02	の中にあるのです．併し斯の如く行政法	の	範囲を定めると至つて小さいもののやうでありま
	の	152	13	が併し憲法と密接して居りますから憲法	の	範囲内はドコで終る行政法の範囲はドコで終ると
	の	152	14	すから憲法の範囲内はドコで終る行政法	の	範囲はドコで終るといふことはむづかしいことで
	の	190	04	政府の区別を一と口に云ふと政府は憲法	の	範囲内で仕事をするもの，行政府は政府できめた
	の	243	12	こゝに於ては天下の政治を法律と憲法と	の	範囲内に於て定めることにして，この内閣に於て
	の	255	07	することも有りまするけれども，道徳上	の	範囲に属する所業，即ち何某が酒を飲んだとか，
	の	278	06	の実際に関係いたしまするから此の講談	の	範囲外でありまするによつて，こゝには申し述る
	の	171	11	国では蒸気車などは書生には当り前の人	の	半価で乗せるといふことに，なつたといひますか
	の	025	17	物さしは地球の太陽のグルリを回る軌道	の	半径即ち地球と太陽の距離を取りませう．此の物
	の	110	12	て事実に違はざらしめば彼等はマーダー	の	犯罪たることは免るゝを得ますまい．以上述るが
	の	248	12	すものでありまして，裁判所に於ては右	の	犯罪人及び嫌疑者の判断を下し，果して罪ある者
	の	254	09	者と名づける者は十分の九分九厘は将来	の	犯罪人と云ふ虞れが有りまするから，これ等の為
	の	261	09	ろの放免者保護会社の管轄と致し，将来	の	犯罪人となるの恐れ有る貧民は養育院の如きもの
	の	261	10	は養育院の如きものの管轄と致し，将来	の	犯罪人となる恐れなき天然の貧民即ち盲人，聾，
	の	264	06	於ては幼年犯罪者を除いて其の他の総て	の	犯罪人を懲必＊し感化する所で有りまして則ち俗
	の	266	02	ることで有りませう．此の表の中で第一	の	犯罪予防部の事業は二つの場所にて之を執行いた
	の	267	12	き届きませぬと常に何千何万と云ふ将来	の	犯罪人を絶えず世間に出すと云ふ結果になります
	の	175	09	のは当り前ではあるが増すばかりが国家	の	繁昌では無い，不幸だ．人があり余ると人力では
	の	101	13	も一事の改革をはかるときには必ず二三	の	反対のあるものであるが我が日本は然らず．苟く
	の	125	08	で御坐りませうか．伝道師が度々聞く所	の	反対論といふものはドコから起つて来るもので有
	の	125	12	したる者で御坐りませぬ．基督教の色々	の	反対論といふものは，おもに学術と基督教との関
	の	126	08	功することが出来ませうか．学術の色々	の	反対論に答へるには色々の仕方が御坐りまするが
	の	131	06	坐ります．洋学を致した卒業生は基督教	の	反対論を駁つ為めに西洋の学者が著はした本を研
	の	131	08	而して西洋の学者の論を以て西洋の学者	の	反対論に答へることは誠によい仕方で御坐ります
	の	131	08	とは誠によい仕方で御坐ります．基督教	の	反対論を駁つ為めに英国，米国，独逸国などに毎
	の	132	05	の新旧約聖書の明文を以て基督教の色々	の	反対論に答ふることが出来ます．昔より今に至る
	の	132	16	がよい仕方で御坐ります．第七．基督教	の	反対論に答へるには最もよいものが御坐ります．
	の	134	15	堅い証拠を立てねばなりませぬ．基督教	の	反対論に答へむには其の外にまだ色々の仕方が御
	の	128	13	御坐りませう．卒業生が各国の学者たち	の	判断を待ちまする間に基督教が不意に衰へてしま
	の	248	12	，裁判所に於ては右の犯罪人及び嫌疑者	の	判断を下し，果して罪ある者には刑の言ひ渡しを
	の	130	06	の宗教の基また学者が常に調べ且説く所	の	万物は同じく神の御心と御手より出て来るものだ
	の	020	16	では無い，月よりは大きい，直径が地球	の	半分よりは大きいです．前にも言ひました通り此
	の	116	02	は至つて，むつかしいことで誰でも理屈	の	半分も行ふことは出来ない．併し其れが出来ない
	の	068	02	や又其の員数は如何，又其の需要と供給	の	比較は如何と云ふことを簡短に申し述べて諸君の
	の	169	10	う．然るに此の両三年以来我が国の人心	の	東に向くシルシがあるやうで，其の訳は亜米利加
	の	020	07	星の距離が非常に近くなる上に丁度太陽	の	光をマトモに受けて満月の様に見ゆるので余程よ
	の	090	07	ます．また耶蘇基督御自分に「我れは世	の	光りなり」と仰せられましたことも有ります．な
	の	090	09	ゆるもので御坐ります．基督教を用ひ天	の	光りを受けて世渡りするものは必ず種々の進歩を
	の	134	08	はこれで御坐ります．「人々の前に爾等	の	光りを耀かせ，さすれば人々爾等の善き行ひを見
	の	111	02	みに止まらしむるなれば我輩はたゞ船長	の	卑怯にして義気に乏しきを悪み我が同胞及び印度
	の	062	02	らるゝとか或は軽蔑せらるゝとか思ふ所	の	卑屈心を生ぜしめたるは原因の一です．なぜなれ
	の	139	15	までをも，うかゞつて居ます．フランス	の	ビクトルヒューゴなども有名な人ですが其の最も

代表形	判	ページ	行		出現文脈
(の)	の	143	17	ら仕方が無い．彼の南宗北宗などの山水	の 美景或ひは武人の像を画くものも有れば男と女と
	の	242	10	ツカマヘルと云ふ意味で罪人又は刑事上	のの 被告人又は金を借りて払はない者などを拘禁する
	の	248	14	るのは監獄で有りまする．また，刑事上	のの 被告人，即ち俗に未決者と申しまする者は裁判の
	の	143	02	何だと云ふと人間の人情を写し出す一つ	の 美術で御坐ります．これを画にたとへて見れば森
	の	214	17	は及ばない所の人情の極意を写し出す真	の 美術だと云ふやうな訳で其れゆゑ西洋に於ては小
	の	187	03	霊は我が救主なる神を喜ぶ是れ其の使女	の 卑賤をも眷顧たまふが故なり今より後，万世まで
	の	019	07	て太陽のソバに居て滅多に離れない太陽	の 秘蔵子，太陽のおそばさらずが有ります．此の星
	の	129	15	思ふには学術はけしからぬものにして人	の 額に鬼の角を生えさせるもので御坐ります．実に
	の	129	17	効力が御坐りませぬけれども鬼の角を人	の 額に生えさせるものでも決して御坐りませぬ．世
	の	059	12	ものが舶来したかと云ふに文武工商農等	の 必要なる学芸の輸入せしは勿論なれども之と共に
	の	065	13	らむと欲して風未だ止まず」とやら改良	の 必要蓋し今日に在ることでありませう．孛国の司
	の	074	04	ふもので御坐んする．なるほど利を興す	の 必要と害を除くの必要と，必要は同じことではあ
	の	074	04	る．なるほど利を興すの必要と害を除く	の 必要と，必要は同じことではあるが利を興すと害
	の	083	11	気の毒で御坐りまする．この道徳の進歩	の 必要と云ふものは一個人の為め全国民の為め，ま
	の	086	14	基督教の欠くべからざること即ち基督教	の 必要はこれ等の質問に由つて明らかになります．
	の	087	17	方に由つて見れば社会進歩の為め基督教	の 必要は必ず明らかになりませうと存じます．未だ
	の	088	03	聖書を研究いたすならば遠からず基督教	の 必要に付て疑ひが皆んな立派に晴れて来ませうと
	の	088	04	ましたものの外に社会の進歩の為め種々	の 必要なものが御坐ります．これ等も亦基督教の緊
	の	278	12	教誨などに関することは学術上論究する	の 必要が有ると確信いたしますから其れ等のことは
	の	006	17	名の会は俄に盛にならうか来年位には世	の 人多く漢字の不便を覚らうかと．私は悶てしまつ
	の	006	17	かと．私は悶てしまつた．なかなか世間	の 人にそんな見込は無い．今日の有様は反対した方
	の	014	06	で有ると云ふことは知れて居ましたが昔	の 人の知つて居つたのは先づ其の位なものです．其
	の	034	01	は人間の食物の様になつて居るのは西洋	の 人も歎息して居ることで有ります．一体御承知の
	の	034	12	どから考へて見ますと酒を飲む人は無欲	の 人であつて多慾の人は酒を飲まぬものだらうと思
	の	034	12	すと酒を飲む人は無欲の人であつて多慾	の 人は酒を飲まぬものだらうと思ひます．諸君はド
	の	034	15	ぼして参りませうと思ひます．併し大慾	の 人はさうで無い，大慾の人は余り酒を用ひませぬ
	の	034	15	ます．併し大慾の人はさうで無い，大慾	の 人は余り酒を用ひませぬ．歴史などを見ましても
	の	035	02	を惜む欲の深い人だと思はれます．小欲	の 人は酒を飲むことを好んで前に述べた様なことは
	の	035	15	で有りますが独逸や仏蘭西や英吉利など	の 人が皆酒を慎んで身体を丈夫にして智慧を研いた
	の	040	01	なふた人でも其の時分には弱くては徳義	の 人では無かりた．盗賊を賞するのと同じことで何
	の	041	03	「天然に定まりた道徳と云ふものを野蛮	の 人は知らぬが開けて来ると漸々に其れを知る様に
	の	041	17	て上の者は下の者を圧制するがよい，下	の 人は上の人に只管従順にせねばならぬと云ふこと
	の	041	17	は下の者を圧制するがよい，下の人は上	の 人に只管従順にせねばならぬと云ふことになりて
	の	045	12	害する法が立ちて有るのぢゃ．則ち一方	の 人を利して一方の人に不利なる法律が立ちて居る
	の	045	12	有るのぢゃ．則ち一方の人を利して一方	の 人に不利なる法律が立ちて居るのぢゃ．併しこれ
	の	048	02	いことをやるが一己人同士ぢゃとて他国	の 人でも国内の人と甚だしく違ふては居らぬことで
	の	048	02	が一己人同士ぢゃとて他国の人でも国内	の 人と甚だしく違ふては居らぬことで随分互に深切
	の	052	02	い．例へば仮りに秦の始皇の様な大決断	の 人があると定め其の人が仮名の会の仕事を尤もと
	の	062	05	と評するもの往々あります．故にこれ等	の 人はイヤでもオーでも門外に出るには必ず車に乗
	の	064	15	覧なされ人力車を業として居る二十余万	の 人は犬馬の如き業を廃し国益となるべき立派な他
	の	064	16	むことも出来ませう．又従つて二十余万	の 人の健康を害することも大いに減じませう．され
	の	069	17	に取つては容易に立派なる裁判官其の他	の 人を得ることが出来ませう．実に邦国の幸ひで御
	の	079	11	，たゞ一個人にも御坐りまするし又多く	の 人より成り立つ社会の中にも御坐ります．又世界
	の	084	03	御坐ります．たとへて申すならば或る国	の 人が機械のこと学術のことを専ら勉める間は其の
	の	085	13	き去りまた減ずること，また一つは何れ	の 人にでも現に成り立つて居る所の善き性質また人
	の	086	17	坐りませぬ．これ等の高尚なる事柄を世	の 人に委しく教ゆる為めに基督教は即ち世に下され
	の	094	15	御坐りませう．啻に諸君のみならず全国	の 人も同感で御坐りませう．実に同感ならざるを得
	の	095	02	を為すといふことがありまして尋常一般	の 人でも他人の危きに臨んでは之を救ふが道徳上の
	の	097	04	に付て疑つて居つたが此の頃或る新聞社	の 人の発起で漸く水潜り器械で探すことになつたと
	の	097	07	せぬか．この証拠蒐集のことは迚も二三	の 人を以て為し得べきことで無いから私が諸君に願
	の	098	10	ますまい．然るに今や我々同胞二十五名	の 人はウタカタの泡と消え海底の藻屑と化し而して
	の	099	01	号のことに付て我々が共同して二十五名	の 人の不幸を悲しみ又外国人の不道徳なるを怒つて
	の	099	04	如く乗客につらきことをしたか二十五名	の 人は何故斯くの如く不幸な目に逢ふたかといふこ
	の	100	12	らぬ蓋しこれが為めに我々同胞二十五名	の 人が斯くの如き非命の死を遂げたものであらうと
	の	103	13	なし．而して日蓮記を読んで見ても昔し	の 人が物事を深く信じて疑はざるところは明治今日
	の	103	14	ことが明瞭であります．斯くの如く昔時	の 人は宗教を信ずるが故に気力あり今時の人は之を
	の	103	14	の人は宗教を信ずるが故に気力あり今時	の 人は之を信ぜざるが故に気力なし．さすれば日本
	の	107	03	ます．諸君は我が同胞中に如何なる種類	の 人があつたかを記憶せらるゝであらう．即ち暫く
	の	108	16	考へはあつたらうと考へる．また数十人	の 人が危険にかゝつたときドチラに避けやうといふ
	の	109	13	を知つて居つたに違ひ無い．然るに三人	の 人も助かつて居らない．三人の人が端艇の効用を
	の	109	13	るに三人の人も助かつて居らない．三人	の 人が端艇の効用を知つて居つたら他の二十二名は
	の	117	17	いふやうな人が有ることぢゃから此の類	の 人は禁酒会を設くるも宜しからう．其れは決して
	の	120	07	言ひました．此の移住と云ふことは西洋	の 人が世界に移住すると同じ様なもので日本へも明

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（の）	の	121	13	た者が多いかと云ふことを警視庁の掛り	の 人に尋ねたところが（尤も，これは私の事で尋ね
	の	122	16	ことは急にいかないものだが医者に懇意	の 人なら酒の上からドンな病気が起つたかと云ふこ
	の	122	17	かと云ふことを聞くとか，警察官に懇意	の 人なら酒の上からドンな罪を犯した者が有るかと
	の	127	04	は滅多に御坐りませぬ．一般にはこれ等	の 人は随分タシカな人で有ります．また其の論はか
	の	127	07	地の間の道理を広く論ずる間には，なみ	の 人の如くに色々の間違ひに陥り易いもので御坐り
	の	129	07	の大敵とするもので御坐ります．これ等	の 人の思ふには近来盛んに開けた所の学術の為めに
	の	129	17	させるものでも決して御坐りませぬ．世	の 人の中に基督教の結局の勝敗に就て色々の疑ひを
	の	133	16	りました．が其れから，かの者が全く外	の 人になつたやうに，まるで変つて来ましたので御
	の	134	04	れ爾等を誹りて悪を行ふものと言へる世	の 人をして爾等の善き行ひを見て神を崇めしめむ為
	の	141	03	枕の草子の清少納言などは固より雲の上	の 人にて別なことなれども其の他の小説家は概して
	の	145	03	す．先づ現今の小説に志す人々は日本流	の 人も西洋流の人も敢て論ぜず多く集めて一つの小
	の	145	03	の小説に志す人々は日本流の人も西洋流	の 人も敢て論ぜず多く集めて一つの小説改良会を組
	の	145	13	ど今の所ではこればかり．其れでも貴顕	の 人のお言葉がかゝつたとか何とか云ふので思ひの
	の	157	14	は支那では明の時分で日本では足利時代	の 人だが其の前は天と言ふものが動いて居つたのが
	の	168	09	，二百六七十年すぎて北亜米利加合衆国	の 人が和親貿易を請ひに来ました．丁度私が二十四
	の	171	11	合衆国では蒸気車などは書生には当り前	の 人の半価で乗せるといふことに，なつたといひま
	の	172	14	うなことと思へば，あながち北亜米利加	の 人ばかり咎めることは出来ますまい．コッチに，
	の	173	04	つのが今日民間の常であります．我が国	の 人はこの恩といふ教に養はれ不潔を嫌ひ潔白を好
	の	173	08	せう．若し我が日本の国人と北亜米利加	の 人と親しんだなら其の親和力は実にドコまでの度
	の	175	02	になりはしませぬか．さうして見ると今	の 人は後の世の人に義務が無ければなりませぬ．今
	の	175	03	せぬか．さうして見ると今の人は後の世	の 人に義務が無ければなりませぬ．今の人は確かに
	の	175	03	世の人に義務が無ければなりませぬ．今	の 人は確かに後の人に義務を負つて居ります．非で
	の	175	03	無ければなりませぬ．今の人は確かに後	の 人に義務を負つて居ります．非でありますか，是
	の	177	16	ことなりと笑ふ人もあらん．若し是れ等	の 人ありとせば，よき例あり．昔アリスメデスが人
	の	182	12	それに違ひありませんが今若し日本国中	の 人を上中下の三等に区別して其の中執れに妾を蓄
	の	182	17	さなければなりません．若し今，日本中	の 人に各二三人の妾を蓄る力があつたらドウで御坐
	の	201	01	相違ない，自分では見る望みは無いが後	の 人が千七百五十八年の終りか五十九年の初めには
	の	205	15	ひますと天文学者だけは面白くつても他	の 人にはサッパリ面白くないやうなことが有ります
	の	208	07	いが運動を調べるのはヨホド易い．大抵	の 人が時計を持つて汽車の出る時に時計を見，汽車
	の	212	05	だけかも知れません．其のぶつつかる所	の 人たちの為めには実に気の毒で有りますが，其れ
	の	214	13	西洋風が流行つて来て留学生や又は洋行	の 人などが帰朝するに従つて小説と云ふものは天下
	の	223	07	まつたもので其の上人は朱雀，村上の朝	の 人で古いものサ．これまでが演劇の成り立ちとも
	の	224	07	死だの強盗だののことを仕組み根が下等	の 人の見るもので有るから猥雑なことで無ければ面
	の	235	11	外，多いに就ては今の学問をする人は昔	の 人の難儀をしたことを十分に考へるやうにしたい
	の	237	14	今日の学生が骨を折つて勉強されても昔	の 人のと比べて見れば何でも無いことで骨の折りよ
	の	238	03	にならうと思はれます．諸君は何卒，昔	の 人の二大難事に耐へて其の時分の学者と云はれる
	の	255	03	考ふる者もあるさうですが，これ等は昔	の 人の為めに我々の受ける迷惑で有らうと考へます
	の	133	03	年の間は基督教信徒が苦しめられて色々	の ひどい目にあはされたことは実に甚しう御坐りま
	の	032	03	の中」「アマノガハは数多ある星雲の中	の 一つだ」と言へます．併し此の説は全く確な説で
	の	150	11	次は行政法であります．行政法は内公法	の 一つで政治学の一部分に属するものであります．
	の	165	17	派もあり，神は造物内にもあれば人も神	の 一だといふ学派もあり，考へがあるから物もある
	の	201	04	ひませんだつたのは，これも諸君の疑団	の 一つになつて「其の様に分ることなら何月何日と
	の	227	17	管轄権を有つて居つたのでも無い．諸侯	の 一つで丁度，列国の一国主が其の列国の世話をし
	の	263	12	にして居りまするけれども皆な四つの中	の 一つを用ふるだけに止ります．さて，また欧米諸
	の	257	04	人，及び家庭教育の足らざるが為めに心	の 人なみにならざる者（即ち不良少年）で有ります
	の	037	11	ｉｌｉｅｎｆｅｌｄＳｃｈäｆｆｌｅ等	の 人々が此の如き説を主張して居ることぢゃ．そこ
	の	086	07	何処に御坐りますか，これに付て若し世	の 人々の自分の見込み，また一般の輿論に問ふなら
	の	110	06	れて来たのだといふ．然らば船長其の他	の 人々が大勢一つの船に乗つてはあぶないからと言
	の	218	15	大部の物だが大かたは源氏の君や其の他	の 人々の平日の動作言行を記して其の間に時々の景
	の	224	11	が此の頃，貴顕の方々を始めとして有志	の 人々が演劇改良会と云ふものを起されましたのは
	の	024	17	「太陽系の中である，地球は太陽の眷属	の 一人である」といふ答へが出来ました．これから
	の	033	05	演説私は杉亨二と申す者で節酒会賛成者	の 一人で御坐りますが節酒のことに付ては諸君の高
	の	180	04	時，我に来ればなり，此の兄弟の最微者	の 一人に行へるは即ち我に行へしなり」と教へ玉ふ
	の	016	06	と直径一寸の玉を拵へまして其れを地球	の 鞳形にすると其の玉から三尺離して直径二分七厘
	の	016	07	て直径二分七厘の玉をおきましたのが月	の 鞳形になります．距離も随分遠く大きさも大分違
	の	017	10	ほど有ります．さつきの一寸の玉を地球	の 鞳形としまして太陽の鞳形はドンナものであらう
	の	017	11	の一寸の玉を地球の鞳形としまして太陽	の 鞳形はドンナものであらうといふと一丈一尺ばか
	の	022	07	づさつき申しました直径一寸の玉を地球	の 鞳形とし一丈一尺の玉を太陽の鞳形とします．さ
	の	022	08	玉を地球の鞳形とし一丈一尺の玉を太陽	の 鞳形とします．さうすると一番近い星即ち水星は
	の	022	10	の玉を一丁十五間の所に置いたのが水星	の 鞳形になります．其の次ぎは宵の明星即ち金星で
	の	022	13	玉．其の次ぎが螢＊惑星即ち火星で太陽	の 鞳形から四丁と五十五間先づザット六丁の処に五
	の	022	14	に五分三厘に足りない玉が有るのが火星	の 鞳形で有ります．これまでは皆地球よりは小さい
	の	023	08	二里二十五丁幾ど三里で有ります．地球	の 鞳形の一寸の玉を太陽の鞳形一尺一寸ばかりの玉

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（の）	の	023	08	有ります．地球の雛形の一寸の玉を太陽	の 雛形一尺一寸ばかりの玉より三丁と十四間ほど離
	の	026	05	万などといふ大きな数が出ます．さつき	の 雛形を用ひますと海王星を太陽から三里ばかりの
	の	060	12	をも用ひずして酒を呑み煙草を喫し無益	の 美服を飾り放蕩を極め身を過まり家を亡ぼし遂に
	の	103	12	ぞ困難なことなりしならむ」と弘法大師	の 非凡なるを感ぜらるゝに相違なし．而して日蓮記
	の	062	16	殊に甚だしき濫用と申すは例へば茲に一	の 閑人あり今日の午后六時に番町より神田に行くべ
	の	017	10	三十五万二千六百二十三里で地球の直径	の 百八倍半ほど有ります．さつきの一寸の玉を地球
	の	054	01	ますに漁村僻邑と言ふと漢語ですが田舎	の 百姓などが学校へ往つても天文地理だとか何だと
	の	267	13	世間に出すと云ふ結果になりまする．前	の 表と只今の説明とに就いてお考へになれば監獄に
	の	147	14	を調べましても例へば此の川にはイクラ	の 費用がかゝつて居るとか其れは全国から出すとか
	の	174	09	三千六百万人として一箇年一人前の衣食	の 費用を三十円としますと今，日本人の衣食の費用
	の	174	09	用を三十円としますと今，日本人の衣食	の 費用ばかりでも一箇年に十一億四千万円になりま
	の	174	14	申したやうな訳ゆゑ百年の後に其の衣食	の 費用は二倍して二十二億八千万円となりませう．
	の	274	04	き四十八円ほどになりまする．実に莫大	の 費用と云はざるを得ませぬ．此の費用を以て兵卒
	の	059	07	暢を善くし衛生に注意せらるゝので兵士	の 病気が減じたと云ふも，これ皆開化の効能であり
	の	011	10	「亜細亜は」と言つたら「亜細亜は地球	の 表面の一部分だ」と言ふで有りませう．そこで其
	の	014	10	理書とは地球の学問だと思つて居たに月	の 表面にも山だの谷だのが有るからは月が地球と似
	の	015	05	ます．そこで地球と月とありますに地球	の 表面に於て二個所の点を取りまして先づ精密に其
	の	020	09	れ其の次ぎは火星で有ります．さて火星	の 表面にも山が有り谷が有るかと云ふに月の様に精
	の	021	03	には人間などが居ると反対して若し火星	の 表面に動物が無かつたら其れの方が却つて不思議
	の	021	05	です．然るにそんなものはソックリ火星	の 表面に有るからしては必ず動物植物などもソック
	の	021	07	れの方が却つて解しにくい．そこで地球	の 表面に我々の住つて居ると同様に火星の表面の上
	の	021	07	の表面に我々の住つて居ると同様に火星	の 表面の上にも人間か人間の様なものが住つて居る
	の	021	09	地球のグルリを回つて居る．動物は地球	の 表面にしか居ない，智慧と言ものは人間よりほか
	の	021	17	大戦争に及ぶと云ふ様なことなぞは火星	の 表面の上には無いかも知れない．併し事によつた
	の	217	15	つたもので有りませう．其れは源氏物語	の 標目は仏道に拠つたと云ふ旧説の有るに倣つた私
	の	218	04	などのやうな実事を書いたものにも巻々	の 標目を立てゝ小説めかしたのは同体の仮名文だか
	の	014	04	で有ります．この月と云ふものは望遠鏡	の 開けます余ほど前からして円いもので時としては
	の	021	08	なものが住つて居るに違ひ無い．天文学	の 開けない時分には人間は高慢で日も月も地球のグ
	の	038	08	たるものぢゃと云ふ．其の証拠には道徳	の 開けた人民と開けぬ人民が有りて其の道徳とする
	の	040	11	ば其の社会は必ず亡びるに違ひ無い．今	の 開けた社会でもモトは箇様な社会から変遷して来
	の	043	14	ことぢゃ．されども其れは，まるで世界	の 開けた道理とは違ふて居ることぢゃ．野蛮未開の
	の	053	02	文になつたものと思はれます．もと漢学	の 開け始まりは漢語を用ひた方が上品の様なおつな
	の	028	03	な星の明りの分量を比較して段々と距離	の 比例を取ると非常の遠くに居ます星が有ります．
	の	063	05	車一つの割合にして一千人に付き五個四	の 比例です．而して欧米の馬車の数は何程あると云
	の	063	08	割合です．之を以て見れば欧米に在て車	の 比例は日本より素より多いなれども欧米に在ては
	の	185	06	しません．現今，我が邦の結婚と離縁と	の 比例は如何程であるか只今諳記いたしませんが恐
	の	185	07	比例では有りますまいか．よしや百に十	の 比例としても実に驚くべく憂ふべきことと申さね
	の	192	06	いといふことでありましたが其れは範囲	の 広い狭いで輿論といふことには違ひ無い．また明
	の	036	04	社会」では実に可笑くなりませう．一方	の ヒロソヒーの方は調子が合ふから人が聞いても感
	の	080	14	つて居る人の善き所，人の益になる所人	の 品位を上げる所のものを能く養ふて盛んにするの
	の	121	05	も殖えませうし随つて西洋人の言ふ人間	の 品位と云ふものを上げることも出来る様になりま
	の	121	06	様になりませう．「酒を飲む為めに人間	の 品位が余程下つた」と西哲は言はれましたが国が
	の	121	07	れましたが国が文明になるに随つて人間	の 品位が段々と上るべきのが酒を飲む為めに却つて
	の	179	04	矯め道徳を修め飲酒喫烟を禁し以て婦人	の 品位を開進するにありと規則書に見えますが凡て
	の	141	02	で有つたと申します．また日本の小説家	の 品格を申さば源氏物語の紫式部や枕の草子の清少
	の	007	02	を書くことだの支那流の道徳だの禿式だ	の 品行だのといふものが今日盛になつて来るばかり
	の	257	02	しか有りませぬ．其の第一の種類は天然	の 貧民で有りまして，例へば盲人，聾，唖，癈疾，
	の	257	03	癈疾，不具者，等で第二の種類は社会上	の 貧民で有りまして，例へば衣食住の一部，又は全
	の	257	06	即ち不良少年）で有ります．而して天然	の 貧民に属する盲人，聾，唖，癈疾，不具者は祖先
	の	259	11	京の養育院に於ては東京府内に起るだけ	の 貧民を救助すると云ふ如きことであります．第三
	の	261	10	致し，将来の犯罪人となる恐れなき天然	の 貧民即ち盲人，聾，唖，癈疾，不具者の如きは調
	の	060	11	へず，たゞ権利とか自由とか聞きかぢり	の 不理屈を唱ひ父兄の言ふことをも用ひずして酒を
	の	070	11	如く僅で御坐いまして斯の如き需要供給	の 不平均で御坐いますから失敬では御坐いますが今
	の	088	06	種々の進歩を致さうと思ひます人は己れ	の 不充分なること不完全なること劣つたることを能
	の	088	11	ります．たとへば亜米利加の土人は自分	の 不完全なることを知らで森林の中で弓を射て世渡
	の	089	01	せぬ．併しながら人の本当の有様，人々	の 不完全なることを教ゆるには基督教に若くは御坐
	の	099	01	て二十五名の人の不幸を悲しみ又外国人	の 不道徳なるを怒つて其の罪を鳴らしたからとても
	の	120	13	す所の金高は大層なことで有るから今度	の 不景気なども其の一原因となつたことであらうと
	の	125	17	承諾することが出来ぬと．これ等の色々	の 不承知を言ふお方の中に，よく熟したる学者も御
	の	126	05	する．けれども基督教に就て己れの色々	の 不承知を言ふものが随分世間に多う御坐りますれ
	の	135	01	坐ります．併しながら，こゝにまた一つ	の 不承知を言ふお方が御坐ります．この不承知を言
	の	172	11	す．たゞ北亜米利加人が我が金銀貨の価	の 不平均なのに乗じて大いなる利益を攫み去つたこ
	の	179	14	は易くし圧制らるゝ者は之を放ち凡て世	の 不釣合不平均を取り除き人に自由幸福を与へる者

代表形	判	ページ	行	出現文脈		
(の)	の	002	05	らないが私のはいつたのは仮名の会の月	の	部といふので其れが「かなのとも」であつたか,
	の	002	06	会であつたか知らない. そんならナゼ月	の	部へはいつたといふに私は別にこれぞといふ考へ
	の	002	08	つて左祖したといふ訳でも無い. たゞ月	の	部は人数が多い, 雪の部や花の部は人数が少ない
	の	002	08	でも無い. たゞ月の部は人数が多い, 雪	の	部や花の部は人数が少ない, そこで月の部にはい
	の	002	08	. たゞ月の部は人数が多い, 雪の部や花	の	部は人数が少ない, そこで月の部にはいつたまで
	の	002	08	の部や花の部は人数が少ない, そこで月	の	部にはいつたまでのこと, 仮名遣ひなどはドウで
	の	148	05	ので土地ばかりでも右の通りですが人員	の	部に付ても人員調査のことなどはスタチスチック
	の	190	17	といふ区別です. この行政裁判は行政法	の	部にはいりますから地方行政を終りましたときに
	の	241	09	なことは世間公衆の知る所にして公有物	の	部に属しまするから, これ等は述るに於て聊か不
	の	253	06	の仕切りを三つに分けまして出願懲治者	の	部, 不論罪懲治者の部, 幼年囚の部と致して之に
	の	253	07	けまして出願懲治者の部, 不論罪懲治者	の	部, 幼年囚の部と致して之に教育, 教誨, 懲戒の
	の	253	07	懲治者の部, 不論罪懲治者の部, 幼年囚	の	部と致して之に教育, 教誨, 懲戒の三事を施しま
	の	269	04	がありました. 矯正院即ち感化院は男子	の	部は公立のもの十一箇所, 私立のもの三十四箇所
	の	269	06	数は六千七百七十七人ありました. 女子	の	部は公立のもの二箇所, 私立のもの二十二箇所,
	の	269	07	人ありました. 此の数を合せますと男子	の	部と女子の部とで六十九箇所ありまして, 其の生
	の	269	07	た. 此の数を合せますと男子の部と女子	の	部とで六十九箇所ありまして, 其の生徒の数が八
	の	278	06	順序ではありまするが現在のことは学術	の	部を外れて行政の実際に関係いたしまするから此
	の	209	12	しいことで有ります. 私は先年フランス	の	Ｆａｙｅの彗星の説を訳して東洋学芸雑誌に出し
	の	061	01	館の門を見られたならば必ず古代未開時	の	風たるを覚らるゝでありませう. 又緋縅の鎧や天
	の	181	16	は何であるかとなれば一夫多婦或は蓄妾	の	風が即ち其の根本で御坐ります. ナゼなれば若し
	の	182	10	も実際一夫一婦は即ち古より我が日本国	の	風で妾を持つ者は真の万人に一人か, 千人に一人
	の	182	15	ありませんか. シテ見れば今の一夫一婦	の	風はこれが真理だから守るといふ訳ではなく実は
	の	186	04	れ程のことはありませんが矢張男尊女卑	の	風は免れません. 而して此の不釣合を直すのも亦
	の	219	14	会さへ, さうで有つたから, まして下等	の	風は思ひやられます. しかし箇様な風俗は当時,
	の	221	04	其碩, 自笑などと云ふ作者が有つて西鶴	の	風により, ますます俗耳を喜ばせるを手柄とし専
	の	041	09	も別にきまりては居らず, たゞ其の社会	の	風習により為めになることなら賞せられて善いこ
	の	041	11	当然ぢゃが進化せぬうちには, たゞ一つ	の	風習と云ふもので有りたに違ひ無い. 英国の開化
	の	186	02	ト教の行はれぬ国では何処でも男尊女卑	の	風習の行はれぬ所は御坐りません. 印度や土耳其
	の	177	07	向ふ所は何の国を好み何の政体を貴び何	の	風俗を喜び職業は何々に巧みで何々に拙いなどと
	の	219	02	其れは源氏物語の頃（一条天皇の時代）	の	風俗のことで其の頃は今の如き媒妁人と云ふもの
	の	219	12	ツマリ論が落着しました. して見ると昔	の	風俗は自由結婚に近かつたものと見えます. 此の
	の	215	06	たならぢき, さびれてしまひませう. 世	の	風潮の満ち干と云ふものは実に面白いもので御坐
	の	122	02	のことでは有りますが酒の為めに犯罪人	の	殖えることはドコでも少いことでは有るまいと思
	の	035	01	事業を仕遂げた人は何れも酒を慎んで欲	の	深い人で今日の行ひをよく省みて智慧を研き身体
	の	035	01	て智慧を研き身体を丈夫にし財を惜む欲	の	深い人だと思はれます. 小欲の人は酒を飲むこと
	の	103	09	神が出るのでありませう. 皆な宗教信仰	の	深き故であります. また弘法大師の如き日蓮上人
	の	166	03	あつて其の学派学派の道理はいづれも奥	の	深きことにて, この様なるアサハカな話しでは分
	の	270	14	すまい. 然れば犯罪人を減少するは教育	の	普及を図ることが第一の仕事でありまする. 俗に
	の	076	05	利を興す為めで御坐んせうが貧弱なる国	の	富強になる様に, 富強になつたものは貧弱になら
	の	069	12	す. 故にベルリンの或る新聞記者は「世	の	父兄子弟たる者に告ぐ」と云ふ題にて「最早法律
	の	272	14	決監は東京府に於ては警視総監, 其の他	の	府県に於ては府県知事が之を管理し, 内務大臣は
	の	099	01	ことに付て我々が共同して二十五名の人	の	不幸を悲しみ又外国人の不道徳なるを怒つて其の
	の	111	03	義気に乏しきを悪み我が同胞及び印度人	の	不幸なる厄難に際会したるを憫むのみであります
	の	136	04	え次ぎに四国が見えます. 彼所には白妙	の	富士が眼に立つ如くに見えます. 誠に面白いもの
	の	090	13	を頻りに称美いたします. また近来様々	の	不信者の中にも耶蘇基督を直接に誹る者が滅多に
	の	126	01	も御坐りませう. けれども, こゝに一つ	の	不審なことが御坐ります. 近来の学術と云ふ貴い
	の	180	10	ギリシヤやローマが文物隆盛を極めた時	の	婦人の有様とキリスト教文明国の婦人の有様を比
	の	180	10	めた時の婦人の有様とキリスト教文明国	の	婦人の有様を比較て御覧なさい. 今日の米国や英
	の	180	11	を比較て御覧なさい. 今日の米国や英国	の	婦人の有様と支那印度や土耳古の婦人の有様を比
	の	180	11	や英国の婦人の有様と支那印度や土耳古	の	婦人の有様を比較て御覧なさい. 実にキリスト教
	の	186	02	はれぬ所は御坐りません. 印度や土耳其	の	婦人の事などを聞けば実に憫然に堪へぬことども
	の	187	05	思ふに此はマリヤが我れ知らず世界万国	の	婦人の代表者として数千年来種々の圧制束縛を受
	の	187	08	教が漸々行はれんとする時に当つて日本	の	婦人方もマリヤと共に「我心主を崇め我が霊, 我
	の	196	03	れません, （尤も婦人方と云ふのは一般	の	婦人のことで, 束髪会へ這入つたり, 此の講談会
	の	218	09	る為めで有りました. また傍ら上等社会	の	婦人は深窓の中に居つて世態人情を知つて居ない
	の	088	17	. 故に人は進歩しやうとするならば己れ	の	不足な所を能く承知しなければなりませぬ. 併し
	の	089	03	くして人の真の有様を示しまた人の種々	の	不足不完全を明らかに教ゆる宗教で御坐ります.
	の	102	01	. 日本人はヤマアラシであるから支那人	の	豚にも劣ることがある. 支那人は豚であるから苟
	の	150	08	言ひます. この内公法中で刑法, 治罪法	の	二つは別に法典となつて居りますが其の外のは法
	の	188	11	言ひます. この立憲権力といふものは他	の	二つの大権力を定める. 其の二つの大権力といふ
	の	254	09	ら, これ等の為めには慈恵と犯罪予防と	の	二つの理由よりして放免者保護会社の如きものを
	の	258	14	の即ち救助すべきもので有りまする. 前	の	二つの外に放免者即ち出獄人にして必需の資力な
	の	086	08	かな返答は出来まいと存じます. また世	の	普通の学問は誠に大切なものなれども, これ等の

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（の）	の	217	08	ものと云ひますが，さすれば当時，流行	の 仏説により且は既に遊仙窟などと云ふ支那の小説
	の	031	10	光器と言ふものが発明になりまして総て	の 物体が瓦斯か固体かと云ふことを見分けることが
	の	212	14	．其の時こそ学問も今日より進んで彗星	の 物理学上，何物たるかと云ふことを言ふことも出
	の	004	17	を着てなかなかユウチュウカンと長い毛	の 筆で偏冠りを正し二時間も三時間も手習ひなどを
	の	144	16	先が鈍し．兎角双方旨く参らぬから日本	の 筆の立つ人と西洋の小説の読める者と此の二派を
	の	111	07	此の事に付て輿論を以て充分彼等の所業	の 不当なることを論じなければならぬと思ふ．而し
	の	094	03	領海も土地にはいつて居るもので此の度	の 船の沈没したのはドコかと言ふに紀州沖でありま
	の	110	06	ふ．然らば船長其の他の人々が大勢一つ	の 船に乗つてはあぶないからと言つて或ひは船室か
	の	110	10	いことである．また外国の例に保険附き	の 船を沈めて保険料を取うといふこともある．我々
	の	146	07	間接に風俗を改良することも出来，道徳	の 腐敗を防ぎ社会を改良することも出来やうと思ひ
	の	029	10	ことからして我々の眼に見ゆる星は何か	の 部分を為して居るといふことが粗分る様で有りま
	の	031	12	れました，全く瓦斯で無いにしても瓦斯	の 部分が多いと云ふことです．又其の位置はと言ふ
	の	209	08	所だけは堅まつたもので，あとの尾や他	の 部分は瓦斯体で有ると云ふ者も有ります．其れか
	の	261	12	れて未だ身体の動作も充分ならざる子供	の 部分に属しまする貧民，例へば棄児或ひは孤児の
	の	006	17	盛にならうか来年位には世の人多く漢字	の 不便を覚らうかと．私は悩てしまつた．なかなか
	の	051	07	演説は尤もで何も彼もふるつて支那文字	の 不便なこと仮名の便利なことを述べられましたか
	の	043	04	方がおもになりて参りた．併し天子は民	の 父母，民は天子の赤子などと云ふのは今日まで存
	の	107	05	あつたといふことであるが，これ等男女	の 父母たり兄弟たり将た良人たる人々の心情は果し
	の	269	16	やすい時で有るものと見えます，故に人	の 父母たる者は専ら十二歳より十八歳位までを非常
	の	219	05	気に入れば云ひより，また女の方でも男	の 文の体や風聞によつて，ゆかしくも，きらはしく
	の	217	14	から出ましたかと云ふに仏経に提婆品だ	の 普門品だのと云ふ品目を立てたのに拠つたもので
	の	103	07	心の然らしめたものである．清正が非常	の 武勇を現はしたのは矢張り信仰心の然らしめたの
	の	175	05	箇年の間は国人の難儀な年柄でさえ人数	の 殖ゆることが今申した通りであれば後々とても人
	の	251	11	右のお疑ひは晴れませう．今度は未丁年	の 不良者でありまして此の者を不良少年と名づけま
	の	252	01	るを知らざる者が有ります．これは純粋	の 不良少年で有りまして未だ罪人では有りませぬが
	の	252	11	云ふのが趣意で有りまする．此の未丁年	の 不良少年は監獄に入れまることは宜しくありま
	の	252	16	も与へなければならない．よつて未丁年	の 不良少年には教育を与へ教誨を施し，これにても
	の	258	12	，其の三は幼年囚，其の四は徘徊する所	の 不良少年で有ります．これは前に申しました所の
	の	261	08	る少年は矯正院の管轄と致し，丁年以上	の 不良なる人民は監獄の管轄と致し，放免者は慈恵
	の	076	08	ロフェッソルのガハで御坐んして消極的	の 部類に属することで御坐んせう．さて又右の如く
	の	210	09	少したつと今度はまた山師が「ベルリン	の プロフェッソルの誰がいよいよ彗星が地球に突き
	の	152	12	かと言ふと同じく憲法と行政法との詳細	の 分界は甚だむづかしいことも有ります．ツマリ行
	の	167	15	より東漸といふことがあり支那印度など	の 文物制度が入り来つて，まるで自分の物のやうに
	の	044	17	を害してはならぬと云ふことも矢張り今	の 文明と云ふ欧羅巴でも実際に十分行はれて居らぬ
	の	065	02	私は人力車や丸髷島田の増減は日本男女	の 文明如何を卜するに足るものと思ひます．諸君如
	の	071	05	の勉励と培育とを加へられて共に我が国	の 文明の基礎となるべき機関を製造陶冶せられむこ
	の	178	04	ず．其の頃の時代なれば兎もあれ，今日	の 文明たゞ一席の口上なりとせず相互に問答研究し
	の	182	01	の関係が宜しきに適はなければ決して真	の 文明社会を見ることは出来ません．ナゼなれば夫
	の	274	12	いと云ふので監獄改良と云ふ事柄が今日	の 文明世界に於て政府，及び学者の務むるところと
	の	028	03	は有りますまい．そこで色々な星の明り	の 分量を比較して段々と距離の比例を取ると非常の
	の	117	12	したいもので有ります．人によりては酒	の 分量といふものは人によつて違ふ故に節酒と言つ
	の	138	06	そつと善い薬が有ると申してスペンサー	の フ／ヒロソフ／ヒーを貸して呉れ之を寐しなに一
	の	061	12	ありませうが現今に至つては非常に濫用	の 弊を生じて斯の如き必要の場合にのみ使用せずし
	の	061	16	乗車せしむるあり．斯の如く人力車濫用	の 弊たる我が邦人をして暗々裏に健康を害すること
	の	061	17	るものと思ひます．所で斯く人力車濫用	の 弊を生じたる所以を考るに其の原因となるべきも
	の	062	14	此の如き種々の原因よりして人力車濫用	の 弊を生じ来り三助でもオサンドンでもダルマでも
	の	063	13	シルシでありませう．されば人力車濫用	の 弊たるや国民衛生上頗る有害なることで又人力車
	の	064	12	のものは必竟前に申した通り人力車濫用	の 弊を生ぜしに因るものにしてツマリ人民が人力車
	の	102	17	果して然るなれば此の大原因たるところ	の 弊を矯め直さねばならぬ．即ち私が示したる二個
	の	260	17	益になる，此の度合ひを超ると惰民製造	の 弊を来すと云ふのを判断するのは容易いことで有
	の	120	15	今，申したのは西洋の学者が西洋の飲酒	の 弊害を除かんとの骨折苦心から出た話しで有りま
	の	121	01	前に申した通り西洋の学者は西洋の飲酒	の 弊害を見て説いたことで有りますが私はドウも日
	の	121	09	起らうかと思はれます．其れに就ては酒	の 弊害の及ぶ箇条が有りますがドウしたらば此の調
	の	184	03	とは出来ません．また，これから起る所	の 弊害不幸は何程だか知れません．キリスト教は即
	の	180	11	の婦人の有様を比較て御覧なさい．今日	の 米国や英国の婦人の有様と支那印度や土耳古の婦
	の	218	15	物だが大かたは源氏の君や其の他の人々	の 平日の動作言行を記して其の間に時々の景色と歌
	の	179	04	深梶之助君演説婦人矯風会の目的は社会	の 弊風を矯め道徳を修め飲酒喫烟を禁し以て婦人の
	の	179	05	るにありと規則書に見えますが凡て社会	の 弊風を改良すること取り分け婦人の地位を高くす
	の	181	14	本たる者があらうと存じます．若しも世	の 弊風を改めやうとならば先づ其の根本から改めて
	の	183	08	といふことでは御坐りません．陰陽内外	の 別なく神の前に在つて真実に一夫一婦の道を守る
	の	186	09	つては「或は奴隷或は自主或は男或は女	の 別なしそは皆キリストに在つて一体なればなり」
	の	186	11	教へますが其の品位に至つては更に高下	の 別なきことを教へます．其の他に尚ほ例を挙れば
	の	264	01	ひます．則ち幼年者を数組に分ち，長幼	の 別を正しくし以て教育感化することになつて居り

〔速記叢書講談演説集〕

代表形	判	ページ	行			
(の)	の	147	16	実をスタチスチックで調べるのは行政法	の	便益になることが大いなることであります．其れ
	の	148	07	チスチックの法に適つて居つても行政上	の	便益を為さぬときは調べ直しをしなければなりま
	の	185	15	第三には男女同等の教で御坐ります．前	の	弁士も述べられた通り我が邦に於ては儒道仏道の
	の	054	03	へ弁当を持つて行く様になる．其れを用	の	弁ずるまで学ばさうとすると不毛の地が出来て肝
	の	101	12	して進歩するの覚悟なきことは二十余年	の	変遷でよく分つて居ります．西洋各国の歴史を見
	の	133	09	ます．一人の宣教師は支那のズット内国	の	偏鄙な村に至りまして存外其の村の戸長の如き役
	の	051	07	彼もふるつて支那文字の不便なこと仮名	の	便利なことを述べられましたから今日私はそこは
	の	071	05	科上に就て教師の任を執らるゝ方は一層	の	勉励と培育とを加へられて共に我が国の文明の基
	の	003	02	敵の首を取ることも出来るけれども方便	の	方はたゞ之を知つて居ても仕方が無い．言葉だの
	の	003	09	来て来る．八時間の使ひ方を智識の方便	の	方に使ひ過ればイヤでもオーでも真の智識を得る
	の	006	03	ことを知らぬもの．併し考へて見れば外	の	方も分る，考へても分らないでは無からう，考へ
	の	006	06	動物学の講義でも植物学の講義でも実物	の	方はお留守で字の講釈に止るのが有る．諸県へお
	の	017	14	な違ひで月は地球より小さいけれど太陽	の	方は地球よりも遙に大きい．其れのみならず月が
	の	020	04	太陽を繞つて居ますから若し太陽の向ふ	の	方に此の星が居る時には太陽のソバに見ゆるもの
	の	020	17	陽のまはりを回つて居りまして地球が内	の	方を回つて居ますと火星が外を回つて居ます．こ
	の	021	03	若し火星の表面に動物が無かつたら其れ	の	方が却つて不思議で有ります．全く動物植物の生
	の	021	07	に違ひない．其れに若しも無ければ其れ	の	方が却つて解しにくい．そこで地球の表面に我々
	の	022	04	り遠いものも有れば近いものも有り，内	の	方を通つて居るものも有り外の方を通つて居るも
	の	022	05	有り，内の方を通つて居るものも有り外	の	方を通つて居るものも有る。一番遠方に居るのが
	の	030	04	はさうでもないが小さな星がアマノガハ	の	方に行く程多いです．其れからして此のアマノガ
	の	036	05	に可笑くなりませう．一方のヒロソヒー	の	方は調子が合ふから人が聞いても感じましてよく
	の	040	07	社会が有る．其の様な社会では男女共同	の	方が正しいので若し一人の夫が一人の女房をもつ
	の	041	17	のとは甚だしく違ふて居る．支那では上	の	方に十分，権をもたせて上の者は下の者を圧制す
	の	042	04	違ふて居る，して見れば支那よりは西洋	の	方が進んで居ると思はれることぢゃ．Ｂｕｃｋｌ
	の	043	03	其の外総て具りて政府のする仕事は法律	の	方がおもになりて参りた．併し天子は民の父母，
	の	062	11	して忽ち足を疲らし殊に婦人の如きは裾	の	方には綿を入るゝこと恰も飾り餅を付けたるが如
	の	068	04	供しようと思ひます．諸君の中に御承知	の	方も御坐いませうが孛漏生国では裁判官たるの能
	の	074	17	ｌｕｅ即ち消極的の価値で御坐んす．前	の	方には大分利が多う御坐んすが只今申した方のは
	の	075	13	国家の為めに希ふ所はＰｏｓｉｔｉｖｅ	の	方が余計に出来てＮｅｇａｔｉｖｅの少ない方が
	の	075	17	値を得るといふもので御坐んせうし経済	の	方は積極的の方と言つても宜しう御坐んせう．是
	の	075	17	ふもので御坐んせうし経済の方は積極的	の	方と言つても宜しう御坐んせう．是れ等が則ち必
	の	080	01	なる所へ進み行くことでツマリ文明開化	の	方へ段々と進んで行くことを申します．抑も昔よ
	の	092	03	．基督教は即ち進歩の宗教で常に人を善	の	方へ進ませて貴い方へ上げる宗教で御坐ります．
	の	113	08	れには利も有り害も有るがドウ見ても害	の	方が余計に見ゆる．して見れば酒といふものは先
	の	114	13	る欲をば人類的の欲と言つて，飲食の欲	の	方は他の動物にも人類にも通じて有るから動物的
	の	115	02	，人類といふものは低い欲よりは高い欲	の	方を勝たせなければ人類たる甲斐はない．而して
	の	115	03	人類たる甲斐はない．而して動物的の欲	の	方は熾んなれども其の品等を言へば至つて低いも
	の	115	06	ければならないのにヤッパリ動物的の欲	の	方が勝つて居て食ひ過ぎたり飲み過ぎたりする者
	の	117	13	の程が分らないからイツソのことに禁酒	の	方がよいと言ふ者もあれど其れは左様な会が有つ
	の	120	02	ら予防をすることも，かなへますが酒疫	の	方は内心に起るもので有つて外に見はれぬから酒
	の	137	16	書五経よりは馬琴の八犬伝や春水の梅暦	の	方が面白い．西洋のスペンサーやミル，ベンサム
	の	138	12	が，しかつめらしいものより面白いもの	の	方が間接に効能が著しい．馬琴若しくは其の流派
	の	138	17	た其のキヽメの深浅を云ひましたら小説	の	方が固くるしい本よりは斯様なことは善い斯様な
	の	145	15	は金は出さねども此の演劇改良には賛成	の	方で有るが此の演劇改良よりもまた小説改良の方
	の	145	16	有るが此の演劇改良よりもまた小説改良	の	方が区域が広からうと思ひます．また此の演劇を
	の	148	06	も人員調査のことなどはスタチスチック	の	方では大事なものであります．併し人員を調査す
	の	148	14	とかを市街といふ風にしたいが人員調査	の	方で，それが調ばつて居ないといふと折角だが用
	の	149	11	ひありませぬ．併しスタチスチック学者	の	方では行政法に関係して居ることは斯の如くでは
	の	153	02	に属してあると，きまつて居れば行政法	の	方ではドウいふ風に其の即位式を行ふといふこと
	の	155	14	，動物学，金石学，物理学，其れから心	の	方で心理学，哲学，倫理学，道徳学，政治学，理
	の	156	07	勿論天文者でも日が出ると言ひますが日	の	方から出るのだから日が出ると言ふのだらうが，
	の	156	08	るとは言はれない．地が円いのだから地	の	方で回つて，いくのださうでござす．其れが今では
	の	159	05	ものにして，あるものでござす．所が東洋	の	方へ来ると，さうはいけない．明の頃に天主教が
	の	169	01	思はれます．ところが我が国人の心は西	の	方へばかり向ひて東の方には向はない．これは人
	の	169	01	我が国人の心は西の方へばかり向ひて東	の	方には向はない．これは人の自由心と物理と関係
	の	169	13	とは知りませぬが先づ亜米利加に行く者	の	方が欧羅巴に行く者よりは多いに違ひありますま
	の	169	15	て居るやうに見えます．欧羅巴に行く者	の	方は学術研究の為めで官費を仰ぐ者か，または華
	の	169	16	ふやうな金持ちたちで亜米利加に行く者	の	方は大抵貧乏書生やハタラキテの類で自ら思ひ立
	の	170	05	に就いて考へると官費で欧羅巴へ行く者	の	方は金も千両なら千両揃へて持つてゆきませうが
	の	170	06	て持つてゆきませうが亜米利加へ行く者	の	方はさうでありますまい．欧羅巴へ行く者の方は
	の	170	06	はさうでありますまい．欧羅巴へ行く者	の	方は富貴の財で行き亜米利加へ行く者の方は人に
	の	170	07	の方は富貴の財で行き亜米利加へ行く者	の	方は人に頼つたので無く全く自発して行くのであ
	の	170	08	発して行くのでありませう，富貴の働き	の	方には限りがありませうが人民の自発の方には限

代表形	判	ページ	行	出現文脈		
(の)	の	170	08	の方には限りがありませうが人民の自発	の	方には限りはありますまい，して見れば，これは
	の	189	07	法権は法律をきめるものであり，執行権	の	方は立法権できめましたことを実際に行ふといふ
	の	189	09	といふ趣意で御坐います．然るに立法権	の	方はおもに代議士だとかいふやうな国会議員など
	の	189	10	うな国会議員などより成り立ち，執行権	の	方は皇帝のみで成り立つて居ります．併しながら
	の	189	14	行権で干渉することがあり，また執行権	の	方にも立法権が干渉することがある．といふもの
	の	189	16	，色々ありませう．其れで，この執行権	の	方になりますと執行権は共和国に於ては大統領，
	の	195	08	ない用事が有りまして，相手と一所に東	の	方に出て参りましたが，其の時，相手と「ミゴト
	の	196	08	ん．一体，この彗星をこはがるのは東洋	の	方ばかりでは無く，西洋では東洋よりも甚しく，
	の	213	06	↘議論をするなどと云ふことは大不得手	の	方で古い事を穿鑿するのが持ち前イヤ病ひで御坐
	の	213	13	多少の学問が無ければなりませぬが演劇	の	方は下等社会までも見るものだから第一に世間の
	の	215	15	国に一疋の兎があつた所が其の兎が内地	の	方へ渡らうと思つても海を渡ることが出来ない．
	の	216	01	レデ鰐が眷族を連れて来て隠岐から因幡	の	方へ一パイになりました．其の上に兎が乗つて一
	の	218	12	の勧善懲悪などと云ふ方では無くて人情	の	方を専らとして書いたので有るからドレにも男女
	の	219	05	どを考へて気に入れば云ひより，また女	の	方でも男の文の体や風聞によつて，ゆかしくも，
	の	219	08	の家に引き取らないで親の家に置いて男	の	方から通つたと云ふことで有ります．また源氏物
	の	220	06	を書いた義経記などは事実よりも作り事	の	方が沢山だらうと思はれます．しかしながら猿楽
	の	220	11	モテアソビモノとなりました．其れは画	の	方が重もで其の上へ説き明しを附けたもので福富
	の	224	01	の浄瑠璃作者が出て世間の人気が人形座	の	方に向いたから狂言座の方でも其の浄瑠璃を語つ
	の	224	02	の人気が人形座の方に向いたから狂言座	の	方でも其の浄瑠璃を語つて俳優が人形の代りに働
	の	224	04	所から狂言作者は学問はさておいて気転	の	方を専らとするやうになり，少し学問気の有る者
	の	224	17	体面を改めるやうになりませうが，小説	の	方は，これまでと違つて立派な人の仕事となりま
	の	225	02	しい改良を見ることが出来ませうが演劇	の	方はまだ見物の了簡が強盗や情死でなくては面白
	の	229	01	るときは之れを町と名づけ，また耕作地	の	方が過半を占めるときには之を村と名づけるとで
	の	231	12	なりますと知事が一人で施政を為し議政	の	方は府県会また常置委員会が有ります．町村にな
	の	233	10	有りますが其れが一番肝腎なことで官立	の	方では外国語で教ふるが私立学校では左様に致さ
	の	246	17	くれるもので御坐います．例へば昔は北	の	方の或る地方に於ては母親が子を生むと「これは
	の	086	06	ので御坐りますか，また彼の道徳と道徳	の	法と其の基本は何で御坐りますか，人の心を深く
	の	131	01	．また人間の心に植えられたる所の道徳	の	法も人の色々の浅ましい論によつて容易に変るも
	の	148	07	を調査するのはドレほどスタチスチック	の	法に適つて居つても行政上の便益を為さぬときは
	の	031	07	ゆるのも有り，又今日世の中にある極上	の	望遠鏡で見ても矢張り雲の様に見ゆるのも有りま
	の	239	15	員生徒，其の他の諸友人知人等が屢々私	の	茅屋をお尋ね下されて，私が巡閲したる監獄の有
	の	195	14	つたかも知れません．尤も，この三年前	の	彗星にしろ「戦争や何かには関係の無い」と云ふ
	の	196	09	しく，こはがつたものと見え「箇様箇様	の	彗星が出たときは人が夥しく死んだ」の「国が亡
	の	197	17	しないで，総ての学者の苦しんで居る所	の	彗星と云ふものは若しや惑星と同じ種類のもので
	の	200	07	たら，こゝで諸君がお疑ひなすつて「先	の	彗星もドンナ形ちで尾の長さがどの位，心の大き
	の	201	17	為めに後れるです．其れでＨａｌｌｅｙ	の	彗星も七十五六年目に戻つては来ますが，どの位
	の	203	15	い因縁が有りません．このＨａｌｌｅｙ	の	彗星は其の前にも度々出たことが有ると云ふこと
	の	204	16	あとで調べて見れば，これは全くハレー	の	彗星がイツモの日限に遠方から戻つて来たまでの
	の	205	12	宜しい．Ｈａｌｌｅｙの次にＥｎｃｋｅ	の	彗星と云ふが有りますが三年と四分の一ごとには
	の	205	14	しかし肉眼では見えません．この十一二	の	彗星の歴史はナカナカ面白いと云ふことですが私
	の	205	16	が有りますから．さて，このＥｎｃｋｅ	の	彗星と云ふのはマルセイユの天象台の門番のＰｏ
	の	206	09	したが其の中で珍らしいのはＢｉｅｌａ	の	彗星と云ふて，この人がイツも六七年目には戻つ
	の	207	04	不思議なことにはモウ大かたＢｉｅｌａ	の	彗星が地球のソバに帰つて来る時分だと云ふ時に
	の	207	17	とと思はれます．して見るとＢｉｅｌａ	の	彗星は失せてしまつたのでは無く，化けて流星に
	の	209	12	有ります．私は先年フランスのＦａｙｅ	の	彗星の説を訳して東洋学芸雑誌に出して置きまし
	の	212	03	古材木の様なもので有りますから，本当	の	彗星の中へ這入れるのは推して知れませう．たゞ
	の	212	12	即ち今から二十六年後にはＨａｌｌｅｙ	の	彗星の戻つて来る時で立派な彗星が肉眼で見ゆる
	の	068	16	）而して裁判官検察官の本官となり一定	の	俸給を得まするまでには平均三箇年を待たなけれ
	の	204	05	が有るから功徳の為めに寺を建てて坊主	の	俸給をお殖しなさい」と言ひました．そこでＬｏ
	の	163	16	る．」また駿河の今川は歌舞を好み相摸	の	北条は酒を好み皆其の国を亡ぼした．福島正則な
	の	243	13	に於て執行いたします．故に政府は政治	の	方針を定むるだけにして，其の実際の運転は総て
	の	065	07	も将た退かしめやうとするも偏に先覚者	の	方寸にあることです．先覚者たる者は能く事物の
	の	086	10	は此の世の権威と勢力また人の立てた所	の	法則また此の世の富などに係はらぬもので御坐り
	の	106	14	は則ち今回神戸領事庁に於て更に開く所	の	法廷であります．想ふに去月二十四日の晩，彼の
	の	108	09	り調べが出来ずして僅に新聞紙又は世間	の	報道より外に材料は御坐りませぬ．併しながら未
	の	002	16	智識と智識の様に見ゆるも実は真の智識	の	方便に過ぎざる智識が有りまする．例へば家を建
	の	003	03	も仕方が無い．言葉だの文字だのは智識	の	方便即ちテダテで其れを知つただけでは役に立た
	の	003	08	歩が出来て来る．八時間の使ひ方を智識	の	方便の方に使ひ過ればイヤでもオーでも真の智識
	の	003	12	腎の智識に時をかけるが少なくつて智識	の	方便に莫大の時を費すことになつて居る．今喋々
	の	119	01	ります．飲酒より生ずる弊害を調査する	の	方法を論ず明治十八年十二月二十日大日本節酒会
	の	126	16	ものだかも知れぬけれども其の用ふる所	の	方法は決して，よいもので御坐りませぬ．西洋の
	の	176	07	ものを調べるものであります．この調べ	の	方法は事実の上から道理の知れるやうにしなけれ
	の	177	13	まひませう．右は一席の演説にて一大事	の	方法を述べたれば学理上には不都合なることも多

代表形	判	ページ	行		出現文脈
(の)	の	178	05	して学理の上より我が帝国の将来を知る	の 方法あらば何の仔細もなきことなれば有志の学者
	の	247	10	も云へませぬ．よつて監獄に於ては二つ	の 方法を以て人心の改良を図りまするもので有りま
	の	252	17	ゆゑ，また懲戒を与へると云ふ此の三つ	の 方法を要しまする．則ち監獄よりも教育だけ余計
	の	254	11	とを致さなければなりませぬ．此の保護	の 方法が日本には有りませぬから為めに再犯，三犯
	の	259	06	大関係をもつて居りまするから此の救助	の 方法は監獄上よりしても確にきめて貰はなければ
	の	259	08	ませぬ．私の考へまする所では貧民救助	の 方法は次の如く定めたら宜しからうと信じます．
	の	260	14	第六，監督者を設くること．これは相当	の 方法が立ちました上は或ひは郡区長，或ひは府県
	の	262	09	と云ふ場所で有りまする．今欧米の監獄	の 方法を略述しまするに其の方法が四通り有ります
	の	263	11	と考へられます．前に述べましたる四つ	の 方法は国によつて其の用ひ方を異にして居ります
	の	267	09	まするので此の会社に於ては或ひは授業	の 方法を与へ又は出獄人を周旋して通常の雇人と致
	の	275	07	しまするので，今から考へまると野蛮	の 方法であつたには相違ありませぬ．然るに維新の
	の	277	10	と貧民との関係貧民救助の目的貧民救助	の 方法欧米の監獄の事欧米の監獄の方法欧米諸国に
	の	277	12	民救助の方法欧米の監獄の事欧米の監獄	の 方法欧米諸国に於て実行せる監獄事業欧洲の監獄
	の	261	09	慈恵と犯罪予防との二点よりするところ	の 放免者保護会社の管轄と致し，将来の犯罪人とな
	の	264	10	業部と申しまして，此の部に於ては罪人	の 放免となりました者を保護して正業に就かしめ其
	の	267	08	業部の事業は慈恵上より成り立つところ	の 放免者保護会社に於て之を執行いたしまするので
	の	048	08	一の社会様のものを為すことになり一つ	の 法律を用ふる様になるであらう．尤もどれほど年
	の	097	10	せう．尚ほ委しきことは大谷木君が英国	の 法律に照して論ぜられませうから．真正の改良明
	の	107	08	レーキに対して求刑が有るからには英国	の 法律を取り調べるのが必要であると考へます．英
	の	107	09	調べるのが必要であると考へます．英国	の 法律には諸君の御承知の通り成文法と不文法とあ
	の	150	17	であります．行政法と言へば一国施政上	の 法律規則また官府とかいふやうな機関を要する道
	の	150	17	とかいふやうな機関を要する道具に関係	の 法律規則を言ふのであります．故に行政法の原則
	の	151	11	法上で定まつてある権理と義務を行政上	の 法律規則で行はれるやうにするのです．第三は無
	の	152	16	変るに従ひ憲法は度々変りますが行政上	の 法律規則は始終変りませぬ．千七百九十年の大革
	の	190	05	ち政を行ふといふ方で，其れから行政上	の 法律規則を執行するのが行政府である．第三には
	の	226	09	ひ何れにしましても其の目的たる行政上	の 法律規則を適用すると云ふことと一個人の権利，
	の	243	16	用を掌ることとなつて居りまして其の他	の 法律，即ち全国の利益に関する行政上の法律規則
	の	243	16	の法律，即ち全国の利益に関する行政上	の 法律規則等は総て行政権で執行することになつて
	の	274	13	ランスに於ては千八百五十五年五月五日	の 法律を以て府県監獄費をも国庫より支弁すること
	の	106	05	ドメント，アクトの第二十三節に「英国	の ボールド，ヲフ，トレード即ち商務局若しくは海
	の	007	07	際裸にしてふるつて見たら字を書くこと	の 外は知らざる者が多いで有りませう．字が書ける
	の	013	15	か十里先きのものが見えなかつたら地球	の 外にドンナものが有るか一向分らないで有りませ
	の	014	01	々遠ぎゝする様になりまして我々の世界	の 外にも別に之に似たものが有るといふことが知れ
	の	024	04	地球の眷属で太陽の孫で有ります．地球	の 外にも眷属を持つた惑星が有るかと云ふに随分有
	の	041	12	たＢｕｃｋｌｅと云ふ人が「道徳は思ひ	の 外，早く開けてしまふて変化は無い，智慧は次第
	の	052	03	我が国のことでは無い話しとして）数字	の 外はモロコシの字を用ひぬことと触れ出し一字使
	の	088	04	心得ます．けれども既に演べましたもの	の 外に社会の進歩の為め種々の必要なものが御坐り
	の	103	03	目になり得べきか．私は宗教の力に依る	の 外に方便あるまじと思ひまする．日本人が保守の
	の	127	07	其の専門と致した所のことを論ぜず色々	の 外の廉に移りて天地の間の道理を広く論ずる間に
	の	137	13	が凡そ教育に関する事柄の改良を教育会	の 外から持ち出されては済まないことと思ひまして
	の	141	15	学者にはなれまいと思ふ鈍才の者が思ひ	の 外，学者になつたものも有る．併し是等はたとひ
	の	145	13	言葉がかゝつたとか何とか云ふので思ひ	の 外，金のダシテが有つて私も一万円私も二万円を
	の	169	09	れには色々な訳もありませうが今日の題	の 外だから言ふのはよしませう．然るに此の両三年
	の	185	03	に於ては一旦夫婦になつたからには姦淫	の 外には，たとひ如何やうなことが出来しても決し
	の	214	10	事を改正した時に「楽屋に出入するとき	の 外は必ず編笠を冠れ」の「アタマをヤッコにして
	の	232	05	ぬけれども府県に固有のことでも該事項	の 外のものは府県会に於て議決するを得ない．よつ
	の	232	06	全く府県固有の用で有るものでも右事項	の 外は知事が勝手に決定して行ふことが出来ると考
	の	235	09	折つて，さうして幸福を得ることは思ひ	の 外少なく今の学者は骨を折ることは少なくして幸
	の	235	10	ことは少なくして幸福を得ることは思ひ	の 外，多いに就ては今の学問をする人は昔の人の難
	の	237	08	右の二大難事を遂げて来たのは実に感服	の 外ありませぬ．実に今日と利害，幸不幸を異にす
	の	251	17	．此の者を幼年囚と申します．此の二つ	の 外に，まだ罪人とはなりませぬが根性の悪い者，
	の	256	10	で有ります．今，申しました二つの種類	の 外に天災の救助と云ふものが有ります．これは洪
	の	258	14	救助すべきもので有りまする．前の二つ	の 外に放免者即ち出獄人にして必需の資力なき者，
	の	261	02	りませう．第七，被救助者の姓名は役員	の 外，他人に知らしめざること．これは貧民救助の
	の	062	09	の廉なるとは原因の二です．第三は衣服	の 歩行に適せざることです．諸君試みに御覧なされ
	の	026	01	物さしの両端から測量して見ても大かた	の 星の距離は大き過ぎて測量することが出来ませぬ
	の	026	16	．モウ一つは白鳥宮といふ所の六十一号	の 星で今申した星から見ますと三倍ばかりも距離が
	の	027	13	でまごついて居るから．これからして外	の 星と云ふものはこれより遠い．遠いと云ふことは
	の	028	01	い．さりながら，ならして言つたら数多	の 星の中で大きく見ゆるのは近いので，小さく見ゆ
	の	028	09	け取る様なことが有ります．そこで此等	の 星を観測して見ると中には面白い星が有る，一つ
	の	028	11	たまつて居る星は肉眼で見ますと唯一つ	の 星の様に見えますが望遠鏡で見ますと二つに分れ
	の	029	04	ゆるといふ場合が有りますから此の色々	の 星は皆太陽で其のグルリに多分回つて居る惑星が
	の	031	11	来る様になりまして此の純粋の星雲は常	の 星と違つて瓦斯だと云ふことが知れました，全く

代表形	判	ページ	行		出現文脈
(の)	の	110	08	のみで無い．今日の新聞で船長は四千弗	の 保釈金を出し其の外の者も保釈を許されたといふ
	の	097	04	て疑つて居つたが此の頃或る新聞社の人	の 発起で漸く水潜り器械で探すことになつたといふ
	の	206	02	ｅｃｏｕｌａｎｔやＤａｍｏｉｓｅａｕ	の ほどには十分いきます．）其の彗星のあるいて居
	の	027	09	は三年と六ケ月かゝり白鳥宮からは其れ	の 幾ど三倍で九年と三ケ月かゝります．でありま す
	の	120	15	洋の学者が西洋の飲酒の弊害を除かんと	の 骨折苦心から出た話しで有りますが日本では此の
	の	127	15	とし且喜んで受け容れます．而して色々	の 骨折をして近来聞いた所の新発明などを基督教に
	の	045	01	ぬ．曾に道徳が行はれぬのみならず法律	の 本趣意も行はれて居らぬぢゃ．僕の考へでは今日
	の	046	09	けるのぢゃ．其れぢゃから法律と道徳と	の 本主義を云へば先刻言ふた様な訳なれども併し全
	の	054	05	の様に書物を皆な焼いてしまつても英仏	の 本を知らないでも何でも知れる様に知れるものを
	の	054	07	ることが肝腎だと思ひます．先づ小学校	の 本，また学問のある人の研究の為めの本，それか
	の	054	07	校の本，また学問のある人の研究の為め	の 本，それから第三種は慰みの為めの本，それを類
	の	054	07	為めの本，それから第三種は慰みの為め	の 本，それを類を分けて見ますと御国より始めてモ
	の	054	12	信の学問，法律の学問，測量の学問など	の 本が出来なくつては困ります．手紙の書き方の本
	の	054	12	出来なくつては困ります．手紙の書き方	の 本は物集先生の御著述を待つて居ります．さて又
	の	054	16	を用ひなければならない．我が国は支那	の 本で修身を学んだが修身は支那よりは日本がよい
	の	054	17	がよい．其れ故矢張り仮名で書いた修身	の 本を願ひたいと思ひます．さて書物はヤミクモに
	の	055	08	ず教へます．其れはナゼだと申せば漢字	の 本をやめて仮名の本を読ませたくも本が無いから
	の	055	08	はナゼだと申せば漢字の本をやめて仮名	の 本を読ませたくも本が無いから涙を流して漢字を
	の	137	16	．西洋のスペンサーやミル，ベンサム等	の 本を読みましたときには上下を着た人に小言を頂
	の	138	09	ことは出来ません．ウ／ヲタースコット	の 本などを読みまするとと其の面白い話しに連れ後は
	の	143	13	る積りで有ります．たとへば米八丹治郎	の 本ならば之を見て男なら丹治郎になつて見たい女
	の	144	12	少し悦ばしいことには此の節は追々西洋	の 本を読んだ然るべき人たちがソロソロ西洋の小説
	の	167	12	ラ一切経をひつくりかへして見ても漢土	の 本を万巻読んで見ても分りますまい．ヤッパリ新
	の	141	06	と不品行とに因り且卓見が無いのと小説	の 本意と言ふものを知らずして之を進歩せしめざり
	の	143	01	りが主意では御坐りません．然らば小説	の 本意と云ふものは何だと云ふと人間の人情を写し
	の	068	16	もので御座います）而して裁判官検察官	の 本官となり一定の俸給を得まするまでには平均三
	の	136	03	ば誠に面白いもので有ります．此の帝国	の 本州と諸々の島は皆な眼の前に，この庭に敷て御
	の	104	01	．前段にも申したるが如く日本人は浮薄	の 本性を備へ居りまするが大改革を行ふには最も適
	の	205	17	星と云ふのはマルセイユの天象台の門番	の Ｐｏｎｓと云ふ人が肉眼で見出して名高くなつて
	の	160	05	落ち付けるのが学問の極点で，教法は心	の 本体なるものは如何なるものか上るものか下るも
	の	089	01	知しなければなりませぬ．併しながら人	の 本当の有様，人々の不完全なることを教ゆるには
	の	131	11	お方はドコまでも基督教と学術との関係	の 本当の道理は分ることが出来ませぬ．其の両方の
	の	234	11	は日本語で専門学が出来るで無ければ国	の 本当に開けるやうにならぬのは当り前で有ります
	の	146	05	も多くかゝらないことだから十軒ばかり	の 本屋が集まつて出したら訳が無からうと思ひます
	の	053	01	下して，すて仮名を附け其れが段々一種	の 真片仮名文になつたものと思はれます．もと漢学
	の	222	11	の上古には久米舞，吉志舞など云ふ固有	の 舞が有りました．三韓来朝の後，三韓とモロコシ
	の	222	14	伝へて居ります．中古以来，僧家に延年	の 舞と云ふものが有り，婦女の間に白拍子の舞が有
	の	222	14	舞と云ふものが有り，婦女の間に白拍子	の 舞が有りましたが，また田楽と猿楽と云ふものが
	の	223	02	世阿弥の父子が奮発して其れまでの猿楽	の 舞を修正して多くの新曲を作り滑稽にかゝつた方
	の	199	08	大学までいくには及びません．さて彗星	の 毎日の観測を以て其の軌道を取り出して見ますと
	の	003	15	時もへづられて電信機の改正もせずに机	の 前に坐つて字を習ひ，コレラ病の原因を見出すこ
	の	057	16	で本題を陳べやうと思ひますが其の演説	の 前にモウ一つ諸君に向つてお断り申すことがあり
	の	067	08	に祝辞を呈し併せて私の感ずる所を諸君	の 前に申し述べようと思ひます．諸君は我が天父の
	の	089	13	人の種々の進歩を励ます為めには人の目	の 前にある貴い目的，高尚なるゆくアテのあるのは
	の	134	08	ほ明かな所はこれで御坐ります．「人々	の 前に爾等の光りを耀かせ，さすれば人々爾等の善
	の	136	03	す．此の帝国の本州と諸々の島は皆な眼	の 前に，この庭に敷て御座ります．こゝには九州が
	の	143	16	だ甚だしき猥褻でもありませんが随分人	の 前で読むことの出来ぬ奴があります．併しこれ等
	の	158	15	ば，なるものでごすネ．昔は仏教のお寺	の 前には雷門と云つて大層な勢ひで，コンナ塩梅に
	の	183	08	では御坐りません．陰陽内外の別なく神	の 前に在つて真実に一夫一婦の道を守ることで御坐
	の	185	17	御坐りますがキリスト教は之に反して神	の 前に於て男女とも全く同等のものであると教へま
	の	186	06	ず全く同等な者と致します．若し女が神	の 前に於て罪人であるならば男も矢張罪人であるし
	の	204	08	ました一番の大きいのは千五百三十一年	の 前，即ち千四百五十六年に出ました彗星で有りま
	の	219	17	衰記，平家物語などは文章も面白くて目	の 前に見るやうに書いたもので有るが文章の飾りが
	の	242	05	，看守長，書記，看守，等凡そ四五十名	の 前に於て一場の演説を致しました．其の演説の大
	の	254	17	ませぬ．古来，牢獄と名づけました牢屋	の 前を通ると家へ帰つて門前で塩をかけると云ふ風
	の	257	10	も救助と云ふものでは無く，言はば資本	の 前貸しで有ります．之と同じく貧病人を救助する
	の	203	12	うな発見が出来ましてからは，ナニソレ	の 前表で有るとか言つてムヤミにこはがるやうなこ
	の	088	09	せぬ．米国の土人，ニュージーランド島	の マオリと云ふ人種の様なものに付て至極其の困つ
	の	217	13	云ひますが能く分りませぬ．物語に俊蔭	の 巻とか吹上の巻とか云ふ標目の見えたのは此の書
	の	217	13	く分りませぬ．物語に俊蔭の巻とか吹上	の 巻とか云ふ標目の見えたのは此の書が始めで有り
	の	219	09	ふことで有ります．また源氏物語の箒木	の 巻に雨夜の品定めと云つて源氏の君，頭の中将，
	の	076	17	んせうが其の間，髪を容れぬのです．右	の Ｍａｃｌｅｏｄ氏の如く積極消極と限界されたは
	の	024	03	の子供だとすれば月は地球の眷属で太陽	の 孫で有ります．地球の外にも眷属を持つた惑星が

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（の）	の	089	03	諂ふことも無く恐るゝことも無くして人	の 真の有様を示しまた人の種々の不足不完全を明ら
	の	089	04	に教ゆる宗教で御坐ります．人若し己れ	の 真の有様を知りたいならば先づ新約書旧約書を研
	の	214	14	帰朝するに従つて小説と云ふものは天下	の 真の象と真の理とを能く探り得る美術てあつて，
	の	175	09	てしまふと同じ道理であります．併し人	の 増すのは当り前ではあるが増すばかりが国家の繁
	の	082	15	ればギリシヤの国また其の中のアデンス	の 町を御覧なされ．アデンスの町は立派に開けたも
	の	082	16	のアデンスの町を御覧なされ．アデンス	の 町は立派に開けたもので御坐りましたが其の人民
	の	229	02	の数は一万二千二百十七あるです．東京	の 町の数は俗に八百八町あるとか云ひますが，これ
	の	127	13	の趣意を感心して，また前に申した仕方	の 間違つて居ることをよく承知して学者が世に出す
	の	127	08	く論ずる間には，なみの人の如くに色々	の 間違ひに陥り易いもので御坐ります．けれども卒
	の	132	10	方で有ります．ナゼといふのに人の色々	の 間違ひを駁つよりも真の道理を設ける方が余程よ
	の	073	15	に凡そ物の価を生ずるといふものは二個	の 全く反対したるものより生ずるとの説を思ひ出し
	の	074	02	を言ふたもので御坐んす．さて其の二個	の 全く反対するといふ其の一のものは全く利を興す
	の	234	07	の専門学校の先生になれば其の人が自分	の 学び得た所を脳髄から練り出して来て其れを講義
	の	170	03	せう．これは日本ばかりで無く世界万国	の 免れないことであります．これに就いて考へると
	の	020	17	にも言ひました通り此の星も同しく太陽	の まはりを回つて居りまして地球が内の方を回つて
	の	197	13	けやうとするので其の間を取つて，太陽	の マハリを回つて居ります．コンナ塩梅にして回つ
	の	199	14	に起りました．さうするとグリツト太陽	の マハリを回つて見えなくなつてしまつた彗星が再
	の	088	08	ことが出来ませぬ．己れが不足なる有り	の 儘にして満足するならば進歩することが出来ませ
	の	038	06	も古代の説には天然自然に有る所の吾人	の 守るべき法則ぢゃと云ふことなれども併し近頃の
	の	132	11	で御坐ります．若しあなた方，世の色々	の 迷ひの中にて造物主の御心に本づいたる道理を固
	の	132	12	いたる道理を固く立てるならば，すべて	の 迷ひといふものは自からにして倒れてしまふもの
	の	210	11	のことを調べる人はショッチュウ其れ等	の 迷ひを解くことを書いて居りますが，日本などで
	の	157	07	ンナつまらないことを言つたからだ，地	の 回ることは決して言ひますまいと言つてきゝませ
	の	182	11	古より我が日本国の風で妾を持つ者は真	の 万人に一人か，千人に一人に過ぎないといふ人が
	の	024	08	星を見ますとドンナけちな望遠鏡でも星	の 真中の所に筋の様なものが見えます，丸に一文字
	の	087	08	物を造り且之をつかさどりたまふ造物主	の ミコゝロに逆らひ之に合はざるものなりと云ふ返
	の	087	11	て即ち人に進歩するの能力を与へたる神	の ミコゝロに合ひたるものなりと云ふ返答が出来ま
	の	087	13	基督の総ての高尚なる仰せを書き載せ神	の ミコゝロを顕はす所の聖書なりと云ふ明らかな返
	の	089	17	．この教は即ち万物を造りたまふ造物主	の ミコゝロに基づいた宗教なれば，これより上と申
	の	090	08	とも有ります．なぜなれば所謂聖書は神	の ミコゝロを教ゆるもので御坐ります．基督教を用
	の	240	05	て之を視察したるもので有りますから私	の 見たるところは私の目を通つて内務大臣の目の中
	の	090	05	らば迚も進歩することが出来ませぬ．神	の 御言葉と云ふ聖書の極古い所に申して御坐ります
	の	130	04	では御坐りませぬ．基督教は則ち造物主	の 御心と人間の天然の性質に基いたもので有ります
	の	130	06	者が常に調べ且説く所の万物は同じく神	の 御心と御手より出て来るものだから学術が基督教
	の	122	11	なた方，世の色々の迷ひの中にて造物主	の 御心に本づいたる道理を固く立てるならば，すべ
	の	237	06	学ぶので無くて西洋のことを学べば自分	の 身を害することは有つても利することは到底，望
	の	013	10	居る場所は円いものでタカの知れたハヾ	の 見えたもので我々の住つて居る所で無いものは何
	の	217	13	語に俊蔭の巻とか吹上の巻とか云ふ標目	の 見えたのは此の書が始めで有りますが此の名はド
	の	123	03	も人が参つて話しましたが其の人は木曽	の 三尾と云ふところに教員をして居る人であります
	の	249	07	でも拘引して警察署の留置場，又は監獄	の 未決監に入れて置くと云ふことが起りますから人
	の	266	17	には仮出獄を許すことで有ります．第三	の 未決者監禁部の事業は警察署の留置場，及び各地
	の	266	17	部の事業は警察署の留置場，及び各地方	の 未決監則ち監倉と申しまする所に於て之を執行い
	の	267	04	まする．故に分房法に致しませぬと，他	の 未決者から証拠を押し隠すの教授を受くるやうな
	の	192	09	人民に代つて事を議せしむるといふこと	の 詔もありましたしまた元老院といふものもありま
	の	126	14	ば」などと申されます．而してたゞ自分	の ミコミを以てDarwin氏Spencer氏な
	の	086	07	ますか，これに付て若し世の人々の自分	の 見込み，また一般の輿論に問ふならば明らかな返
	の	053	08	合が有ると思はれます．私は漸進家で気	の 短い様な気の長い様な性質で気を長くしなければ
	の	021	16	なんだとか消したとか消さないとか子供	の 水懸論の様なことをして果は大戦争に及ぶと云ふ
	の	171	03	などに書いてある日本村落とかいふもの	の 見世物になる位では，おしまひだらうと思ひます
	の	149	13	しないものは無くスタチスチックは台所	の 味噌のことまで関係して居るといふのですが先づ
	の	122	11	発狂したり夫婦の間に不和を生じたり家	の 乱れを醸したりするのも酒から起ることが余程多
	の	054	13	述を待つて居ります．さて又今まで修身	の 道は我が国では孝経をたのみにして居るのですが
	の	064	04	を起し婦人に在てはヒステリ症（俗に血	の 道）を発することを論じましたが乗車する人です
	の	069	13	に過ぎて居る，物好きなら兎も角も生計	の 道にはいけぬから他の業を修むる様にせよ，父兄
	の	076	11	た方が何の学科であつて見ても各々立身	の 道を得て積極的の結果を得て参りますゆゑ其の違
	の	090	07	す．即ち「神の御言葉はこの浮世の旅人	の 道を照す光りの如し」と云ふ明文が御坐ります．
	の	095	09	みを審問して無罪を言ひ渡したるは審理	の 道を尽さぬものである．尚ほ尽すべき道があるべ
	の	156	11	ると聞いてはヂットして居られない，血	の 道がおこるテネ．いよいよ地が回ると決着したが
	の	171	16	者となつたこと我が国，の第二海外貿易	の 道を開いたこと我が国人に阿片の禁を勧めたこと
	の	183	08	の別なく神の前に在つて真実に一夫一婦	の 道を守ることで御坐ります．一夫一婦と申しても
	の	185	03	ましたが，これが即ちキリスト教の結婚	の 道で御坐ります．キリスト教に於ては一旦夫婦に
	の	200	03	有るが形ちから大きさまで昔し出た彗星	の 道に違はない．昔し千六百〇七年にKepler
	の	021	01	が外を回つて居ます．これが我々の第二	の 道づれで有ります．道づれどこでは無い今言つた

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（の）	の	215	06	ぢき，さびれてしまひませう．世の風潮	の	満ち干と云ふものは実に面白いもので御坐います
	の	090	04	ぬ．第四．また人の進歩を助くるには人	の	導きになる教，色々の教訓が余程大事なもので御
	の	131	04	故で御坐ります．これまで説きました所	の	三つの仕方は皆な誤つた仕方で御坐ります．され
	の	147	06	すが先づ全国行政，地方行政，町村行政	の	三つに分つて（二三回で済むやうに）御一所に講
	の	152	04	国，府県，町村を所有者，負債主，債主	の	三つに分けて研究しなければなりませぬ．其れで
	の	154	02	は日本の全国行政，地方行政，町村行政	の	三つに付て講究しやうと思ひます．それに付ては
	の	226	07	に行政官権並びに行政議会及び行政裁判	の	三つのことに取りかゝりまするが，行政のことと
	の	230	15	否やは考へものです．府県，郡区，町村	の	三つは右の如く無形人ですから議政，施政，行政
	の	250	03	育は智慧の教育，心の教育，身体の教育	の	三つで有りまする．而して智慧の教育，即ち智育
	の	266	05	これ等に施す方法は教育と教誨と懲戒と	の	三つで有りまするけれども専ら教育を主と致しま
	の	201	13	りましたが，丁度其の通りのことが彗星	の	身の上にも有るので有ります．彗星が太陽のソバ
	の	125	09	に本づいたもので有りませうか．傍聴人	の	耳を塞ぎ，よく其の心を奪ふものは何で御坐りま
	の	019	01	つて恐れたもので有ります．其れから宵	の	明星或は明の明星とも云ふ星で有ります．これは
	の	019	02	ので有ります．其れから宵の明星或は明	の	明星とも云ふ星で有ります．これは太白星とも長
	の	022	10	が水星の鑵形になります．其の次ぎは宵	の	明星即ち金星で有ります．これは距離は二丁と二
	の	196	13	ひつこんだから風が吹きはしないか，宵	の	明星が出たによつて饑饉でも有りはしないか」な
	の	045	03	民が有りて上院は貴族が占め下院は人民	の	名代人が出るのぢゃが，さうして見れば貴族一般
	の	177	15	れて箇様なることならば世間に有り来り	の	未来記にも及ばず戸長の仕事同様なることを言ふ
	の	031	16	ます．或はアマノガハと云ふものは我々	の	見る所の限りで総てあるとあらゆるものは星でも
	の	032	05	せぬ．ことによれば第一の説の如く我々	の	見ることを得るだけ随つて知ることを得る限りの
	の	214	01	云ふものは維新前よりしてホンノ女子供	の	見るもので士分の者などは表向き見ることを憚つ
	の	224	07	の強盗だののことを仕組み根が下等の人	の	見るもので有るから猥雑なことで無ければ面白が
	の	172	03	の酒類の輸入を予防せしめたこと我が国	の	民間の教育に尽力して，くれたこと耶蘇正教を我
	の	129	01	坐りませぬ．国政家の中にも喜んで色々	の	無証拠な設理を受け容るものが御坐ります．さの
	の	162	13	有るといふことだがこの酒詰だの洛詰だ	の	無逸だのは正銘なもので決して間違ひの無いもの
	の	028	06	かゝらなければ地球まで来ない．三万年	の	昔こんな星が無くなつて居ても我々は今に有ると
	の	216	12	て居ります．尤も此のやうなことは支那	の	昔の書物を見ると随分ありますから小説の起原は
	の	234	13	べるので無ければならない．エウロッパ	の	昔もギリシャローマが盛んで有つたから近世に至
	の	217	05	つたが其れも否んで八月の十五夜に天人	の	迎ひに応じて天に昇つたと云ふ趣向で至つて澹泊
	の	020	04	通つて太陽を繞つて居ますから若し太陽	の	向ふの方に此の星が居る時には太陽のソバに見ゆ
	の	177	06	を明かに調べた上は将来，我が国の人心	の	向ふ所は何の国を好み何の政体を貴び何の風俗を
	の	067	10	し述べようと思ひます．諸君は我が天父	の	無形なる愛護と教師諸君の深切なる尽力と又諸君
	の	153	13	ミに変ることを禁じます．またお前の所	の	ムスコは気違ひなら外に出してはいけないなどと
	の	240	16	筈で有ります．然れども前に申した「某	の	娘は温良である」と他人に言ふときには良い評判
	の	255	03	でも「あれは監獄の役人で有る故におれ	の	娘は嫁にやれない」などと考ふる者もあるさうで
	の	143	11	いと云ふ米八丹治郎の梅暦，小三金五郎	の	娘節用の如きものもたゞ男女の痴情を書いたもの
	の	013	07	ませぬが今日ではまごついて二三千里位	の	むだ足はしても僅か八十日間か百日で地球を一周
	の	210	15	を言ひ「彗星が地球に突き当たつたら蟻	の	群つて居る中に熱湯をこぼすやうな有様だらう」
	の	141	02	た日本の小説家の品格を申さば源氏物語	の	紫式部や枕の草子の清少納言などは固より雲の上
	の	014	03	し致しませう．天の中にありて一番我々	の	眼に着くものは大陽，月，星，アマノガハなどで
	の	025	07	の学者でもと云ふことで有ります）学者	の	眼から見ると惑星が地球の党類で有ると同様に星
	の	029	10	の辺には少ないといふことからして我々	の	眼に見ゆる星は何かの部分を為して居るといふこ
	の	156	13	が一昼夜の間にグルリと回つて而して猫	の	眼では無いテ．実に大変革でござす．三百年このか
	の	017	05	るものが有るか知らんと言ひますと我々	の	目につくものは太陽で有ります．太陽は距離を精
	の	089	13	また人の種々の進歩を励ます為めには人	の	目の前にある貴い目的，高尚なるゆくアテのある
	の	214	05	した．さう云ふ訳で有るから上等の学者	の	目からは何でもないもののやうに見下されました
	の	240	05	ので有りますから私の見たるところは私	の	目を通つて内務大臣の目の中に這入つたもので有
	の	240	06	見たるところは私の目を通つて内務大臣	の	目の中に這入つたもので有りまするゆゑ，該景況
	の	276	09	誤まりまするとと，例へば囚徒にして獄吏	の	命に従はない者があつたとしまするとと，獄吏は其
	の	233	16	ねばならぬが其れを起すには今より西洋	の	名家の書いた本を翻訳して其れを教科書にする支
	の	190	09	日本では使ひませぬが外国では皇帝陛下	の	名義を以て判決すといふ言葉を使ふ所があります
	の	193	05	及び内閣大臣より成り立つて居る．政府	の	名義を以てやることは天皇陛下のなされることで
	の	058	03	だ」と云ふことですが，これは実に千古	の	名言で支那の孔子ですら「之を好む者は之を楽し
	の	132	04	学卒業生は常に研究する所の新旧約聖書	の	明文を以て基督教の色々の反対論に答ふることが
	の	134	03	ました．只今説きまする仕方に就て聖書	の	明文が御坐ります．例へばＰｅｔｅｒｏが仰せら
	の	107	12	当殺即ち正当に人を殺すこと或ひは上官	の	命令に依つて人を殺すことなどであります．第二
	の	164	04	た丁韋良といふ人が二三年前，支那政府	の	命令を承け学事視察の為めに欧羅巴亜米利加を巡
	の	241	06	く有つたとか云ふやうなことは内務大臣	の	命令外のことで有るから申しても構へませぬ．ま
	の	074	12	とか寒いとかいふ様なことで其の他種々	の	迷惑が御坐んして身体には疾病が有るとか或ひは
	の	048	06	日の官報に出て居た様に日本でも欧羅巴	の	メートル条約に加入したが又子午線のことにも加
	の	182	17	ません．若し今，日本中の人に各二三人	の	妾を蓄る力があつたらドウで御坐りませう．其の
	の	183	03	を蓄ることを何とも思はず婦人もまた人	の	妾となることを何とも思はず甚しきは妾を置き妾
	の	061	07	々歳々増加して現今では津々浦々実に米	の	飯は食はない所があつても人力車の無き所は無い

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
(の)	の	218	14	しかし折々は天人が出たり妖怪が出る位	の	奇らしいことも交ぜて有りますが源氏物語などは
	の	128	15	ぬと存じまする．併しながらこゝに一つ	の	珍らしいことが御坐ります．頻りに色々の新らし
	の	008	04	見て居れば安心高枕で得意になつて居る	の	も無理はない．この間の競馬会社の開業式は一日
	の	014	13	大きくて遠いものも有れば小さくて近い	の	も有るから唯見た計りでは大きい小さいの論は立
	の	024	15	無理では無い他人が太陽系と付けました	の	も私の言つた通りの訳柄だからで有ります．」さ
	の	026	11	々に見ゆる星は中には太陽よりは小さい	の	も有りませうが太陽より大きいのも有りますか知
	の	026	11	小さいのも有りませうが太陽より大きい	の	も有りますか知れませぬ．此の一番太陽に近い星
	の	031	06	眼鏡で見ると星のかたまりの様に見ゆる	の	も有り，又今日世の中にある極上の望遠鏡で見て
	の	031	07	の望遠鏡で見ても矢張り雲の様に見ゆる	の	も有ります．其れとても矢張りアマノガハみた様
	の	031	13	はアマノガハと方角の違つた様に見ゆる	の	も有ります．そこで又アマノガハの中にも大分瓦
	の	043	17	びたであらう．又今日文明開化になりた	の	も強い人種が弱い人種を打ち負かして勝を取りた
	の	058	13	進んで人民の死亡も少なくなつたと云ふ	の	も即ち開化の為めで，又独逸の或る都府に於ては
	の	107	17	ひは故意に出るもあり或ひは怠慢に出る	の	もあつて其の区域頗る広く同じメンスローターを
	の	108	01	犯したものでも或ひは一日の拘留で済む	の	もあれば或ひは終身徒刑のもあります．第四種は
	の	108	01	の拘留で済むのもあれば或ひは終身徒刑	の	もあります．第四種はマーダー即ち謀殺でありま
	の	122	11	不和を生じたり家の乱れを醸したりする	の	も酒から起ることが余程多い様に思はれます．か
	の	147	08	と行政法との関係より始めて並べて見る	の	も一つの順序でありませう．さて，スタチスチッ
	の	165	11	のは，むづかしいことで之を説くといふ	の	も亦むづかしい．また，この題は一人一己の事を
	の	181	11	規則書にも見えた通り飲酒喫煙を禁ずる	の	もまた大事な改良で御坐りませう．酒の社会を害
	の	184	13	で御坐ります．されば此の悪風を改むる	の	も今日の一大急務で之を改むるには矢張キリスト
	の	186	04	は免れません．而して此の不釣合を直す	の	も亦キリスト教で御坐ります．何となればキリス
	の	191	08	るは法律を執行するに止まる．政を行ふ	の	も亦，法律を執行するに止まるものであるから行
	の	192	08	無い．また明治二三年に公議所を開いた	の	も其の通り，其れから左院を置いたも其の通り，
	の	198	09	るいて居る道で太陽に近いも有れば遠い	の	も有ります．しかしソンナことは，この前に言ひ
	の	203	11	つて居ましたが今度は楕円を書いて居る	の	も有ると云ふことまでが分りました．このやうな
	の	209	10	ムヤミに長いもので三年前に見えました	の	も御存じの通り随分長う御坐りました．ドウして
	の	209	17	ません．今日，天文学の駸々として進む	の	も其の辺ですが，進んで居ないのも其の辺で有り
	の	210	01	て進むのも其の辺ですが，進んで居ない	の	も其の辺で有ります．昨日の定説も今日はすたり
	の	210	17	る」と言ふ人も有りました．ゆでられる	の	も寒えさせられるのもドツチも有り難くない．ま
	の	210	17	ました．ゆでられるのも寒えさせられる	の	もドツチも有り難くない．また「地球が彗星に突
	の	212	13	長生きをして其の頃また彗星の話をする	の	も随分面白いことで有りませう．其の時こそ学問
	の	218	06	サゝカ有つたことを本にして作り広めた	の	も有り，またマルマル無いことを有つたやうに作
	の	218	07	マルマル無いことを有つたやうに作つた	の	も有つて一様で有りませぬが，ツマリ物語を作つ
	の	257	11	有ります．之と同じく貧病人を救助する	の	も一時の資本前貸しで有ります．而して壮健なる
	の	263	04	有ります．尤も中には少しは区別を致す	の	も有りますが其れとても年令，罪質，犯数，等の
	の	055	01	さへ骨が折れるもので御坐ります．今私	の	申した目録だけの書物を拵へるのは口で言へば易
	の	122	14	も有ることだからドウいふ塩梅に只今私	の	申したことを調べたら宜からうか銘々最寄最寄で
	の	123	09	程な関係のあることだからドウか只今私	の	申したことを諸君がお調べ下さる訳にはいくまい
	の	138	04	医者に見て貰ひました処，其の医者先生	の	申すには貴君にはモルヒネを上げたい処なれども
	の	127	17	この様な教師が学者たちの色々の論を天	の	黙示，或は神の示現の如くに喜んで受け容れて而
	の	098	11	二十五名の人はウタカタの泡と消え海底	の	藻屑と化し而して其のウタカタの泡と消え海底の
	の	098	11	化し而して其のウタカタの泡と消え海底	の	藻屑と化したのは何の為めである即ち外国人が不
	の	100	14	啻に二十五名がウタカタの泡と消え海底	の	藻屑と化したる不幸を悲しむのみならず啻に訴訟
	の	106	17	等の為めにステゴロシにされ空しく海底	の	藻屑となりたるの一事は実に悲むべく憫むべく怒
	の	012	10	層大事な学問で有ります．併し其れは私	の	目的で有りませぬから，地理学の初歩は御存じと
	の	104	07	を以て著述し英語を以て演説すれば我々	の	目的は達するのであります．之を要するにノルマ
	の	179	04	生館に於て井深梶之助君演説婦人矯風会	の	目的は社会の弊風を矯め道徳を修め飲酒喫烟を禁
	の	193	08	されるですが行政府のことは今日の講談	の	目的でありませぬから後にします．それから追々
	の	245	14	になりましたらうから，こゝに於て監獄	の	目的及び方法を申し上げることに致しませう．さ
	の	248	08	りませう．前に申しました所が則ち監獄	の	目的及び方法で有りまする．さて，こゝで監獄と
	の	257	16	するものも有りまする．よつて貧民救助	の	目的は次に述ぶる如くに定むべきものと考へられ
	の	261	13	如きものの管轄と致すと云ふのが私の論	の	目的とする所で有りまする．これより欧米の監獄
	の	262	06	ころ近世は段々と改良を加へまして監獄	の	目的は人心を改良すると云ふことに定まりました
	の	268	06	したことは申し述べますまい．また監獄	の	目的及び方法などに至つては軍事のものにせよ，
	の	277	02	約説しまするに監獄の行政上の位置監獄	の	目的及び方法監獄と警察と裁判との関係監獄と教
	の	277	09	にあらず犯罪人と貧民との関係貧民救助	の	目的貧民救助の方法欧米の監獄の事欧米の監獄の
	の	003	03	ゞ之を知つて居ても仕方が無い．言葉だ	の	文字だのは智識の方便即ちテダテで其れを知つた
	の	051	12	お集まりなされた方が使へるだけは仮名	の	文字を使ひ，成るたけモロコシ文字を省いて書く
	の	051	13	いて書くといふ様に日又一日に仮名文字	の	用ひが殖る様の実があがりませぬでは名簿ばかり
	の	160	03	ら消つきりのものかを穿鑿するのが教法	の	持ち前でござす．さう煎じつめると学問は天地間の
	の	061	03	銭や丸髷島田を御覧のときは又未開化人	の	用ゆるものたるを知られませう．故に概して言ふ
	の	031	08	マノガハみた様な星のかたまりで望遠鏡	の	モットよいのを用ひたら粒々と見ゆるもので有る
	の	065	11	長袖広帯のナマケ服など共に皆改むべき	の	最も急務なるものです．今にして之を改めなけれ

代表形	判	ページ	行			出現文脈
（の）	の	091	08	下げるものは何で御坐りませうか．人間	の	最も大いなる害になるものは何で御坐りませうか
	の	180	12	にキリスト教国とキリスト教を奉ぜぬ国	の	最も大なる差別は何かと問はゞ婦人の地位有様と
	の	183	02	の結果は実に思ひ遣られます．また我々	の	最も不思議に思ふのは世間で妾や権妻といふ者を
	の	220	10	草紙の世となり画巻物が流行つて女子供	の	モテアソビモノとなりました．其れは画の方が重
	の	222	07	たが事柄が卑しかつたからツマリ婦女子	の	モテアソビモノに過ぎなくて士君子は見るのを耻
	の	217	09	などと云ふ支那の小説文も舶来して人々	の	翫びとなつて居ましたからソコラを考へ合せて然
	の	184	15	ればなりません．曾て或る人がキリスト	の	許へ来て「人は何の故に係らず妻を出しても支障
	の	057	08	ーと云ふ人が申した言葉に「健康は万福	の	基」之を英語で云へばＨｅａｌｔｈｉｓｔｈｅｆ
	の	130	03	ります．イヽエ基督教と基督教の道徳法	の	基は決して弱きものでは御坐りませぬ．基督教は
	の	130	06	ので有ります．私ども常に陳る所の宗教	の	基また学者が常に調べ且説く所の万物は同じく神
	の	212	12	から二十六年後にはＨａｌｌｅｙの彗星	の	戻つて来る時で立派な彗星が肉眼で見ゆるであら
	の	008	06	山の如く提燈は星の如く褒美は五六百円	の	ものもあり，花火を打ち揚げてヒュウヒュウボン
	の	013	15	しも我々が非常に近眼で五里か十里先き	の	ものが見えなかつたら地球の外にドンナものが有
	の	018	12	人づれで毎年太陽のグルリを旅行する訳	の	ものか，これは調べなければならない．然るに近
	の	021	05	気が有つたり水が有つたり其の外の色々	の	ものが有つたりするからです．然るにそんなもの
	の	024	03	．例へば太陽は一軒の主であつて，あと	の	ものは其の子供だとすれば月は地球の眷属で太陽
	の	025	04	ふものが有る．先づ星と言ふものは大事	の	もので天文学のことを星学と言ふ位で有りますか
	の	032	06	とを得るだけ随つて知ることを得る限り	の	ものは総て皆アマノガハの中にあるものでは無か
	の	048	08	国とが段々と相結合して先づ一の社会様	の	ものを為すことになり一つの法律を用ふる様にな
	の	054	03	学ばさうとすると不毛の地が出来て肝腎	の	ものを失ふ．この用を弁するには仮名を用ふるこ
	の	062	06	所下之に習ふは古今の通例なれば中以下	の	ものは無理にも乗車して上等社会をまねる様にな
	の	064	08	るかと云ふに先づ二十歳以上四十歳以下	の	ものにして随分他に立派な業を営み得べき屈撓な
	の	064	11	らず日に月に多きを加ふるに至りし所以	の	ものは必竟前に申した通り人力車濫用の弊を生ぜ
	の	073	11	点に至りましては固より優劣も無く同一	の	もので御坐んす．而して其の必要の度は同一では
	の	074	02	て其の二個の全く反対するといふ其の一	の	ものは全く利を興す所のもので其の一のものは之
	の	074	03	るといふ其の一のものは全く利を興す所	の	もので其の一のものは之に反して害を除くといふ
	の	074	03	のものは全く利を興す所のもので其の一	の	ものは之に反して害を除くといふもので御坐んす
	の	075	06	らざることで則ち其れ等のことが消極的	の	ものであつて害を除く方に付て居る様のもので御
	の	075	06	のものであつて害を除く方に付て居る様	の	もので御坐んす．而じて其所に至つてＭａｃｌｅ
	の	075	15	利を興す方のガハに使用するのは積極的	の	もので害を除く方は消極的のものであるとして見
	の	075	15	のは積極的のもので害を除く方は消極的	の	ものであるとして見るときは法律学と経済学と其
	の	080	12	所，人の害になる所，人の位を下げる所	の	ものを減じ或は除くことで御坐ります．また一つ
	の	080	14	所，人の益になる所人の品位を上げる所	の	ものを能く養ふて盛んにするの仕方．また一つに
	の	081	09	の確立したこと政体の鞏固なることなど	の	ものは進歩と云ふもので御坐りませぬ．人の内部
	の	081	12	且，用ゆる所の器物品物家屋また器械等	の	ものでは御坐りませぬ．人の内部から起らずして
	の	081	16	る所種々なれば人の進歩も亦たゞ一と筋	の	もので無く其の種類多く御坐ります．たとへば能
	の	082	05	此の種類が完全して居りませぬならば他	の	ものが進歩しても完全な進歩が迚も出来ませぬ．
	の	085	12	損害になる原素，また人の位を下げる所	の	ものを除き去りまた滅ずること，また一つは何れ
	の	086	03	の損害になる原素また人の位を下げる所	の	ものは何で御坐りませうか，また，これ等の善き
	の	086	04	質，人の益になる原素，人を貴くする所	の	ものは如何なるもので有りますか，社会の進歩と
	の	086	11	らぬもので御坐ります．さらば，これ等	の	ものは如何にして知ることが出来ませうかイヅク
	の	087	07	るものかと基督教に問ふならば，これ等	の	もの皆な天地万物を造り且之をつかさどりたまふ
	の	087	10	如何なるものかと基督教に問はばこれ等	の	もの皆な全知全能の神にして即ち人に進歩するの
	の	090	17	歩を成就する為めには骨折りと熱心など	の	ものが無ければなりませぬ．されども熱心を起さ
	の	091	02	りませぬ．基督教は人間の権力腕力など	の	ものを怖れぬ豪傑を育てる為めには至極善い宗教
	の	106	11	事上の裁判に非ずして寧ろ行政上の処分	の	ものと考へます．さればノルマントン号の沈没し
	の	109	07	以下は五艘，一千噸以上一千五百噸以下	の	ものは六艘の端艇を備へなければならぬことにき
	の	114	04	では言訳が無い．他の動物は却つて自然	の	ものを食して腹が満つれば其の上には欲は無いが
	の	127	03	が其の専門とする所の区域に限つて天然	の	ものを論ずる間は間違ひに陥ることは滅多に御坐
	の	128	10	多う御坐りまする．箇様な論は遂に本当	の	ものになるか或は誤つたものであるか未だ一向分
	の	130	09	御坐ります．学術と宗教との出所は一つ	の	もので有る故に必ずドコまでも互に符合すべき筈
	の	130	09	る故に必ずドコまでも互に符合すべき筈	の	もので御坐ります．優勝劣敗の面白い法則により
	の	130	14	に二つの感心なものあり．我れ此の二つ	の	ものを深く思へば思ふほど我れ之に感服しまた之
	の	130	15	れ之に感服しまた之を尊敬す．この二つ	の	ものは則ち遙か上に立派な天体を具へて居る大空
	の	135	10	み，人の限り無き苦楽，人の命と死など	の	ものが狭いものならば基督教の趣意は亦狭う御坐
	の	147	11	るかといふに日本帝国の境界はこれだけ	の	ものであるといふことを調べるのであるが其の事
	の	152	16	ませぬ．千七百九十年の大革命の時から	の	ものがイマダに行はれて居ます．憲法では例へば
	の	153	08	は其の取締を設けます．また人民は同等	の	ものであるといふことを憲法で，きめるけれども
	の	159	04	んじ儒者が四書五経を貴ぶと同じに大切	の	ものにして，あるものでござす．所が東洋の方へ来
	の	160	03	るものであらうか，死んだなら消つきり	の	ものかを穿鑿するのが教法の持ち前でござす．さう
	の	173	02	言ふやうになり法律には無いが田舎の隅	の	ものまでよく知つて居て恩を知らぬものを「恩し
	の	185	17	に反して神の前に於て男女とも全く同等	の	ものであると教へます．しかしこれは日本ばかり
	の	197	17	彗星と云ふものは若しや惑星と同じ種類	の	ものでは有るまいかと云ふ考へを起しました．Ｎ

代表形	判	ページ	行	出現文脈		
(の)	の	203	08	この彗星と云ふものは先づ惑星と同種類	の	もので有る，全く惑星と同じ様なもので有ると云
	の	216	15	りますが，これは僧徒が道を弘める為め	の	もので小説とは少し性質が違ふことと思ひます．
	の	217	02	せぬが文体の古雅な所を見れば延喜以前	の	もので有りませう．竹取物語の大意は竹取の翁と
	の	220	17	言葉つきから趣向の立て方まで下等社会	の	ものに向くのを目途としたものと見えます．しか
	の	227	01	ス語でカウンシルと云ひます．この二つ	の	ものは議会で定め，官権で行ふと云ふ以上は共に
	の	229	12	りませぬ．戸長の大いなる町，即ち市街	の	ものを区長と名づけますのですから，戸長を人民
	の	230	10	うで有ります．しかし共有財産と云ふ名	の	ものが有るさうです．其れを近ごろ調べて見ます
	の	232	05	れども府県に固有のことでも該事項の外	の	ものは府県会に於て議決するを得ない．よつて中
	の	244	07	法律の委任を受けて某々の事を定むる等	の	もので，これは執行権に於て制定するもので有り
	の	245	10	て御坐いませぬ．たゞ其の性質が第二段	の	もので有ると申すだけで有りまする．これにて監
	の	268	06	監獄の目的及び方法などに至つては軍事	の	ものにせよ，普通のものにせよ，一切変つたこと
	の	268	06	などに至つては軍事のものにせよ，普通	の	ものにせよ，一切変つたことは無かるべき筈で有
	の	269	04	た．矯正院即ち感化院は男子の部は公立	の	もの十一箇所，私立のもの三十四箇所，合せて四
	の	269	04	は男子の部は公立のもの十一箇所，私立	の	もの三十四箇所，合せて四十五箇所ありまして，
	の	269	06	百七十七人ありました．女子の部は公立	の	もの二箇所，私立のもの二十二箇所，合せて二十
	の	269	06	た．女子の部は公立のもの二箇所，私立	の	もの二十二箇所，合せて二十四箇所ありまして，
	の	269	10	窃盗，強盗，無籍乞食，親不孝，其の他	の	もので有りまして其の中，最も多き者は窃盗，強
	の	039	05	其れはナゼぢゃと申せば強盗をするほど	の	者で無ければ社会を守ることが出来ぬからぢゃ．
	の	041	17	支那では上の方に十分，権をもたせて上	の	者は下の者を圧制するがよい，下の人は上の人に
	の	041	17	上の方に十分，権をもたせて上の者は下	の	者を圧制するがよい，下の人は上の人に只管従順
	の	070	04	を観ますれば従前判事と唱へる奏任以上	の	者は僅に三百六十四人で御坐いまして其の中に法
	の	073	11	さて法律の学科と経済の学科とこの二つ	の	者は社会上に必要なる点に至りましては固より優
	の	107	14	罪ではあるが罰しないもので例へば幼年	の	者が弁別なしに人を殺すなどの類であります．第
	の	109	03	ば助かるだらうといふことはドンナ愚鈍	の	者でも分りませう．千八百五十五年に英国政府に
	の	110	08	聞で船長は四千弗の保釈金を出し其の外	の	者も保釈を許されたといふからには現に大金を持
	の	141	15	す．彼奴は学者にはなれまいと思ふ鈍才	の	者が思ひの外，学者になつたものも有る．併し是
	の	156	16	出した．其の時はみんな驚いたネ．たゞ	の	者が驚いたところでは無い，智慧の有る者まで向
	の	162	12	く執へて以て宗周に送るべし我この群飲	の	者を以て死刑に処すべしといふのだ．書経には偽
	の	169	17	一身を立てたい富を求めやうといふ考へ	の	者のやうに見えます．其の亜米利加に行く者の中
	の	190	01	行権者は一人で御坐んすが其の中に三つ	の	者があるのです．即ち第一には政府といふものが
	の	214	01	よりしてホンノ女子供の見るもので士分	の	者などは表向き見ることを憚つたもので有りまし
	の	245	02	ととなりまする．尤も監獄には国事犯等	の	者を入れることも有りますが，これは通常の悪人
	の	250	11	いたして申し上げませう．即ち丁年以上	の	者が悪い事をすると不良民，所謂る罪人となりま
	の	251	02	「お前の説は至つて御尤もなれど終身刑	の	者があるが，これは死ぬまで稽古をする訳である
	の	251	12	有りまして満二十歳以下でも二十歳以上	の	者と同様の悪事を働いた者は其の心に弁別が有つ
	の	252	07	のやうな所で掏児でもしやうとする傾き	の	者があれば之をつかまへて来て懲治しなければな
	の	252	14	監獄に這入つて居りまする者は丁年以上	の	者，即ち出生より丁年になるまでの間に教育は先
	の	252	14	までの間に教育は先づ一と通り終つた筈	の	者であります．然るに未丁年の者はまだ教育最中
	の	252	15	終つた筈の者であります．然るに未丁年	の	者はまだ教育最中であつたのですから此奴には教
	の	253	01	け余計の用が有りまする．付てはこれ等	の	者の為めに矯正院を設くることになつて居ります
	の	269	14	八分，十八歳以上丁年即ち二十一歳まで	の	者は千〇三十四人，即ち一割一分八厘で有ります
	の	270	04	見えまして，前に申した八千四百十四人	の	者の教育の度合ひを其の入院の時に調べましたの
	の	270	12	て見まするど教育の一番少ない者に不良	の	者が多いと云ふことは此の事実から見ても尤もで
	の	271	05	六千七百五十三人は未決者と控訴上告中	の	者とで有りまする．以上の諸監獄の在監人を合計
	の	272	06	徒刑，流刑，禁獄，及び旧法の懲役終身	の	者を集治いたしますので，島地の集治監は単に徒
	の	273	11	の仮留監と申しまするものは徒刑，流刑	の	者を一時，仮りに留め置いて追つて島地の集治監
	の	275	06	入れまするど牛馬同様に取り扱ひ未決中	の	者でも少し面倒な者には毒をたべさして殺すと云
	の	004	04	を拵へたりする者が多くあれば，こちら	の	物を買ふ人が減り，こちらの物を買ふ者が減れば
	の	004	04	ば，こちらの物を買ふ人が減り，こちら	の	物を買ふ者が減れば，こちらは次第に衰微する．
	の	011	12	が半分かも知れませぬ．さりながら人間	の	物知りたがりには限りの無いもので其れから其れ
	の	012	02	れないから先づ其れまでいつたら，我々	の	物知りたがりも暫く満足せねばならないです．「
	の	059	15	から（無くては大変だ）今欧米より種々	の	物の輸入するけれども其の中で最も多く人の好く
	の	121	16	に賊を働いたのだこれは貧乏の為めに人	の	物を盗んだのだと云ふことを調べて居ります．実
	の	125	04	さに説くことが出来ませぬ故に其の種々	の	物の中からたゞ一つの著るしいものを択んで而し
	の	160	04	でござ．さう煎じつめると学問は天地間	の	物をカッキリと心に落ち付けるのが学問の極点で
	の	167	16	どの文物制度が入り来つて，まるで自分	の	物のやうになりました．文字でも其の通り相互に
	の	197	10	星をひつばりますのは，丁度，地球が他	の	物をひつばると同じやうに，ひつばります．地球
	の	218	15	すが源氏物語などは五十四帖もある大部	の	物だが大かたは源氏の君や其の他の人々の平日の
	の	268	04	び海軍にありまするものですから自ら別	の	物になつて居りまする．因つて軍事の監獄に関係
	の	217	17	た私の臆測で御坐います．其れから色々	の	物語が出来ましたが今以て名高いのは伊勢物語，
	の	219	15	は迚も今日まで知れませぬ．全く仮名文	の	物語小説が有つたればこそ千年の後までも其の風
	の	087	06	，人の害になる原素，人の位を下げる所	の	モノゴトまた其の外社会の進歩を妨げるものは如
	の	025	17	きい物さしでなければなりませぬ．今度	の	物さしは地球の太陽のグルリを回る軌道の半径即

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（の）	の	026	02	れて居ります距離の中で一番近いのが今	の 物さしの二十二万千八百倍で有ります．地球から
	の	027	02	きい数になりますから星学者は広大無辺	の 物さしを作ります．其れは何で有るかと云ふと明
	の	138	05	い処なれども体も虚弱であり一滴や二滴	の モルヒネを上げるより，もそつと善い薬が有ると
	の	133	08	基督教の種となりました．」先だつて隣	の モロコシに面白いことが御坐りました．漸く昨日
	の	061	01	院を見るか又東京に於ても支那の公使館	の 門を見られたならば必ず古代未開時の風たるを覚
	の	255	15	族は皆な賤しむべきもので有るから華族	の 門前を通つて来たら家へ這入る前に塩をかけると
	の	030	14	居るに違ひない．其れですから，さつき	の 問題をのばして「地球は何の中であるか」と言つ
	の	032	03	れませぬ．此の二番目の説にすれば最初	の 問題に続けて「太陽系はアマノガハの中」「アマ
	の	123	10	ので有ります．然るべくは此の次ぎの会	の 問題にでもして篤と御相談を致したう御坐います
	の	159	12	じことで軍配がドコへ落ちるかは教法上	の 問題になつて居ます．アチラでも地質学や哲学が
	の	167	12	は解くことは出来ますまい．新しい人間	の 問題を解くにはイクラ一切経をひつくりかへして
	の	199	15	いふことが出来やうかと云ふのが其の時	の 問題で有りました．そこでＮｅｗｔｏｎの友だち
	の	191	02	いふ考へです．この儀に付きまして仏国	の モンテスキューといふ学者が社会には三大権があ
	の	024	08	に筋の様なものが見えます，丸に一文字	の 紋所とでもいふべき形に見えます．此の筋と同じ
	の	205	17	ｅの彗星と云ふのはマルセイユの天象台	の 門番のＰｏｎｓと云ふ人が肉眼で見出して名高く
	の	148	10	街は日本にイクツあるといふことを西洋	の ヤール，ブックに就て見ると先づ東京とか大坂と
	の	151	02	政法の範囲を定めると至つて小さいもの	の やうでありますが其の実際に至ると甚だ広いもの
	の	167	16	文物制度が入り来つて，まるで自分の物	の やうになりました．文字でも其の通り相互に智識
	の	169	17	を立てたい富を求めやうといふ考への者	の やうに見えます．其の亜米利加に行く者の中には
	の	174	05	人となりませう．一体，数字はシャレ骨	の やうで見ても面白くない，イヤなものですが之に
	の	183	04	きは妾を置き妾となることを却つて栄誉	の やうに思ふものが御坐りますが，これは実に心外
	の	184	11	しいことながら恐らくは世界中に我が邦	の やうに離縁の多い所は有りますまい．其れは兎に
	の	185	13	の如きことにはドチミチ更に頓着せぬ者	の やうに見えます．兎に角に，これより此の悪習を
	の	198	08	が楕円の形ちになります．楕円は先づ円	の やうなものですが細長いもので，惑星即ち木星土
	の	199	12	線の関係が有るから彗星の軌道も抛物線	の やうには見ゆるが事によつたら楕円の長いのでは
	の	200	08	位と帳面にとめて有つて，言はば人相書	の やうなものが有らうから先のと今度のと其の形ち
	の	206	06	ました．これは一番始めに発見された今	の やうな彗星の元祖で有ります．Ｈａｌｌｅｙが今
	の	207	09	んだ」と云ふことが有ります．しかし雨	の やうにふると云ふことは少ない．雨と云つても今
	の	207	10	では実に大変で有りますが，現に昔し雨	の やうにふつたと云ふことで「春秋」に「星隕如雨
	の	208	04	いつたやつが有る．いよいよ彗星は地球	の やうに堅くつて水が有り草が有り人が有ると云ふ
	の	208	09	し一体，汽車とはドンナものか，人力車	の やうなものか，それとは違ふかと云ふことはたゞ
	の	213	09	先生方のシッカリとした演説の間の狂言	の やうなもので御坐います．さて小説は文章で書く
	の	214	06	ら上等の学者の目からは何でもないもの	の やうに見下されました．馬琴や種彦でさへ，さう
	の	214	09	存じの通り昔は河原者と呼ばれ穢多非人	の やうに言ひ習はされ，天保年中の老中，水野越前
	の	218	03	はれ後には栄花物語，続世継，水鏡など	の やうな実事を書いたものにも巻々の標目を立てゝ
	の	218	16	を交ぜたやうなもので馬琴や京伝の小説	の やうに斬つたりはつたりのことは夢にも無い．し
	の	220	09	木の短刀を与へたことなどが本当のこと	の やうに思ふ人が多い．さて足利の時代には物語が
	の	223	13	事家は持つて居ます．これは今云ふ筋書	の やうなもので其の時分の演劇の有様を見るに足る
	の	224	14	ると云ふばかりでは御坐いますまい．右	の やうな次第で，これまで小説と演劇とは実に兄弟
	の	224	14	第で，これまで小説と演劇とは実に兄弟	の やうなもので有りましたから此の後とてもヤハリ
	の	227	06	ひましたか知りませぬが先づ只今の知事	の やうなものが有りました．其れから封建の世にな
	の	227	08	ました．この大名と云ふものは世襲知事	の やうなものになつて居りました．大名の上には将
	の	227	16	存じられる所も有ります．其れなら徳川	の やうな将軍は何であるかと云ふと主権者でも無く
	の	228	06	方の区別を見ますと大名の下に今の郡長	の やうなものを置き，また村には名主と云つて名誉
	の	228	14	置いてあります．これは府県知事の下役	の やうなもので有ります．其の郡の下に町村が有り
	の	230	01	云ふところが有ります．これは内地の区	の やうなもので有ります．其の外間切と云ふもの即
	の	230	02	きものが三十六あります．また村と，村	の やうな島が五百八十九あります．現今では行政上
	の	233	07	段々盛んになつて先刻幹事さんのお話し	の やうに生徒の数も多くなり，また卒業生も多くな
	の	237	12	また西洋の学問をするのは人間の当り前	の やうになつて西洋のことを学ばぬ人は世に歯せら
	の	252	07	出願人は誰も無いが例へば東京の日本橋	の やうな所で掏児でもしやうとする傾きの者があれ
	の	273	09	立派なものと申す訳には参りますまいか	の やうに思はれます．此の外，東京，兵庫，宮城，
	の	039	11	と其の為めに負ける恐れが有るゆゑ本当	の 役に立つ者だけで無ければ他の社会と戦争をした
	の	184	08	を娶ることが出来ては一夫一婦の教も何	の 役にも立ちません．自分の気に入らぬと云つては
	の	001	05	演説をするに立ち至りたるは先日この会	の 役人の片山淳吉君がお出になつて仮名の会も大分
	の	255	02	決して有りませぬ．今でも「あれは監獄	の 役人で有る故におれの娘は嫁にやれない」などと
	の	238	01	ヲシを為すことが出来ませう．ただ今日	の ヤサシイことを知つて昔の二大難事を知らぬと昔
	の	241	16	も何も役に立ちますまい．例へば或る人	の 邸を見に行つて其の邸の全体を見ずに，ただ溝の
	の	035	06	ふ連中があつて往来に酔ひ倒れて警察官	の 厄介になつて，あとでは更に知りませんだつたな
	の	254	10	のを設けて或ひは仕事を教へ或ひは通常	の 雇人に世話をすると云ふやうなことを致さなけれ
	の	267	10	の方法を与へ又は出獄人を周旋して通常	の 雇人と致すことに尽力するので有りまする．此の
	の	014	11	，第一番に地球の様に円い，其れに谷だ	の 山だのが有る処がよく似て居る，其れでは大きさ
	の	064	02	起し心臓病を起し肺病に罹り其の他種々	の 病を発してワカジニするもの頗る多くありますが
	の	223	04	云ふことを始めました．これは念仏踊だ	の ヤゝ子踊だのと云ふ踊の間に，お国は男の姿に出

代表形	判	ページ	行	出現文脈		
(の)	の	260	07	益なるもので有りまするから，これは他	の	有益なる方に分配すべきもので有ります．故に相
	の	091	04	しく書いてある所の彼のパウロと云ふ人	の	勇気を御覧なされ，この人は怠ることも無く臆す
	の	099	15	る責任のあるものにして平常はこの義侠	の	勇気に富み殊に危難の場合に臨み義侠心の発達す
	の	101	17	虎の様な威があるが日本人はヤマアラシ	の	勇気も無い．即ちチョイとツッツクとプーと怒る
	の	126	16	来ようと思ふので御坐ります．箇様な者	の	勇気は感心なものだかも知れぬけれども其の用ふ
	の	037	10	至りて社会は動植物と同し様に全く真実	の	有機物ぢゃと云ふことになりた．私の知りて居る
	の	038	02	同様にＣｅｌｌより集合したる所の一個	の	有機物ぢゃと云ふことを知るべきことぢゃ．そこ
	の	038	03	．そこで日本国民は日本国民と云ふ一つ	の	有機物，英国国民は英国国民と云ふ一つの有機物
	の	038	03	有機物，英国国民は英国国民と云ふ一つ	の	有機物で有ることぢゃ．次に「社会外に道徳なし
	の	048	11	であらう．さうすれば世界が大きな一個	の	有機物になる．其の時に至りたら一つの国は有機
	の	275	13	びに出願懲治者の教育保護の事業を世間	の	有志者，有力者に於て非常に尽力せられまするの
	の	240	08	他人に言ふことは出来ませぬ．例へば私	の	友人に○○と云ふ人が有りまして，此の人は未だ
	の	019	11	す．これは運動が随分のろい，支那は物	の	優美を貴む国で有りますから大層此の星を珍重し
	の	048	05	ら利害を感ずることが多い．故に電信だ	の	郵便だの互に条約が有り又今日の官報に出て居た
	の	126	15	ｒｗｉｎ氏Ｓｐｅｎｃｅｒ氏などの西洋	の	有名なる学者に勝つことが出来ようと思ふので御
	の	127	02	随分ケンノンな仕方で御坐ります．西洋	の	有名な専門家が其の専門とする所の区域に限つて
	の	130	13	りませぬ．先づ安心なされませ．独逸国	の	有名なる哲学者Ｋａｎｔといふお人が申されまし
	の	267	15	前に申した方法は二百年以来エウロッパ	の	有名なる学者たちの考へましたものを其の極宜し
	の	184	15	て或る人がキリストの許へ来て「人は何	の	故に係らず妻を出しても支障御坐りませんか」と
	の	185	01	ふたものを人が離すべき筈はない．姦淫	の	故でなくして妻を出して他の女を娶る者は姦淫を
	の	027	03	と明りの一秒時間に行く距離です，明り	の	行くのはいくらか時を費します，若し時間を費さ
	の	059	12	かと云ふに文武工商農等の必要なる学芸	の	輸入せしは勿論なれども之と共にコレラ痘瘡等の
	の	059	15	（無くては大変だ）今欧米より種々の物	の	輸入するけれども其の中で最も多く人の好くもの
	の	172	02	飲むことになつて居ませう）外国の酒類	の	輸入を予防せしめたこと我が国の民間の教育に尽
	の	137	06	其の他家屋の改良，衣服の改良，女の髪	の	結ひ様の改良，また自由党などに言はせたなら政
	の	017	12	いたのが太陽になります．一寸の玉は手	の	指ででもまはりますが一丈一尺の玉は両手でも抱
	の	220	03	の桜井のことだの或ひは後醍醐帝の笠置	の	夢見のことなどは作り物語だと云はれましたが如
	の	094	17	無い者を以て有罪であるといふのは法理	の	許さない所で御坐ります．今道徳上の原理より言
	の	228	09	云ふことは有りませんでした．漸く明治	の	四年頃になりまして日本全国を一定するに付て廃
	の	142	11	説が盛んであつたとは云へませんが武門	の	世となつて殆んど其の跡を絶ちズット下りまして
	の	165	10	といふことであります．一寸さきはヤミ	の	世といふのに将来を前知するといふのは，むづか
	の	175	03	しませぬか．さうして見ると今の人は後	の	世の人に義務が無ければなりませぬ．今の人は確
	の	220	10	て足利の時代には物語がやゝ廃れて草紙	の	世となり画巻物が流行つて女子供のモテアソビモ
	の	227	06	やうなものが有りました．其れから封建	の	世になりまして或ひは州と云ひ或ひは国と云ひ其
	の	133	02	負け易いもので御坐りませぬ．この仕方	の	よいことは昔から明かで御坐りました．元来，基
	の	236	17	ヨホド減つては来たが，まだ決してウケ	の	よい学問と云ふことでは無かつた．先づ砲術など
	の	246	15	ると云ふのが当り前のところ，其の所行	の	善いか悪いかは言はずして，たゞムヤミに強役，
	の	250	13	て其の心を改めさせたいが，学校では他	の	善い者の害を為し且つ学校の講釈ぐらゐでは，お
	の	002	16	りませうが抑々智識には真の智識と智識	の	様に見ゆるも実は真の智識の方便に過ぎざる智識
	の	003	17	てあるが其れも此の国独りで居れば今日	の	様でも宜しいが今日は我が国ばかりで成り立つこ
	の	004	16	お師匠さんにして居るうちは，これまで	の	様に字ばかり習つて居るのが支那におハムキは宜
	の	006	14	も植物学でも其の講釈の過半は漢学先生	の	様なものが有る．さてさて困つたことでは御坐り
	の	008	13	年から仮名か羅馬字を用ふると国会設立	の	様にしたいといふなら明治百年か千年になつたら
	の	014	11	似たものでは有るまいか，第一番に地球	の	様に円い，其れに谷だの山だのが有る処がよく似
	の	017	06	のの中にはいつて居ます．併し月の距離	の	様にやさしくは有りませぬが測量の出来ないこと
	の	020	07	上に丁度太陽の光をマトモに受けて満月	の	様に見ゆるので余程よく其の表面を観測すること
	の	020	09	表面にも山が有り谷が有るかと云ふに月	の	様に精密には知れない．併し海も有り陸も有るこ
	の	021	08	と同様に火星の表面の上にも人間か人間	の	様なものが住つて居るに違ひ無い．天文学の開け
	の	021	16	か消したとか消さないとか子供の水懸論	の	様なことをして果は大戦争に及ぶと云ふ様なこと
	の	024	07	が発見いたしました．次ぎに木星には月	の	様なものが四つついて居る．望遠鏡で木星を見ま
	の	024	08	ンナけちな望遠鏡でも星の真中の所に筋	の	様なものが見えます，丸に一文字の紋所とでもい
	の	025	06	ければなりませぬ．さて星が我々の太陽	の	様なものでは無からうかと云ふ疑ひが起る．これ
	の	028	11	つて居る星は肉眼で見ますと唯一つの星	の	様に見えますが望遠鏡で見ますと二つに分れて見
	の	028	15	持つたものが二つは有りますが外に惑星	の	様に明りを持たない眷属が多分有るだらうと思は
	の	030	05	ノガハと云ふものは地球から見ますと帯	の	様にして天をグルツと取りまいて居ます．して見
	の	031	03	見ては見えず望遠鏡で見ると云つても雲	の	様に見えて粒々とした星のかたまりの様に見えな
	の	031	04	雲の様に見えて粒々とした星のかたまり	の	様に見えないのが有ります．其れは星雲と言ひま
	の	031	06	中にはチョットした望遠鏡で見ては唯雲	の	様に見えても少し強い眼鏡で見ると星のかたまり
	の	031	06	ても少し強い眼鏡で見ると星のかたまり	の	様に見ゆるのも有り，又今日世の中にある極上の
	の	031	07	中にある極上の望遠鏡で見ても矢張り雲	の	様に見ゆるのも有ります．其れとても矢張りアマ
	の	031	14	瓦斯体であつて望遠鏡で見ても矢張り雲	の	様に見える部分も有ります．こゝに至つて説が二
	の	034	01	かりでなく西洋でも総て酒は人間の食物	の	様になつて居るのは西洋の人も歎息して居ること
	の	036	07	る社会は大いなる欲」といふ方に御賛成	の	様に見ゆる，誠に面白いことです．どうか此の会

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（の）	の	037	12	ることぢゃ．そこで社会は実に動物植物	の 様に生きて居て生滅することも消長することも盛
	の	039	14	其れ故，殺さぬのは却りて善くないこと	の 様になりて居るのぢゃ．昔羅馬の初めに「剛勇」
	の	041	01	事にもなりたので其れが風習になり道徳	の 様になりて来たものと見える．前に申したのは風
	の	046	07	か言ふ者も有るが其の様なことは実に夢	の 様な話しで国が有れば刑罰が有る訳で刑罰の有る
	の	048	14	こととなるであらう．尤も其れは実に夢	の 様な話しなれども間違ひ無いことと思はれる．其
	の	052	02	きには効が無い．例へば仮りに秦の始皇	の 様な大決断の人があると定め其の人が仮名の会の
	の	052	15	漢文に似たものを書く様になり庭訓往来	の 様な文体となり其れで記録を書いたのが東鑑，其
	の	053	03	学の開け始まりは漢語を用ひた方が上品	の 様なおつな習はしがあつて漢語が日本の言葉にな
	の	054	05	とを考へると前に申した秦の始皇の話し	の 様に書物を皆な焼いてしまつても英仏の本を知ら
	の	062	13	穿ち，おまけに頭にはパクパクして蝦蟇	の 様な島田や鍋蓋の如き丸髷を頂き居りて運動の自
	の	076	10	うで無く法律も経済もドチラでも諸君方	の 様に研究された方が何の学科であつて見ても各々
	の	076	15	ければ害，害で無ければ利で着物の裏表	の 様に離れないもので有るから場合によつてハッキ
	の	077	06	経済とは社会上同一に必要なもので又今	の 様に相須つて用を為すものであれば同一の業を為
	の	077	09	を除きまることが恰も電気の積極消極	の 様なもので積極と積極とは相親和せず消極と消極
	の	079	09	たことで御坐ります．たとへば牛馬など	の 様なものには進歩と云ふことが聊かも御坐りませ
	の	088	10	ニュージーランド島のマオリと云ふ人種	の 様なものに付て至極其の困つた所は丁度こゝで御
	の	088	16	たしませぬ．山奥に逃げてしまひ鹿や猪	の 様なもので御坐ります．故に人は進歩しやうとす
	の	092	09	園を飾る」と云ふことで御坐ります．花	の 様な智慧分別だに無きものも思はず知らず斯の如
	の	101	16	之を獣に例ふれば日本人民はヤマアラシ	の 様である，英吉利人は獅子の様な勇がある，魯西
	の	101	16	ヤマアラシの様である，英吉利人は獅子	の 様な勇がある，魯西亜人は虎の様な威があるが日
	の	101	16	人は獅子の様な勇がある，魯西亜人は虎	の 様な威があるが日本人はヤマアラシの勇気も無い
	の	102	04	を好んで矢鱈無性に威張りたがるが獅子	の 様な勇もなければ虎の様な威もないと考へる．こ
	の	102	04	張りたがるが獅子の様な勇もなければ虎	の 様な威もないと考へる．これが即ち軽蔑を受ける
	の	161	10	度，鉄炮におそろしい音をさせるミチビ	の 様なもので其れからして怒りを起すとか放逸に流
	の	163	13	事になつたが大閤様でも権現様でも信長	の 様なことをしたことは無い．「小，忍びざれば則
	の	166	01	といふ学派もあり，精神があるから身体	の 様なる物質もある訳だといふ学派もあり，また身
	の	166	02	もある訳だといふ学派もあり，また身体	の 様なる物質があるから精神も之に添つて出来たと
	の	168	10	二十四五の時だつたが其の時は大あらし	の 様で日本の人心が俄に騒ぎたつたの騒ぎたゝない
	の	212	03	とすれば，彗星が家ならば流星は古材木	の 様なもので有りますから，本当の彗星の中へ這入
	の	227	14	は殆んど天子とも異なる所は無かつた位	の 様で有ります．其れならば天子は何をして居られ
	の	076	07	学問と看做しますときは経済学も消極的	の 用を為すもので御坐んして殊に之を講究するとい
	の	232	05	於て議決するを得ない．よつて中央政府	の 用では無い全く府県固有の用で有るものでも右事
	の	232	06	つて中央政府の用では無い全く府県固有	の 用で有るものでも右事項の外は知事が勝手に決定
	の	253	01	しまする．則ち監獄よりも教育だけ余計	の 用が有りまする．付てはこれ等の者の為めに矯正
	の	259	11	，土地の区域を定むること．これは東京	の 養育院に於ては東京府内に起るだけの貧民を救助
	の	259	15	だ不都合で有ります．よつて例へば東京	の 養育院ならば当分三百名とか二百五十名とか限ら
	の	164	08	略せんと欲す．一日行て亜丁に抵る英将	の 邀飲を被り以て地主の情を修む．酒酣なる時に当
	の	053	17	ことを学ばないで文通が出来やう．田舎	の 様子を見ますに漁村僻邑と言ふと漢語ですが田舎
	の	057	11	らるゝのは実に有り難いことで此の近県	の 様子を見まするに此の埼玉県下は最も衛生が盛ん
	の	163	05	るだらうが論より証拠，酒を嗜んで狂乱	の 様子が有つた様だ．其れが信長の大疵だ．或ると
	の	103	01	直さねばならぬ．即ち私が示したる二個	の 要点に非常の改良を加へねばなりませぬ．然らば
	の	180	17	は御座りません．只私は是より其の二三	の 要点を挙げて婦人矯風会員方の御参考に供へやう
	の	263	16	ては不良の少年を教育感化し，また無籍	の 幼年者を教育感化し，また幼年犯罪者を教育感化
	の	266	04	）で有りまして此の所に於ては放恣不良	の 幼年者を感化し以て犯罪の予防をすることで有り
	の	269	09	する．さて，只今申した八千四百十四人	の 幼年者の罪質を区別して見まると謀殺，故殺，
	の	041	15	全く違ふて居るし又開けて来た後でも今	の 欧羅巴と支那とは大いに違ふて居る．諸君も知ら
	の	169	14	りは多いに違ひありますまい．我が国人	の 欧羅巴に行くのと亜米利加に行くのとは其の目的
	の	080	13	す．また一つには現に成り立つて居る人	の 善き所，人の益になる所人の品位を上げる所のも
	の	080	15	た一つには現に成り立つて居る人の種々	の 善き所に加へて人を貴くし，また人を活発にする
	の	085	13	は何れの人にでも現に成り立つて居る所	の 善き性質また人の得益になる原素，人を貴くする
	の	085	15	こと．また一つは人が既に持つて居る所	の 善き事柄の上に色々と他の善きモノゴトを添へ加
	の	085	15	持つて居る所の善き事柄の上に色々と他	の 善きモノゴトを添へ加へること．此の三つで御坐
	の	086	03	のは何で御坐りませうか，また，これ等	の 善き性質，人の益になる原素，人を貴くする所の
	の	087	09	のなりと云ふ返答が出来まする．また人	の 善き性質，人の益になる原素，人を貴くするモノ
	の	134	05	悪を行ふものと言へる世の人をして爾等	の 善き行ひを見て神を崇めしめむ為めなり」また耶
	の	134	09	爾等の光りを耀かせ，さすれば人々爾等	の 善き行ひを見て天に在す爾等の父を崇むべし」と
	の	061	04	撰ぶと同じことで，たゞチョット見つき	の 良きものを悦ぶのみで衛生上のことなどは夢にも
	の	020	01	今までお話ししました星の中で一番我々	の よく観測の出来ます星は火星即ち螢ま惑星で有り
	の	127	09	卒業生が其の未熟な論を以て彼の専門家	の よく熟したる論を駁つと云ふことは迚も出来ぬこ
	の	131	14	た善い仕方が御坐ります．卒業生が学術	の よくシッカリした事実を取つて而して之を以て其
	の	132	01	しよく謹んで無証拠な設理を避けて学術	の よく定まつた事実を斯の如くに用ふるならば，こ
	の	081	08	明の賑かなること人の快楽を助けるもの	の 能く完全したこと商法と製造の隆盛なること国家
	の	084	16	れの国においても其の総体の進歩は速力	の 能く定まつたもので御坐りませぬ．世の種々の国

代表形	判	ページ	行		出現文脈
(の)	の	067	14	ぬ．併しながら我々は隴を得て蜀を望む	の 欲を抛つことが出来ませぬから諸君も今日の卒業
	の	113	01	なからむことを熱望いたします．人類的	の 欲をして動物的の欲を制せしむべし明治十八年六
	の	113	01	望いたします．人類的の欲をして動物的	の 欲を制せしむべし明治十八年六月二十七日大日本
	の	114	06	．結構なものが出来ると其れだけに飲食	の 欲も他の動物より熾んになるのに其れを節するこ
	の	114	13	だから，この命を惜しがる欲をば人類的	の 欲と言つて，飲食の欲の方は他の動物にも人類に
	の	114	13	しがる欲をば人類的の欲と言つて，飲食	の 欲の方は他の動物にも人類にも通じて有るから動
	の	114	14	動物にも人類にも通じて有るから動物的	の 欲と言ふぢゃ．今，犬猫に向つて棒をふり上ぐれ
	の	115	01	ので，さて其の命の惜いといふ欲は飲食	の 欲よりも貴い欲で有ります．一体，人類といふも
	の	115	03	れば人類たる甲斐はない．而して動物的	の 欲の方は熾んなれども其の品等を言へば至つて低
	の	115	04	いものに違ひは無い．其れだから人類的	の 欲を動物的の欲に勝たせなければならない．さて
	の	115	04	は無い．其れだから人類的の欲を動物的	の 欲に勝たせなければならない．さて命が大切だと
	の	115	05	たならば命を長くするやうにして人類的	の 欲を重んじなければならないのにヤッパリ動物的
	の	115	06	じなければならないのにヤッパリ動物的	の 欲の方が勝つて居て食ひ過ぎたり飲み過ぎたりす
	の	115	12	い欲に違ひは無いから其の高い欲を下等	の 欲に勝たするやうに，しなければならないけれど
	の	115	16	人類の第二の高い欲で有る．人類の第一	の 欲は前に言つた通り身命の惜いといふことで第二
	の	115	16	言つた通り身命の惜いといふことで第二	の 欲は今言つた品行を善くしようと，いふ欲で有り
	の	115	17	いふ欲で有りますが，ドウゾこの人類的	の 欲が動物的の欲即ち飲食の欲に勝つやうにしたい
	の	115	17	ますが，ドウゾこの人類的の欲が動物的	の 欲即ち飲食の欲に勝つやうにしたいもので有りま
	の	116	01	ゾこの人類的の欲が動物的の欲即ち飲食	の 欲に勝つやうにしたいもので有ります．併し理屈
	の	116	03	が出来ないといふは実に全く低い動物的	の 欲に勝たれるからのことで，さういふことを矯む
	の	117	02	やうにしたいといふは即ち人類的の上等	の 欲で，そこで節酒会といふものが出来て一つの高
	の	117	07	来てからは其れが為めに自然と低い飲食	の 欲，即ち動物的の欲を節することが出来ませう．
	の	117	07	為めに自然と低い飲食の欲，即ち動物的	の 欲を節することが出来ませう．其れでこそ此の会
	の	117	16	，また願酒とて神様に祈らなければ下等	の 欲に打ち勝たれないといふやうな人が有ることぢ
	の	058	09	利一害で開化も亦開化の度に依つて種々	の よしあしが御坐います．試みに御覧なされ，私が
	の	219	04	求めて公然と文をやり其の返書の体や歌	の ヨシアシなどを考へて気に入れば云ひより，また
	の	145	12	つたが演劇の作者が無い．尤も依田先生	の 吉野拾遺と云ふ作も有れど今の所ではこればかり
	の	068	11	の出来るものは年令満十八歳にして中学	の 予備科を卒業し其れより大学に入り三年間法律学
	の	143	17	ぬ奴があります．併しこれ等は小説の末	の 余弊でありますから仕方が無い．彼の南宗北宗な
	の	257	12	助を）するは一時の資本前貸しと犯罪人	の 予防との両性質を有するものでありまする．斯く
	の	258	05	りまする．第二，貧民の救助，兼犯罪人	の 予防．此の両性質には別に甲乙は有りませぬ．此
	の	259	05	まする．斯くの如く貧民の救助は犯罪人	の 予防減少に大関係をもつて居りまするから此の救
	の	259	10	ます．第一，救助其の宜しきを得て濫救	の 予防を主とし惰民製造の予防に注意すること．第
	の	259	10	しきを得て濫救の予防を主とし惰民製造	の 予防に注意すること．第二，土地の区域を定むる
	の	266	04	ては放恣不良の幼年者を感化し以て犯罪	の 予防をすることで有ります．これ等に施す方法は
	の	052	08	文字の書物より外は無いから英書か仏書	の 読める人は宜う御坐いませうが今まで翻訳書をあ
	の	144	16	らぬから日本の筆の立つ人と西洋の小説	の 読める者と此の二派を集めて筆の立つ人に西洋の
	の	206	07	す．其の後発見しましたのはＥｎｃｋｅ	の よりは大きな楕円を書いてＨａｌｌｅｙのよりも
	の	206	08	よりは大きな楕円を書いてＨａｌｌｅｙ	の よりも小さいので有ります．其れからして，この
	の	042	12	りて居る．丁度道と云ふものは親類同士	の 寄り合ひで，法と云ふものは他人同士の寄り合ひ
	の	042	13	の寄り合ひで，法と云ふものは他人同士	の 寄り合ひと云ふ様なものぢゃ．併しこれは極度を
	の	061	02	風たるを覚らるゝでありませう．又緋緘	の 鎧や天保銭や丸髷島田を御覧のときは又未開化人
	の	009	04	併し廃さうでは無い，廃さない方が天下	の 輿論で有ります．さればこの演説も時勢に遠せぬ
	の	086	08	若し世の人々の自分の見込み，また一般	の 輿論に問ふならば明らかな返答は出来まいと存じ
	の	270	10	けたる者が三十四人ありまして丁度たゞ	の 四厘に当りまする．また，小学教育より以上を受
	の	273	10	ます．此の外，東京，兵庫，宮城，三池	の 四箇所に仮留監と申しまするものが一箇所づゝ都
	の	222	09	のを耻るやうな様子が有りました．小説	の 来歴はこれまでとして，これから演劇のことを述
	の	162	13	は偽書が有るといふことだがこの酒詰だ	の 洛詰だの無逸だのは正銘なもので決して間違ひの
	の	202	06	さうと云ふに随分大変な仕事でフランス	の Ｌａｌａｎｄｅと云ふ人とＨｏｒｔｅｎｓｅＬｅ
	の	238	05	は事実などはお話ししませぬが杉田先生	の 蘭学事始と云ふ書などを見るとオランダの医術を
	の	223	01	ぜてすることとなりました．これが演劇	の 濫觴とも云ふべきもので有りませう．足利の始め
	の	065	11	横たはつて居るし，食物や家屋や人力車	の 濫用や丸髷島田の窮屈髷や長袖広帯のナマケ服な
	の	044	11	ぢゃ．支那は道徳の国なれども決して己	の 利をすてて他人の為めにすると云ふ主義が本当に
	の	048	04	ると万国公法と言ふものが有るなれど己	の 利これ見ると云ふ有様でやりて居る．併し国と国
	の	169	07	た疑ふといふものは我が日本の海外貿易	の 利は東に益があつて西に利が見えないやうだのに
	の	169	08	うだのに我が国の人心は西に向つて貿易	の 利とは反対を示すやうに見えます．これには色々
	の	237	05	有様で有つたから昔の学者は決して自分	の 利を図る為めに西洋学を学ぶので無くて西洋のこ
	の	042	17	以て責めると云ふことは無い．たゞ自分	の 利益を謀ることは固より許すが其れが為めに人の
	の	044	14	思はれる．其れぢゃから他人を利して己	の 利益を顧みる勿れと云ふ主義も本当に行はれるも
	の	047	02	れる．社会を為して居らぬからには自分	の 利益を謀るだけでありて自分の利益と他の利益と
	の	047	03	には自分の利益を謀るだけでありて自分	の 利益と他の利益と合はねば自分の利益だけ謀れば
	の	047	03	利益を謀るだけでありて自分の利益と他	の 利益と合はねば自分の利益だけ謀ればよい，他の
	の	047	03	て自分の利益と他の利益と合はねば自分	の 利益だけ謀ればよい，他の利益を顧みる訳には参

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（の）	の	047	03	合はねば自分の利益だけ謀ればよい，他	の	利益を顧みる訳には参らぬことぢゃ．其れは固よ
	の	060	10	厭ひ，余地があつても桑を植ゑ蚕を養ふ	の	利益をも考へず，たゞ権利とか自由とか聞きかぢ
	の	151	06	できめては官は行政府で其れは全国一般	の	利益に関することで上は天皇陛下より内閣，諸省
	の	151	07	，郡区役所，戸長役場など総て全国一般	の	利益に関するものは官と言ひ戸長も官吏であれば
	の	226	09	と云ふことと一個人の権利，利益と全国	の	利益との関係を規定すると云ふのが目的で御坐い
	の	236	11	みならず始終，人に悪まれて少しも自分	の	利益になることは無かつた．豪傑の士が自分の志
	の	243	16	つて居りまして其の他の法律，即ち全国	の	利益に関する行政上の法律規則等は総て行政権で
	の	244	14	政権に属しまする．其れから第六は全国	の	利益に関することを総て執行いたしまする．其の
	の	260	16	右の行政官に於てはコレコレまでは全国	の	利益になる，此の度合ひを超ると惰民製造の弊を
	の	262	12	ことも有りませぬ．此の方法は悔悟遷善	の	利益は有りまするけれども長く一房一囚に致して
	の	196	04	く別儀で御坐ります）．今日は兎角，物	の	理屈を知らないで居ながら「何でもないことだ」
	の	015	09	球の中心から月の中心までの距離が日本	の	里数で九万七千五百里です．九万七千五百里と云
	の	084	06	浜から亜米利加のサンフランシスコまで	の	里数と一昼夜に船のはしる里数が能く分つて居り
	の	197	15	有ります．Ｎｅｗｔｏｎから惑星の運動	の	律が分りました．そこでＮｅｗｔｏｎは惑星の運
	の	081	07	て行くもので御坐ります．たとへば屋敷	の	立派なこと機械の盛大なこと新発明の賑かなるこ
	の	090	10	．種々の進歩を致さうと思ふ人には一つ	の	立派な手本一つの高尚なる模範即ちｉｄｅａｌが
	の	210	02	知れません．これも説を述べられぬ一つ	の	理由で有ります．其れからモウ一つ世間にやかま
	の	247	06	等の人物に向つては其の悪いと云ふこと	の	理由を能く述べませぬと到底，其の心は改まるこ
	の	252	13	るのは至つて危険でありまするのが一つ	の	理由であるのと，また監獄に這入つて居りまする
	の	254	09	れ等の為めには慈恵と犯罪予防との二つ	の	理由よりして放免者保護会社の如きものを設けて
	の	142	13	小説の盛んなる時で其の後は大体，馬琴	の	流亜を汲んで勧善懲悪と云ふ桁をこしらへ悉く其
	の	119	17	．之を解して見ると人心に伝染する内密	の	流行病を生ずるもので有つて御承知の通り流行病
	の	120	03	見はれぬから酒疫は人心に伝染する内密	の	流行病で有ると解して然るべきことと思はれます
	の	213	13	等社会までも見るものだから第一に世間	の	流行を追つて時の好みに応じなければならないも
	の	081	08	けるものの能く完全したこと商法と製造	の	隆盛なること国家の確立したこと政体の鞏固なる
	の	249	06	が悪いとムヤミに誰でも拘引して警察署	の	留置場，又は監獄の未決監に入れて置くと云ふこ
	の	266	17	す．第三の未決者監禁部の事業は警察署	の	留置場，及び各地方の未決監則ち監倉と申します
	の	143	04	流派にも南北宗或ひは狩野派其の他種々	の	流派も有れど，これは皆な有形上のことで人の思
	の	257	12	るは一時の資本前貸しと犯罪人の予防と	の	両性質を有するものでありまする．斯くの如く貧
	の	257	15	るものも有り，又は救助と犯罪人予防と	の	両性質を有するものも有りまする．よつて貧民救
	の	154	04	チスチックと合はないとスタチスチック	の	利用が出来ないといふことに付ては色々の奇談も
	の	094	04	紀州沖であります．紀州沖であれば日本	の	領海なれば裁判法理に照せば日本の裁判権理に付
	の	225	02	ことが出来ませうが演劇の方はまだ見物	の	了簡が強盗や情死でなくては面白がりませぬ．其
	の	130	11	の新しき論または設理，或は一人か二人	の	量見によつて滅びてしまふと云ふことは決して御
	の	094	06	し今日は治外法権が存して居るから英国	の	領事に於て支配することになつて居ります．既に
	の	094	06	配することになつて居ります．既に英国	の	領事に於て支配することであれば法律学上に於て
	の	107	04	京に遊学して居つて今度久しぶりに故郷	の	両親に会はうといつて出立した学生もあり或ひは
	の	026	01	と太陽の距離を取りませう．此の物さし	の	両端から測量して見ても大かたの星の距離は大き
	の	047	12	開けた印度も奪ふてしまひ，近頃は朝鮮	の	領分の巨文島を勝手に取りてしまひ，安南でも緬
	の	251	01	た罪人が学期を終りますと卒業してモト	の	良民に立ちかへります．然るところ「お前の説は
	の	251	09	よりイクラかの監視を受くるだけで通常	の	良民と同様に其の身を立つることが出来まするこ
	の	186	16	事に於ては非常の勢力ある者で殊に婦人	の	良友たることは明白で御坐りませう．今より大凡
	の	241	05	で福島県の道路が善かつたとか，宮城県	の	旅宿の取扱が丁寧で有つたとか，岩手県の山景は
	の	001	02	やぶり明治十七年十一月四日仮名の会員	の	臨時懇親会東京芝公園地紅葉館に於て外山正一君
	の	077	04	であるとかいふ様にも参りませぬ．浅近	の	例を挙げて見ますと勉強して金を拵へましても窃
	の	082	12	ありまして甚だ明らかで御坐ります．昔	の	例を挙ぐればエジプトとペルシヤの国が御坐りま
	の	082	15	トとペルシヤで御坐ります．また少し後	の	例を挙ぐればギリシヤの国また其の中のアデンス
	の	083	02	皆な御存じで御坐りませう．欧羅巴中古	の	例を申しますならばイスパニヤとポルトガルの二
	の	083	05	ります．また地理によつて諸君に近い国	の	例を申しますならば隣りの支那で御坐ります．諸
	の	110	10	て見ても疑はしいことである．また外国	の	例に保険附きの船を沈めて保険料を取うといふこ
	の	152	15	ます．けれど実地に就て見ますと仏蘭西	の	例で言へば国体の変るに従ひ憲法は度々変ります
	の	193	13	る，アーいふことをするといふのは外国	の	例などを見てこれをも参照して細則をきめるだけ
	の	230	09	郡は此の中を外れて居ります．フランス	の	例でも外れて居りますが日本でも郡には郡有財産
	の	162	06	酒を作らしむるは郊社宗廟の大祭に灌献	の	礼を行はしむるが為めのみ文王また群臣の小子に
	の	216	14	に古く霊異記だの感霊録だのと云ふ仏法	の	霊験を書物に著したものの中には小説めいたこと
	の	105	08	以下乗組海員に対して我々同胞二十五名	の	霊魂を慰め遺族の怨みを晴らすべき判決が有りさ
	の	106	13	海の魚腹に葬られたる我が同胞二十五名	の	霊魂を慰め其の遺族の怨みを晴すべき公平正当の
	の	130	16	か上に立派な天体を具へて居る大空と人	の	霊魂の中に住む所の道徳法で御坐ります」と．実
	の	007	02	て来て字を書くことだの支那流の道徳だ	の	礼式だの品行だのといふものが今日盛になつて来
	の	032	14	ドンナことになるかと云ふ話し即ち世界	の	歴史だと大層面白くなる．併しどの国の歴史を書
	の	032	14	の歴史だと大層面白くなる．併しどの国	の	歴史を書くにも先づ其の国の地図から始めるが順
	の	054	08	て見ますと御国より始めてモロコシ西洋	の	歴史，理学，化学，最も入り用なのは算術，算術
	の	101	12	の変遷でよく分つて居ります．西洋各国	の	歴史を見まするに何れの国にても一事の改革をは